
JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook

2005 年 8 月

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook
SKU E1_APPS811SP1AIM-B JPN
Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、知的財産が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。また、当社は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式、手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複写、複製、または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Retek は米国 Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたはドキュメンテーションの使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation 社 (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも暗示的にも、一切の保証はありません。Apache Software Foundation 社およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Apache Software Foundation 社は一切責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	xix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎.....	xix
印刷・製本されたドキュメンテーションの入手.....	xx
印刷・製本されたドキュメンテーションの注文.....	xx
追加情報.....	xxi
表記規則.....	xxi
表記規則.....	xxii
注意事項の表示.....	xxii
国、地域、業種の表記.....	xxiii
通貨コード.....	xxiii
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xxiv
全ての PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxiv

まえがき

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 – まえがき.....	xxix
対象の製品.....	xxix
この PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxix

第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 – はじめに.....	1
在庫管理の概要.....	1
在庫管理ビジネス プロセス.....	7
在庫管理の統合.....	9
(Rapid Start) Inventory Management Business Processes.....	14
在庫管理の導入.....	14
グローバル導入ステップ.....	15

第 2 章

在庫管理システムの設定.....	17
システム設定について.....	17
この章で使用する共通フィールド.....	18

在庫固定情報の設定.....	19
在庫固定情報について.....	19
事前設定.....	21
在庫固定情報の設定に使用するフォーム.....	21
事業所固定情報の定義.....	22
ABC 分析コードの設定.....	27
事業所 ALL のレビュー.....	27
品目引当可能数量の定義.....	28
システム固定情報の定義.....	28
バッチ制御固定情報の定義.....	30
保管場所フォーマットの定義.....	31
保管場所セグメントの定義.....	32
倉庫保管場所の設定.....	32
倉庫保管場所の設定について.....	32
複数の保管場所の入力について.....	33
事前設定.....	34
倉庫保管場所の設定に使用するフォーム.....	35
保管場所の個別入力.....	35
保管場所マスター (P4100) の処理オプションの設定.....	36
複数の保管場所の入力.....	36
在庫インフレ調整のユーザー定義コード (UDC) の設定.....	36
流通システムの AAI 設定.....	37
流通システムの AAI について.....	37
在庫管理システムの AAI について.....	37
事前設定.....	38
流通システムの AAI の設定に使用するフォーム.....	38
AAI の設定.....	38
流通 AAI (P40950) の処理オプションの設定.....	40
(ARG) Setting Up AAI Document Types for Inventory Inflation Adjustment.....	41
Form Used to Set Up AAI Document Types for Inventory Inflation Adjustment.....	41
Set Up AAI Document Types.....	41
メッセージの設定.....	43
メッセージの設定について.....	43
メッセージと品目注記に関する印刷情報について.....	43
メッセージの設定に使用するフォーム.....	44
メッセージの設定.....	44
メッセージと品目注記に関する印刷情報の定義.....	44
伝票タイプの例外の定義.....	44
デフォルト事業所の設定.....	45
デフォルト事業所情報の設定について.....	45

事前設定.....	45
デフォルト事業所情報の設定に使用するフォーム.....	46
デフォルト事業所と承認経路コードの定義.....	46
デフォルト印刷待ち行列の割り当て.....	46
標準計量単位の設定.....	47
標準計量単位について.....	47
事前設定.....	48
標準計量単位の設定に使用するフォーム.....	48
標準計量単位の設定.....	48
品目相互参照の設定.....	48
品目相互参照の設定について.....	48
事前設定.....	50
品目相互参照の設定に使用するフォーム.....	51
プロモーション品目の相互参照の設定.....	51
品目相互参照 (P4104) の処理オプションの設定.....	52
プロモーション品目の相互参照の設定.....	52
関連品目の価格相互参照の設定.....	53
伝票タイプ情報の設定.....	53
伝票タイプ情報について.....	53
伝票タイプ情報の設定に使用するフォーム.....	54
伝票タイプ情報の設定.....	54
レコード予約.....	58

第 3 章

品目在庫情報の入力.....	61
品目在庫について.....	61
事前設定.....	62
品目マスター情報の入力.....	62
品目マスター情報について.....	63
事前設定.....	70
品目マスター情報の入力に使用するフォーム.....	70
品目 ID と処理情報の入力.....	72
翻訳記述の入力.....	77
(BRA) Entering Additional Item Master Information.....	77
セグメント品目のテンプレートの作成.....	79
セグメント品目の入力.....	80
品目へのメッセージの添付.....	80
品目に関する注記の入力.....	80
品目の添付情報の入力.....	81

品目担当者の割り当て.....	81
分類コードの入力.....	82
品目のデフォルト計量単位の入力.....	84
品目計量単位の換算方法の定義.....	85
品目の 2 重計量単位の指定.....	86
価格計量単位を使った検索順序の設定.....	86
所要量計画、リードタイム、生産設計、品目等級および濃度、Demand Flow®の情報の入力.....	87
品目マスター (P4101) の処理オプションの設定.....	94
事業所情報の入力.....	97
事業所情報について.....	97
事前設定.....	101
事業所情報の入力に使用するフォーム.....	101
事業所への品目の割り当て.....	102
品目への基本保管場所の割り当て.....	102
品目への 2 次保管場所の割り当て.....	102
品目の基本保管場所の変更.....	103
販売分類コードの入力.....	103
購買分類コードの入力.....	103
在庫および輸送分類コードの入力.....	103
倉庫分類コードの入力.....	103
Entering Additional Branch/Plant Information for Items for Brazil.....	103
税情報の入力.....	105
品目の出荷元の検索.....	105
品目発注数量の入力.....	106
事業所製造情報の入力.....	106
複数事業所用の品目情報の複写.....	108
事業所品目 (P41026) の処理オプションの設定.....	108
事業所品目の複写 (P41015) の処理オプションの設定.....	110
(ARG) Entering Imported Item Information for Argentina.....	111
(Rapid Start) Entering Item Master and Item/Branch Information.....	112
Entering Item Master and Item/Branch Information.....	112
Preconfigured Processing Options for Item Master Revisions (P4101).....	112
マトリックスと親品目の処理.....	114
マトリックスと親品目について.....	114
事前設定.....	115
マトリックスと親品目の処理に使用するフォーム.....	116
マトリックス品目 (P4101E) の処理オプションの設定.....	116
マトリックス品目の処理.....	117
マトリックス オーダー入力 (P41902) の処理オプションの設定.....	117
マトリックス オーダー入力の使い方.....	118

品目原価情報の入力.....	118
品目原価情報について.....	118
品目原価情報の入力に使用するフォーム.....	120
品目への原価レベルの割り当て.....	121
品目への原価計算方式の割り当て.....	121
品目原価の入力.....	121
製造段取原価情報の入力.....	121
原価の改訂 (P4105) の処理オプションの設定.....	122
販売価格情報の入力.....	123
販売価格情報について.....	123
販売価格情報の入力に使用するフォーム.....	124
品目への価格レベルと価格リスト グループの割り当て.....	124
品目価格の入力.....	126
 第 4 章	
在庫トランザクションの使い方.....	127
在庫トランザクションについて.....	127
在庫出庫.....	128
在庫について.....	128
事前設定.....	129
在庫出庫に使用するフォーム.....	130
在庫出庫.....	130
在庫出庫 (P4112) の処理オプションの設定.....	131
(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Issuing Inventory for Customer Credit With Return.	135
Issuing Inventory for Customer Credit With Return.....	135
Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Simple Inventory Issues (P4112).....	136
在庫調整.....	137
在庫調整について.....	138
事前設定.....	138
在庫調整に使用するフォーム.....	138
在庫調整.....	139
在庫調整 (P4114) の処理オプションの設定.....	139
在庫移動.....	142
在庫移動について.....	143
在庫移動に使用するフォーム.....	144
在庫移動.....	144
在庫移動 (P4113) の処理オプションの設定.....	144
(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Transferring Inventory for Customer Credit With Return.....	148

Transferring Inventory for Customer Credit With Return.....	148
Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Inventory Transfers (P4113).....	149
第 5 章	
品目および数量情報の検討.....	151
品目および数量情報について.....	151
数量タイプ.....	152
システムによる在庫の引当.....	153
需要/供給数量のシステム計算.....	153
総勘定元帳による品目残高調整.....	154
品目情報の検索.....	154
品目情報の検索方法について.....	155
事前設定.....	157
品目情報の検索に使用するフォーム.....	158
品名検索情報の更新.....	158
品名検索テーブルの作成 (R41829) の処理オプションの設定.....	158
品目マスターに対する品目検索.....	159
トランザクションに対する品目検索.....	159
品目情報の検索と結果の表示.....	160
検索条件の定義.....	160
検索テキストの入力.....	161
数量情報の検索.....	161
数量情報について.....	162
事前設定.....	165
数量情報の検索に使用するフォーム.....	166
集計数量情報の検索.....	166
在庫状況プログラム (P41202) の処理オプションの設定.....	168
明細数量情報の検索.....	170
セグメント品目在庫状況の検索.....	171
セグメント品目の在庫状況 (P41206) の処理オプションの設定.....	171
保管場所セグメント数量の検索.....	172
保管場所セグメント照会 (P4100142) の処理オプションの設定.....	172
ロット別数量情報の検索.....	172
ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定.....	173
手持数量情報の検索.....	174
品目元帳 (P4111) の処理オプションの設定.....	174
Web での現行在庫レベルの検討.....	174
(Rapid Start) Reviewing Item Ledger Records.....	174

Reviewing Item Ledger Records.....	175
Preconfigured Processing Options for Item Ledger (P4111).....	175
(Rapid Start) Reviewing Item Availability.....	175
Reviewing Item Availability.....	176
Preconfigured Processing Options for Item Availability (P41202).....	176
需要/供給情報の検討.....	177
需要/供給情報について.....	177
需要/供給情報の検討に使用するフォーム.....	178
需要/供給照会プログラム (P4021) の処理オプションの設定.....	178
需要/供給情報の検討.....	180
パフォーマンス情報の検討.....	181
パフォーマンス情報の検討に使用するフォーム.....	181
パフォーマンス情報の検討.....	181
購買担当者用情報 (P4115) の処理オプションの設定.....	183
トランザクション レコードの処理.....	183
トランザクション レコードについて.....	184
前提条件.....	186
トランザクション レコードの処理に使用するフォーム.....	186
品目元帳基準日生成プログラムの実行.....	187
品目元帳基準日生成 (R41542) の処理オプションの設定.....	187
会計年度における非活動の繰越残高レコードの更新.....	187
基準日更新 (R41548) の処理オプションの設定.....	187
(ARG) Generating As Of Beginning Balances for Inventory Inflation Adjustments.....	188
(ARG) Setting Processing Options for Create Missing AS OF record (R76A397).....	188
個別のトランザクションの入力.....	188
複数のトランザクションと残高の検討.....	189
品目元帳明細レポート (R41540) の検討.....	190
品目元帳明細レポートの処理オプションの設定.....	190
元帳クラス別品目元帳レポートの検討.....	191
元帳クラス別品目元帳の処理オプションの設定.....	191
主科目別総勘定元帳レポートの検討.....	191
主科目別総勘定元帳レポートの処理オプションの設定.....	192
主科目別試算表レポートの検討.....	192
主科目別試算表レポートの処理オプションの設定.....	192

第 6 章

実地棚卸の管理.....	193
実地棚卸の管理について.....	193
この章で使用する共通フィールド.....	193

循環棚卸の処理.....	194
循環棚卸について.....	194
事前設定.....	194
循環棚卸の処理に使用するフォーム.....	195
循環棚卸品目の選択プログラムの実行.....	195
循環棚卸品目の選択 (R41411) の処理オプションの設定.....	196
循環棚卸状況の確認.....	196
循環棚卸票の印刷.....	197
循環棚卸リストの印刷 (R41410A) の処理オプションの設定.....	197
循環棚卸の取り消し.....	197
循環棚卸結果の入力.....	197
既存ライセンス プレーットの棚卸数量の入力.....	198
循環棚卸差異の確認.....	199
循環棚卸数量の改訂.....	201
循環棚卸の承認.....	201
循環棚卸の更新プログラムの実行.....	201
循環棚卸の更新プログラム (R41413) の処理オプションの設定.....	202
タグ棚卸の処理.....	204
タグ棚卸について.....	204
タグ棚卸の処理に使用するフォーム.....	205
タグ棚卸品目の選択プログラムの実行.....	205
在庫タグの印刷.....	206
在庫タグの印刷 (R41607) の処理オプションの設定.....	206
タグ配布情報の記録.....	206
タグ状況の検討の処理オプションの設定.....	206
タグ受取り情報の記録.....	207
タグ棚卸結果の入力.....	207
タグ状況の確認.....	207
タグ状況集計の確認.....	207
タグ棚卸差異の確認.....	207
タグ棚卸の更新の実行.....	208
タグ在庫の更新 (R41610) の処理オプションの設定.....	208
(Rapid Start) Manage Inventory.....	209
Managing Inventory Count.....	209
Preconfigured Processing Options for Select Items for Count (R41411).....	210
Preconfigured Processing Options for Cycle Count Review (P41240).....	211
Preconfigured Processing Options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A).....	211
Preconfigured Processing Options for Cycle Count Update (R41413).....	211
Preconfigured Processing Options for Inventory Transaction Post (R09801).....	212
(Rapid Start) Manage Materials.....	213

Processing Items for Putaway.....	213
Preconfigured Processing Options for Item Availability (P41202).....	214
Preconfigured Processing Options for Inventory Transfers (P4113).....	215
Preconfigured Processing Options for Inventory Transaction Post (R09801).....	216
 第 7 章	
原価の更新.....	219
原価の更新について.....	219
事前設定.....	219
原価の更新.....	219
品目原価の更新.....	219
品目原価の更新について.....	220
品目原価の更新に使用するフォーム.....	220
複数の事業所に共通する品目原価の更新.....	220
保管場所原価の改訂の処理オプションの設定.....	221
複数の事業所に共通する複数の品目原価の更新.....	221
原価の一括更新の処理オプションの設定.....	221
品目の平均原価の更新.....	222
先日付原価への現行品目原価の更新.....	223
先日付原価の更新 (R41052) の処理オプションの設定.....	223
流通システムにおける明細原価計算の処理.....	224
明細原価計算について.....	224
流通システムにおける明細原価計算の処理に使用するフォーム.....	224
流通における明細原価計算の設定.....	224
流通シミュレート原価の作成.....	224
シミュレート原価の更新の処理オプションの設定.....	225
製造原価要素のコピー.....	225
原価要素のコピーの処理オプションの設定.....	226
 第 8 章	
キットの使い方.....	227
キットについて.....	227
キットの基礎.....	227
キット構成品.....	227
流通システムにおけるキット.....	229
キット情報の入力.....	229
キット情報について.....	229
キット情報の入力に使用するフォーム.....	230

キット品目マスター レコードの入力.....	230
キット保管場所の設定.....	231
キット価格設定情報の入力.....	231
部品表の入力.....	233
部品表について.....	233
事前設定.....	233
部品表の入力に使用するフォーム.....	233
部品表の入力.....	233
部品表改訂 (P3002) の処理オプションの設定.....	234

第 9 章

ロット処理の使い方.....	237
ロット処理について.....	237
この章で使用する共通フィールド.....	238
ロット情報の入力.....	238
ロット情報について.....	238
ロット情報の入力に使用するフォーム.....	240
品目のロット情報の入力.....	240
ロットの作成.....	242
ロット管理情報の入力.....	242
引当可能数量情報の入力.....	243
仕入先情報の入力.....	244
ロット マスターの改訂 (P4108) の処理オプションの設定.....	244
(RUS) Entering Additional Lot Information.....	245
Understanding Lot Information for Russia.....	245
Forms Used to Enter Additional Lot Information for Russia.....	246
Setting Processing Options for Set Up Item – Custom Declaration Number (P7464108).....	246
Entering Additional Lot Information for Russia.....	246
ロット別在庫状況の処理.....	247
ロット別在庫状況の処理に使用するフォーム.....	247
ロット別在庫状況の表示.....	247
ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定.....	248
ロット数量の確認.....	249
ロット処理日付の改訂.....	249
ロット状況コードの割り当て.....	249
許容ロット状況コードの設定.....	250
ロット状況コードについて.....	250
許容ロット状況コードの設定に使用するフォーム.....	252
ロット状況コードの追加.....	252

ロットトランザクションの表示.....	253
トレース/トラッキングについて.....	253
不良ロットのトレースについて.....	253
ロットトランザクションの表示に使用するフォーム.....	254
トレース/トラッキング照会 (P41203) の処理オプションの設定.....	254
ロットトレース/トラッキング情報の確認.....	259
仕入先または仕入先ロット番号によるロットの検索.....	259
ロットの再分類.....	260
ロットの再分類について.....	260
事前設定.....	261
ロットの再分類に使用するフォーム.....	261
品目とロットの再分類.....	261
品目再分類 (P4116) の処理オプションの設定.....	263
ロットの日付設定.....	265
ロット日付情報について.....	265
事前設定.....	266
ロット日付の設定に使用するフォーム.....	267
ロット日付情報の入力.....	267
有効な構成品や原料の計算.....	268
先日付引当可能数量の有効日付の定義.....	269
先日付引当可能数量について.....	269
先日付引当可能数量の有効日付の定義に使用するフォーム.....	272
有効日数の定義.....	272
有効ロットの更新プログラム (R41083) の実行.....	272
有効ロットの更新 (R41083) の処理オプションの設定.....	273
ロット出荷昇順日付の設定.....	274
出荷昇順日付規則について.....	274
事前設定.....	275
出荷昇順日付の設定に使用するフォーム.....	275
詳細ロットの優先情報名の設定.....	275
優先情報名のスケジュールへの添付.....	276
ロット満了日付の一括更新の実行.....	276
ロット満了日付の一括更新について.....	276
事前設定.....	276
ロット満了日付の一括更新の実行に使用するフォーム.....	277
ロット満了日付の一括更新の実行.....	277

第 10 章

コンテナ管理.....	279
コンテナ管理について.....	279
事前設定.....	279
コンテナ管理機能.....	279
在庫とコンテナ ライフサイクル.....	280
コンテナ管理システム フロー.....	281
コンテナ管理統合タスク.....	282
コンテナ タイプ.....	283
保証金と賃貸料.....	284
請求方法.....	285
設定タスクについて.....	286
オーダー行タイプ.....	286
オーダー処理順序定義.....	287
品目タイプ.....	288
ユーザー定義コード.....	288
印刷メッセージ.....	289
AAI (自動仕訳).....	289
請求書サイクル計算.....	290
コンテナ コードと品目の設定.....	290
コンテナ コードについて.....	290
コンテナ コードと品目の設定に使用するフォーム.....	291
コンテナ コードの指定.....	291
空コンテナに対する品目番号の指定.....	291
コンテナ優先情報の設定.....	291
コンテナ優先情報について.....	292
事前設定.....	293
コンテナ優先情報の設定に使用するフォーム.....	294
コンテナ保証金/賃貸料優先情報の作成.....	295
請求書サイクル優先情報の作成.....	297
価格設定計量単位優先情報の作成.....	297
印刷メッセージ優先情報の作成.....	297
価格設定スケジュールの設定.....	298
シリアル番号トラッキングの設定.....	298
シリアル番号の処理について.....	298
シリアル番号トラッキングの設定に使用するフォーム.....	298
コンテナトランザクションの処理.....	298
コンテナトランザクションについて.....	299
事前設定.....	299
コンテナトランザクションの処理に使用するフォーム.....	300

コンテナ抽出の実行.....	300
賃貸料、保証金、払戻金の処理.....	301
賃貸料の受注オーダー行作成.....	301
保証金と払戻金の受注オーダー行作成.....	301
賃貸料、保証金、払戻金の受注オーダー行処理.....	302
コンテナ保証金の確認.....	302
コンテナトランザクションの確認.....	303
シリアル番号情報の確認と改訂.....	303

第 11 章

データの除去.....	305
データ除去について.....	305
事前設定.....	305
データ除去.....	305
データの除去.....	305
除去プログラムについて.....	306
事前設定.....	306
品目マスターの除去プログラムの実行.....	306
品目残高の除去プログラムの実行.....	306
品目残高の除去 (R4102P) の処理オプションの設定.....	307

第 12 章

システム更新の実行.....	309
事前設定.....	309
品目情報の更新.....	309
品目更新について.....	309
品目マスターと事業所情報の更新.....	310
品目マスター一括更新 (R41804) の処理オプションの設定.....	310
カテゴリコードと品目番号の更新.....	312
レポートコードの一括更新 (R41803) の処理オプションの設定.....	312
セグメント相互参照の生成.....	314
セグメント相互参照の生成 (R41045) の処理オプションの設定.....	314
保管場所フォーマットの改訂.....	314
保管場所フォーマットの改訂について.....	315
事前設定.....	315
保管場所フォーマットの改訂に使用するフォーム.....	316
更新するテーブルの指定.....	316
モデル事業所の新規保管場所フォーマットの定義.....	318

保管場所フォーマットの更新.....	319
保管場所フィールドの更新 (R41821) の処理オプションの設定.....	319

第 13 章

外部システムとのインタオペラビリティ.....	321
在庫インタオペラビリティについて.....	321
フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換.....	322
フラット ファイル変換について.....	322
事前設定.....	322
フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換に使用するフォーム.....	323
フラット ファイル相互参照の設定.....	323
変換プログラムの実行.....	323
フラット ファイル変換 (受信) (R47002C) の処理オプションの設定.....	324
外部システムからのトランザクションの受信.....	324
受信トランザクションについて.....	325
事前設定.....	325
品目マスター受信トランザクションの受信.....	325
品目マスター未編集トランザクション受信バッチ処理 (R4101Z1I) の処理オプションの設定.....	327
受信トランザクションからの循環棚卸データの受信.....	327
循環棚卸受信未編集トランザクション (R4141Z1I) の処理オプションの設定.....	328
受信トランザクションからの品目原価の受信.....	328
インタオペラビリティによる原価の更新.....	329
製品処理データ受信トランザクションの受信.....	329
受信トランザクションの検討と改訂.....	329
受信トランザクションの検討について.....	329
受信トランザクションの検討と改訂に使用するフォーム.....	330
品目マスター受信トランザクションの検討および改訂.....	330
循環棚卸受信トランザクションの検討と改訂.....	331
品目原価受信トランザクションの検討と改訂.....	331
外部システムへのトランザクションの送信.....	331
送信トランザクションについて.....	331
前提条件.....	332
インタオペラビリティトランザクション レコードの除去.....	332
インタオペラビリティトランザクション レコードの除去.....	332
循環棚卸のトランザクション レコード除去 (R4141Z1P) の処理オプションの設定.....	332

付録 A

在庫管理で使用するテーブル	333
在庫管理テーブル.....	333
在庫管理テーブル.....	333
ローカライゼーション テーブル.....	335
(CHL) (PER) Localization Tables.....	335
(BRA) Localization Tables.....	336

付録 B

EnterpriseOne 在庫管理レポート	339
在庫レポート.....	339
在庫管理の全レポート.....	339
在庫管理レポートの詳細.....	341
需要/供給レポート.....	341
需要/供給レポート (R4051) の処理オプションの設定.....	341
品目プロファイル レポート.....	343
品目プロファイル レポート (R410400) の処理オプションの設定.....	343
データ タイプ別プロファイル情報レポート.....	343
データ タイプ別プロファイル情報レポート (R410410) の処理オプションの設定.....	344
在庫回転率レポート.....	344
在庫回転率レポート (R41116) の処理オプションの設定.....	345
顧客/流通業者残高レポート.....	345
コンテナ調整レポート.....	345
差異明細の印刷レポート.....	346
循環棚卸差異明細の印刷レポート (R41403) の処理オプションの設定.....	346
ロットのトレース/トラッキング印刷レポート.....	346
ロットのトレース/トラッキング印刷レポート (R41505) の処理オプションの設定.....	347
価格表レポート.....	348
価格表レポート (R41510) の処理オプションの設定.....	348
購買担当者ガイド レポート.....	349
購買担当者ガイド レポート (R4152) の処理オプションの設定.....	349
在庫状況レポート.....	349
在庫状況レポート (R41530) の処理オプションの設定.....	349
品目元帳/勘定科目整合性レポート.....	350
品目元帳/勘定科目整合性レポート (R41543) の処理オプションの設定.....	351
品目残高/元帳整合性レポート.....	352
品目残高/元帳の整合性 (R41544) レポートの処理オプションの設定.....	352
在庫仕訳レポート.....	353
在庫仕訳レポート (R41550) の処理オプションの設定.....	353

品目マスター ディレクトリ レポート.....	353
品目マスター ディレクトリ レポート (R41560) の処理オプションの設定.....	353
単位原価レポート.....	353
単位原価警告レポート (R41580) の処理オプションの設定.....	354
評価分析レポート.....	354
評価分析レポート (R41590) の処理オプションの設定.....	354
ABC 分析レポート.....	355
事前設定.....	355
ABC 分析レポート (R4164) の処理オプションの設定.....	356
在庫原価/価格比較レポート.....	356
在庫原価/価格比較レポート (R41700) の処理オプションの設定.....	357
販売可能フラグの更新レポート (R41900).....	357
販売可能フラグの更新レポート (R41900) の処理オプションの設定.....	357
(RUS) Generating the Item Transfer Note Report (R74R41003).....	357
Setting Processing Options for Item Transfer Note (R74R41003).....	358
(RUS) Generating the Stock Balance Report (R74R6000).....	358
Setting Processing Options for Print Stock Balance Report (R74R6000).....	358
 EnterpriseOne 用語集.....	 361
 索引	 373

この PeopleBook について

PeopleBook には、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎
- 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook には、システムで使用されている全てのフィールドについて説明されているわけではありません。アプリケーションで共通して使用される主なフィールドは、共通フィールドとしてまとめて説明しています。全てのアプリケーションで共通するフィールドはこの PeopleBook に、各アプリケーションで共通するフィールドは、それぞれの製品ライン、PeopleBook、またはその章やセクションごとに、共通フィールドとしてまとめて説明されています。それ以外に説明が必要だと思われるものについては、処理や業務を実行する具体的なページの説明と併せて、フィールドやチェック ボックスの説明をそれぞれ記載しています。

JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基本的な使い方を熟知する必要があります。

また、JD Edwards EnterpriseOne の入門トレーニング コースを少なくとも 1 つ修了していることが推奨されます。

この PeopleBook では、ユーザーが JD Edwards EnterpriseOne システムを操作でき、メニューやページ、フォームなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、JD Edwards EnterpriseOne システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne システムを効果的に使用するために必要な情報や、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

また、システムを設定したり設計するときに必要となる情報が、製品ラインで共通する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている場合もあります。ほとんどの製品ラインについて『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』が用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。JD Edwards EnterpriseOne システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つのアプリケーションだけを導入する、いくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入する、といういずれの場合でも、この『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

印刷・製本されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、印刷・製本されたドキュメンテーションの注文について説明します。

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

PeopleBooks CD-ROM に収録されているドキュメンテーションは、印刷・製本された形のものも用意されています。印刷・製本されたドキュメンテーションは、以下のいずれかの方法でご注文いただけます。

- Web サイト
- 電話（米国およびカナダのみ）
- 電子メール

Web サイト

PeopleSoft の Web サイトである Customer Connection から注文できます。Ordering PeopleBooks リンクをクリックすると、PeopleBooks Press の Web サイトにアクセスすることができます。このサイトは、PeopleSoft と印刷会社 MMA Partners 社が共同で運営しています。ご注文の際、クレジットカード、郵便為替、銀行小切手、または注文書をご利用いただけます。

電話（米国およびカナダのみ）

877 588 2525 (MMA Partners 社) までご連絡ください。

電子メール

peoplebookspress@mmapartner.com (MMA Partners 社) までご連絡ください。

関連項目:

PeopleSoft Customer Connection
<https://www.peoplesoft.com/corp/en/login.jsp>

追加情報

PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス マップ	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
データモデル	[Support]、[Documentation]、[Data Models]
エンタープライズ インテグレーション ポイント (EIP) のカタログ	[Support]、[Documentation]、[Enterprise Integration Point (EIP) Catalog]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
PeopleBook ドキュメンテーションのアップデート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
サポートポリシー	[Support]、[Support Policy]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]
リリースノート	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]、[Upgrade Documentation and Software]、[Release Notes]
テーブルのロード順序	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Table Loading Sequences]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しで、そのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。
Monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2 つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒 () で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

PeopleBook では、注意事項が以下のような形式で示されています。

注

JD Edwards EnterpriseOne システムを使って作業するときに注意すべき事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守るべき大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

JD Edwards EnterpriseOne システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています。

特定の国を対象とした見出しの例:「従業員の採用 (FRA)」

特定の地域を対象とした見出しの例:「減価償却の設定 (中南米)」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は、ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒154-0005
東京都世田谷区三宿 1-13-1
東映三宿ビル 5 階

日本ピープルソフト株式会社
エンタープライズ ランゲージ サービス マネジャー宛

TEL: 03-5251-8768

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

全ての PeopleBook で使用する共通フィールド

以下 Enterprise の用語です。

指定日	どの日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象となるかを指定します。
ビジネスユニット	業務上、区分された上位レベルの組織の ID です。ビジネスユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
名称	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。データを表示、変更できる時期も有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時、実行しない	<p>“1 回限り”を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に“実行しない”に設定されます。</p> <p>“常時”を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない”を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。

リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これにより、データの重複やシステムのメンテナンス作業を減らすことができます。ビジネスユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネスユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、複数のビジネスユニットで共通する職務コードのグループを定義して共有することができます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行するユーザーを表す ID です。
以下 EnterpriseOne の用語です。	
住所番号	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号です。住所番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員番号、応募者番号、加入者番号、などに相当する場合もあります。
仮定通貨コード	取引金額を表示する際に使用する通貨を指定する 3 文字のコードです。このコードを指定することにより、取引の入力時に実際に使用された通貨ではなく、指定した通貨に基づいて取引金額を参照することができます。
バッチ番号	システムによって処理される取引のグループを識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが手動でバッチ番号を割り当てるか、自動採番プログラム (P0002) によって自動的に割り当てることもできます。
バッチ日付	バッチが作成された日付です。このフィールドを空白のままにすると、自動的にシステム日付がバッチ日付として指定されます。
バッチ状況	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) 98/IC の値を表示します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: バッチが転記されていないか、承認待ちです。</p> <p>A: バッチの転記が承認され、貸借も一致していますが、まだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されました。</p> <p>E: バッチにエラーが発生しました。転記の前にエラーを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記処理中です。転記処理が完了するまで、バッチにアクセスすることはできません。転記中にエラーが発生した場合は、バッチ状況コードが E に変更されます。</p>

U: ほかのユーザーがこのバッチを使用しているか、バッチが開かれている間に電源障害が発生したために、バッチが一時的に使用できなくなっています。

事業所	倉庫、作業、プロジェクト、作業所、支店、工場など、配送業務や製造業務が行われる場所や単位を表すコードです。システムによっては、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
ビジネスユニット	個別に費用がトラッキングされる各エンティティを表すコードです。システムによっては、事業所とも呼ばれます。
カテゴリ コード	各カテゴリを表すコードです。カテゴリ コードは、ユーザー定義コードで、トラッキングや申告など、組織の業務要件に合わせてカスタマイズできます。
会社	組織、資金、報告主体などを識別するコードです。会社コードは、F0010 に定義済みである必要があり、このコードで表される単位ごとに、完全な貸借対照表を備えている必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す 3 文字のコードです。EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) に準拠した通貨コードを提供しています。通貨コードは F0013 テーブルに格納されています。
伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号です。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と併せて使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度によって次の番号を割り当てる場合、この会社番号に基づいて、その会社の次の番号が自動的に抽出されます。</p> <p>同じ伝票番号と伝票タイプが複数の当初伝票に割り当てられていても、伝票会社番号を使用すれば、目的の当初伝票を表示することができます。</p>
伝票番号	伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどの当初伝票を識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが当初伝票番号を割り当てるか、自動採番プログラムによって自動的に割り当てることもできます。
伝票タイプ	<p>取引のソースおよび目的を表すユーザー定義コード 00/DT の値 (2 文字) です。伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどがあります。EnterpriseOne では、伝票タイプに以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛伝票</p> <p>R: 売掛伝票</p> <p>T: 時間/給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買伝票</p> <p>S: 受注伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、取引、レコードなどがアクティブになる日付です。このフィールドは、プログラムによって意味が変わります。たとえば、以下のような日付を表すことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 住所変更が有効になる日付• 賃貸契約が有効になる日付• 価格が有効になる日付• 為替換算レートが有効になる日付

- 税率が有効になる日付

会計期間、会計年度

元帳の期間、年度を表す番号です。多くのプログラムでは、このフィールドを空白のままにできます。その場合、会社固定情報プログラム (P0010) で定義された現在の会計期間と会計年度が自動的に使用されます。

元帳日付

取引の転記先の会計期間を示すための日付です。取引に対してこの日付が入力されると、その会社に割り当てられている会計期間パターンと比較して、適切な会計期間および会計年度が抽出されます。日付の検証も併せて行われます。

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の製品
- この PeopleBook で使用する共通フィールド

対象の製品

この PeopleBook には、以下の製品についての情報も記載されています。

- JD Edwards EnterpriseOne 一般会計
- JD Edwards EnterpriseOne 調達管理
- JD Edwards EnterpriseOne 受注管理
- JD Edwards EnterpriseOne 住所録
- JD Edwards EnterpriseOne 倉庫管理
- JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理
- JD Edwards EnterpriseOne 製造データ管理

この PeopleBook で使用する共通フィールド

事業所	原価のトラッキング対象となる業務単位を示す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センター、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。
伝票タイプ	<p>トランザクションの発生元と目的を識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイプのプレフィックスは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• P: 買掛伝票• R: 売掛伝票• T: 時間/給与伝票• I: 在庫伝票• O: 購買伝票• S: 受注オーダー伝票
品目番号	品目に割り当てられる番号を入力します。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。

行タイプ

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムを制御します。また、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定します。行タイプコードの例を以下に示します。

- S: 在庫品目
- J: 作業原価
- N: 非在庫品目
- F: 運賃
- T: テキスト情報
- M: その他費用
- W: 作業オーダー

ロット/シリアル番号

ロットまたはシリアル番号を識別する数字を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。

在庫タイプ

品目（完成品、原料など）の保管方法を示すユーザー定義コード（41/I）を入力します。以下の在庫タイプはハードコード化されているため、変更しないでください。

- O: 擬似品目
- B: バルク在庫品
- C: コンフィギュレーション品目
- E: 緊急/改良保全
- F: フィーチャー品目
- K: キット親品目
- N: 非在庫品目

ユーザー定義コード テーブルの [記述 2] の最初の文字が “P” の場合は購買品目、“M” の場合は製造品目を表します。

計量単位

品目の基本計量単位を示すユーザー定義コード（00/UM）を入力します。基本計量単位は、品目を取り扱う際の最小の計量単位を指定する必要があります。

この計量単位が基本在庫単位（PSAU）となり、全ての在庫がこの計量単位で保管されます。基本計量単位を変更すると、品目レベルの換算テーブルの換算係数は無効になります。

このフィールドのデフォルト値は、品目マスター情報で指定した計量単位です。

第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 – はじめに

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の概要について説明します。

- 在庫管理の概要
- 在庫管理のビジネス プロセス
- 在庫管理の統合
- (Rapid Start) Inventory Management business processes
- 在庫管理の導入

在庫管理の概要

在庫管理システムはサプライチェーンの基盤です。在庫管理システムを JD Edwards システムの他のアプリケーションと連携させ効果的に使用するには、在庫の設定方法と管理方法を理解する必要があります。

在庫とは、全体を通じて使用される基本的な概念です。JD Edwards の在庫管理システムでは、個別の在庫品目を定義して、サプライチェーン全体にわたる在庫管理を行うことができます。

循環棚卸

循環棚卸は、各品目の定期的な棚卸を行う場合に使用します。循環棚卸では、品目を選択して棚卸を行い、システムのレコードと照合して在庫調整を行います。循環棚卸は、費用がかかる品目や、回転が早いために在庫確認を頻繁に必要とする品目に対して行います。

タグ棚卸

タグ棚卸は循環棚卸よりも複雑です。タグ棚卸では、施設内の全ての品目が保管場所ごとに棚卸されます。このため、タグ棚卸は年度末の大規模な実地棚卸に適しています。

キット品と構成品

キットは、単体の在庫品目ではありません。キットとは、1 つの商品として販売される複数の品目の組み合わせを指しています。キット品の例には、コンピュータ システムがあります。コンピュータ システム全体は在庫品目ではありませんが、その構成品は在庫品目です。特定の期間または用途ごとに、これらの構成品を 1 つのキット品にまとめることができます。さらに、これらのキット品を必要に応じて別のキット品としてまとめることもできます。キット品は在庫品目ではなく、他の在庫品目の関係を設定する基準となります。

産業界のトレンドである“マス コンフィギュレーション”について考察することで、キットへの理解が深まります。マス コンフィギュレーションでは、電子システムから自動車に至るまで、さまざまな商品を幅広い構成部品のリストから選んで構成できます。部品の全てに標準の製品を使用しても、個別に異なるキットとして販売することが可能です。マス コンフィギュレーションにより、消費者は柔軟に商品を購入することができます。

ロット管理

ロット番号は重複しない ID です。食品や製造用の構成品、化合物および弾薬類など、製造元から顧客まで在庫品目をトラッキングする場合に、ロット番号が頻繁に使用されます。ロット番号を使用してトラッキングすると、製造業者のリコールや生鮮食品の回転などに対応した在庫管理ができます。

自動車メーカーが部品の修理交換のために特定の車種をリコールしなければならない場合がありますが、その典型的な原因は 1 つの部品の欠陥です。ロット管理を使用すると、欠陥のある特定のロットを識別し、そのロットに関連する車とその所有者を割り出すことができます。ロット管理では、製造品目に含まれる構成品をロット番号で正確に識別できます。

在庫コンテナ

製品を容器に入れて販売し、その容器の返却を義務付けている場合があります。たとえば、プロパンガスのタンクなどがあります。返却する必要があるタンクでプロパンガスを販売する場合、顧客はタンクを含まずにプロパンガスのみを購入します。

このような取引を実施している場合、買い手の会社は通常、最初にタンクまたはコンテナを用意しません。売り手の会社がコンテナを提供し、その保証金を請求します。商品を満載したコンテナの納入と空コンテナの返却が繰り返される取引に対して、保証金のトラッキングと、必要に応じた保証金額の増減が行われます。追加の保証金や保証金の価格変動により、しだいに取引が複雑になっていきます。在庫管理システムは、このようなコンテナ管理にも対応します。

在庫保管機能

在庫タイプ、その在庫タイプで使用する保管機器や設備、および保管場所と保管方法を検討します。次に、業務内容、および仕入先と顧客の要件に基づいて必要な要素を検討します。

通常は、以下のいずれか（または両方）の在庫タイプを管理します。

- 在庫品目
- 非在庫品目

在庫品目は、販売用に保管されている製品または部品です。非在庫品目は、事務用品などの社内で使用される一般的な品目です。非在庫品目には以下の品目が含まれます。

- キット構成品
- 委託品
- 顧客の消耗品
- 定期発注品

在庫と非在庫の両方の品目を保管している場合、品目の識別、保管、トラッキングを最も効率的に行う必要があります。また、以下の各処理をどのように行うかを決定するため、在庫管理システムの使用方法を決定する必要もあります。

- 在庫品目と非在庫品目の識別と保管
- 在庫と非在庫品目の計上
- 多通貨での品目の識別とトラッキング

- 冷却などの特殊取扱が必要な品目の識別と保管
- 品質分析または試験が必要な品目の識別
- 旧品目の決定
- 損傷または欠陥部品の識別と計上

品目の識別

次に、在庫管理システムでの在庫品目の識別方法を説明します。

品目番号と記述

JD Edwards システムでは、複数の品目識別方法が用意されています。実際の品目番号、ユーザー指定の番号、またはそれらを組み合わせて使用できます。実際の品目番号によって、品目に関する以下のような情報を識別できます。

- 使用資材
- 製造年度
- 特定の契約
- 特殊な製造工程
- 原産国
- 実施対象の試験または品質分析

品目番号は各品目に 3 つまで使用できます。使用できる品目番号は以下のとおりです。

- 主番号
- 2 次番号（仕入先番号、製造番号、業界標準番号）
- システムが割り当てる番号

在庫管理システムの相互参照機能では、システム内で無制限に品目 ID を設定することができます。

番号による品目の識別に加えて、各品目に以下の情報を関連付けることもできます。

- 標準記述
- 仕様付き技術的記述
- 警告メッセージ
- 仕入先情報と引当可能数量

これらの品目記述や番号は、フォームやレポート、トランザクション処理で共通して使用できます。

品目相互参照

通常、顧客は発注時に品目の識別方法を複数使用します。たとえば、仕入先や顧客が独自の部品番号で品目を発注する場合などです。在庫管理システムでは、これらの番号を、フォーム、レポート、トランザクション処理で共通に使用できる相互参照番号として設定できます。

また、相互参照機能は、特定の顧客からの部品や品目が必要になる契約にも役立ちます。たとえば、政府との契約では、監督官庁の違いにより、対象となる品目の管理方法が、保管、製造、会計処理で異なる場合があります。

品目の保管場所とロット処理

在庫の保管方法を決定したら、使用可能な保管スペースを最大限に活用するために、物理的な保管場所を設定する必要があります。物理的な場所は品目保管場所と呼ばれ、実際に品目を保管する場所になります。

ロット処理により、品目グループの情報を保守管理できます。自転車の部品などのように、ロットは最終品目の構成品である品目で構成される場合がほとんどです。

品目を迅速に検索して日常業務を効率的に行うには、システムの品目保管場所とロットの識別方法を決定する必要があります。

保管場所品目

在庫管理システムでは、作成した多数の品目保管場所に対する品目のトラッキングを実行できます。倉庫から店舗、トラックに至るまで、全てを事業所として処理できます。

社内全体に共通する品目に対して事業所別に規則を定義し、各事業所に適用する規則、原価、価格などを個別に管理できます。それぞれの事業所内には、通路、棚番、棚のように実際の保管場所と同様のレイアウトを持つ保管場所をオンラインで作成できます。たとえば、以下の品目の保管場所をグループ化して定義できます。

- 委託品目
- 再作業または修理が必要な品目
- 返品された品目
- 特定の顧客に属する特別品目

品目の保管場所を作成したら、その情報を使用して以下の処理を実行できます。

- 特定保管場所の検証
- 品目記述の表示
- 引当可能数量の検討
- ロット状況の検討

事業所を設定したら、区域、通路、棚番、ロットなどで構成される保管場所を指定して、さらに詳細に定義できます。

ロット処理

特殊なロット管理や多層的な原価計算では、保管場所内の在庫をロットで区別できます。ロットには、に固有の記述、原価情報、満了日付を割り当てることができます。ロット処理では、以下の処理が可能です。

- 品目の入荷時に、手動または自動採番でロット番号を割り当てる。
- ロットに問題がある場合、そのロットを保留にする。
- 検疫中または検収中など、ロットに状況を割り当てる。
- ロット別にトランザクションを検討する。
- 期限付きのロットを識別し、最も古い品目から販売する。
- 顧客から品目を回収する必要がある場合に備えて、購入または製造した品目を同時にトラッキングする。

物理的倉庫と論理的倉庫

広いスペースを必要とする大規模な入荷がある場合は、物理的倉庫と論理的倉庫に品目を分散して、在庫管理システムで各品目をトラッキングできます。物理的倉庫と論理的倉庫は、それぞれ以下のように定義されます。

物理的倉庫

在庫管理システムを使用すると、以下の処理を行う場合に物理的な倉庫のスペースとレイアウトを最大限に活用できます。

- 貯蔵過剰用区域の効率的な使用
- 保管場所の割り当て
- 仕掛品のトラッキング
- 輸送中品目の識別とトラッキング
- 類似品目の識別

論理的倉庫

論理的倉庫は物理的には存在しません。論理的倉庫は、実際の物理的倉庫に類似するように設定し、必要に応じたフォーマットで保管場所を定義できます。論理的倉庫では、以下の品目を対象に保管場所を定義できます。

- 破損品
- デモ用在庫
- 委託品目
- 顧客在庫
- 返品
- 再作業
- 社内使用在庫

また、仕入先の施設に在庫を置いて直接そこから出荷する製品など、在庫を置かずに販売する製品の物理的な保管場所を表す架空の保管場所を定義することもできます。

品目の棚卸

在庫管理システムでは、オンライン数量と循環棚卸/タグ棚卸との差異を識別できます。必要な数の循環棚卸やタグ棚卸を随時実施できます。また、以下の処理も実行できます。

- 棚卸票の印刷
- 棚卸結果の入力と検証
- オンラインまたはレポートによる差異の検討
- 正確な棚卸結果の更新

以下の在庫数量情報にも迅速にアクセスできます。

- 手持数量
- オーダーに対する引当済み数量
- バックオーダー数量

- 購買オーダー数量

在庫管理システムでは、対話形式機能とバッチ機能を使用して発注点と発注量を計算できます。

品目原価

正確で完全な在庫レコードの管理は、今日のビジネスに不可欠です。在庫管理システムでは、単位原価の自動計算機能により、原価を品目別や保管場所別に管理できます。品目が入荷または調整されると、加重平均原価と最終仕入原価が自動的に計算されます。

在庫管理システムでは、各種の原価基準を使用して、在庫評価情報を適切に管理することもできます。さまざまな評価方法により、以下のような原因による原価差異の検討が可能です。

- 時間経過
- 原価の変動
- 機能設計の変更
- 技術的変更

ABC 分析により、需要と収益性が高い在庫品目を識別できます。ABC 分析レポートには、1 つまたは全ての保管場所について品目別の売上合計、粗利益、手持在庫原価が詳細に表示されます。

補足データ

標準のマスター テーブルに含まれない品目情報を保存する場合があります。このような追加的な情報は補足データとして扱います。

補足データは、品目マスター レベルまたは事業所レベルのどちらでも使用できます。在庫品目の補足データ タイプを定義して、追加情報のカテゴリや各カテゴリでトラッキングする情報を指定できます。

補足データの例は、以下のとおりです。

- 品質パフォーマンス情報
- 法定表示法
- 修理および交換レコード
- 政府調達情報
- 危険物規制
- 一般的な備考

コンテナ管理

コンテナは高価なものであり、顧客の手元にあっても自社で所有しているため、コンテナ トランザクションは慎重にトラッキングすることが重要です。

コンテナ管理では、調達管理システムおよび受注管理システムとのインテグレーションによって、以下の処理が実行されます。

- 他のシステムからのコンテナ トランザクションに関する全ての情報の抽出とコンテナ管理固有のテーブルでの保守管理
- 空コンテナと満載コンテナの動きのトラッキング
- コンテナの顧客保証金や賃貸料のトラッキング
- 顧客への保証金請求や返却コンテナに対する払戻しを行う時期の決定
- 保証金と賃貸料の請求書や払戻金に対するクレジット メモの印刷

- コンテナ残高や顧客保証金情報の検討と必要なレポートの印刷

在庫インタオペラビリティ

製品間のインタオペラビリティは、企業ソリューションの導入に不可欠です。異なるシステムの完全な相互運用によって各種の製品が連動し、ユーザーは 1 つのシステムとしてそれらを使用することができます。EnterpriseOne のインタオペラビリティ機能には、外部システムとのトランザクションの交換を容易にするインターフェイスが用意されています。在庫インタオペラビリティには、送受信の両方のトランザクションに対応する機能が含まれています。

在庫管理ビジネス プロセス

このセクションでは、在庫管理ビジネス プロセスの概要について説明します。

品目分類

品目はグループに分類できます。在庫管理システムには、購買、販売、および流通に対応した多くの分類方法が用意されており、品目のさまざまな特性を利用した購買活動または販売活動についてレポートを出力できます。これらの分類方法は、倉庫内の製品移動または保管方法の決定にも使用されます。

計量単位の換算

品目の購買と販売はさまざまなパッケージ単位で行われます。在庫管理システムでは、パッケージ サイズの定義やパッケージ間の関係の定義を行うことができます。たとえば、ユーザー定義の換算テーブルで、パレットを“個”や“箱”に設定することができます。システムでは、ポンドからオンス、個からダースなどのように、標準の換算が実行されます。

2 重計量単位

換算が指定されていない計量単位は、2 重計量単位と呼ばれます。品目の在庫管理とトランザクションの処理には、2 つの計量単位を使用できます。たとえば、販売（数量単位）、購買（原価単位）、価格決定（重量単位）で処理する品目について 2 重計量単位を指定できます。同様に、標準計量単位換算のあるトランザクションで 2 重計量単位を使用できます。たとえば、品目の計量単位が重量の場合、トン/ポンド換算のトランザクションを 2 重計量単位と見なすことができます。この場合、2 重計量単位は、2 重単位数量に対して品目元帳レコードと品目残高レコードで使用された計量単位になります。

以下のオーダー入力アプリケーションでは、基本計量単位または 2 次計量単位に関連するトランザクション数量（2 重計量単位）を入力できます。

- 購買オーダー (P4310)
- 受注オーダー入力 (P4210)
- 製造作業オーダー処理 (P48013)

その他の数量の決定には標準換算が使用されます。ピッキング プロセスが基本計量単位か 2 重計量単位のどちらに基づくかを指定するには、許容限度を設定して、ピッキング オプションを使用します。また、在庫引当のピッキング オプションを使用して、受注オーダーの在庫をハード コミットする際に引当に使用する計量単位を指定することもできます。

製造情報

製造処理を支援するための、品目の要素を定義することができます。この情報により在庫計画とリードタイム予測を向上させることができます。このような予測情報は、効率的な在庫管理の実現には不可欠です。たとえば、ジャスト イン タイム システムでは、在庫切れによって製造プロセスが停止する場合があります。完了までのリードタイムと資材所要量の正確な予測は、その処理を最大限に機能させるために必要不可欠な要素です。

品目等級と濃度情報

等級と濃度は、食品や医薬品産業などにおいて厳重に監視される品質情報です。これらの品質情報は、原料を入荷するたびに記録してトラッキングする必要があります。多くの場合、記録処理とトラッキング処理には厳密な規則があり、違反した場合は厳重に罰せられます。さらに、行政機関によってさまざまな書類の提出が義務付けられています。在庫管理システムでは、このような品質上の要件に対応して書類を作成できます。

在庫トランザクション

施設内および施設間で在庫を移動するには、在庫トランザクションを使用します。在庫管理システムでは、在庫トランザクションを以下のように定義します。

- 出庫
- 調整
- 移動

出庫

在庫出庫は通常、保管場所から在庫を引き出す際に使用します。在庫出庫は以下の状況で行います。

- 破損品
製品は破損する場合があります。この製品を破損品用の保管場所に出庫したり、破損品として計上したりできます。
- マーケティング用のデモ
販売活動において、販売担当者がデモ目的で在庫品目を必要とする場合があります。会計上の責任元を管理する目的で、この品目を販売担当者に対して出庫できます。
- 内部使用
社内で使用する目的で商品在庫から引き出す場合があります。たとえば、石油会社の場合、自社の輸送車両用に石油製品を使用します。このような場合に品目を出庫して、内部使用として処理できます。

調整

在庫調整は、実地棚卸とシステム上の手持数量との差異を調整する場合に使用します。在庫調整は次のような状況で行います。

- 減損
在庫品目は盗難に遭ったり、目減りする場合があります。このような減損を記録する場合に在庫調整を使用できます。
- 記録されていない増加
行方不明になっていた品目が発見される場合があります。このような在庫の増加を記録する場合に在庫調整を使用できます。
- 初期残高

新しい倉庫のレコードを作成する場合に、在庫調整を使用して在庫の初期レベルを記録できます。

移動

在庫移動では、保管場所間の品目の移動を記録します。在庫移動は以下の状況で行います。

- 保管場所間の移動

倉庫内の保管場所間や製造現場で在庫品目を移動する場合に、在庫移動を実行して品目の動きを記録できます。

- 車両から保管場所への移動

製品が車両から保管場所へと移動することは一般的です。この場合、在庫移動を使用して品目の動きトラッキングします。

- 事業所間の移動

在庫記録を正確に管理するには、施設間の在庫移動を記録する必要があります。このような場合に在庫移動を使用できます。

実地棚卸

国際的な競争力を維持するには、在庫を正確に管理する必要があります。管理が正しく行われないと、以下のような損失が発生する可能性があります。

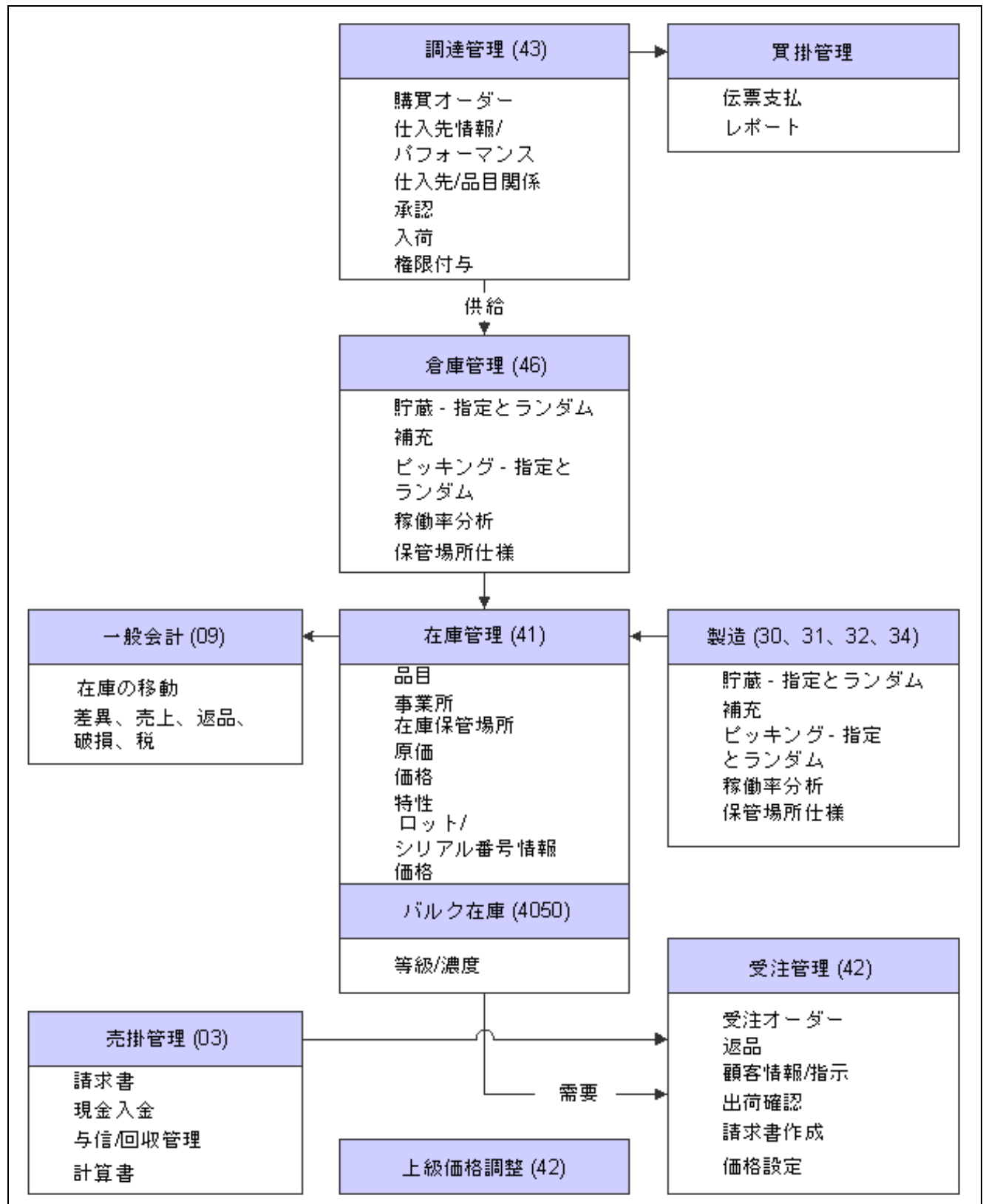
- バックオーダーが増えて納期に間に合わなくなり、顧客を失う。
- 不必要な在庫により、流動資本を失う。
- 製造工程の中断に費用がかかり、利益を失う。

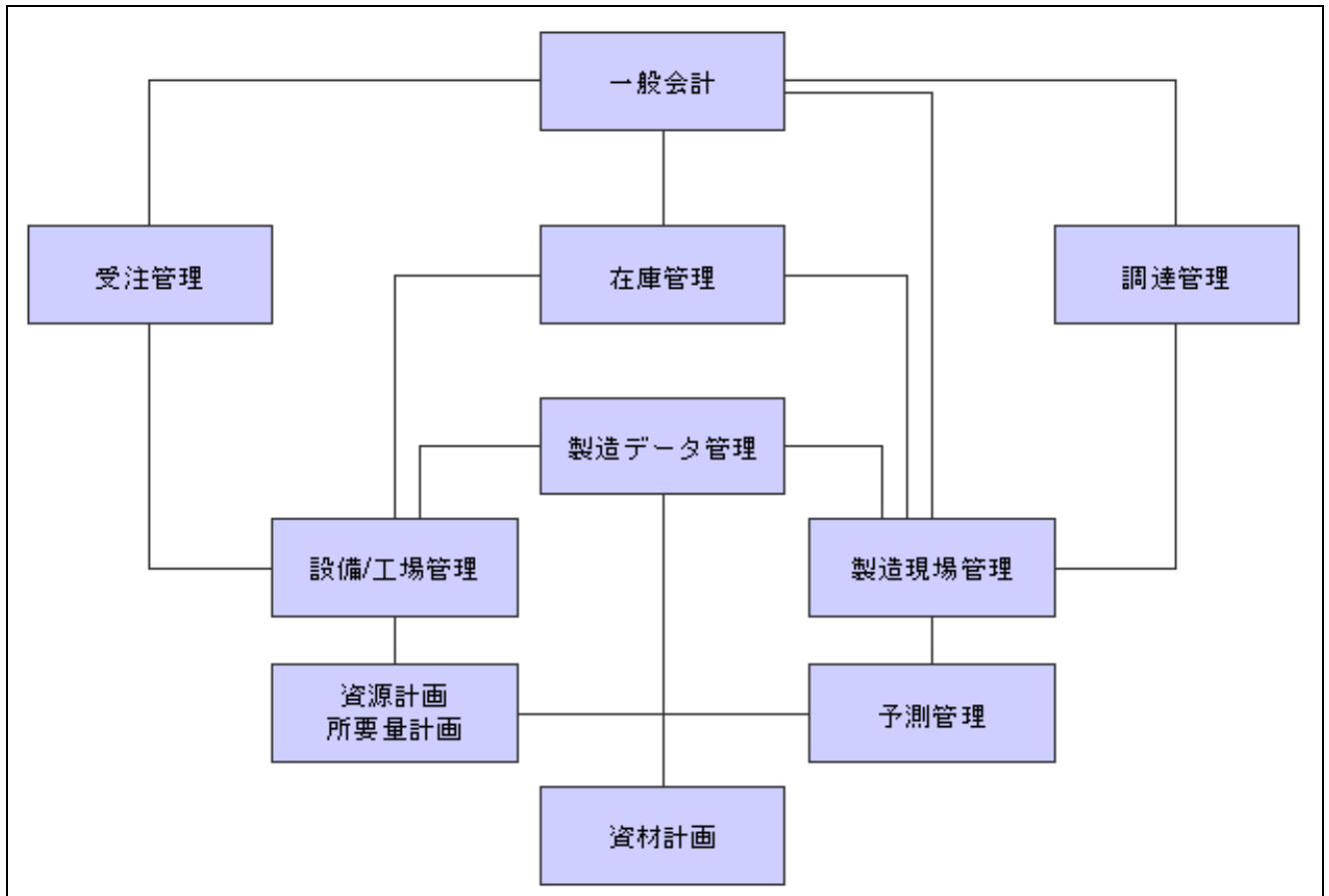
在庫管理システムでは、以下の 2 つの方法で実地棚卸を定期的に行うことができます。

- 循環棚卸
- タグ棚卸

在庫管理の統合

次のフローチャートは、在庫管理システムとその他の EnterpriseOne システムがどのように統合されているかを示しています。





製造管理システムとの統合

在庫管理システムは、一般会計システムやその他のロジスティクス システムと統合されています。

在庫管理システムには、受注管理、調達管理、製造管理システムで使用する品目情報が保存されます。また、保管場所別に販売と購買の原価と数量を記録し、品目を販売しない保管場所を保留状態にします。

在庫評価、棚卸差異、または在庫移動に変更があった場合は、総勘定元帳の棚卸資産勘定の残高を更新します。

一般会計

一般会計システムでは、棚卸資産勘定をトラッキングできます。

調達管理

調達管理システムは、購買オーダーの品目原価を在庫管理システムから取得します。購買商品を入荷して伝票を作成すると、総勘定元帳が更新され、支払に対する買掛項目が作成されます。

受注管理

受注管理システムは、受注オーダーの品目価格と原価を在庫管理システムから取得します。総勘定元帳が更新され、在庫、売上原価、収益、および現金入金処理の課税対象取引を記録する売掛項目が作成されます。

住所録

在庫管理システムは、住所録システムから最新の顧客、仕入先、倉庫住所情報を取得します。

倉庫管理

倉庫管理システムは在庫管理システムと連動して、以下の処理を実行します。

- 保管場所マスター、品目マスター、事業所品目、事業所固定情報、保管場所品目、および計量単位換算係数の各テーブルからの情報を使用する。
- 貯蔵、ピッキング、補充作業に対する保管場所を提示する。
- 倉庫トランザクションを品目元帳テーブルに記録する。

部品表

部品表は在庫管理システムと製造データ管理システムの両方で使用されます。部品表は以下の用途に使用されます。

- 受注オーダーの入力時に、親品目の組み立てや製造に必要なキットと構成品の数量を定義する。
- 購買オーダーの入力時に構成品を選択する。

在庫管理システムと製造現場管理システムのトランザクションに従って、部品表の構成品の出庫、総勘定元帳レコードの作成、手持在庫数量の更新が行われます。

以下の設定によって、製造計画と原価計算処理を柔軟に実行できます。

- 親/構成品の関係
- キットあたり構成品数量
- フィーチャー計画
- 原価比率
- 日付の有効期限

製造データ管理

製造データ管理 (PDM) システムは、以下の製造データを定義する基盤です。

- 部品表
- 作業工程指示
- 製造原価の積み上げ
- 設計変更管理

また、PDM は以下の資材と製造計画のプロセスを制御するデータのリポジトリでもあります。

- 資源/能力所要量計画
- 資材計画

製造現場管理

製造現場管理システムでは、作業オーダーまたはレート スケジュール生産のいずれかのプロセスにより、製品の組み立てと製造活動を行うことができます。

製造現場管理システムのトランザクションに基づいて、以下の情報の入力と更新が行われます。

- 総勘定元帳
- 手持在庫数量
- 勤務時間

製造現場管理システムのトランザクションでは、以下の処理が実行されます。

- 資材構成品の出庫
- 直接労務または段取労務時間数の記録
- 機械稼働時間数のトラッキング
- 完成/半完成品目の完了と在庫への記録

設備/工場管理

設備/工場管理システムでは、作業オーダーの処理を通して設備や工場のメンテナンス作業のトランザクションを処理できます。

メンテナンス トランザクションは以下の処理に使用します。

- 資材構成品の出庫
- 直接労務または段取労務時間数の記録
- 機械稼働時間数のトラッキング
- 原価のトラッキングおよび固定資産管理システムと一般会計システムへの記録

これらのトランザクションにより手持在庫数量も更新されます。

資源計画/所要量計画、資材計画、予測管理

これらのシステムでは、手持在庫数量と現行の需要に基づいて以下の情報を予測します。

- 製品の販売または交換部品
- 事業所間の在庫ニーズ
- 設備/工場の保全のための部品所要量
- 購買オーダーまたは製造現場生産から発生する入庫品目の引当可能数量

これらのシステムでは以下の計画活動が実行されます。

- 社内転送オーダーを推奨する。
- 購買オーダーまたは一括/契約の購買オーダーのリリースを提示する。
- 在庫需要に対応するため、製造現場の作業オーダー リリースまたは製造現場生産レート スケジュールの変更などを提案する。

電子データ交換 (EDI)

電子データ交換 (EDI) とは、標準フォーマットを使用して、購買オーダー、請求書、出荷通知などのビジネス トランザクションをコンピュータ間で行う機能です。

EDI システムのデータ インターフェイスは、EnterpriseOne のシステム コード 47 で構成されるアプリケーション インターフェイスです (インターフェイス ファイル、テーブル、プログラムを含む)。システム 47 と、EDI の標準フォーマットのデータを EnterpriseOne のフラット ファイル フォーマットに変換するサードパーティのソフトウェアとの連動によって、EDI のデータを EnterpriseOne のアプリケーション ソフトウェアで使うことが可能になります。

伝票を受信すると、サードパーティの変換ソフトウェアにより以下の処理が実行されます。

- ネットワーク経由でのデータの取得
- EDI 標準フォーマットから EnterpriseOne アプリケーション テーブルのフォーマットへの変換

- EnterpriseOne の EDI フラット ファイルへの変換データの移動

受信変換プログラムは、変換されたデータを EnterpriseOne の EDI インターフェイス テーブルに移動します。移動したデータは、EnterpriseOne 電子商取引システム (システム 47) によって該当するテーブルに転送されます。伝票を送信する場合は、逆の順序で処理が実行されます。

(Rapid Start) Inventory Management Business Processes

Rapid Start for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and the United States includes all the functionality available in the PeopleSoft EnterpriseOne system to perform your business processes. For the Inventory Management system, Rapid Start also includes preconfigured data that is specifically set up for these business processes:

- Manage inventory
- Manage materials

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Inventory Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to all countries that use Rapid Start:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Manage inventory	Manage inventory count	<ol style="list-style-type: none"> 1. Select items for inventory count. 2. Print count sheets. 3. Review items selected for count. 4. Enter the correct quantities for the recounted items and locations. 5. Approve cycle count. 6. Update the counts to inventory. 7. Post inventory transactions. 	参照: 第 6 章、「 <u>実地棚卸の管理</u> 」、 <u>「(Rapid Start) Manage Inventory」</u> 、209ページ
Manage materials	Process items for putaway	<ol style="list-style-type: none"> 1. Identify item availability. 2. Transfer inventory. 3. Post inventory transactions. 	参照: 第 6 章、「 <u>実地棚卸の管理</u> 」、 <u>「(Rapid Start) Manage Materials」</u> 、213ページ

在庫管理の導入

このセクションでは、在庫管理システムの導入に必要な手順の概要について説明します。

導入プランの作成段階では、導入のガイドやトラブルシューティング情報など、提供される全ての情報を活用するようにしてください。これらのリソースの一覧は、『この PeopleBook について』のまえがきに、各リソースの最新バージョンの入手方法と共に掲載されています。

グローバル導入ステップ

次の表は、JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理の導入手順を示しています。

手順	参照
1. グローバルユーザー定義コードの設定	PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95: Foundation PeopleBook
2. 会社、会計期間パターン、およびビジネスユニットを設定します。	
3. 自動採番を設定します。	PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95: Foundation PeopleBook
4. 勘定科目と勘定科目表を設定します。	
5. 一般会計固定情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」
6. 通貨コードと為替レートなど、多通貨処理の設定をします。	
7. 元帳タイプ規則を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計システムの元帳タイプの設定」
8. 住所録レコードを入力します。	
9. 事業所固定情報、デフォルト事業所およびプリンタ、製造および流通 AAI、伝票タイプなどの在庫情報を設定します。	<u>第 2 章、「在庫管理システムの設定」、17 ページ</u>
10. 製造現場カレンダーを設定します。	
11. 製造固定情報を設定します。	

第 2 章

在庫管理システムの設定

この章では、在庫管理システムの設定の概要と以下の方法について説明します。

- 在庫固定情報の設定
- 倉庫保管場所の設定
- 在庫インフレ調整 (Inventory Inflation Adjustment) のユーザー定義コードの設定
- 自動仕訳 (AAI) 伝票タイプの設定
- メッセージの設定
- デフォルト事業所情報の設定
- 標準計量単位の設定
- 品目相互参照の設定
- 伝票タイプ情報の設定
- レコード予約

システム設定について

次の表は、在庫管理システムを使用する前に設定が必要な機能を示しています。

機能	説明
固定情報	固定情報には、以下のようなデフォルト情報を定義します。 <ul style="list-style-type: none">• システム固定情報には、実行する機能を指定します。• バッチ制御固定情報には、アプリケーションで管理者承認とバッチ制御が必要かどうかを指定します。• 事業所固定情報には、事業所内の日次トランザクションを定義します。• 保管場所フォーマットには、事業所の品目保管区域を定義します。• 品目引当可能数量には、事業所単位で引当可能な品目数量の計算方法を定義します。
倉庫保管場所	倉庫保管場所には、事業所内で使用可能な保管場所を定義します。

機能	説明
AAI(自動仕訳)	AAIは会計情報と総勘定元帳との関係情報を在庫管理システムに提供して、一般会計システムとの連携を実現します。
メッセージ	メッセージは、指定するプログラムとメッセージ出力の設定に基づいて表示されます。
デフォルト事業所およびプリンタ	デフォルト事業所およびプリンタには、デフォルトとして使用される事業所、プリンタ出力待ち行列、承認経路コード情報を設定します。
品目相互参照	品目相互参照番号は、自社の品目番号と取引先の品目番号を関連付けます。
伝票タイプ情報	通常、伝票タイプはユーザー定義コードリストで設定されます。伝票タイプ保守管理プログラムにより、伝票タイプ情報を流通システム用に設定、管理できます。

この章で使用する共通フィールド

伝票タイプ

トランザクションの発生元と目的を示すユーザー定義コード(00/DT)を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイプのプレフィックスは、次のとおりです。

- P: 買掛金伝票
- R: 売掛金伝票
- T: 時間/給与伝票
- I: 在庫伝票
- O: 購買オーダー伝票
- S: 受注オーダー伝票

オーダー タイプ

[オーダー・タイプ] フィールドの値に基づいて作業オーダーのタイプを決定するためのコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 01 作業オーダーとは関連付けられていない
- 02 製造作業オーダー
- 03 製造再作業オーダー
- 04 設備作業オーダー
- 05 サービス作業オーダー
- 06 保証請求オーダー
- 07 仕入先回収オーダー
- 08 ECO(設計変更オーダー)

- 09 設計変更要求オーダー
- 10 資産管理オーダー
- 11 受注設計生産集計オーダー
- 12 レート スケジュール オーダー

在庫固定情報の設定

このセクションでは、在庫固定情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 事業所固定情報の定義
- ABC 分析コードの設定
- 事業所 ALL のレビュー
- 品目引当可能数量の定義
- システム固定情報の定義
- バッチ制御固定情報の定義
- 保管場所フォーマットの定義
- 保管場所セグメントの定義

在庫固定情報について

固定情報は、在庫管理システムが機能するための基本的な枠組みを提供します。自社のビジネス ニーズに基づいて、システム全体または特定の事業所のいずれかに特定の固定情報を関連付けます。在庫管理システムは、他の EnterpriseOne システムのデフォルト情報として固定情報を使用します。

システム全体で使用するデフォルト情報を定義した後、個別に適切な値を入力したり、事前定義した値を変更したりできます。

注: 在庫管理システムには、ALL と呼ばれる事業所があります。ALL はデフォルト情報用の必須の事業所です。

ABC 分析コードの設定

ABC 分析は、一般的に少数の品目 (A グループ) が会社取引の大部分を占めるという原理に基づく分析手法です。A グループに次いで取引量が多く重要度が高いいくつかの品目が B グループに分類されます。残りの大多数の品目 (C グループ) は全部合わせてもわずかな取引量にしか達しません。

ABC 分析は循環棚卸の基準として使用できます (A グループの品目は C グループの品目より棚卸の頻度が高くなります)。事業所固定情報で ABC 分析コードのパーセント値を設定することにより、在庫品目リストを重要度に応じて分類します。

事業所 ALL

事業所 ALL は、在庫管理システムの一部として提供される汎用の事業所です。事業所 ALL は、特定の入力情報を検証するためのデフォルト情報のソースとして使用されます。

事業所 ALL をコピーして、事業所を新しく作成することができます。場合によっては、事業所 ALL の設定を変更する必要があります。

品目引当可能数量

事業所ごとに品目引当可能数量の計算方法を定義する必要があります。品目引当可能数量は、システムによるバックオーダー、取り消し、顧客納入時期の計算方法に影響します。

注: コンフィギュレーション管理システムを使用している場合は、コンフィギュレータ固定情報プログラム (P3209) の [在庫確認] チェック ボックスをオンにして、受注オーダーの入力の際に品目引当可能数量を確認する必要があります。品目とストリングが完全に一致する組み合わせが見つかり、特定のコンフィギュレーションを含む保管場所が全てフォームに表示されます。

システム固定情報

実行する機能を指定するには、システム固定情報を設定します。たとえば、事業所が複数あり、それぞれの事業所で異なる計量単位を使用するとします。この場合、システム固定情報を設定して事業所別に計量単位を自動換算できます。

システム固定情報は全ての事業所に適用されます。事業所ごとにシステム固定情報を変更することはできません。システム固定情報への変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

バッチ制御固定情報

権限のないユーザーが総勘定元帳を変更できないようにするには、バッチ制御固定情報を定義します。また、バッチ ジョブの実行前にバッチ制御情報の入力を要求する固定情報を指定することもできます。バッチ制御情報を入力して、ジョブの予測サイズと実行結果を比較できます。

使用する流通および製造管理の各システムについて、管理者承認とバッチ制御をそれぞれ定義します。

保管場所フォーマット

品目保管場所の設定方法を指定するには、保管場所フォーマットを定義します。保管場所フォーマットの要素として、実際の保管場所の詳細な情報を定義できます。各要素には、事業所で品目を保管する通路、棚番、棚などの情報を割り当てることができます。保管場所フォーマットの定義では、最大 10 個の要素を設定できます。要素ごとに、以下の項目を定義できます。

- 長さ
- 位置揃え
- 区切り文字

全ての要素の長さの合計は、区切り文字を含めて 20 文字以下に制限されています。区切り文字はテーブルには保存されませんが、保管場所コードをフォームまたはレポートに表示する際に使用されます。区切り文字を使用しない場合は、区切り文字のフィールドはブランクにします。この場合、保管場所は 1 つの連続する文字列として表示されます。

注: 倉庫管理システムを使用する場合は、容量、寸法、および重量についてデフォルトの計量単位も定義する必要があります。

保管場所セグメント

保管場所はセグメントに分割できます。保管場所をセグメントに分割する場合、事業所の全ての保管場所に対するテンプレートを設定します。複数の事業所を対象にセグメントを使用する場合は、全ての事業所でセグメントの定義を同じにする必要があります。セグメント化された保管場所は、製品を同じ保管場所に混合させて保管する場合や、顧客または仕入先の委託在庫を扱う場合に役立ちます。

セグメント情報は、既存の保管場所には追加できません。保管場所レコードを新しく追加する際に定義するか、または既存の保管場所ごとに手作業で追加する必要があります。

1 つの保管場所に対して最大 10 個のセグメントを定義できます。各セグメントは、照会時の属性として使用できます。各セグメントには、セグメント表す規則番号として、次のいずれか 1 つを割り当てます。

- 住所番号
- ユーザー定義コード
- 数値範囲
- 英数字

住所番号は、最初の 2 つのセグメントのみに割り当てることができます。各セグメントには特定の長さの制限があります。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 事業所の住所録レコードを作成します。
- 事業所をビジネスユニットとして設定します。
- [事業所固定情報] フォームの [保管場所制御] オプションをオンにします。
- 保管場所フォーマット仕様の情報を設定します。

在庫固定情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所固定情報の処理]	W41001B	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[事業所固定情報]	事業所固定情報を設定します。
[事業所固定情報]	W41001H	[事業所固定情報の処理] フォームで、[追加] ボタンを クリックします。	事業所固定情報を定義 します。
[事業所固定情報]	W41001H	[事業所固定情報の処理] フォームで、事業所情報 を入力します。 デフォルトの事業所を含む 行を選択して、[選択] をク リックします。	事業所 ALL をレビュー します。
[ABC コードの設定]	W41001I	[事業所固定情報の処理] フォームで、事業所情報 を入力します。 ABC 分析コードを設定する 事業所の行を選択して、[選択] をクリックします。 [事業所固定情報] フォーム で、[フォーム] メニューの [ABC コード] をクリック します。	ABC 分析コードを設定 します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[品目引当可能数量の定義]	W41001G	<ul style="list-style-type: none"> ・ [在庫管理セットアップ] (G4141)、[事業所固定情報] ・ [調達管理システム・セットアップ] (G43A41)、[事業所固定情報] ・ [受注管理システム・セットアップ] (G4241)、[事業所固定情報] ・ [事業所固定情報の処理] フォームで、[ロー] メニューの [引当可能数量] をクリックします。 	品目引当可能数量を定義します。
[システム固定情報]	W41001F	[事業所固定情報の処理] フォームで、[フォーム] メニューの [システム固定情報] をクリックします。	システム固定情報を定義します。
[アプリケーション固定情報]	W41001E	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[事業所固定情報] [受注管理システム・セットアップ] (G4241)、[事業所固定情報] [事業所固定情報の処理] フォームで、事業所情報を入力します。[フォーム] メニューの [アプリケーション固定情報] をクリックします。	バッチ制御固定情報を定義します。
[事業所保管場所の定義]	W41001A	[事業所固定情報の処理] フォームで、事業所情報を入力します。 事業所を含む行を選択して、[ロー] メニューの [保管場所の定義] をクリックします。	保管場所フォーマットと保管場所セグメントを定義します。

事業所固定情報の定義

[事業所固定情報の処理] フォームにアクセスします。

事業所固定情報により、流通/製造管理システムの各事業所で発生する日次トランザクションの処理をカスタマイズできます。

注: 倉庫管理システムを使用する場合、事業所固定情報プログラム (P41001) の [事業所保管場所の定義] フォームで倉庫情報を定義する必要があります。倉庫管理システムを使用しない場合でも、保管場所の長さ情報は定義してください。

[略式品目番号の識別記号] 略式品目番号を識別する 8 文字の記号を入力します (基本番号として使用しない場合)。

基本番号として使用する場合は、このフィールドをブランクにします。その場合、このフィールドを情報の入力と確認のため頻繁に使用することになります。

基本番号として使用しない場合は、品目を識別する特殊記号を入力します。"/"、"*"、"&"などの他の入力目的に影響しない記号を使用します。ピリオドやカンマは使用しないでください。この品目番号を他のフォームで入力する場合は、この記号を最初の文字として入力する必要があります。

注: 品目番号の記号 (SYM1、SYM2、SYM3、または SYM6) 用のフィールドは、1 つだけブランクにして、基本番号として品目を識別できるようにします。他のフィールドには全て、固有の記号を含める必要があります。

[第 2 品目番号の識別記号]

第 2 品目番号を識別する 25 文字の記号を入力します (基本番号として使用しない場合)。

基本番号として使用する場合は、このフィールドをブランクにします。その場合、このフィールドを情報の入力と確認のため頻繁に使用することになります。

基本番号として使用しない場合は、品目を識別する特殊記号を使用します。"/"、"*"、"&"などの他の入力目的に影響しない記号を使用します。ピリオドやカンマは使用しないでください。この品目番号を他のフォームで入力する場合は、この記号を最初の文字として入力する必要があります。

注: 品目番号の記号 (SYM1、SYM2、SYM3、または SYM6) 用のフィールドは、1 つだけブランクにして、基本番号として品目を識別できるようにします。他のフィールドは全て、固有の記号を含める必要があります。

[第 3 品目番号の識別記号]

第 3 品目番号を識別する 25 文字の記号を入力します (基本番号として使用しない場合)。

基本番号として使用する場合は、このフィールドをブランクにします。その場合、このフィールドを情報の入力と確認のため頻繁に使用することになります。

基本番号として使用しない場合は、品目を識別する特殊記号を使用します。"/"、"*"、"&"などの他の入力目的に影響しない記号を使用します。ピリオドやカンマは使用しないでください。この品目番号を他のフォームで入力する場合は、この記号を最初の文字として入力する必要があります。

注: 品目番号の記号 (SYM1、SYM2、SYM3、または SYM6) 用のフィールドは、1 つだけブランクにして、基本番号として品目を識別できるようにします。他のフィールドには全て、固有の記号を含める必要があります。

[顧客/仕入先の識別記号]

顧客または仕入先の番号を識別する文字を入力します。この文字から始まる番号を入力すると、顧客または仕入先の番号として認識されます。入力した番号は、相互参照テーブルに基づいて品目番号と照合されます。相互参照機能を実行する場合は、このフィールドに値を入力します。

[顧客相互参照コード] と [仕入先相互参照コード]

顧客に設定した相互参照タイプを識別するユーザー定義コード (41/DT) を入力します。相互参照タイプには、以下のものがあります。

- 代替品目
- 置換品目

- バーコード
- 顧客品目番号
- 仕入先品目番号

[セグメント区切り文字]

品目番号をセグメントに分割する文字を入力します。品目をセグメントに分割する場合、事業所の全ての品目に対するテンプレートを設定します。複数の事業所を対象にセグメントを使用する場合は、全ての事業所でセグメントの定義を同じにする必要があります。品目番号に関連付けられたテンプレートに基づいて、ここで入力した文字または記号により品目番号がセグメントに分割されます。

ブランクにすると、セグメントは 1 つの連続する文字列として表示されます。

[現行期間]

現行の会計期間を識別する番号 (1 から 14) を入力します。この番号は、PBCO (過去期間) や PACO (未来期間) などのエラー メッセージの作成に使用されます。

[仕訳摘要の指定]

総勘定元帳で仕訳の 2 行目に表示されるデフォルト記述を選択する際に在庫管理システムで使用するコードを入力します。

有効値は以下のとおりです。

- 1: 品目マスター記述 (デフォルト)
- 2: 基本品目番号

[総勘定元帳への数量書込み]

以下のプログラムからの仕訳を記録した後に、総勘定元帳に数量を計上するかどうかを指定します。

- P31111 (作業オーダーによる在庫出庫)
- P31112 (作業オーダーの完了)
- P31802 (作業オーダーの仕訳入力)
- P31842 (レート基準仕訳入力)
- P4112 (在庫出庫)
- P4113 (在庫移動)
- P4114 (在庫調整)
- P4116 (品目再分類)
- P41413 (循環棚卸の更新)
- P41610 (タグの更新)
- P42800 (売上更新)
- P4312 (入荷)
- P4314 (伝票突合せ)
- P415021 (操作調整の更新)
- P415101 (一般倉庫内移動)
- P41514 (バルク製造の損益)
- P49800 (売上更新 - ECS バージョン)
- P49700 (サイクル請求)

- P49510 (バルク製品の積荷確認 - XT49799)
- P49515 (バルク製品の積荷確認バッチ - XT49799)
- P49530 (パッケージ製品の積荷確認 - XT49799)
- P49572 (ラック データのアップロード - XT49799)
- P49710 (バルク製品の配送確認 - XT49799)
- P49711 (バルク製品の配送確認 (巡回配達) - XT49799)
- P49715 (バルク製品処分 - XT49799)
- P49720 (パッケージ製品の配送確認 - XT49799)
- P49731 (一括確認バッチ - XT49799)

[原価計算方法 (売上/在庫)] と [購買原価方式]

品目の売上原価を計算する際の原価計算方式を示すユーザー定義コード (40/CM) を入力します。01 から 19 までは予約済みです。

[購買オーダー発注費用]

調達管理システムで経済的発注量 (EOQ) の計算に使用する費用を入力します。この費用は、1 件の購買オーダーを発注するときの資材費、労務費、および間接費の見積になります。デフォルト値は 00 です。

次の例は、購買オーダー発注費用を使用して EOQ を計算する方法を示しています。

- S 購買オーダー発注費用 = 15.0
- I 在庫維持費 = 0.09 (9%)
- Y 年間売上数量 = 3,000
- C 品目の単位原価 = 10.0
- $EOQ = (2S/I * Y/C) = (2 * 15/0.09 * 3000/10) = 316.23$

[在庫維持費 (%)]

調達管理システムで経済的発注量 (EOQ) の計算に使用する在庫投資のパーセント値を入力します。デフォルト値は 00 です。パーセント値は小数で入力してください。

次の例は、在庫維持費を使用して EOQ を計算する方法を示しています。

- S 購買オーダー発注費用 = 15.0
- I 在庫維持費 = 0.09 (9%)
- Y 年間売上数量 = 3,000
- C 品目の単位原価 = 10.0

$$EOQ = (2S/I * Y/C) = (2 * 15/0.09 * 3000/10) = 316.23$$

注: EOQ 計算式の詳細については、[経済的発注量] フィールドのフィールド ヘルプを参照してください。

[引当方法]

在庫からのロット品目の引当に使用される方法を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 標準の在庫引当方法

最初に基本保管場所、次に 2 次保管場所の順序で在庫が引き当てられます。最大数量の保管場所からの在庫引当が、最小数量の保管場所からの引当より先に行われます。バックオーダーは基本保管場所に引き当てられます。

- 2: ロット番号による在庫引当方法

最小のロット番号から開始して引当可能なロットに対して順にオーダーの引当が行われます。

注: ロット番号の値は英数字であるため、引当の順序は数値ではなく英数字の昇順になります。たとえば、ロット番号が 999 と 1000 の場合、9 よりも 1 が前になるため、1000 が最初に引き当てられます。

- 3: ロット満了日付による在庫引当方法

最も早い満了日のロットがある保管場所から在庫の引当を行います。引当の対象となるのは、満了日が受注オーダー日または部品リスト要求日付以降の在庫がある保管場所のみです。

[指定引当て(日数)]

受注オーダー処理で在庫の引当の時期の決定に使用する数値を入力します。この値(日数)は現行日付に加算され、オーダー行の約束出荷日付と比較されます。約束出荷日付がシステム算出日付より後の場合、オーダー行は F41021 テーブルで、先日付で引き当てられます。先日付引当を行わない場合は、「999」を入力します。

[年間日数]

1 年のうちで会社が営業している日数を入力します。このフィールドは必須です。252 から 365 までの数値を指定してください。調達管理システムでは、この数値を使用して経済的発注量 (EOQ) を計算します。

[承認経路コード]

オーダーの承認経路を指定するコードを入力します。

[品質制御]

事業所に対して品質管理(システム 37)を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- オン: この事業所に対して品質管理システムを有効にする。
- オフ: この事業所に対して品質管理システムを有効にしない。

事業所に対して品質管理システムが有効になっている場合は、チェックマークが付きます。

品質検査を実施する場合は、その事業所の固定情報で [品質制御] をオンにして、[品質管理セットアップ] メニュー (G3741) の [品質管理のアクティブ化] で品質管理システムを有効にする必要があります。

[他社デポ]

事業所が他社の所有であるかどうかを指定します。バルク/パッケージ製品の積荷確認プログラムでは、このコードを使用して、製品が積載されたデポが他社デポであるかどうかを識別します。他社デポの場合は、積荷確認時に有効な借入契約を入力する必要があります。

有効値は以下のとおりです。

- オン: 事業所は他社所有である。
- オフ: 事業所は他社デポではない。

事業所が他社デポの場合は、チェック マークが付きます。

[保管場所セグメント制御]

[事業所固定情報] の [事業所保管場所の定義] (P41001) で保管場所セグメント仕様を有効にするかどうかを指定します。保管場所セグメント仕様で

は、ユーザー定義コード (41/ER) を使用して、事業所内で保管場所をセグメント化する方法を指定します。

[保管場所制御]

必須の保管場所制御タイプを使用するかどうかを指定します。F4100 テーブルの保管場所のみを使用する場合は、保管場所制御を使用します。オンにすると、F4100 テーブルに定義されている保管場所のみが使用されます。[倉庫管理制御] チェック ボックスをオンにする場合は、[保管場所制御] チェック ボックスもオンにする必要があります。有効値は以下のとおりです。

- オン: F4100 テーブルの保管場所のみを使用する。
- オフ: 保管場所を F4100 テーブルに限定しない。保管場所は、[事業所保管場所の定義] フォームで定義した保管場所フォーマットに準拠するものを使用します。

[倉庫管理制御]

事業所に対して倉庫トランザクションを作成するかどうかを指定します。

[製品原価明細の使用]

流通プログラムで合計原価計算方式を使用するか、明細製造原価計算方式を使用するかを指定します。

ABC 分析コードの設定

[ABC コードの設定] フォームにアクセスします。

[売上率]、[粗利益率]、 [平均原価率]

ABC 分析時のグループの定義方法を決定するパーセント値を入力します。B グループの数値は、品目が A グループに割り当てられる際に使用されるパーセント値に B グループのパーセント値を加算した合計になります。たとえば、販売品目の上位 75% を占める品目を A グループにして、次の 20% の品目を B グループにする場合は、このフィールドに、75% と 20% の合計を表す「.95」を入力します。パーセント値は小数で入力します。たとえば、75% を指定するには、「.75」と入力します。





ABC 分析時には 1 つの品目の合計売上が全品目の合計売上と比較され、各品目の値が計算されます。品目の値は、合計売上に対してその品目が占める割合です。次に、値が最も高い品目から低い品目まで全品目の値が並べられ、値が最も高い品目から順に値が加算されます。合計が A グループ品目の限度に到達すると、その後は B グループ品目の限度に到達するまで値が加算されます。A グループの限度と B グループの限度の合計に値が含まれる品目は全て、B グループの品目になります。ある品目で合計が B グループの限度を超えると、その品目は C グループに割り当てられます。

事業所 ALL のレビュー

[事業所固定情報] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

事業所固定情報 - 事業所固定情報

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

事業所コード	ALL	Default Branch/Plant	
住所No.	6015	Western Distribution Center	
略式品目番号の識別記号	/	<input checked="" type="checkbox"/> バックオーダー許可 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計インターフェイス <input type="checkbox"/> 総勘定元帳への数量書込み <input type="checkbox"/> 保管場所制御 <input type="checkbox"/> 倉庫管理制御 <input type="checkbox"/> 品質制御 <input type="checkbox"/> 製品原価明細の使用 <input type="checkbox"/> 他社デボ <input checked="" type="checkbox"/> 在庫ロットの作成 <input type="checkbox"/> 保管場所セグメント制御	
第2品目番号の識別記号			
第3品目番号の識別記号	*		
顧客仕入先の識別記号	#		
セグメント品目の識別記号	@		
セグメント区切り文字			
引当方法	1		
指定引当て(日数)	999		
年間日数	260		
顧客相互参照コード	C		
仕入先相互参照コード	VN	購買オーダー発注費用	75.00
購買原価方式	02	在庫維持費 (%)	0.100
原価計算方法(売上在庫)	02	仕訳摘要の指定	1
現行期間	6	承認経路コード	

[事業所固定情報] フォーム

品目引当可能数量の定義

[品目引当可能数量の定義] フォームにアクセスします。

システム固定情報の定義

[システム固定情報] フォームにアクセスします。

注: 変更を有効にするには、EnterpriseOne を再起動してください。

[事業所別に計量単位を換算する]

品目固有の計量単位換算テーブルでの事業所の使用方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

- ・ オン: 特定の事業所に品目を追加する場合に、品目固有の換算テーブルを表示する。
- ・ オフ: 品目マスターの全事業所に対して、品目固有の換算テーブルを表示する。

[平均原価のリアルタイム更新]

品目の新しい平均原価をいつ計算するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- ・ オン: 品目の平均原価に影響するトランザクションが発生した後に計算する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフ: 平均原価に影響する全ての処理についてトランザクションを F41051 テーブルに作成する。平均原価の更新プログラムを実行すると、新しい平均原価が計算されます。
[エネルギー/化学システムの使用]	エネルギーおよび化学産業向けシステムのアプリケーションを使用するかどうかを指定します。
[インターネット PPAT メッセージ使用]	<p>流通プログラムで作成したメッセージをインターネットで送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オン: 電子メールをインターネットで送信する。 ・ オフ: EnterpriseOne のメールボックスに電子メールを送信する。
[科学計算法]	科学計算法を実行するかどうかを指定します。現在、この機能は品質管理システムの試験結果にのみ使用できます。
[顧客セットの使用]	顧客セットを使用するかどうかを指定します。
[出荷日付規則 (昇順)]	顧客と品目別に昇順の出荷日付規則を適用するかどうかを指定します。オンにすると、昇順の出荷日付規則が受注オーダーの入力時、ピッキングリスト/引当処理時、および出荷確認時に適用されます。昇順の出荷日付規則を適用すると、顧客への出荷ロットは満了日付、販売期限、または有効期限で並べ替えられます。
[重複ロットの許可]	<p>同一ロットを複数の品目に割り当てるかどうかを決定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1: 重複ロットを許可しない。ロットは 1 品目と 1 事業所に限定されます。 ・ 2: 重複ロットを許可する。複数の品目と事業所にまたがるロットを作成できます。 ・ 3: 重複ロットを許可しない。ロットは 1 品目に限定されますが、複数の事業所の数量を含めることができます。
[販売価格の計算に使用する計量単位]	<p>受注オーダー処理、サービス/保証管理、およびシップ アンド デビット処理で基本価格と価格調整の取得に使用する計量単位を指定するコードを入力します。基本価格と価格調整は、さまざまな計量単位で定義できます。基本価格は F4106 テーブルで定義し、価格調整は F4072 テーブルで定義します。</p> <p>指定した計量単位で基本価格や価格調整が見つからない場合は、その品目の基本計量単位が使用されます。</p>
[購買価格の計算に使用する計量単位]	<p>購買オーダーの処理時に仕入先/カタログ価格 (F41061) に対してシステムが取得する計量単位を表すコードを入力します。</p> <p>トランザクションや価格設定の処理で指定した計量単位のレコードが存在しない場合は、その品目の基本計量単位を使って処理が繰り返されます。</p>
[販売価格基準日]	F4201 テーブルと F4211 テーブルの価格有効日付の更新方法を表すコードを入力します。受注管理システムでは、価格有効日付を使用して F4106 テーブルから基本価格を取得し、F4072 テーブルから価格調整を取得します。
[購買リポートへのカテゴリ・コード]	組込比較の基準に使用されるカテゴリ コードを表す数値を入力します。

[優先スケジュール]

優先情報の決定時に使用される詳細優先スケジュールを表すユーザー定義コード (40/AP) を入力します。詳細優先スケジュールによって、詳細優先情報機能で使用される優先情報が決まります。優先スケジュールはユーザー定義コードで直接管理することはできませんが、価格調整スケジュール プログラム (P4070) を使用して管理することができます。

[優先調整の計算に使用する計量単位]

受注オーダー処理で詳細優先調整の取得に使用する計量単位を表すコードを入力します。F4072 テーブルの詳細優先調整は、さまざまな計量単位で定義できます。

トランザクションや価格設定の処理で指定した計量単位のレコードが存在しない場合は、その品目の基本計量単位を使って処理が繰り返されます。

バッチ制御固定情報の定義

[アプリケーション固定情報] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

事業所固定情報 - アプリケーション固定情報

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

レコード 1-4	システムコード	記述	管理者承認	バッチ制御
<input checked="" type="radio"/>	31	製造現場管理	Y	
<input type="radio"/>	41	在庫管理	N	N
<input type="radio"/>	42	受注管理	Y	
<input type="radio"/>	43	調達管理	N	N

[アプリケーション固定情報] フォーム

[システム コード]

システム コードを指定します。以下の値があります。

- 31 製造現場管理
- 41 在庫管理
- 42 受注管理
- 43 調達管理

[管理者承認]

バッチを総勘定元帳に転記する前に承認を必須とするかどうかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- Y: 表示されたシステム内で作成するバッチごとに保留のステータスを割り当てる。
- N: バッチごとに承認済みのステータスを割り当てる。

[バッチ制御]

バッチ制御情報の入力を必須にするかどうかを示すコードを入力します。

バッチごとにバッチ制御フォームが表示されます。このフォームでは、バッチ処理するトランザクションの伝票数と合計金額についての情報を入力します。この合計に基づいて、実際に入力したトランザクションとの差異が編集され、その結果が表示されます。このフィールドは、在庫管理システムと

調達管理システムのみ適用されます。在庫管理システムで“Y”を指定すると、在庫の出庫、調整、または移動の前にバッチ制御フォームが表示されます。

調達管理システムで“Y”を指定すると、入荷を入力する前にバッチ制御フォームが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- Y: バッチ制御情報の入力が必要。
- N: バッチ制御情報の入力は不要。

保管場所フォーマットの定義

[事業所保管場所の定義] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

[事業所保管場所の定義] フォーム

[区切り文字]

フォームまたはレポートに表示する際に保管場所の各要素を分ける区切り文字を入力します。たとえば、保管場所コード内の通路、棚番、棚などをスラッシュ (/) で区切ります。

保管場所コードの長さは、最大 20 文字 (区切り文字を含む) です。

区切り文字はテーブルには保存されませんが、フォームまたはレポートで保管場所を編集するのに使用されます。区切り文字を使用しない場合は、このフィールドをブランクにします。ただし、保管場所コード内の各要素の長さに合わせて文字とスペースを入力する必要があります。保管場所は、1 つの連続する文字列として表示されます。タンク/所有者と通路/棚番の組み合わせは、フォームまたはレポートに表示される際に、このフィールドに入力した文字で区切られます。

通常、この区切り文字にはピリオド (.) が使用されます。

[通路]

タンク (パッケージ製品の場合は通路) を表す数値を入力します。値は 1 ~ 8 です。

[棚番]

バルク混合在庫の所有者 (パッケージ製品の場合は棚番) を表す数値を入力します。値は 1 ~ 8 です。

[コード 3] から [コード 10]

保管場所フォーマット仕様でコード 3 からコード 10 を表す数値を入力します。

保管場所セグメントの定義

[事業所保管場所の定義] フォームにアクセスします。

[保管場所セグメント仕様]

[保管場所セグメント仕様] タブをクリックします。

[ブランク保管場所の許可] この事業所でブランクの保管場所を使用できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。

[通路] セグメント 1 の検証に使用する編集ルールを示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: 検証しない。
- 1: 住所番号を使用して検証する。
- 2: ユーザー定義コードを使用して検証する。
- 3: 数値範囲を使用して検証する。
- 4: 英数字を使用して検証する。
- 5: 品目番号を使用して検証する。

注: このルールは、保管場所セグメント仕様では使用できません。

保管場所の所有者を割り当てる場合、[通路] フィールドまたは [棚番] フィールドのどちらかに編集ルール 1 を割り当てて、そのセグメントに住所番号を使用できるようにします。

[棚番] 保管場所セグメントの編集ルールと値を入力します。

保管場所の所有者を割り当てる場合、[通路] フィールドまたは [棚番] フィールドのどちらかに編集ルール 1 を割り当てて、そのセグメントに住所番号を使用できるようにします。

[コード 3] から [コード 10] 各フィールドに入力したコードに応じて、それぞれの [値] フィールドに有効なコードまたは数値を入力します。

倉庫保管場所の設定

このセクションでは、倉庫保管場所の設定と複数の保管場所の入力の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 保管場所の個別入力
- 保管場所マスター (P4100) の処理オプションの設定
- 複数の保管場所の入力

倉庫保管場所の設定について

倉庫は、棚、ラックスペース、現場のパレットスペースなどの保管場所で構成されます。倉庫内に保管場所の階層を定義して、各区域に関する情報を入力しておく、品目を簡単に検索できるようになります。

保管場所フォーマットを定義したら、倉庫内の全ての保管場所を定義します。倉庫内の在庫保管場所を入力するには、[事業所固定情報] フォームで定義したフォーマットを使用します。

基本保管場所を定義して、倉庫内の品目に関する基本情報を保存することもできます。基本保管場所は、実際に存在する物理的な保管場所ではありません。たとえば、基本保管場所を“保管場所 A”として定義し、倉庫内の全品目を A で始まる保管場所に割り当てることができます。

また、在庫品目の基本保管場所としてブランクの保管場所を定義することもできます。基本保管場所は、事業所固定情報で定義した保管場所フォーマット仕様に基づいて表示されます。

保管場所制御は、事業所固定情報で有効にする機能です。保管場所制御は、倉庫管理システムを使用する場合は必須ですが、その他の流通システムを使用する場合は任意です。

保管場所情報は、F4100 テーブルに保存されます。

保管場所の個別入力

保管場所は 1 つずつ入力できます。作成する保管場所の数が少ない場合や保管場所のスピード設定を使用しない場合は、この入力方法を使用してください。命名規則 (“A/3/4” や “6/B/2/A” など、数字、英字、または両者の組み合わせ) を選択して、[事業所固定情報] で指定したフォーマットと区切り文字を使用します。区切り文字には “/” や “.” などを使用し、“A/3/4” や “3.C.9” などの名前で保管場所を表します。

複数の保管場所の入力について

保管場所を 1 つずつ追加または変更する代わりに、複数の保管場所を同時に追加したり変更したりできます。この場合は、作成する保管場所の範囲 (保管場所範囲の開始および終了) と個々の保管場所を特定するための増分値を指定します。

保管場所のスピード設定プログラム (P4100A) では、既存の保管場所をコピーして保管場所を新しく作成できるため、迅速な倉庫の設定が可能です。このプログラムでは、倉庫を個別に入力するよりも早く設定できますが、エラーがある既存の保管場所をコピーすると、新しく作成する保管場所にもそのエラーがコピーされます。

倉庫管理システムをインストールしていない場合でも、保管場所を新しく作成する際のコピー元として既存の保管場所を使用できます。ただし、プログラムによってコピーされる貯蔵、ピッキング、および補充順序などのフィールドは、倉庫管理システムに固有のフィールドです。

要素

保管場所を定義する際、最大 10 個の要素を使用できます。各要素は、通路、棚番、保管場所コード (3 から 10) から構成されます。各要素には英字または数字を使用できます。1 つの要素に数字と英字を組み合わせることはできません。ただし、通路に数字を使用し、棚番に英字を使用するなど、要素ごとに異なる文字を使用することはできます。

ビジネス要件に応じて、ブランク スペースまたはゼロが要素の前に自動的に挿入されます。バーコード読み取り装置によっては、ブランク スペースを適切に処理しないものもあります。要素の先頭をゼロで埋めるには、保管場所のスピード設定プログラムでゼロが先頭に挿入されるように指定する必要があります。事業所固定情報プログラム (P41001) で保管場所セグメント制御を有効にして、新しい保管場所の検証に住所番号を使用している場合は、ゼロを含まない保管場所が作成されます。

増分値

増分値とは、特定の範囲内で保管場所を作成するために使用する数値です。保管場所設定プログラムは、保管場所を新しく作成した後、数字の場合は入力した増分値ずつ、英字の場合は 1 文字ずつ保管場所コードを増加させます。保管場所範囲と増分値を組み合わせることで、多数の保管場所を一度に作成できます。

たとえば、倉庫 A のあるフローア区域に新しい保管場所を入力するとします。フローア区域には通路と棚番があります。A、B、C の 3 つの通路と、1 から 6 までの棚番があります。

- 通路の範囲は、A から C です。

英文字の保管場所には常に 1 の増分値が使用されるため、通路 A、B、C が作成されます。

- 棚番の範囲は 1 から 6 で、増分値は 1 です。

通路ごとに 1 から 6 までの棚番が作成され、通路と棚番を組み合わせた保管場所は、A1、A2、A3、A4、A5、A6、B1、B2... のようになります。

この例で増分値として 2 を入力すると、各通路に対して棚番 1、3、5 が作成されるため、通路と棚番を組み合わせた保管場所は、A1、A3、A5、B1、B3、B5、C1、C3、C5... になります。

保管場所のスピード処理

保管場所のスピード設定プログラム (P4100A) は次の 3 つの部分で構成されます。

- 保管場所情報の指定
- 実行する作業の選択 (保管場所の追加または改訂)
- F4100 テーブルの更新

作業を選択すると、プログラムによって作成される保管場所の数が表示されます。更新する前に、この数が正しいことを確認してください。テーブルを更新する前に、予期される正しい数が表示されるまで必要なだけ何度も指定を変更したり、作業を選択したりできます。

保管場所のスピード設定プログラムで保管場所を誤って設定した場合、このプログラムで保管場所を削除することはできませんが、[保管場所マスターの処理] フォームで次のような処理ができます。

- エラーが少ない場合、保管場所ごとにエラー箇所を削除する。
- エラーが多い場合、保管場所の全範囲を削除して再作成する。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- [事業所固定情報] フォームで、保管場所フォーマット仕様を定義します。
- [事業所固定情報] フォームで、保管場所制御が有効になっていることを確認します (省略可)。

倉庫保管場所の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保管場所マスターの処理]	W4100C	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[倉庫保管場所の定義]	保管場所マスターを処理します。
[保管場所情報の入力]	W4100B	[保管場所マスターの処理] フォームで、事業所を入力します。 詳細レベルを入力して、倉庫内に保管場所の階層を作成します。 [追加] ボタンをクリックします。	保管場所を個別に入力します。
[保管場所のスピード設定]	W4100AA	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[保管場所のスピード設定]	複数の保管場所を入力します。
[ユーザー定義コードの処理]	W0004AA	[保管場所のスピード設定] フォームで、[フォーム] メニューの [コピーするフィールドの選択] をクリックします。	複数の保管場所にコピーするフィールドをレビューします。
[ユーザー定義コード]	W0004AI	[ユーザー定義コードの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	コピーするフィールドを指定します。

保管場所の個別入力

[保管場所情報の入力] フォームにアクセスします。

[保管場所]

保管場所を定義します (区切り文字は使用しません)。区切文字を使わずに保管場所 ID を入力する場合、各要素の正しい長さに合わせて文字とスペースを入力してください。保管場所は正しい区切り文字とスペースと共に表示されます。

[詳細レベル]

保管場所の集計または分類用のコードを入力します。指定したコードにより、レビュー用に保管場所の階層が作成されます。たとえば、通路をレベル 2 に割り当て、通路内の棚番をレベル 3 に割り当てます。

[詳細レベル] フィールドには、保管場所の情報が表示される際の開始詳細レベルを指定します。

[品目/ロット混合]

1 つの保管場所の異なる品目の混在や、同じ品目の異なるロット/シリアル番号の混在を許可するかどうか指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- ブランク: 制約なし
- 1: 1 つの保管場所に 1 つの品目
- 2: 1 つの保管場所に 1 つの品目またはロット
- 3: 1 つの保管場所に 1 つの品目、ロット、または状況

保管場所マスター (P4100) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

表示

保管場所レコード 保管場所別在庫状況の処理を実行するときに、引当可能数量およびインバウンド数量/アウトバウンド数量がない保管場所品目情報を除外するには「1」を入力します。

複数の保管場所の入力

[保管場所のスピード設定] フォームにアクセスします。

フォームの左上部にある行は、入力した保管場所情報に基づいて作成される保管場所の数を示します。次の処理に進む前に、この数が作成予定の保管場所数であることを確認してください。

[貯蔵順序]、[ピッキング順序]、[補充順序] 貯蔵順序としてこの保管場所に数値を割り当てます。貯蔵とは、入庫後に在庫を保管場所に移動する作業です。移動作業の際に、倉庫の従業員がたどる行程がこの順序で示されます。複数の保管場所が貯蔵用に選択された場合に貯蔵順序をタイブレーカとして使用するかどうかは、移動指示プログラム (P46095) で指定できます。最も効率的に貯蔵作業を進められるように順序を設定できます。

[コピー元の保管場所] 品目を入庫する倉庫内の区域を入力します。保管場所フォーマットは事業所別にユーザーが定義します。

[ゼロの入力] ブランク スペースではなくゼロを先頭に挿入するには、このチェック ボックスをオンにします。

在庫インフレ調整のユーザー定義コード (UDC) の設定

EnterpriseOne ソフトウェアには、ユーザー定義コードのみ入力可能なフィールドが多くあります。ビジネス環境に応じて設定したユーザー定義コードを使用して、システムをカスタマイズすることができます。

重要: ユーザー定義コードは、EnterpriseOne システムの中核となる部分です。ユーザー定義コードを変更するにあたっては、その細部まで理解しておく必要があります。

調整コード (76A/CA)

在庫インフレ調整 (Inventory Inflation Adjustment) の調整インデックスに対応するユーザー定義コードを設定します。たとえば、IPIM (卸売業者価格インデックス コード) を設定できます。

注: 適切なローカライゼーション コードにユーザー設定情報を設定します。

流通システムの AAI 設定

このセクションでは、流通システムの AAI と在庫管理システムの AAI の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- AAI の設定
- 流通 AAI (P40950) の処理オプションの設定

流通システムの AAI について

AAI では、日常業務、勘定科目表、および財務レポートを定義します。AAI は、システムが仕訳を自動作成する勘定科目を決定する際に使用されます。たとえば、在庫管理システムでは、在庫を保管場所から出庫したときの記録方法を AAI を使用して指定します。

流通システムでは、使用する予定の会社、取引、伝票タイプ、元帳クラスの組み合わせごとに AAI を定義しておく必要があります。AAI は、ビジネスユニット、主科目、補助科目（省略可）から構成される特定の勘定科目と関連付けられます。また、汎用テキスト フォームで、AAI テーブルごとにメモ テキストを入力することもできます。

必要に応じて既存の AAI のレビューや変更ができるだけでなく、AAI を追加することもできます。AAI は F4095 テーブルに保存されます。

在庫管理システムの AAI について

次の表は、在庫管理システム用に事前定義された AAI 項目を示しています。

AAI	説明
3910	インフレ調整処理用の在庫勘定を識別する AAI
3911	結果勘定（在庫調整勘定の相殺に使用）を識別する AAI
4122	貸借対照表の在庫評価勘定の在庫 AAI
4124	経費勘定または売上原価勘定の在庫 AAI
4126	在庫相手科目の貸借一致調整 AAI
4128	経費または売上原価の相手科目の貸借一致調整 AAI
4134	在庫相手科目を指定する品目残高原価変更 AAI
4136	経費または売上原価の相手科目を指定する品目残高原価変更 AAI
4141	売上原価相手科目を指定する標準原価差異 AAI
4152	在庫相手科目を指定する実地棚卸更新 AAI
4154	売上原価相手科目を指定する実地棚卸更新 AAI

AAI	説明
4162	平均原価更新の在庫を指定する AAI
4164	平均原価更新の売上原価を指定する AAI
4172	在庫相手科目を指定する原価バッチ保守 AAI
4174	経費または売上原価の相手科目を指定する原価バッチ保守 AAI
4182	バルク在庫の相手科目を指定するバルク製品損益 AAI
4184	経費または売上原価の相手科目を指定するバルク製品損益 AAI

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 会社を設定します。
- ユーザー定義コード テーブル (00/DT) で設定するトランザクション タイプを指定します。
- ユーザー定義コード テーブル (00/DT) の伝票タイプを設定します。
- ユーザー定義コード テーブル (41/9) の元帳クラス コードを設定します。
- 勘定科目マスター情報を設定します。
- トランザクションを記録する勘定科目コードを指定します。

流通システムの AAI の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[AAI の処理]	W5540950A	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[AAI (自動仕訳)]	AAI を処理します。
[勘定科目の改訂]	W5540950C	[AAI の処理] フォームで、[ロー] メニューの [AAI の設定] をクリックします。	AAI を設定します。

AAI の設定

[勘定科目の改訂] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

AAI(自動仕訳) - 勘定科目の改訂

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

AAIテーブル番号

4126

Inventory

添付

レコード 1 - 10

グリッドのカスタマイズ

	会社	伝票タイプ	記述	元帳クラス	記述	事業所	主科目	補助科目
<input checked="" type="radio"/>	00000	IA	在庫調整	IN30	製造完成品	200	1411	
<input type="radio"/>	00000	IA	在庫調整	IN99	在庫	M10	1411	
<input type="radio"/>	00000	II	在庫出庫	IN30	製造完成品	200	1411	
<input type="radio"/>	00000	II	在庫出庫	IN99	在庫	M10	1411	
<input type="radio"/>	00000	IT	在庫移動	IN30	製造完成品	200	1411	
<input type="radio"/>	00000	IT	在庫移動	IN99	在庫	M10	1411	
<input type="radio"/>	00001	IA	在庫調整	IN30	製造完成品	1	1411	
<input type="radio"/>	00001	IA	在庫調整	IN99	在庫	1	1411	
<input type="radio"/>	00001	II	在庫出庫	IN30	製造完成品	1	1411	
<input type="radio"/>	00001	II	在庫出庫	IN99	在庫	1	1411	

[勘定科目の改訂] フォーム

[会社]

特定の企業、組織、団体などを識別するコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに既に存在しており、完全な貸借対照表を持つ法人に対応する必要があります。このレベルで会社間取引を持つことができます。

注: 日付や AAI などのデフォルト値に会社 00000 を使用できます。取引入力には会社 00000 を使用できません。

[伝票タイプ]

トランザクションの発生元と目的を示すユーザー定義コード (00/DT) を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイプ プレフィックスは、次のとおりです。

- P: 買掛金伝票
- R: 売掛金伝票
- T: 時間/給与伝票
- I: 在庫伝票
- O: 購買オーダー伝票
- S: 受注オーダー伝票

[元帳クラス]

トランザクションを転記する勘定科目の検索に使用される元帳クラスを識別するユーザー定義コード (41/9) を入力します。元帳クラスを指定しない場合には、このフィールドにアスタリスクを 4 つ (****) 入力してください。

AAI を使用して、在庫管理、調達管理、および受注管理の 3 システムに自動的に元帳クラスを事前設定できます。次のように元帳クラスを割り当てることができます。

- IN20: 直送オーダー

- IN60: 転送オーダー

- IN80: 在庫販売

1 件のトランザクションに基づいて仕訳レコードが作成されます。たとえば、在庫 1 品目を販売すると、次のような仕訳レコードが作成されます。

- 販売在庫（借方）xxxxx.xx

- 売掛在庫販売（貸方）xxxxx.xx

- 転記カテゴリ: IN80

- 在庫品目（借方）xxxxx.xx

- 在庫売上原価（貸方）xxxxx.xx

元帳クラス コードと伝票タイプに基づいて該当する AAI が検索されます。

[事業所]

原価のトラッキング対象となる個々のビジネスユニットを表す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫、作業、プロジェクト、作業場、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。

ビジネスユニットを伝票、会社、または個人に割り当て、さまざまなレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。

ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報が表示されません。

このフィールドを空白にすると、[請求先ビジネスユニット] フィールドの作業オーダーで入力したビジネスユニットが使用されます。

[主科目]

勘定科目コードの中で、原価コード（労務費、材料費、設備費など）をサブカテゴリに分割する部分を入力します。たとえば、労務費の原価コードは通常時間、割増し時間、間接費に分割できます。

注: 任意勘定科目コードを使用して主科目コードを 6 桁にした場合は、6 桁全てを使用してください。たとえば、「000456」と入力することと「456」と入力することは同じではありません。6 桁の主科目コードでは先頭にスペースが 3 つ追加されるためです。

[補助科目]

主科目の下の科目区分を入力します。補助科目は、取引レコードを主科目の下でさらに細分化します。

注: 任意勘定科目コードを使用して主科目コードを 6 桁にした場合は、6 桁全てを使用してください。たとえば、「000456」と入力することと「456」と入力することは同じではありません。6 桁の主科目コードでは先頭にスペースが 3 つ追加されるためです。

このフィールドを空白にすると、[原価コード] フィールドの作業オーダーで入力した値が使用されます。

流通 AAI (P40950) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

AAI テーブル番号 4122、4124、4134、4136、4220、4240、4310 の流通 AAI テーブルに対して [原価タイプ] フィールドを使用可能にするには、「1」を入力します。

(ARG) Setting Up AAI Document Types for Inventory Inflation Adjustment

You must set up the document types and the corresponding AAI that are used in the process of adjusting works in progress for inflation.

This section discusses how to set up AAI document types.

Form Used to Set Up AAI Document Types for Inventory Inflation Adjustment

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Set Up AAI Document Type	W76A395C	Work in Process (G76A391), AAI Document Type – Work in Process Adj. Select the Add button on the Work with AAI Document Type form.	Set up AAI document types.

Set Up AAI Document Types

Access the Set Up AAI Document Type form. This form is illustrated below.

AAI Document Type - Work in Process Adj. - Set Up AAI Document Type

OK Cancel Tools

Document Type WO

Order Type WO

AAI Table Number 3110

Set Up AAI Document Type form

Document Type

Enter a user-defined code (00/DT) that identifies the origin and purpose of the transaction. The system reserves several prefixes for document types, such as vouchers, invoices, receipts, and time sheets. The reserved document type prefixes for codes are:

- P: Accounts payable documents.
- R: Accounts receivable documents.
- T: Time and Pay documents.
- I: Inventory documents.
- O: Purchase order documents.
- S: Sales order documents.

Order Type

Enter a user-defined code (00/DT) that identifies the type of document. This code also indicates the origin of the transaction. The reserved document type codes for vouchers, invoices, receipts, and time sheets create automatic offset entries during the post program. (These entries are not self balancing when you originally enter them.)

These document types are defined by PeopleSoft EnterpriseOne and should not be changed:

- P: Accounts payable documents.
- R: Accounts receivable documents.
- T: Time and Pay documents.
- I: Inventory documents.
- O: Purchase order documents.
- J: General Accounting/Joint Interest Billing documents.
- S: Sales order documents.

AAI Table Number

Enter a number used to specify sequence and retrieve accounting information.

メッセージの設定

このセクションでは、メッセージの設定の概要、メッセージと品目注記に関する印刷情報の定義の概要、および以下の方法について説明します。

- メッセージの設定
- メッセージを印刷する印刷伝票の定義
- 伝票タイプの例外の定義

メッセージの設定について

EnterpriseOne システムでは 2 つのメッセージ タイプを定義できます。

- 印刷メッセージ (異なる伝票タイプ、顧客、仕入先に添付するメッセージ)
- 品目注記 (品目に添付するメッセージ)

印刷メッセージと品目注記の設定は同じ方法で行います。既存のメッセージを基本として選択して記述とテキストを修正すると、簡単かつ効率的に設定できます。多言語で同じメッセージや注記を定義する必要がある場合にも基本メッセージが役に立ちます。

次の情報を表示できます。

- 印刷メッセージまたは品目注記
- 現行のメッセージ
- 失効したものを含む全てのメッセージ

メッセージを印刷するには、バージョン リストから既存のバージョンを選択するか、新しいバージョンを作成します。

メッセージは削除できますが、以下の点に注意してください。

- 特定の言語でのメッセージを削除する場合、そのメッセージのみが削除されます。
他の言語には影響しません。
- 基本メッセージを削除すると、その基本メッセージに関連する全てのメッセージが削除されます。
- メッセージ コード、詳細情報、テキスト行もテキスト テーブルから削除されます。

メッセージと品目注記に関する印刷情報について

メッセージを印刷する伝票を定義します。たとえば、全ての作業オーダーに特別配送指示を印刷する場合があります。品目注記に個々の印刷プログラムを定義することはできません。品目注記は全ての伝票に印刷されます。

印刷プログラムでさまざまな目的に使用される伝票を作成することがあります。たとえば、購買オーダー印刷プログラム (R43500) を使用して、購買オーダー伝票と共に一括オーダーや見積オーダーなどの他の伝票も印刷することができます。一括オーダーにのみ印刷するメッセージがある場合、メッセージを印刷しない伝票タイプを印刷プログラムごとに定義することもできます。

メッセージの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[印刷メッセージの処理]	W40162D	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[印刷メッセージの改訂]	印刷メッセージを処理します。
[印刷メッセージの改訂]	W40162C	[印刷メッセージの処理] フォームで、[ロー]メニューの[改訂]をクリックします。	メッセージを設定します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	W56123B	[印刷メッセージの改訂] フォームで、[フォーム]メニューの[添付]をクリックします。	メッセージを設定します。
[ユーザー定義コード言語の選択]	W0005SB	[印刷メッセージの処理] フォームで、[印刷メッセージ]フィールドのビジュアルアシスト(虫眼鏡ボタン)をクリックします。	メッセージと品目注記に関する印刷情報を定義します。
[伝票選択]	W40162A	[印刷メッセージの処理] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの[伝票]をクリックします。	メッセージと品目注記に関する印刷情報を定義します。
[伝票タイプの例外]	W40162B	[伝票選択] フォームで、[ロー]メニューの[伝票タイプの例外]をクリックします。	伝票タイプの例外を定義します。

メッセージの設定

[印刷メッセージの処理] フォームにアクセスします。

メッセージと品目注記に関する印刷情報の定義

[伝票選択] フォームにアクセスします。

[レポートへの印刷] メッセージや品目注記をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- Y: レポートにテキストを印刷する。
- N: レポートにテキストを印刷しない。

伝票タイプの例外の定義

[伝票タイプの例外] フォームにアクセスします。

デフォルト事業所の設定

このセクションでは、デフォルト事業所情報の設定の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- デフォルト事業所と承認経路コードの定義
- デフォルトの印刷待ち行列の割り当て

デフォルト事業所情報の設定について

デフォルトの保管場所情報を設定する場合は、サインオンする端末に事業所と印刷待ち行列を割り当てます。

デフォルト事業所とは、ユーザー ID または端末 ID に割り当てられた事業所のことです。デフォルト事業所が使用される場合は、その事業所が自動的に表示されます。デフォルト事業所は、従業員ごとに設定できるだけでなく、仕入先と顧客ごとに設定することもできます。これにより仕入先と顧客は、セルフサービスの Web サイトで、オーダー、見積、在庫などの情報を入力または確認できます。ユーザー ID または端末 ID に事業所が割り当てられていない場合、ユーザーは事業所を手入力する必要があります。デフォルト事業所の設定で購買オーダーに承認経路を使用する場合は、承認経路コードも定義できます。

デフォルト印刷待ち行列は、特定タイプの伝票が送られるロケーションを示します。デフォルト印刷待ち行列を割り当てることにより、印刷するたびにデフォルト印刷待ち行列にその伝票を送ることができます。デフォルト印刷待ち行列を割り当てていない場合、システムはバージョン リストで割り当てられている印刷待ち行列に最初にアクセスし、次にユーザー プロファイルに割り当てられている印刷待ち行列にアクセスします。

自動的に定義された印刷プログラムは、F40096 テーブルにアクセスします。その他の印刷プログラムを表示するには、プログラムを修正して F40096 テーブルにアクセスするようにし、ユーザー定義コードとして設定します。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 事業所が設定されていることを確認します。
- ユーザー定義コード テーブル (40/PP) に印刷待ち行列コードが設定されていることを確認します。

デフォルト事業所情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[デフォルト事業所およびプリンタの処理]	W400951A	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[デフォルト事業所およびプリンタ]	デフォルト事業所と承認経路コードを定義します。
[デフォルト事業所およびプリンタ]	W400951B	[デフォルト事業所およびプリンタの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	デフォルト事業所と承認経路コードを定義します。
[デフォルト印刷待ち行列]	W40096A	[デフォルト事業所およびプリンタの処理] フォームで、[ロー] メニューの [印刷待ち行列] をクリックします。	デフォルトの印刷待ち行列を割り当てます。

デフォルト事業所と承認経路コードの定義

[デフォルト事業所およびプリンタ] フォームにアクセスします。

[端末/ユーザー ID] ワークステーションの ID 番号を入力します。

[承認経路コード] オーダーの承認経路を指定するコードを入力します。

デフォルト印刷待ち行列の割り当て

[デフォルト印刷待ち行列] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

デフォルト 事業所およびプリンタ - デフォルト 印刷待ち行列

OK(O) キャンセル(L) ロー(R) ツール(T)

端末/ユーザー ID

レコード 1-7 グリッドのカスタマイズ

	プログラム ID	記述	出力待ち行列
<input checked="" type="radio"/>	P42520	Pick Slip Print	
<input type="radio"/>	P42565	Invoice Print	
<input type="radio"/>	P43500	Purchase Order Print	
<input type="radio"/>	P46472	Movement Summary Document	
<input type="radio"/>	P46473	Movement Tags	
<input type="radio"/>	P46475	Location Selection Audit Rpt	
<input type="radio"/>	P48425	Equipment Work Order Print	

[デフォルト印刷待ち行列] フォーム

注: 新しい割り当てと変更された割り当てを確認するには、ログオフして再起動する必要があります。

[出力待ち行列]

処理後にジョブが送られる待機場所を指定します。出力待ち行列は、プリンタに添付される場合があります。出力待ち行列を指定しない場合は、ユーザーのジョブ記述のデフォルト値が使用されます。

標準計量単位の設定

このセクションでは、標準計量単位の概要、事前設定、および標準計量単位の設定方法について説明します。

標準計量単位について

計量単位は在庫品目ごとに定義する必要があります。標準計量単位は、計量単位情報をカスタマイズするためのテンプレートとして使用します。品目ごとに基本計量単位と計量単位換算を指定します。この処理は次の情報を対象に実行できます。

- 各品目または事業所/品目の組み合わせ
- 標準計量単位を使用している全ての品目

品目または事業所情報を設定する際に、個々の品目または事業所/品目の組み合わせに基本計量単位を指定します。計量単位情報は、F41002 テーブルに保存されます。

特定の品目に関連付けられていない計量単位換算情報は、F41003 テーブルに保存されます。ここで設定した計量単位換算情報を他の流通システムで非在庫品目に使用することもできます。

トランザクションを入力すると、システムは品目の計量単位を次の順序で決定します。

- 最初に、品目マスターの中から、品目固有の計量単位換算情報を持つレコードを検索します。
- F41002 テーブルで見つからない場合は、F41003 テーブルの中から、品目または品目/事業所の組み合わせに対してシステム全体で使用している標準計量単位を検索します。
- F41002 テーブルと F41003 テーブルのいずれでも見つからない場合は、エラー メッセージを表示します。

標準計量単位を定義する場合は、任意の数の計量単位に対して任意の数の換算係数を作成できますが、換算係数は全て直接経路 (例: 1 箱 = 2 個) または間接経路 (例: 1 クレート = 2 箱 = 4 個) のいずれかで基本計量単位に換算できるようにする必要があります。また、各計量単位を基本計量単位と関連付ける換算係数を設定することもできます。

例: 計量単位の換算係数

1 箱 = 2 個

1 クレート = 2 箱

1 パレット = 2 クレート

この場合、基本計量単位は次のように計算されます。

1 箱 = 2 個

1 クレート = 4 個

1 パレット = 8 個

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 計量単位の設定情報を確認します。
- ユーザー定義コード テーブル (00/UM) に計量単位が設定されていることを確認します。

標準計量単位の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[標準計量単位の改訂]	W41003B	[在庫管理セットアップ] (G4141) の [標準計量単位] をクリックし、[標準計量単位の処理] フォームでレコードを選択します。	標準計量単位を設定します。

標準計量単位の設定

[標準計量単位の改訂] フォームにアクセスします。

- [換算元計量単位] その品目の換算元の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。たとえば、個、箱などです。
- [換算係数] 計量単位の換算に使用する係数を入力します。
- [換算先計量単位] その品目の換算先の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

品目相互参照の設定

このセクションでは、品目相互参照の設定の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 相互参照の入力と確認
- 品目相互参照 (P4104) の処理オプションの設定
- プロモーション品目の相互参照の設定
- 関連品目の価格相互参照の設定

品目相互参照の設定について

在庫管理の一環として、社内の品目情報と仕入先/顧客の品目情報の関係を定義する場合があります。また、品目と関連した代替品目、置換品目、バーコードを設定する場合があります。相互参照では、自社の品目番号と他社の品目番号を関連付けます。このような品目間の相互参照は、在庫管理システムで管理できます。たとえば、顧客用に品目相互参照を設定すると、顧客の品目番号を簡単に変換できるため、顧客は自社で使用している品目番号で発注できるようになります。

相互参照品目の例は次のとおりです。

仕入先品目番号	オーダーやコミュニケーションに仕入先の部品番号を使う場合に使用します。
顧客品目番号	顧客側の部品番号でオーダーする場合に使用します。
品目改訂レベル	顧客が古い品目に対して新しい部品をオーダーする場合の需要計画に使用します。たとえば、自動車業界などでは、現行モデル用の新しい部品と古いモデル用の交換部品を製造しており、さまざまな部品のオーダーを受けています。このような場合に、顧客品目番号と顧客品目改訂レベルを組み合わせて使用できます。
代替品目	オーダーされた品目に手持数量がない場合に使用します。
置換品目	自社または仕入先が品目の生産を中断し、新しい品目と置き換える場合に使用します。
バーコード	特定の品目とバーコードを関連付ける場合に使用します。
関連品目	販売品目の一部として他の品目を推奨する場合に使用します。

電子データ交換 (EDI) 用の品目相互参照を設定する場合は、取引先から送られてくる可能性がある全ての品目番号について相互参照を設定しておく必要があります。

プロモーション品目の相互参照の設定

受注オーダーと購買オーダーの入力時に、自動的にプロモーション品目に差し替えることができます。プロモーション品目には次のような品目があります。

- クーポン付きの通常品目
- 同じ価格で 10% 増量した品目
- 同じパッケージで景品付きの品目

相互参照情報を使用して、割り当てる価格インジケータに従い、新しい品目に価格を設定します。プロモーション品目は、品目ごとに 1 度に 1 つだけ設定できます。

プロモーション品目情報は、顧客または仕入先レベルで設定します。仕入先の場合、通常の品目をオーダーしてプロモーション品目と差し替えたり、プロモーション品目自体をオーダーすることができます。

次の表は、受注オーダーと購買オーダーでのプロモーション行品目の取扱方法を示しています。

プロモーション行品目	説明
受注オーダーの入力 (P4210)	受注オーダーでは、当初の行品目が取り消され、新しいプロモーション行品目が追加されます。[相互参照] タブの [販促品] 処理オプションで相互参照タイプ SP (販促品目) を指定した場合、F4104 テーブルの販促品目が検索されます。プロモーション品目が見つかったら、当初のオーダー行が取り消され、プロモーション品目がオーダーに追加されます。
購買オーダー (P4310)	購買オーダーでは、当初の行品目がプロモーション行品目の値に置き換えられ、警告メッセージが表示されます。[相互参照] タブの [販促品] 処理オプションで相互参照タイプ PP (購買プロモーション品目) を指定した場合、F4104 テーブルのプロモーション品目が検索され、当初の品目と差し替えられます。

F4104 テーブルと、以下のプロモーション用の処理状況コード (40/AT) を使用してプロモーション品目が処理されます。

- 917 追加プロモーション品目
- 990 プロモーション品目による取り消し

関連品目の相互参照

ある品目が在庫切れで代替品目または関連品目を提供する場合、最も低い価格で提供されるように指定できます。たとえば、10% のプロモーションを特定の品目に割り当てるとします。オーダー時に在庫がなく代替品目を顧客に提供する場合、プロモーション価格で提供できます。この価格は、適用可能なプロモーションまたは割引後の最も低い価格となります。また、当初の品目の価格または代替品目の価格のまま提供することもできます。

品目相互参照プログラム (P4104) を使用して代替品目を指定する場合は、基本価格のタイプと代替品目で使用する価格調整を指定する必要があります。基本価格と価格調整インジケータの値を指定しない場合、受注オーダーの入力プログラム (P4210) の [相互参照] タブにある [代替品目] 処理オプションで指定した値が使用されます。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 相互参照を品目番号別または住所番号別のどちらで入力するかを処理オプションで指定します。
- 定義する相互参照タイプに対してユーザー定義コード テーブル (41/DT) を設定します。
- 購買プロモーション品目 (PP) と販促品目 (SP) の相互参照タイプをユーザー定義コード テーブル (41/DT) に設定します。

同じ時間枠内でプロモーション品目が複数にならないように、特殊取扱コードを使用します。

- 価格調整が必要な場合、[価格管理固定情報] フォームの [調達価格管理を使用する] オプションと [販売価格管理を使用する] オプションを有効にします。

[価格管理固定情報] フォームにアクセスするには、事業所固定情報プログラム (P41001) の [フォーム] メニューから [価格管理固定情報] を選択します。

品目相互参照の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目相互参照の処理]	W4104A	<ul style="list-style-type: none"> ・ [在庫照会] (G41112)、[品目相互参照] ・ [上級および技術的操作] (G4731)、[品目相互参照] 	相互参照の入力と確認を行います。
[品目別品目相互参照の改訂]	W4104C	[品目相互参照の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	プロモーション品目の相互参照を設定します。
[品目別品目相互参照の改訂]	W4104C	[品目相互参照の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	<p>関連品目の相互参照を設定します。</p> <p>注: [品目別品目相互参照の改訂] フォームと [住所別品目相互参照の改訂] フォームのどちらが表示されるかは処理オプションの設定によります。</p>
[住所別品目相互参照の改訂]	W4104B	[品目相互参照の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	<p>関連品目の相互参照を設定します。</p> <p>注: [品目別品目相互参照の改訂] フォームと [住所別品目相互参照の改訂] フォームのどちらが表示されるかは処理オプションの設定によります。</p>

プロモーション品目の相互参照の設定

[品目相互参照の処理] フォームにアクセスします。

注: オプションで有効日付、有効終了日付、相互参照記述、および顧客/仕入先の品目改訂レベルを入力できます。

[相互参照タイプ]

この顧客に設定した相互参照タイプを識別するユーザー定義コード (41/DT) を入力します。次のような相互参照タイプがあります。

- ・ 代替品目
- ・ 置換品目
- ・ バーコード
- ・ 顧客品目番号
- ・ 仕入先品目番号

[住所 No.]

顧客の住所番号を入力します。空白にすると、全ての顧客と仕入先が適用されます。

[品目 No.]

品目に割り当てられる番号を入力します。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。この形式は事業所 ALL によって決まります。品目 ID が空白の場合は、基本品目番号になります。この場合は、品目番号を入力します。

- [相互参照品目 No.]** 品目に割り当てられる相互参照品目番号を入力します。相互参照品目番号を使用すると、仕入先の品目番号が自社の品目番号と異なる場合、品目の処理、オーダー、印刷時に仕入先の品目番号を使用できます。この番号は、品目相互参照プログラム (P4104) で設定します。
- この品目番号は、品目マスターに保存されているとは限らないので、品目マスターとの照合は行われません。
- [有効終了日付]** トランザクション、テキスト メッセージ、契約、義務、優先情報などが完了または失効する日付を入力します。
- [相互参照記述]** 品目に関する備考を入力します。
- [顧客/仕入先の品目改訂レベル]** 顧客品目の改訂レベルの識別に使用する参照番号を入力します。
- 品目の相互参照では、顧客/仕入先の社外品目を社内略式番号に変換する際、顧客側の参照番号だけでは不十分な場合があります。このような場合は、たとえば、顧客部品番号を品目改訂レベルと連結して使用する必要があります。これにより、顧客品目を特定できるようになります。

品目相互参照 (P4104) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

- 1. 品目別または住所別の改訂** 品目別の改訂フォームを使用する場合は、「1」を入力します。住所別の改訂フォームを使用する場合は、ブランクにします。このオプションは表示フォームには影響しません。

プロモーション品目の相互参照の設定

[品目別品目相互参照の改訂] フォームにアクセスします。

- [基本価格インジケータ]** 関連品目に使用する基本価格を示すユーザー定義コードを入力します。たとえば、品目の価格に応じて、当初の品目、代替品目、または最適価格を使用して指定できます。このフィールドをブランクにすると、受注オーダーの入力 (P4210) の処理オプションの [相互参照] タブにある [代替品目の価格設定] オプションで指定したコードが使用されます。
- [基本価格インジケータ] フィールドをブランクにする場合は、[調整インジケータ] フィールドもブランクにする必要があります。同様に [基本価格インジケータ] フィールドを指定する場合は、[調整インジケータ] フィールドも指定する必要があります。
- [調整インジケータ]** 関連品目に使用する価格調整を示すユーザー定義コード (42/1A) を入力します。価格調整には、品目に応じて、当初の品目調整、代替品の調整、最適調整、調整なしがあります。このフィールドをブランクにすると、受注オーダーの入力 (P4210) の処理オプションの [相互参照] タブにある [代替品目の価格設定] 処理オプションで指定した値が使用されます。

関連品目の価格相互参照の設定

[品目相互参照の処理] フォームにアクセスします。

注: [基本価格インジケータ] フィールドをブランクにする場合は、[調整インジケータ] フィールドもブランクにする必要があります。同様に、[基本価格インジケータ] フィールドを指定する場合は、[調整インジケータ] フィールドも指定する必要があります。

伝票タイプ情報の設定

このセクションでは、伝票タイプ情報の概要と設定方法について説明します。

伝票タイプ情報について

伝票タイプにはさまざまな特性を関連付けることができます。伝票タイプ情報は、それぞれのタイプに固有のユーザー定義コード テーブルに保存されます。

伝票タイプ保守管理プログラム (P40040) により、伝票タイプに関する情報の設定および管理ができます。このプログラムは、F40039 テーブルを更新します。F40039 テーブルは、さまざまなユーザー定義コード リストに現在保存されている情報のリポジトリの役割を果たします。このプログラムは F0005 テーブルも更新します。

伝票タイプ保守管理プログラムを使用して、以下のユーザー定義コード リストの伝票タイプ情報を管理します。

- トレース/トラッキング伝票タイプ (40/DC)
- コミットメント伝票タイプ (40/CT)
- 一括オーダー タイプ (40/BT)
- 在庫更新タイプ (40/IU)
- トランザクション タイプ (39/TT)
- トランザクションの種類 (40/NT)
- オーダー カテゴリ (40/OC)
- その他数量 (40/OQ)
- 事業所間オーダー (40/IB)
- サービス契約タイプ (17/CM)
- 作業オーダー タイプ (48/OT)
- カートン状況 (46/RS)

注: 上記のユーザー定義コード テーブルに情報を直接追加した場合は、F0005 テーブルのみが更新されます。F40039 テーブルは更新されません。

伝票タイプ保守管理プログラムは伝票タイプの追加にも使用できます。伝票タイプ保守管理プログラムで管理できる情報の一部または全てを設定する場合は、このプログラムを使うと便利です。

また、伝票タイプの処理時に特定の事業所を F4115 テーブルに組み込みたくない場合に、除外する伝票タイプを指定することもできます。

伝票タイプ情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[伝票タイプの改訂]	W40040B	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[伝票タイプ保守管理] [伝票タイプの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	伝票タイプ情報を設定します。
[伝票タイプ除外の編集]	W400391A	[伝票タイプの処理] で、[ロー] メニューの [履歴の除外] をクリックします。 [伝票タイプの改訂] で、[フォーム] メニューの [履歴の除外] をクリックします。	特定の伝票タイプの処理時に除外する事業所を指定します。

伝票タイプ情報の設定

[伝票タイプの改訂] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

伝票タイプ保守管理 - 伝票タイプの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(E) ツール(T)

伝票タイプ

在庫 受注 調達 サービス保証 作業オーダーの定義 出荷

レコードタイプ

☒ 無視 ☐ 入荷 ☐ 出荷 ☐ 入出荷

☐ 整合性レポートへの組み込み クロス・ドッキング - 供給 ☐

ロット・トレーストラッキング

☐ ロット・トレーストラッキング表示 ☐ ロット・トレーストラッキング集約

レコードの種類

[伝票タイプの改訂] フォーム

[在庫]

[在庫] タブをクリックします。

[伝票タイプ]

トランザクションの発生元と目的を示すユーザー定義コード (00/DT) を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイプ プレフィックスは、次のとおりです。

- P: 買掛金伝票
- R: 売掛金伝票

	<ul style="list-style-type: none"> • T: 時間/給与伝票 • I: 在庫伝票 • O: 購買オーダー伝票 • S: 受注オーダー伝票
[無視]、[入荷]、[出荷]、[入出荷]	<p>トランザクション タイプ (入荷、出荷、入出荷) を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • *: 全てのトランザクションを選択する。 • 1: 入荷トランザクションのみを選択する。 • 2: 出荷トランザクションのみを選択する。 • 3: トランザクション タイプが入出荷 (入荷および出荷の両方) のトランザクションのみを選択する。 <p>[伝票タイプの改訂] フォームで、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無視]: トランザクションは選択されません。 • [入荷]: 入荷トランザクションのみが選択されます。 • [出荷]: 出荷トランザクションのみが選択されます。 • [入出荷]: 入荷トランザクションと出荷トランザクションの両方が選択されます。
[整合性レポートへの組込み]	<p>品目元帳/勘定科目整合性レポート (R41543) および品目残高/元帳整合性レポート (R41544) の在庫整合性レポートで該当する伝票タイプをトランザクションに組み込む場合、このチェック ボックスをオンにします。</p> <hr/> <p>注: 現在、この機能は有効化されていません。</p> <hr/>
[クロス・ドッキング - 供給]	<p>クロス ドッキング機能で、供給タイプ (購買供給または製造供給) に使用する伝票タイプを決定する際に使用されるコードを入力します。</p>
[ロット・トレース/トラッキング表示]	<p>該当する伝票タイプの在庫トランザクションをロットのトレースとトラッキングに表示するかどうかを指定します。オフにすると、該当する伝票タイプの在庫トランザクションは処理されますが、ロットのトレースとトラッキングには表示されません。</p>
[ロット・トレース/トラッキング集約]	<p>在庫トランザクションを集約するかどうかを指定します。オフにすると、集約は行われません。</p>
[レコードの種類]	<p>ロットのトレース/トラッキングで、移動先/移動元がある在庫トランザクションおよびトップ/ボトムレベルがある在庫トランザクションの処理方法を指定します。移動先/移動元があるトランザクションには、在庫移動、在庫再分類、作業オーダー出庫/作業オーダー完了があります。トップ/ボトムレベルがあるトランザクションには、受注オーダーと入荷確認があります。不適切な値を入力すると、在庫トランザクションは正しく処理されません。</p>
[受注]	
[受注] タブをクリックします	
[オーダー・カテゴリ]	<p>受注管理システムと調達管理システムで使用する一括オーダーのタイプを識別する値を入力します。</p>

[オーダー・カテゴリ] フィールドには、UDC (40/OC) を選択するためのビジュアル アシスト (虫眼鏡ボタン) があります。有効値は以下のとおりです。

- 0 - 通常オーダー
- 1 - 一括オーダー
- 2 - 見積で数量をリリースしない
- 3 - 見積数量をリリース

受注オーダー機能で [オーダー・タイプ] オプションを選択した場合、オーダー カテゴリを "2" か "3" (見積) に設定すると、値は F4201 テーブルの OTIND (オーダー・タイプ・インジケータ) フィールドにハードコードされ、特定のオーダーが見積であることが指定されます。

[事業所間オーダー]

事業所間のオーダー タイプを指定する場合は、「1」を入力します。受注オーダーの入力 (P4210) で事業所間のオーダーを作成すると、原価割増しなどのオーダーの追加情報が処理されます。顧客が営業所に発注したが、営業所は倉庫から在庫を出荷する場合に、この事業所間オーダーを使用できます。売上更新時と請求書の印刷時に、事業所間受注オーダーに対する会計取引と事業所間の請求書が作成されます。

[その他数量]

受注オーダーの場合、このフィールドにより、保管場所品目ファイルの受注オーダーの [その他数量 1 または 2] フィールドが、[ソフト コミット] または [ハード コミット] フィールドの代わりに更新されるかどうかが決まります。

調達の場合、このフィールドにより、保管場所品目ファイルの購買オーダーの [その他数量] フィールドが、[購買オーダー] フィールドの代わりに更新されるかどうかが決まります。

[出荷確認時に手持在庫をリリースする]

この受注オーダーに出荷確認時に引き当てられた数量を手持数量からリリースするかどうかを指示します。このチェック ボックスをオフにすると、出荷確認処理で、該当する品目保管場所に出荷された数量だけがハード コミットされます。

注: 現在、この機能は有効化されていません。

[シipp・アンド・デビット処理]

伝票タイプでシipp アンド デビット処理を有効にするかどうかを指定します。

[自動採番システム・コード]

システムを識別するユーザー定義コード (98/SY) を入力します。以下の値があります。

- 31 製造現場管理
- 41 在庫管理
- 42 受注管理

[伝票タイプ「次の番号」]

このオーダー タイプでオーダー番号を作成するときに使用する自動採番を指定します。使用できる自動採番は 10 個あります。このフィールドには、次のように指定します。

- 入札要求と購買オーダーとは異なるオーダー番号の購買要求
- 標準の受注オーダーとは異なる番号範囲の一括受注オーダー

[送信状況通知]

状況の変更を通知するかどうかを指定します。「Y」または「N」を入力します。

【調達】

【調達】 タブをクリックします。

【オーダー・カテゴリ】 受注管理システムと調達管理システムで使用する一括オーダーのタイプを識別する値を入力します。

【その他数量】 受注オーダーの場合、保管場所品目ファイルの受注オーダーの [その他数量 1 または 2] フィールドが、[ソフト コミット] または [ハード コミット] フィールドの代わりに更新されるかどうかを指定します。

調達の場合、保管場所品目ファイルの購買オーダーの [その他数量] フィールドが、[購買オーダー] フィールドの代わりに更新されるかどうかを指定します。

【自動採番システム・コード】 システムを識別するユーザー定義コード (98/SY) を入力します。以下の値があります。

- 31 製造現場管理
- 41 在庫管理
- 42 受注管理

【伝票タイプ「次の番号」】 このオーダー タイプでオーダー番号を作成するときに使用する自動採番を指定します。使用できる自動採番は 10 個あります。このフィールドには、次のように指定します。

- 入札要求と購買オーダーとは異なるオーダー番号の購買要求
- 標準の受注オーダーとは異なる番号範囲の一括受注オーダー

【購買オーダーのコミット】 サービスまたは外注契約に対する購買オーダーの金額を自動的にコミットするかどうかを指定します。

【外部パブリッシュ】 伝票タイプが外部にパブリッシュ可能かどうかを指定します。

【サービス/保証】

【サービス/保証】 タブをクリックします。

【契約タイプ】 伝票タイプがサービス契約または仕入先契約に関連するかどうかを定義するコードを入力します。サービス契約は通常の契約または見積契約のいずれかになります。

【作業オーダーの定義】

【作業オーダーの定義】 タブをクリックします。

【オーダー・タイプ】 [オーダー・タイプ] フィールドの値に基づいて作業オーダー タイプの決定に使用されるコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 01 作業オーダーとは関連付けられていない
- 02 製造作業オーダー
- 03 製造再作業オーダー
- 04 設備作業オーダー
- 05 サービス用作業オーダー

- 06 保証請求オーダー
- 07 仕入先回収オーダー
- 08 ECO（設計変更オーダー）
- 09 設計変更要求オーダー
- 10 資産管理オーダー
- 11 受注設計生産集計オーダー
- 12 レート スケジュール オーダー

[出荷]

[出荷] タブを選択します。

[カートン作成状況]	F4615 テーブルにカートンを作成するときに使用する状況を指定するユーザー定義コード (46/RS) を入力します。
[カートン変更状況]	F4615 テーブルのカートンを変更するときに使用する状況を指定するユーザー定義コード (46/RS) を入力します。
[推奨標準梱包]	伝票タイプに対して推奨の標準梱包の Karton を作成するかどうかを指定します。

レコード予約

同時に複数のユーザーがデータを更新すると、データが不正確になることがあるため、品目マスターと事業所品目のレコードを入力したら、プログラムへのユーザーのアクセスを制限して、データの整合性を維持します。

EnterpriseOne システムには、レコード予約機能が用意されています。この機能を有効にすると、F4101 テーブルと F4102 テーブルに保存されている情報を一度に 1 人のユーザーだけが更新できるようにすることが可能です。1 人のユーザーが情報の更新を終了すると、次のユーザーがプログラムにアクセスして情報を更新できます。

レコード予約のユーザー定義コード テーブル (00/RR) にアクセスし、[特殊取扱] フィールドに「1」を入力すると、特定のプログラムに対してレコード予約を有効にできます。

レコード予約が可能なプログラムは、次のとおりです。

- 品目マスター (P4101)
- マトリックス品目 (P4101E)
- 非在庫品目マスター (P4101N)
- 事業所品目 (P41026)
- 品目マスター未編集トランザクション受信バッチ処理 (R4101Z1I)
- 品目残高 (F4102) のレコード除去 (R4102P)
- ABC 分析 (R4164)
- レポート コードの一括更新 (R41803)
- 品目マスター一括更新 (R41804)

- 品目残高の一括更新 (R41805)

レコードを予約した場合、他のユーザーがそのレコードにアクセスするとエラー メッセージが表示されます。予約済みの全てのレコードは、ビジネス オブジェクト予約を削除プログラム (P00095) で表示できます。

第 3 章

品目在庫情報の入力

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、品目在庫の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品目マスター情報の入力
- 事業所情報の入力
- (Rapid Start) Enter item master and item/branch information
- マトリックスと親品目の処理
- 品目原価情報の入力
- 販売価格情報の入力

品目在庫について

在庫を処理する前に、在庫になる品目の情報を入力する必要があります。各在庫品目について次の詳細情報を入力します。

- 品目 ID
- 品目記述 (外国語および日本語)
- 品目規則
- 品目原価と価格
- 品目の重量と計量単位

また、各品目について次の保管場所情報も入力します。

- 各品目が保管されている事業所
- 各事業所内で使用される保管場所

この情報は、流通/製造管理システムで各品目のトラッキングと処理に使用されます。品目の入力には次の 2 つの処理があります。

1. 品目の基本情報を含む品目マスター情報を入力する。
2. 品目が保管されている事業所ごとに品目マスター情報を変更する。

品目マスター情報を入力すると、F4101 テーブルにレコードが作成されます。このテーブルには、カテゴリコードや計画/購買担当者番号など、事業所全体に適用される品目情報が含まれます。品目に対して事業所情報を入力すると、F4102 テーブルと F41021 テーブルにレコードが作成されます。このテーブルには、手持数量や元帳クラスコードなど、保管場所に固有の品目情報が含まれます。

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 元帳クラス コードを設定します。
- 事業所固定情報を検討して修正します。
- 自動採番を設定します。
- デフォルト事業所とプリンタを設定します。
- 以下の中から該当するユーザー定義コード テーブルを設定します。
 - 元帳転記カテゴリ
 - 在庫タイプ コード
 - 計量単位
 - 分類コード カテゴリ
 - 原価方式コード
 - 使用言語コード

品目マスター情報の入力

このセクションでは、品目マスター情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品目 ID と処理情報の入力
- 代替記述の入力
- (BRA) Enter additional item master information
- セグメント品目のテンプレートの作成
- セグメント品目の入力
- 品目へのメッセージの添付
- 品目に関する注記の入力
- 品目に関する添付情報の入力
- 品目担当者の割り当て
- 品目分類コードの入力
- 品目のデフォルト計量単位の入力
- 品目計量単位の換算方法の定義
- 品目の 2 重計量単位の指定
- 価格計量単位を使用した検索順序の設定
- 所要量計画、リードタイム、生産設計、品目等級、および濃度情報の入力
- 品目マスター プログラム (P4101) の処理オプションの設定

品目マスター情報について

品目マスター情報は、全ての在庫品目と非在庫品目に対して入力する必要があります。マスター情報には、品目番号、品目名称、記述、およびその他の一般的な品目情報が含まれます。この情報は、流通/製造管理システムで各品目を識別したり処理する場合に使用されます。

品目を追加する場合、1 つの品目を入力してそれをテンプレートとして使用できます。テンプレートとして使用する品目を作成することにより、将来入力する他の多くの品目に共通するフィールド値を入力できます。品目を新しく追加する場合は、最初にテンプレートとして入力した品目を検索し、必要に応じてフィールド値を変更します。

品目を新しく入力すると、F4101 テーブルに品目マスター レコードが作成されます。作成された品目マスター レコードに以下のいずれかの情報が存在する場合、その品目マスター情報は削除できません。

- 事業所品目レコード
- 部品表
- 品目相互参照番号
- 仕入先関係
- 販売価格

基本品目情報

それぞれの品目には ID を 3 つまで使用できます。この ID は品目の検索に使用します。ID には一般製品コード (UPC)、バーコード、仕入先番号、ユーザー定義値などを割り当てることができます。

基本品目 ID は、[事業所固定情報] フォームで指定します。また、品目の検索に頻繁に使用する品目記述と検索テキストを品目マスターに入力する必要もあります。品目記述と検索テキストを各言語に翻訳して、その言語で品目を検索することもできます。異なる言語での記述は、システム管理者が設定したユーザー プロファイルに基づいて可能になります。

第 2 および第 3 品目 ID を変更する場合は、関連する処理オプションの設定に従って、選択した他のテーブルに変更内容を転送できます。

品目処理情報は、品目処理方法を制御する値で構成されています。これらの値は、在庫、梱包、勘定取引、システム インターフェイスなどに関連します。

(BRA) Additional Item Master Information for Brazil

The Brazilian government requires Brazilian businesses to enter specific tax information that is related to each inventory item. The system uses this tax information to calculate Imposto sobre Produtos Industrializados (IPI), Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Servios (ICMS), and Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Servios Substituto (ICMS) Substitution taxes; generate nota fiscal documents; and generate applicable fiscal reports.

You must enter general information for all stock and nonstock items. The system uses this information to identify and process each item in the distribution and manufacturing systems.

In Brazil, the government requires companies to maintain this additional information for each item:

- Fiscal classification.
- Tax code (IPI or ICMS).
- Whether the item is subject to tax substitution markup.
- Item origin.
- Purchase use.

- Messages to print.
- Retention of IR.
- Reduction of IR.
- Whether the item is a part of retention or reduction of INSS.

The system automatically displays the additional information form when you enter a new inventory item record. To access the additional information form when you inquire on an existing inventory item, select a record and select Regional Information from the Row menu.

You may also review (but not add) additional information from the Inventory Master – Brazil menu (G76B4111). You can review additional information by choosing Item Master.

When you enter additional information for an item, the system creates a record for the item in the F76411 table.

Category Code Name/Code (BR) (76/CN)

You can set up address book and item category codes for use in Brazilian tax calculations. Brazilian localization reserves three of these category codes in the address book and the item files. To avoid conflicts with category codes already in use, the localization software dynamically allocates the category codes that it requires. In other words, you must select the category codes that will be used by localization. Setting up UDC (76/CN) establishes this relationship.

Brazilian localization requires that three category codes be set up. In UDC (76/CN), each category code has a hard-coded name that the program uses to establish a relationship with the category code variable in the files.

You set up UDCs in the Category Code Name/Code (BR) (76/CN) for:

- Address book category codes.
- Item nature and item branch/plant category codes.
- Identification of category codes that are used to store information which is specific to Brazil.

You must set up these three category codes for UDC (76/CN). They are hard-coded in Brazil localization software.

Category Codes	Setup Task
Address Book ICMS Substitution Markup Level Indicator	<p>Set up to indicate the ICMS Substitution Markup level of a customer or supplier.</p> <p>MARKUP – AC30 (Address Book)</p> <ul style="list-style-type: none"> • N: Do not print markup. • Y: Print free-zone markup.

Category Codes	Setup Task
Item Nature Indicator	<p>Set up to link the item category code that is selected to represent the item nature in the Brazilian localization.</p> <p>NATUR – SRP6 (Item/Branch). Values are:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 – Manufactured product (Brazil) • Purchased product (Brazil)
Free-Zone Discount Indicator	<p>Set up to indicate whether free-zone discounts apply to an item.</p> <p>AZONE – SRP8 (Item/Branch). Values are:</p> <ul style="list-style-type: none"> • * – Default Markup (Brazil) • 111 – Supermarket (BR)

セグメント品目

多くの業種では、パッケージ コンポーネント、パッケージの処理、その他の属性、または原価構造に違いを生じさせる可能性があるその他の相違点によって、基本製品が多様になっています。製品の各バリエーションはオーダー入力に使用される 1 つの単位であり、以下の情報が関連付けられる場合もあります。

- 製造データ
- 在庫管理情報
- 予測
- 価格規則
- 優先情報

セグメントを使用すると、このような品目情報に対応できます。セグメントの使用例を以下に示します。

- ポロシャツには、サイズと色のセグメントを設定します。
- フルーツ飲料には、味、梱包、タイプのセグメントを設定します。

セグメント品目には、識別用として最高 10 個までの特性または属性を使用できます。

品目テキスト

他のユーザーが品目を処理する際に参照したり印刷できるように、品目テキストを入力することができます。品目メッセージは事前定義されているため、複数の品目に同じメッセージを関連付けられます。

品目注記は品目メッセージとは異なり、事前定義されていません。品目に関する注記が既に存在する場合、[品目注記の処理] フォームの品目番号の横にペーパー クリップのボタンが表示されます。品目注記は入力時の言語で保存されるため、伝票（請求書や購買オーダーなど）に複数の言語で印刷することができます。

添付ファイルは品目注記とは異なり、処理時の言語に関係なく表示および印刷できます。通常は、社内の他のユーザーに品目の図や表を送信する場合に添付ファイルを入力します。請求書や購買オーダーなど、伝票への添付ファイルは印刷できません。

品目担当者

品目マスター情報の入力時に、購買担当者、計画担当者、優先運送業者など、その品目の担当者または業者を指定できます。品目担当者や業者を品目に割り当てるには、住所録システムに担当者と担当業者の住所番号が登録されている必要があります。

品目分類コード

類似した特徴を持つ品目をグループにまとめて、グループ全体の処理を同時に実行することができます。たとえば、品目をグループ化すると、有用な売上分析情報を作成できます。

品目をグループ化するには、分類コードを割り当てます。分類コードの割り当ては、品目マスター情報の入力時または事業所品目情報の入力時に行うことができます。どちらの場合でも、カテゴリコードで分類コードを割り当てます。使用するフィールドは同じです。

分類コードには複数のカテゴリがあります。各カテゴリは、出荷条件などの異なる品目分類または特性タイプを表します。たとえば、易損品などの品目の出荷条件を示すコードを出荷条件カテゴリから選択できます。

分類コードには 4 つのタイプがあります。それぞれのタイプは、次の EnterpriseOne システムと関連付けられています。

- 受注管理
- 調達管理
- 在庫管理
- 倉庫管理
- 輸送管理

品目計量単位情報

品目計量単位には、受注、調達などの流通プロセスで最も頻繁に使用する単位を指定します。たとえば、ある品目をパレットで購入して箱で保管し、個別のコンテナで出荷する場合があります。

複数の計量単位を持つ品目を処理する場合は、計量単位の換算方法を指定する必要があります。たとえば、ある品目を箱とクレートの両方で保管する場合、箱の中の品目数とクレート中の箱の数を指定します。

場合によっては、最小の（基本）計量単位で品目を処理する必要があります。品目の換算方法は、全ての計量単位を基本計量単位までトレースできるように指定します。

計量単位の換算は、品目、または品目と事業所の組み合わせごとに設定できます。品目換算を事業所固有にするかどうかは、システム固定情報で指定します。また、全ての品目で標準の計量単位を設定することもできます。

品目の計量単位は、全て F41002 テーブルまたは F41003 テーブルで設定します。標準計量単位換算の前に、品目計量単位換算が検証されます。

品目の 2 重計量単位の定義

品目の在庫管理とトランザクションの処理には、2 つの計量単位を使用できます。たとえば、数量単位で販売され、原価単位で購買、または重量単位で価格設定される品目に対して、2 重計量単位を指定できます。同様に、標準計量単位換算のあるトランザクションで 2 重計量単位を使用できます。たとえば、品目の計量単位が重量の場合、トン/ポンド換算のトランザクションを 2 重計量単位と見なすことができます。この場合、2 重計量単位は、2 重単位数量に対して品目元帳レコードと品目残高レコードで使用された計量単位になります。

2 重計量単位を指定すると、品目に基本計量単位と 2 次計量単位間の変動換算があるかどうか全ての在庫トランザクションで確認されます。品目の設定には、原価計算用に基本計量単位を指定し、在庫トラッキング用に他の計量単位を 2 次計量単位として指定する必要があります。

2 重計量単位は、パッケージ製品や製造済みの最終品目のみに使用できます。バルク品目では 2 次計量単位でのトラッキングは行われません。

次のプログラムでは、基本計量単位または 2 次計量単位に関連するトランザクション数量 (2 重計量単位) を入力できます。その他の数量の決定には標準換算が使用されます。

- 購買オーダー (P4310)
- 受注オーダー入力 (P4210)
- 製造作業オーダー処理 (P48013)

ピッキング オプションを有効にして、次の表の説明のように許容範囲を設定できます。

オプション	設定タスク
ピッキング	<p>ピッキングとは、オーダーに対応するために倉庫保管場所から在庫を移動することです。倉庫提示を基本計量単位と2重計量単位のどちらで表示するかを品目レベルで指定できます。2重計量単位でのピッキングの場合は、数量全体の出荷を1つの受注オーダー行で行うか、行を分割して行うかを指定できます。</p> <p>たとえば、100 ポンド (lb) の受注オーダーに対して 10 ケース (98 ポンド) をハードコミットする場合、ピッキングオプションにより、2 ポンドの差のために別の行を作成することなく 10 ケースでオーダー処理できます。差が許容範囲内にありピッキングオプションを使用する場合、受注オーダーは分割されません。</p> <p>2 重計量単位でのピッキングは、次のようにシステム内の他の処理に影響します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉庫管理システムでは、受注オーダーのピッキングに、トランザクション数量ではなく2次計量単位数量が使用されます。 受注オーダーのピッキングプロセスは、在庫照会時と在庫引当時に使用されます。 受注管理と輸送管理システムでは、トランザクション数量または2次計量単位数量に基づいて、2重計量単位品目の分割にピッキングプロセスが使用されます。使用する計量単位は、品目マスタープログラム (P4101) の追加情報タブにある2重計量単位ピッキング処理オプションで指定します。
許容率	<p>品目に2重計量単位を指定したら、在庫トランザクション処理中に許容度チェックを必須にするかどうかを指定します。トランザクションで2次計量単位数量を入力する場合に許容度を設定すると、基本計量単位数量と2次計量単位数量の標準換算で一定の範囲(パーセント)が許容されます。たとえば、約 100 ポンドの品目に3%の許容度を設定すると、許容範囲内の重量は 98 ~ 103 ポンドになります。</p> <p>在庫調整プログラム (P4114) または在庫出庫プログラム (P4112) を使用している場合、許容度チェックは行われません。</p>

2 重計量単位は特殊取扱コードを使用して変換されます。2 重計量単位では、基本計量単位と2次計量単位の特許取扱コードは異なります。オンス、ポンド、トンなどの類似した計量単位では、特殊取扱コードは同じです。たとえば、重量が2重計量単位としてポンド表記されており、2重計量単位によるトランザクション数量はトンで入力するとします。この場合、ポンドとトンには同じ特殊取扱コードを指定する必要があります。

2 重計量単位の情報の処理には、次のテーブルが使用されます。

- F4101
- F4111
- F41021

- F4602

価格計量単位を使った検索順序

基本価格と価格調整の検索には、複数の計量単位を指定できます。たとえば、検索時に使用する最初の計量単位にパレットを指定できます。何も情報が検索されない場合は、2 次計量単位としてケース、次に箱を指定できます。検索順序は、個々の品目に対して 8 つまで設定できます。検索順序は一定の行程に従う必要はありません。

他の計量単位への調整の換算には、換算係数が使用されます。たとえば、トランザクション計量単位を使用して調整を検索する場合、価格設定計量単位も表示されます。価格設定計量単位の調整の再計算には、計量単位変換係数が使用されます。

品目の価格計量単位順序の設定は、品目計量単位の換算フォームで行います。受注用、購買用にそれぞれ 1 つずつ指定できます。

計量単位を使用した検索順序の処理には、次のテーブルが使用されます。

- F41001
- F41002
- F4072
- F4106

品目製造情報

品目マスター情報を入力する場合は、品目に関する次の製造情報を定義します。

所要量計画情報 流通/製造作業を実施する際の在庫計画の予測を作成するには、所要量計画情報を入力します。

リードタイム情報 品目の組み立てまたは製造に要する期間の計算には、リードタイム情報を入力します。

生産設計情報 品目の図面計画についての参照情報を入力します。

品目等級および濃度情報

品目マスター情報または事業所品目情報を入力したら、品目に等級または濃度を適用するかどうかを指定します。たとえば、等級 A や B の卵などのように、等級別に品目を分類することができます。濃度では、咳止めシロップのアルコール度数などのように、製品の有効成分を指定できます。

品目の等級または濃度制御を有効にすると、その品目の標準等級や標準濃度、値の合格範囲を入力できます。その合格範囲内にない品目を入荷したり出庫した場合には、警告メッセージが表示されます。合格範囲外の品目に対して販売処理を行うことはできません。

優先プロファイルを使用して、各顧客に対して等級および濃度範囲を指定することができます。品目等級および濃度はロットで製造された品目のみに適用されます。同じ品目に対して等級制御と濃度制御の両方を使用することはできません。[ロット・マスターの処理] フォームで、ロット内の全ての品目について等級または濃度を指定できます。等級または濃度を指定しない場合は、[追加システム情報] フォームで入力した標準等級または濃度が使用されます。

Demand Flow[®]

Demand Flow[®] を使用して、最終品目を Demand Flow[®] プロセスに含めます。Demand Flow[®] の最終製品を指定すると、資材所要量計画 (MRP) のメッセージを非表示にしたり、DFM 品目を DFM システムに容易にアップロードできるようになります。

最終品目をライン設計に含める場合は、その最終品目が Demand Flow[®] プロセスに含まれるように指定する必要があります。

MRP と Demand Flow[®] の両方のプロセスを使用する製造業者の場合は、Demand Flow[®] プロセスの一部にする最終品目を指定する必要があります。

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- デフォルト情報のソースとして事業所 ALL が使用されるため、品目情報の入力時に ALL を使用可能にしておく必要があります。
- Verify that Brazil (BR) is the country that you selected in the user display preferences. The Item Master Regional Information – Brazil form can be accessed only when Brazil (BR) is selected in the user display preferences.
- セグメント品目と区切り文字を識別する記号を設定します（省略可）。
- 各セグメント品目に使用するテンプレートを作成します。
- 品目マスタープログラム (P4101) の処理オプションでテンプレートを使用するように設定します。
この処理オプションは、デフォルト タブと処理タブの両方にあります。
- 事前定義されたメッセージを品目に添付する前に、メッセージ テキストを作成します。
- UDC テーブル (00/UM) で特殊取扱コードを設定します。
- 事業所固定情報プログラム (P41001) の [システム固定情報] フォームの [販売価格の計算に使用する計量単位] フィールド (40/SU) と [購買価格の計算に使用する計量単位] フィールド (40/PU) で、計量単位の値を指定します。

品目マスター情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの処理]	W4101E	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[品目マスター]	品目マスターを処理します。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[品目マスターの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	品目 ID 情報と品目処理情報を入力します。 セグメント品目を入力します。
[品目マスター翻訳記述]	W41016WA	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー] メニューの [品目の翻訳記述] をクリックします。	翻訳記述を入力します。
Item Master Regional Information – Brazil	W4101BRA	Inventory Master – Brazil (G76B4111), Item Master – Brazil. Select a row in the detail area on the Work With Item Master Regional Information – Brazil form, and select Select.	Enter additional item master information.

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[テンプレート・マスターの改訂]	W410014B	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[テンプレート・マスター] [テンプレートの処理] フォームで、[追加]をクリックします。	セグメント品目のテンプレートを作成します。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [品目マスターの改訂] をクリックします。	品目にメッセージを添付します。 品目担当者を割り当てます 品目のデフォルト計量単位を入力します。
[品目注記の処理]	W40163B	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [品目注記] をクリックします。	品目に関する注記を入力します。
[品目注記の改訂]	W40163A	[品目注記の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	品目に関する注記を入力します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	W4310J	[品目注記の改訂] フォームで、[フォーム] メニューの [添付] をクリックします。	品目に関する注記を入力します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	W4310J	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [社内用添付] をクリックします。	品目の添付情報を入力します。
イメージの選択	なし	[メディア・オブジェクト・ビューア] フォームで、[ファイル] をクリックしてイメージを選択します。	品目の添付情報を入力します。
[カテゴリ・コード]	W4101B	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [カテゴリ・コード] をクリックします。	品目担当者を割り当てます。 販売、購買、在庫、輸送、倉庫の分類コードを入力します。
[品目計量単位の換算]	W41002D	[品目マスターの改訂] フォームで、[フォーム] メニューの [換算] をクリックします。 [品目計量単位換算の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	品目計量単位の換算方法を定義します。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[品目マスターの処理] フォームで行を選択して、[選択] をクリックします。	品目に 2 重計量単位を指定します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[品目計量単位の換算]	W41002D	[品目の改訂](G4112)、[品目計量単位換算] [品目計量単位換算の処理] フォームで品目番号を入力して、[選択]をクリックします。	価格計量単位を使用して検索順序を設定します。
[追加システム情報]	W4101C	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの[追加システム情報]をクリックします。	所要量計画、リードタイム、生産設計、品目等級および濃度、Demand Flow [®] の情報を入力します。

品目 ID と処理情報の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目マスター - 品目マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

略式品目 No.

品目 No.

基本情報 | 追加情報 | 重量/計量単位 | ロット処理

カタログ No.

記述

記述 2 検索テキスト

在庫タイプ <input type="text" value="P"/> 購買品目(原材料を含む)	在庫原価レベル <input type="text" value="2"/> 事業所品目のみ
元帳クラス <input type="text" value="IN30"/> 製造完成品	販売価格レベル <input type="text" value="3"/> 品目/事業所/保管場所/ロット
計量単位 <input type="text" value="EA"/> 個	購買価格レベル <input type="text" value="3"/> 在庫原価レベル
行タイプ <input type="text" value="S"/> Stock Inventory Item	キット/コンフィギュレータ価格設定方法 <input type="text" value="1"/> 構成品リスト価格合計
バルク/パッケージ区分 <input type="text" value="B"/> バルク製品	コンフィギュレータ原価計算方式 <input type="text"/>
計画担当者 No. <input type="text" value="8446"/> Bennett, Jody	引当方法 <input type="text" value="1"/> 最大数量の保管場所
購買担当者 No. <input type="text" value="8446"/> Bennett, Jody	印刷メッセージ <input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> バックオーダー許可	品目フラッシュ・メッセージ <input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 引当可能数量チェック	標準計量単位の使用許可 <input type="text"/> 品目特定計量単位

[品目マスターの改訂] フォーム

各品目には ID を 3 つまで設定できます。

品目を新しく入力する場合は、最初に品目を識別する情報を入力します。次に、品目記述とテキストを入力します。品目記述と検索テキストは、ユーザーが品目を検索する際に最も頻繁に使用する情報を表します。

[基本情報]

[基本情報] をクリックします。

[品目No.]	品目の ID を入力します。
[カタログNo.]	品目の ID を入力します。
[検索テキスト]	<p>品目の検索方法を指定します。検索テキストには、その品目に固有の記述を入力し、頻繁に使用される順序で入力します。</p> <p>シングルバイト環境では、アルファベットに基づいた文字セットのみ保存できます。検索テキストを入力しない場合は、品目記述の最初の 30 文字が挿入されます。</p> <p>日本語、中国語、韓国語などのダブルバイト環境では、複雑な文字セットも保存できるため、このフィールドには必ず入力します。シングルバイトフィールドの場合は、シングルバイトの文字を使用して品目の記述を発音どおりに入力します。品目の記述は、シングルバイト、ダブルバイト、またはその両方が可能です。</p>
[在庫タイプ]	<p>品目（完成品、原料など）の保管方法を示すユーザー定義コード (41/I) を入力します。次の在庫タイプはハードコード化されているため、変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: 擬似品目 • B: バルク在庫品 • C: コンフィギュレーション品目 • E: 緊急/改良保全 • F: フィーチャー品目 • K: キットの親品目 • N: 非在庫品目 <p>ユーザー定義コード テーブルの記述 2 の最初の文字が “P” の場合は購買品目、“M” の場合は製造品目を表します。</p>
[元帳クラス]	この品目の在庫トランザクションの金額 (ドル) を記録する勘定科目を指定するユーザー定義コード (41/9) を入力します。
[計量単位]	<p>この品目の基本計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。基本計量単位は、品目の取扱の最小計量単位を指定する必要があります。</p> <p>この計量単位が基本在庫単位 (PSAU) となり、全ての在庫がこの計量単位で保存されます。基本計量単位を変更すると、品目レベルの換算テーブルの換算係数は無効になります。</p> <p>このフィールドのデフォルト値は、品目マスター情報で指定した計量単位です。</p>
[行タイプ]	<p>トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムを制御します。また、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定します。行タイプ コードの例を以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • S: 在庫品目 • J: 作業原価 • N: 非在庫品目

- F: 運賃
- T: テキスト情報
- M: その他の料金および貸方
- W: 作業オーダー

[バックオーダー許可]

この品目にバックオーダーを許可するかどうかを指定します。品目別のバックオーダーは、品目マスタープログラム (P4101) または事業所品目プログラム (P41026) で実行できます。顧客別のバックオーダーは顧客請求指示プログラム (P03013)、事業所別のバックオーダーは事業所固定情報プログラム (P41001) で実行できます。有効値は次のとおりです。

オン: この品目のバックオーダーを許可します。

オフ: 顧客に割り当てられたバックオーダー コードに関係なく、この品目のバックオーダーは許可されません。

[引当可能数量チェック]

引当可能数量チェックを実行するかどうかを指定します。品目によっては、引当可能数量チェックを有効にする必要があります。妥当な数量を供給できる品目に対しては、引当可能数量チェックを無効にします。有効値は次のとおりです。

- オン: 引当可能数量チェックが実行されます。
- オフ: 引当可能数量チェックは実行されません。

チェック ボックスがオンになっている場合は、引当可能数量チェックが有効になっています。

[追加情報]

[追加情報] をクリックします。

ランク

売上金額別に品目の ABC ランクを指定します。有効値は次のとおりです。

- A: 品目を第 1 (最高) の金額ランクに割り当てます。
- B: 品目を第 2 (中間) の金額ランクに割り当てます。
- C: 品目を第 3 (最低) の金額ランクに割り当てます。
- D: この品目を ABC 分析の対象外にします。

ABC 分析には売上、マージン、手持在庫の 3 つのタイプがあります。それぞれの分析タイプに対して A、B、C の 3 つのグループを作ることができます。

ABC コードのフィールドには、ABC 分析で品目を分類する 3 つのグループがどのように分けられるかを指定するパーセンテージが含まれます。各グループで、分析タイプ内での合計を判定します。

全てのグループに対し、1 つの品目の売上、マージン、または手持在庫の合計が全品目の合計と比較され、各品目の値が計算されます。品目の値は、その合計に占めるパーセントです。次に、全品目が値の高いものから順に並べられ、パーセントが累計されます。以降の処理は、グループによって異なります。

A グループ: 品目の値が A グループの限度を超える合計になると、その品目は B グループに割り当てられます。

B グループ: 累計が A グループで入力したパーセントに達すると、B グループで入力したパーセントに達するまで値が追加されます。A グループと B グループのパーセントの間にある品目は全て B グループに割り当てられます。

C グループ: 累計が B グループのパーセントを超える品目が入ります。通常、C グループに入力するパーセントは“999”です。

[ロット処理]

[ロット処理] をクリックします。

[シリアルNo.必須]

基本シリアル番号処理の場合は入荷時または販売時にこの品目にシリアル番号を添付する必要があるかどうか、上級シリアル番号処理用の場合はメモ ロット情報が必要かどうかを指定するコードを入力します。上級シリアル番号処理を使用すると、シリアル番号により購買や販売全体で品目をトラッキングすることができます。基本シリアル番号処理の有効な値は次のとおりです。

Y

在庫管理、受注管理、購買オーダーのプログラムに関連してこの品目に発生する全てのトランザクションにシリアル番号が必須。

N

シリアル番号は不要です。

シリアル番号のある品目にロットを指定する場合の有効値は次のとおりです。

3

仕入先ロット番号が必須です (購買のみ)。

4

仕入先ロット番号が必須です (購買のみ)。メモ ロット 1 も必須です。

5

仕入先ロット番号が必須です (購買のみ)。メモ ロット 1、メモ ロット 2 も必須です。

6

シリアル番号のない品目番号 (CSMS のみ)。

3 ~ 5 は、シリアル番号のある品目にロットの割り当てが必要かどうかを指定します。仕入先ロット、メモ ロット 1、メモ ロット 2 など、最高 3 つまでのロット番号の割り当てを必須とすることができます。

[ロット状況コード]

ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。ブランクの場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。保管場所の改訂フォームまたは保管場所ロット状況の更新フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。

[ロット処理タイプ]

ロットまたはシリアル番号が割り当てられているかどうかを示すコードを入力します。ロットとシリアル番号の処理には、F4108 テーブルを使用します。有効なコードは以下のとおりです。

0

ロットの割り当ては任意です。番号は手動で入力して割り当てるができます。数量が 1 より大きい場合もあります (デフォルト)。

1

ロットの割り当ては必須です。番号は YYYYMMDD 形式のシステム日付を使用して割り当てられます。数量が 1 より大きい場合もあります。

2

ロットの割り当ては必須です。番号は自動採番を使用して昇順で割り当てられます。数量が 1 より大きい場合もあります。

3

ロットの割り当ては必須です。番号は手動で割り当てる必要があります。数量が 1 より大きい場合もあります。

4

出荷確認時以外は、シリアル番号の割り当ては任意です。数量は 1 を超えることはできません。

5

シリアル番号の割り当ては必須です。番号は YYYYMMDD 形式のシステム日付を使用して割り当てられます。数量は 1 を超えることはできません。

6

シリアル番号の割り当ては必須です。番号は自動採番を使用して昇順で割り当てられます。数量は 1 を超えることはできません。

7

シリアル番号の割り当ては必須です。番号は手動で割り当てる必要があります。数量は 1 を超えることはできません。

[引当日付方法]

品目が日付に基づいて引き当てられるときに、在庫引当処理に使用される日付を指定するユーザー定義コード (H40/CD) を入力します。デフォルト値は、01 (ロット満了日付) です。この日付のフィールドは、F4108 テーブルに保存されます。

[ロット満了日の計算方法]

ロット満了日付の計算に使用する方法を示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。

1

手持ち日付 + 貯蔵期間

2

基準日 + 貯蔵期間

3

有効構成品の最小満了日付

[貯蔵期間]

有効期限まで品目を在庫として保管できる日数を入力します。品目の入荷日にこの日数を加算して、品目の有効期限を決定します。ここで値を入力しない場合は、ロット品目が入荷するたびに有効期限を入力する必要があります。

- [有効期限までのデフォルト日数]と[販売期限のデフォルト日数]

品目が消費されるまでに在庫として保管できる日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、有効期限の計算方法が異なります。プラスの場合は、その日数を基準日に足してロットの有効期限が決定します。マイナスの場合は、その日数をロット満了日付から引いて有効期限が決定します。
- [製造有効日数]

品目が販売または製造用に引当可能となるまでに在庫として保管する必要のある日数を入力します。このフィールドに入力した値を F4108 テーブルの基準日に足して、ロットの有効日付が計算されます。
- [購買有効日数]

購買品目を入荷してからロットが引当可能となるまでの日数を入力します。この値は、購買オーダー プログラム (P4310) と入荷確認プログラム (P4312) で有効日付フィールドの計算や表示を行う際に使用されます。
- [ユーザー・ロット日付1のデフォルト日数] ~ [ユーザー・ロット日付5のデフォルト日数]

F4108 テーブルのユーザー ロット日付 (1 ~ 5) フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、値の計算方法が異なります。プラスの場合は、その日数を基準日に足して値が決まります。マイナスの場合は、その日数をロット満了日付から引いて値が決まります。

翻訳記述の入力

[品目マスター翻訳記述] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目マスター - 品目マスター翻訳記述

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

品目番号

1001

記述

Bike Rack - Trunk Mount

レコード 1 - 2

	使用言語	記述	記述 2	検索テキスト
<input type="checkbox"/>	F	Porte Velo-montage coffre		
<input type="checkbox"/>				

[品目マスター翻訳記述] フォーム

品目 ID 情報と品目処理情報を入力すると、1 つ以上の言語で品目を検索したり、記述や検索テキストを入力できるようになります。この代替テキストはシステム レベルでの言語設定、またはユーザー プロファイルで使用可能です。

- [使用言語]

フォームと印刷用のレポートで使用する言語を指定するユーザー定義コード (01/LP) を入力します。指定する言語コードは、システム レベルまたはユーザー設定で定義済みである必要があります。

(BRA) Entering Additional Item Master Information

Access the Item Master Regional Information – Brazil form. This form is illustrated below.

Item Master - Brazil - Item Master Regional Information - Brazil			
<div> <div>OK</div> <div>Cancel</div> <div>Tools</div> </div>			
Short Item Number	700592		
Item Number	760		
Description	Coffee Mug (Manufactured Item)		
	Coffee Mug Brazil		
Fiscal Class	1002003001	Retention of IR	0.00
Tax Code	01	Pay ICMS and IPI	Reduction IR 0.00
Purchase Use	EMB	Packaging Products	<input type="checkbox"/> INSS Y/N
Print Message			
ICMS Substitution	Y	Yes, Use List Price	
Item Origin	0	Domestic Goods	

Item Master Regional Information – Brazil form

Fiscal Class

Specify groups of products, as defined by the local tax authorities. The product groups are based on taxing conventions and other national statistics. The system uses this code to determine the applicable tax rate for a product.

Tax Code

Enter an auxiliary code that you use to combine ICMS and IPI tax characteristics. Values might include:

- 01: Taxed domestic goods (IPI and ICMS).
- 02: Taxed domestic goods (ICMS taxed, IPI tax rate Zero).
- 03: Exempt products.
- 04: Export.
- 05: ICMS deferred, IPI suspended.
- 06: ICMS exempt, IPI taxed.

Purchase Use

Enter a code that identifies the purpose for which the merchandise was purchased. You define purchase use codes in the Purchase Use UDC table (76/PU). When you define purchase use codes, use the special handling code to specify this tax information:

For ICMS tax:

- 0 ICMS tax is nonrecoverable.
- 1 ICMS tax is 100 percent recoverable.

For IPI tax:

- 0 IPI tax is nonrecoverable.
- 1 IPI tax is 50 or 100 percent recoverable, depending on the status of the ship-to and ship-from taxpayer.

Print Message

Enter a user-defined code (40/PM) that you assign to each fiscal print message that appears on the nota fiscal.

ICMS Substitution

Enter a code that specifies whether a client or product is subject to tax substitution. Values are:

- Y Use list price.
- Z Use net price.
- N No.

Item Origin

Enter a code that specifies the origin of a product. You must select a hard-coded value from the Item Origin UDC (76/IO).

Retention of IR

Enter the percentage of the retention of income tax for a legal entity.

Reduction IR

Enter the percentage of the reduction of the tax calculation base for an individual.

INSS Y/N

Specify whether the item is part of the retention/aggregation calculation for INSS. A check mark in the box indicates that the item is part of the calculation.

セグメント品目のテンプレートの作成

[テンプレート・マスターの改訂] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

テンプレート・マスター - テンプレート・マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

テンプレート: テンプレートの記述:

使用長さ: ☐ 区切なし

セグメントの定義 カテゴリ・コード

セグメント	ルール	長さ	記述
セグメント 1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 8	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 9	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セグメント 10	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

横軸マトリックス・セグメント ☐

[テンプレート・マスターの改訂] フォーム

セグメント品目の入力用に 1 つ以上のテンプレートを作成します。全てのセグメント品目に同じテンプレートを使用できない場合は、タイプごとにテンプレートを作成し、テンプレート名を正しく入力します。

テンプレートを作成して品目マスターの処理オプションでテンプレートを使用するように設定すると、[品目マスターの改訂] フォームにテンプレートを添付できます。

- [テンプレート]** 品目マスターの改訂プログラム (P4101) で品目を入力する際に使用可能なテンプレート名を入力します。この名前は大文字と小文字が区別されず、テンプレートを追加する際にテンプレート名に大文字を使用した場合、[品目マスターの改訂] でのテンプレートの検索や添付には常に大文字を入力する必要があります。
- [区切なし]** セグメントの区切りに文字を使用するかどうかを指定します。このチェックボックスをオンにすると、このテンプレートでは区切り文字は使用されず、25 文字分のスペース全てをセグメント品目番号に割り当てることができます。
-
- 注:** 事業所固定情報プログラム (P41001) のセグメント区切文字フィールドもブランクにする必要があります。
-
- [使用長さ]** このフィールドには、全てのセグメントに使用されているスペースの合計数 (区切文字を含む) が表示されます。

セグメント品目の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

品目へのメッセージの添付

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

基本品目情報を入力すると、事前定義したメッセージを添付できます。

- [印刷メッセージ]** [印刷メッセージの改訂] フォームで設定した事前定義済みのメッセージを表すユーザー定義コード (40/PM) を入力します。メッセージは、受注オーダーや購買オーダーなどで印刷できます。
- [品目フラッシュ・メッセージ]** 他のユーザーがその品目を使用した場合に特定のメッセージを表示するように指示するコード (40/FL) を入力します。メッセージはユーザー定義コードの記述です。
- フラッシュ メッセージを指定した品目を使用すると、品目番号の横にメッセージが表示されるか、または品目番号がハイライトされます。品目番号がハイライトされている場合は、品目番号にカーソルを移動して、プログラムに呼び出される機能を実行すると、メッセージにアクセスできます。

品目に関する注記の入力

[品目注記の改訂] フォームにアクセスします。

品目注記には、値引や配送情報など品目の追加情報を入力します。品目注記は、品目メッセージとは異なり、事前定義されていません。

- [品目番号]** 品目に割り当てられた番号を入力します。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。
- [有効開始日付]** トランザクション、契約、義務、優先情報、規則などが有効になる日付を入力します。
- [期限終了日付]** トランザクション、テキスト メッセージ、契約、義務、優先情報などが完了または失効する日付を入力します。

品目の添付情報の入力

イメージの選択フォームにアクセスします。

通常、画像や図などのグラフィック情報を追加するには、品目に添付情報を追加します。添付情報は品目注記とは異なり、入力時の言語に関係なく表示および印刷できます。このため、テキストを含む図を品目に添付する場合は、入力時の言語でのみ表示されます。

品目担当者の割り当て

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

次の図は、品目担当者の割り当てに使用する [カテゴリ・コード] フォームを示しています。

品目マスター - カテゴリ・コード

品目マスターの処理 カテゴリ・コード

OK(O) キャンセル(L) 前へ 次へ ツール(T)

品目番号: 1001 Bike Rack - Trunk Mount

販売カタログ区分		メジャー分類...	出荷条件コード		ブランク-出荷...
補助区分		マイナー分...	商品出荷クラス		ブランク-商...
販売カテゴリ・コード3		販売カテゴリ...	循環棚卸カテゴリ		ブランク-棚卸...
販売カテゴリ・コード4	444	付属品	品目寸法グループ		.
販売カテゴリ・コード5	158	自転車付属品	倉庫プロセス・グループ 1		ブランク
優先運送業者(販売)			倉庫プロセス・グループ 2		ブランク
			倉庫プロセス・グループ 3		ブランク
商品クラス		購買カテゴリ...	品目プール・コード		.
商品補助クラス		購買カテゴリ...	カテゴリ・コード6		.
仕入先リベート・コード		仕入先リベ...	カテゴリ・コード7		.
基準計画ファミリ	240	自転車付属品	カテゴリ・コード8		.
陸揚費用規則		陸揚費用規...	カテゴリ・コード9		.
優先運送業者(調達)			カテゴリ・コード10		.

[カテゴリ・コード] フォーム

[計画担当者No.]

この品目の資材計画担当者の住所番号を入力します。

[購買担当者No.]

品目の適切な在庫レベルを設定して管理する担当者の住所番号を入力します。

[優先運送業者(調達)]

品目の優先運送業者の住所番号を入力します。配送経路や特殊取扱などの条件を考慮して、仕入先または自社が優先的に選ぶ運送業者を指定します。

この値は、品目の購買オーダーを入力するときにデフォルトの運送業者として使用されます。

分類コードの入力

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

販売分類コード

販売用の分類コード情報を入力します。

[販売カタログ区分]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S1) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[補助区分]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S2) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[販売カテゴリ・コード3]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S3) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[販売カテゴリ・コード4]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S4) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[販売カテゴリ・コード5]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S5) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[優先運送業者(調達)]	品目の優先運送業者の住所番号を入力します。配送経路や特殊取扱などの条件を考慮して、仕入先または自社が優先的に選ぶ運送業者を指定します。 この値は、品目の購買オーダーを入力するときにデフォルトの運送業者として使用されます。
[品目プール・コード]	商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/P0) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に購買に使用する 6 個の分類カテゴリの 1 つです。
[カテゴリ・コード6]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S6) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[カテゴリ・コード7]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S7) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
[カテゴリ・コード8]	色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S8) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。 このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。

- [カテゴリ・コード9]** 色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S9) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。
- [カテゴリ・コード10]** 色や素材などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/S0) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に販売に使用する 10 個の分類カテゴリの 1 つです。

購買分類コード

購買用の分類コード情報を入力します。

- [商品クラス]** 商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/P1) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に購買に使用する 6 個の分類カテゴリの 1 つです。
- [商品補助クラス]** 商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/P2) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に購買に使用する 6 個の分類カテゴリの 1 つです。
- [仕入先リポート・コード]** 商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/P3) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に購買に使用する 6 個の分類カテゴリの 1 つです。
- [基準計画ファミリ]** 商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/P4) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に購買に使用する 6 個の分類カテゴリの 1 つです。
- [陸揚費用規則]** 品目の陸揚費用規則を示すユーザー定義コード (41/P5) を入力します。陸揚費用規則により、業者手数料やコミッションなどの品目の実際の価格を超える購買価格が決まります。陸揚費用規則は、[陸揚費用の改訂] フォームで設定します。

在庫および輸送分類コード

在庫と輸送用の分類コード情報を入力します。

- [出荷条件コード]** 出荷条件などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/C) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に在庫および出荷に使用できる 3 つの分類カテゴリの 1 つです。
- [商品出荷クラス]** 国際出荷取扱などの品目の特性タイプや分類を表すユーザー定義コード (41/E) を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。このフィールドは主に在庫および出荷に使用できる 3 つの分類カテゴリの 1 つです。

[循環棚卸カテゴリ] 在庫品目の棚卸を行うファミリまたは循環棚卸を表すコード (41/8) を入力します。循環棚卸とは、在庫品目ごとに異なる時期に棚卸を行うことです。循環コードは、主に品目の値、保管場所、時間枠、製品グループなどです。

注: 輸送管理システムでは、出荷条件コード フィールドと商品出荷クラス フィールドが使用されます。

倉庫分類コード

倉庫用の分類コード情報を入力します。

[品目寸法グループ] 同じ寸法の品目グループを識別するユーザー定義コード (41/01) を入力します。品目寸法グループでは、グループに属する全ての品目の寸法を定義します。品目寸法グループを設定したら、分類コード プログラム (P41011) で品目をグループに割り当てます。

[倉庫プロセス・グループ 1] 同じ方法で移動する品目のグループを識別するユーザー定義コード (41/02) を入力します。プロセス グループにより、貯蔵、ピッキング、および補充に使用する移動規則が決まります。プロセス グループに品目を割り当てるには、分類コード プログラム (P41011) を使用します。

[倉庫プロセス・グループ 2] 同じ方法で移動する品目のグループを識別するユーザー定義コード (41/02) を入力します。プロセス グループにより、貯蔵、ピッキング、および補充に使用する移動規則が決まります。プロセス グループに品目を割り当てるには、分類コード プログラム (P41011) を使用します。

[倉庫プロセス・グループ 3] 同じ方法で移動する品目のグループを識別するユーザー定義コード (41/02) を入力します。プロセス グループにより、貯蔵、ピッキング、および補充に使用する移動規則が決まります。プロセス グループに品目を割り当てるには、分類コード プログラム (P41011) を使用します。

品目のデフォルト計量単位の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスして、[重量/計量単位] タブをクリックします。

品目 ID や品目の基本計量単位などの基本品目情報を入力したら、他の流通プロセス用に詳細な計量単位情報を設定します。

[基本] この品目の基本計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。基本計量単位は、品目の取扱の最小計量単位を指定する必要があります。

この計量単位が基本在庫単位 (PSAU) となり、全ての在庫がこの計量単位で保存されます。基本計量単位を変更すると、品目レベルの換算テーブルの換算係数は無効になります。

このフィールドのデフォルト値は、品目マスターで指定した計量単位です。

[2次] 対象品目の別の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

[購買] 通常の品目の購買に使用する計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

[価格設定] 通常の品目価格設定に使用する計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

- [出荷]** 通常の品目の出荷に使用する計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。
- [生産]** 通常の品目の生産に使用する計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。
- [構成品]** 部品表や作業オーダー部品リストなど、構成品として使用する品目に使用する計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。
- [重量]** この品目の重量を示す計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。オンスやグラム、キログラムなどを重量基準として指定できます。この計量単位は品目に使用されたり、個別の品目やコンテナの計量単位に合わせて一時変更されます。
- このフィールドのデフォルト値は、品目マスター プログラムの処理オプションで指定した重量単位です。
- [容量]** 常温での容量の計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。たとえば、ガロンの場合は "GL"、リットルの場合は "LT" というコードになります。

品目計量単位の換算方法の定義

[品目計量単位の換算] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目マスター - 品目計量単位の換算

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

品目番号: 1001 Bike Rack - Trunk Mount

基本計量単位: EA 個 ☐ 計量単位構造の表示

レコード 1-5 グリッドのカスタマイズ

		1	換算元 計量単位	=	数量	換算先 計量単位	構造 コード	受注オーダー からの除外	購買オーダー からの除外	受注 単位順序	調達 単位順序
<input checked="" type="radio"/>		1	EA	=	2.2500000	FC				0	0
<input type="radio"/>		1	EA	=	5.0000000	LB				0	0
<input type="radio"/>		1	LB	=	0.4536000	KG				0	0
<input type="radio"/>		1	LB	=	16.0000000	OZ				0	0
<input type="radio"/>											

[品目計量単位の換算] フォーム

箱とクレートの両方で保管するなど、品目に複数の計量単位がある場合は、デフォルトの計量単位情報を入力した後に、計量単位の換算情報を入力します。

換算情報は、システムに既に存在する品目でのみ更新できます。新しい品目については、[OK] をクリックして品目を保存し、次に [品目マスターの処理] フォームでその品目を選択してから、[品目マスターの改訂] フォームに戻って更新します。

- [換算元計量単位]** 品目の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。個、ケース、箱などがあります。
- [数量]** 計量単位の換算に使用する係数を入力します。
- [換算先計量単位]** 2 次計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

品目の 2 重計量単位の指定

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[重量/計量単位]

[重量/計量単位] タブをクリックします。

[2次] 対象品目の別の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

[追加情報]

[追加情報] タブをクリックします。

[2重計量単位の使用]

在庫残高の管理で基本計量単位への換算式が定義されていない場合に、2 計量単位で記録するかどうかを指定します。通常は、品目のオーダーまたは販売をパッケージ数量単位で行い、価格を重量または容量単位で行う場合に、このチェック ボックスをオンにします。

注: 2 重計量単位の品目には、在庫調整を除く在庫トランザクションで基本計量単位と 2 次計量単位の間での許容度チェックを必須にできます。

[2重計量単位ピッキング処理]

2 重計量単位の品目で基本計量単位と 2 次計量単位のどちらの計量単位を使用するかを指定します。指定する処理は次のとおりです。

ピッキング

受注オーダーの引当可能数量チェック

受注オーダーの在庫引当

購買オーダーの行の分割

基本計量単位を使用する場合は、オフにします。2 次計量単位を使用する場合は、オンにします。

[2重計量単位による許容度チェック]

在庫残高の管理で基本計量単位への換算式が定義されていない場合に、2 重計量単位で記録するかどうかを指定します。通常は、品目のオーダーまたは販売をパッケージ数量単位で行い、価格を重量または容量単位で行う場合に、このチェック ボックスをオンにします。

注: 2 重計量単位の品目には、在庫調整を除く在庫トランザクションで基本計量単位と 2 次計量単位の間での許容度チェックを必須にできます。

[2重計量単位の許容率]

トランザクションの基本計量単位数量と 2 次計量単位数量の標準換算での許容範囲の数値 (パーセント) を入力します。たとえば、品目の 2 重計量単位許容度を 3%、1 ケースの重量を約 100 ポンドと入力するとします。その条件で、1 ケース単位での出荷が処理されるには、出荷する品目の重量を、2 重計量単位の許容範囲内に収めるため、97 ~ 103 ポンドにする必要があります。蒸発または減損が発生する在庫調整には、2 重計量単位による許容度チェックは行われません。

価格計量単位を使った検索順序の設定

[品目計量単位の換算] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目計量単位換算 - 品目計量単位換算の処理

品目計量単位換算の処理

品目計量単位の換算

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) 前へ 次へ ツール(T)

品目番号

1001

Bike Rack - Trunk Mount

基本計量単位

EA

計量単位構造の表示

レコード 1 - 7

グリッドのカスタマイズ

		換算元 計量単位	=	数量	換算先 計量単位	構造 コード	受注オーダ からの除外	購買オーダ からの除外	受注 単位順序	調達 単位順序
<input checked="" type="radio"/>	1	BX	=	5.0000000	EA				0	0
<input type="radio"/>	1	EA	=	2.2500000	FC				0	0
<input type="radio"/>	1	EA	=	2.0000000	GA				0	0
<input type="radio"/>	1	EA	=	5.0000000	LB				0	0
<input type="radio"/>	1	LB	=	0.4536000	KG				0	0
<input type="radio"/>	1	LB	=	16.0000000	OZ				0	0
<input type="radio"/>										

[品目計量単位の換算] フォーム

注: このフィールドでは 8 つのレベルまで指定できます。

- [受注単位順序]

基本価格と調整の検索に使用する計量単位の開始レベルを示すコードを入力します。このコードでは、計量単位の検索順序も指定します。販売価格コードの小さい順に計量単位が検索されます。
- [調達単位順序]

購買価格と調整の検索に使用する計量単位の開始レベルを示すコードを入力します。このコードでは、計量単位の検索順序も指定します。購買価格コードの小さい順に計量単位が検索されます。

所要量計画、リードタイム、生産設計、品目等級および濃度、Demand Flow®の情報の入力

[追加システム情報] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目マスター - 追加システム情報

品目マスターの処理 **追加システム情報**

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

品目番号 1001 略式品目 No. 60003 Bike Rack - Trunk Mount

製造データ 等級/濃度 サービス保証 バルク情報 サプライチェーン・プランニング Demand Flow®

発注方針コード	1	都度発注	図面サイズ	
発注方針値			改訂No.	
計画コード	2	MRPで計画	図面No.	
計画枠規則				
計画枠				
凍結枠				
メッセージ表示時間枠				
<input type="checkbox"/> MRPメッセージの非表示				
原価計算数量	1		製造リードタイム数量	
出庫タイプ・コード	1	手作業出庫	標準リードタイム	
整数丸め		丸めなし	製造リードタイム	
入出庫	0	未処理	単位あたりリードタイム	
補充時間			累積リードタイム	
<input type="checkbox"/> 有効な原料			固定変動	F 固定リードタイム
<input type="checkbox"/> かんばん品目			資材状況	

[追加システム情報] フォーム

[製造データ]

[製造データ] タブをクリックします。

[発注方針コード]

所要量計画と調達管理システムの在庫再発注規則を指定するコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- 0: 再発注ポイント (MPS/MRP/DRP による計画なし)
- 1: 都度発注
- 2: 指定発注数量
- 3: 経済発注量 (EOQ)
- 4: 仕入期間
- 5: レート スケジュール品目

注: これらの値はハードコード化されています。

[発注方針値]

発注方針コードと組み合わせて使用される値を入力します。

発注方針コード 2 (指定発注数量) を選択すると、この値は固定された発注数量になります。

発注方針コード 4 (仕入期間) を選択すると、この値はオーダー サイズの決定に使用される正味所要量の日数になります。

発注方針コード 5 (レート スケジュール品目) を選択すると、この値は指定した在庫レベルになります。最終的な引当可能数量が指定した在庫レベルより少ない場合は、比率増加のメッセージが表示されます。最終的な引当可能数量が指定した在庫レベルより少ない場合は、比率減少のメッセージが表示されます。

[計画コード]

基準生産日程計画 (MPS)、資材所要量計画 (MRP)、または流通所要量計画 (DRP) による品目の処理方法を示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- 0: MPS、MRP、DRP による計画なし
- 1: MPS または DRP による計画
- 2: MRP による計画
- 3: MRP による計画 (補足の個別予測を使用)
- 4: MPS による計画 (計画部品表の親品目)
- 5: MPS による計画 (計画部品表の構成部品目)

これらの値はハードコード化されています。

[計画枠規則]

需要予測と実際の顧客需要の使用方法を指定するユーザー定義コード (34/TF) を入力します。このフィールドは、[計画枠] フィールドと組み合わせて使用されます。

以下に例を示します。

S: 時間枠の前には顧客需要を使用し、時間枠の後には予測を使用します。

F: 時間枠の前には予測を使用し、時間枠の後には予測と顧客需要を使用します。

[計画枠] フィールドに「5」を入力し、このフィールドに「S」を入力すると、最初の 5 日間は顧客需要のみで再生成を行い、それ以降は予測データによる再生成が行われます。

有効値は次のとおりです。

- C: 時間枠前は顧客需要、後は予測と顧客需要のうち大きい方
- F: 時間枠前は予測、後は予測と顧客需要
- G: 時間枠前は予測と顧客需要のうち大きい方、後は予測
- S: 時間枠前は顧客需要、後は予測
- 1: 時間枠前はゼロ、後は予測
- 3: 時間枠前はゼロ、後は予測と顧客需要

[計画枠]

予測の使用方法を指定する際に、時間枠規則と組み合わせて使用される日数を入力します。最初の規則が 2 番目の規則に変更された場合は、生成開始日付からの日数を入力します。

たとえば、時間枠規則が S (時間枠以前は顧客需要、時間枠後は予測) で生成開始日付が 2005 年 1 月 3 日、計画時間枠が 3 日間の場合、顧客

需要を使用して 2005 年 1 月 6 日まで計画が作成されます。2005 年 1 月 7 日からは、予測を使用して計画されます。

注: 生成開始日付は自動計算されません。生成開始日付の次の日が 1 日目になります。

製造品目の場合は、作業現場カレンダーの定義に従って作業日数が計算されます。

購買品目の場合は、カレンダー上の日数が計算されます。

[凍結枠]

生成開始日付からの日数を入力します。この期間中はアクション メッセージは表示されません。

たとえば、生成開始日付が 2005 年 1 月 3 日で凍結時間枠が 3 日間の場合、2005 年 1 月 6 日以前の要求日付を持つメッセージは生成されません。

注: 生成開始日付は自動計算されません。生成開始日付の次の日が 1 日目になります。

製造品目の場合は、製造現場カレンダーの定義に従って作業日数が計算されます。

購買品目の場合は、カレンダー上の日数が計算されます。

[メッセージ表示時間枠]

生成開始日付からの日数を入力します。この期間中はメッセージが表示されます。

たとえば、生成開始日付が 2005 年 1 月 1 日で、メッセージ表示枠が 30 日間の場合、日付が 2005 年 1 月 31 日以前のメッセージが表示され、日付が 2005 年 2 月 5 日以降のメッセージは表示されません。ただし、オーダーの計画期間はこの日付を経過しても継続され、約束可能数量の合計に反映されます。

注: 生成開始日付は自動計算されません。生成開始日付の次の日が 1 日目になります。

製造品目の場合は、製造現場カレンダーの定義に従って作業日数が計算されます。

購買品目の場合は、カレンダー上の日数が計算されます。

[MRPメッセージの非表示]

MRP メッセージを非表示にするか、表示するかを指定します。品目が MRP または Demand Flow[®] のどちらとして定義されているかに関係なく、オンまたはオフを指定できます。有効値は次のとおりです。

- オン: MRP メッセージを非表示にします。
- オフ: MRP メッセージを表示します。

[入出庫]

在庫の出庫時に品目を入荷するか、移動および処分プログラムを使用するかを指定します。有効値は次のとおりです。

- 0: 処理は実行されません。
- 1: 在庫の出庫時に品目を入荷します。
- 2: 在庫の出庫時に移動および処分プログラムを実行します。

[補充時間]	<p>消費場所に供給場所から次のかんばんが到着するまでに必要な時間を入力します。</p> <p>この値は製造現場管理システムのかんばんカード処理にのみ使用します。</p>
[製造リードタイム数量]	<p>製造品目のリードタイム レベルを決定する数量を入力します。この数量により、品目の作業工程の各ステップが延長されます。リードタイムレベルを自動的に計算するには、このフィールドに 0 以外の値を入力します。</p>
[標準リードタイム]	<p>製造データの定義に従い、生産プロセスで割り当てられたレベルで品目のリードタイムを表す値を入力します。この値に基づいて、固定リードタイムを使用する作業オーダーの開始日付が計算されます。</p> <p>標準リードタイムは、購買品目と製造品目で異なります。</p> <p>購買品目の場合は、仕入先が購買オーダーを受け取ってから事業所に品目が到着するのに必要なカレンダー日数になります。</p> <p>製造品目の場合は、全ての構成部品が入荷してから品目の製造または組み立てに必要な作業日数になります。</p> <p>標準リードタイムは、このフィールドに手動で入力するか、またはリードタイム積み上げプログラムを使用して計算できます。リードタイム積み上げプログラムで標準リードタイムを計算するには、最初に F4102 テーブルの製造リードタイム数量フィールドに数量を入力します。</p>
[製造リードタイム]	<p>品目を最下位レベルの構成部品から最終組立品に完成させるまでに必要な合計日数を入力します。この値は、全ての製造品目の標準リードタイムの合計に、構成部品の最長の製造リードタイムを加えた値になります。</p> <p>全ての構成部品を購買する場合、製造リードタイムはその品目の標準リードタイムと同じになります。製造リードタイムの計算には、購買品目のリードタイムは含まれません。</p> <p>この値は手動で入力するか、またはリードタイム積み上げプログラムを実行して計算できます。</p>
[単位あたりリードタイム]	<p>作業工程に従い、単位あたりの製造に必要な時間の合計を入力します。この値は時間基準コードに基づきます。</p> <p>この値は手動で入力するか、またはリードタイム積み上げプログラムを実行して計算できます。リードタイム積み上げプログラムを実行すると、この値は上書きされます。</p> <p>このフィールドの値に基づいて、変動リードタイムの使用時に作業オーダーの開始日付が計算されます。</p>
[累積リードタイム]	<p>品目を最下位レベルの構成部品から最終組立品に完成させるまでに必要な合計日数を入力します。製造品目と購買品目では計算が異なります。</p> <p>製造品目では、全ての製造品目の標準リードタイムの合計に、構成部品の最長の製造リードタイムを加えた値になります。</p> <p>購買品目では、品目の標準リードタイムになります。購買品目のリードタイムは、累積リードタイムの計算に組み込まれます。</p> <p>この値は手動で入力するか、またはリードタイム積み上げプログラムを実行して計算できます。</p>
[固定/変動]	<p>固定または変動リードタイムのどちらを使用するかを指定するコードを入力します。</p>

このコードは、[標準リードタイム] または [単位あたりリードタイム] フィールドのいずれかの値と組み合わせて使用します。有効値は次のとおりです。

- F: [標準リードタイム] フィールドの値を使用して作業オーダー開始日付を計算します。
- V: [単位あたりリードタイム] フィールドの値を使用して作業オーダー開始日付を計算します。

[図面サイズ]

生産設計図面サイズを示すコードを入力します。次の例があります。

- A: A サイズの図面
- D: D サイズの図面

[改訂No.]

図面番号のサブセットを入力します。図面に追加の記述を提供し、この品目の参考としてこの設計図面が使用される場合に役に立ちます。

[図面No.]

生産設計図面番号を入力します。部品番号または品目番号と同じにできます。

[等級/濃度]

[等級/濃度] タブをクリックします。

[等級/濃度別価格設定]

在庫評価システムと同じ条件で複数の品目をグループ化するユーザー定義コード (41/05) を入力します。評価方法は、品目またはプール別に設定されます。プールに割り当てられた品目では、そのプールに指定した評価方法 (在庫の抽出と評価) が使用されます。

個別品目ではなくプール内の品目として評価する場合は、有効なユーザー定義コード (41/05) を入力します。

[濃度制御]

品目を濃度で制御するかどうかを示すコードを入力します。

[標準濃度]

品目に通常含まれる有効成分のパーセントを入力します。

[下限濃度]

品目の有効成分の許容濃度 (パーセント) の下限を示す数字を入力します。

許容下限濃度に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。濃度が基準の下限に満たない品目は、販売できません。

[上限濃度]

品目の有効成分の許容濃度 (パーセント) の上限を示す数字を入力します。

許容濃度の上限を超える品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。濃度が基準の上限を超える品目は販売できません。

[等級制御]

品目を等級で制御するかどうかを示すコードを入力します。

[標準等級]

品目の通常の等級を示すユーザー定義コード (40/LG) を入力します。

[下限等級]

品目の許容等級範囲の下限を示すユーザー定義コード (40/LG) を入力します。

許容下限等級に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。等級が基準の下限に満たない品目は販売できません。

[上限等級] 品目の許容等級範囲の上限を示すユーザー定義コード (40/LG) を入力します。

許容上限等級を超える品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。等級が基準の上限を超える品目は販売できません。

[サービス/保証]

[サービス/保証] タブをクリックします。

[原価タイプ] 品目の原価を分類するユーザー定義コード (30/CA) を入力します。以下の値があります。

- A1: 原材料費
- B1: 労務費
- X1: 輸送費
- X2: 交通費

[返品条件] 保証請求と共に部品を返品するかどうかを指定するユーザー定義コード (17/RT) を入力します。

[設備マスター・レコードの作成] 設備マスター更新プログラム (R17024) の実行時に品目の設備レコードを作成するかどうかを指定します。オンにすると、更新時に設備レコードのみが作成されます。

[サプライチェーン・プランニング]

[サプライチェーン・プランニング] タブをクリックします。

[制約フラグ] 品目がサプライチェーン プランニングに含まれるかどうかを指定するユーザー定義コード (42/AC) を入力します。有効値は次のとおりです。

- ブランクまたは 0: サプライチェーン プランニングに含まれます。
- 1: サプライチェーン プランニングに含まれません。

[販売可能品目] 品目が販売可能かどうかを指定します。品目が複数の場合は、販売可能フラグの更新プログラム (R41900) で、このフィールドを更新します。

[Demand Flow[®]]

[Demand Flow[®]] タブをクリックします。

[Demand Flow[®]製品] 品目が Demand Flow[®] の最終品目であるかどうかを指定します。このチェック ボックスをオンにした場合にのみ、品目を混合モデル ファミリに追加できます。

[製品サイクル合計時間] 製品の製造に必要なプロセスの最長工程を対象に計算した作業期間を示す値を入力します。この値は、シナリオ計量単位 (時間、分、秒、その他シナリオで使用される単位) で指定します。

[基本行] 最終品目の主要生産ラインを定義する際に、F30006 テーブルで設定した番号を入力します。作業場の詳細な作業は、ライン内またはセル内で定義できます。

[部品表の展開]

部品表を次の子のレベルまで展開するかどうかを指定します。たとえば、レベル 1 (親レベル) でこのチェック ボックスをオンにすると、レベル 2 (次の子レベル) まで展開されます。レベル 2 でオンにすると、レベル 3 まで展開され、以下同様に展開します。

このチェック ボックスは、品目が Demand Flow[®] の品目で、容量デザインおよび製品同期プログラム (PF30L201) を使用して部品表を展開している場合にのみ適用されます。通常の部品表の展開では、基本製造での展開方法になります。

品目マスター (P4101) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

次の処理オプションでは、計量単位など、システムが使用するデフォルト情報を定義します。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 基本計量単位 | システムが使用する基本計量単位を指定します。この処理オプションをブランクにすると、EA (個) が使用されます。 |
| 2. 重量計量単位 | システムが使用する重量の基本単位を指定します。この処理オプションをブランクにすると、LB (ポンド) が使用されます。 |
| 3. 容量計量単位 | 常温での容量の計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。 |
| 4. テンプレート | P4101 で品目を入力する際に使用可能なテンプレート名を入力します。この名前は太文字と小文字が区別されます。 |

処理

次の処理オプションでは、品目注記テーブルで使用される有効な開始日付と終了日付を指定できます。また、[品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する際に特定のフォームを表示するかどうかを指定できます。

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 注記の開始日付 | F4016 テーブルで使用される有効開始日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。 |
| 2. 注記の終了日付 | F4016 テーブルで使用される有効終了日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、デフォルト世紀の最終日付が使用されます。 |
| 3. カテゴリ コード | [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[カテゴリ・コード] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
ブランク
フォームを表示しません。 |

- フォームを表示します。
- 4. 追加システム情報** [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[追加システム情報] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
- 5. 保管/出荷** [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[保管/出荷] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
- 6. 原価の改訂 (条件付き)** [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[原価の改訂] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
- [原価の改訂] フォームを表示するには、[品目マスターの改訂] フォームの [在庫原価レベル] フィールドを "1" に設定する必要があります。
- 7. 価格の改訂 (条件付き)** [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[基本価格の改訂] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
- 基本価格の改訂フォームを表示するには、[品目マスターの改訂] フォームの [販売価格レベル] フィールドを "1" に設定する必要があります。
- 8. 計量単位の変換 (条件付き)** 情報を追加または変更する場合と、品目レベルで計量単位の換算を行う場合に、[品目計量単位の変換] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
- 9. 事業所品目** [品目マスターの改訂] フォームで情報を追加または変更する場合に、[品目/事業所情報] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
- ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: [品目/事業所情報] フォームを表示して、[品目マスターの改訂] フォームに戻ります。
 - 2: [品目/事業所情報] フォームを表示して、その画面に留まります。
- 10. 添付** [品目マスターの処理] フォームでメディア オブジェクトを選択する場合に、[品目注記の改訂] フォームを表示するかどうか指定します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: 社内添付のみを表示します。
- 1: [品目注記の改訂] フォームのみを表示します。

11. テンプレートの使用

セグメント品目にテンプレートを使用するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: テンプレートを使用しません。
- 1: テンプレートを使用します。

一括更新

この処理オプションでは、第 2 または第 3 の品目番号に対する変更に合わせて、選択したテーブルのレコードを更新できます。

1. 変更の反映

事業所品目レコードの品目番号に変更があった場合に更新するテーブルを指定します。テーブルのリストの作成には、UDC (40/IC) を使用します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: テーブルは更新されません。
- 1: 事業所品目情報の第 2 および第 3 品目番号に変更があるテーブルのみを更新します。
- 2: 選択したテーブルの中で、事業所品目情報の第 2 および第 3 品目番号に変更があるテーブルのみを更新します。

バージョン

次の処理オプションでは、品目マスター プログラムからアクセスするプログラムのバージョンを指定できます。バージョンにより、情報の処理方法や表示方法を制御します。このため、必要に応じて処理オプションを設定する必要があります。

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 在庫状況 (P41202) | 在庫状況プログラム (P41202) に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 2. 事業所品目 (P41026) | 事業所品目プログラム (P41026) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 3. 原価の改訂 (P4105) | 原価の改訂プログラム (P4105) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 4. セグメント品目引当可能数量 (P41206) | セグメント品目の在庫状況プログラム (P41206) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |

インタオペラビリティ

次の処理オプションでは、送信インタオペラビリティ処理を行うかどうか、およびトランザクションを変更する前にレコードを作成するかどうかを指定できます。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. トランザクション タイプ | <p>検索する伝票のタイプを指定します。</p> <p>トランザクション タイプは、請求書や受注オーダーなどのトランザクションの種類を識別するユーザー定義コード (00/TT) です。トランザクション タイプは直接入力するか、または [ユーザー定義コード言語の選択] フォーム</p> |
|------------------------|--|

から選択できます。ここで選択したトランザクション タイプがデフォルトとして使用されます。

この処理オプションを空白にすると、エクスポート処理は実行されません。

2. 変更前/後トランザクションの処理

トランザクションが変更された後にそのレコードを作成するか、または変更前と後の両方でレコードを作成するかを指定します。有効値は次のとおりです。

- 空白: 変更後にレコードを作成します。
- 1: トランザクションの変更前と変更後の両方のレコードを作成します。

事業所情報の入力

このセクションでは、事業所情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 事業所への品目の割り当て
- 品目への基本保管場所の割り当て
- 品目への 2 次保管場所の割り当て
- 品目の基本保管場所の変更
- 販売分類コードの入力
- 購買分類コードの入力
- 倉庫分類コードの入力
- Enter additional branch/plant information for items for Brazil
- 税情報の入力
- 品目の出荷元の検索
- 品目の発注数量の入力
- 事業所製造情報の入力
- 複数の事業所への品目情報の複写
- 事業所品目 (P41026) の処理オプションの設定
- 事業所品目の複写 (P41015) の処理オプションの設定
- Enter imported item information for Argentina

事業所情報について

品目情報は、倉庫ごとに異なる場合があります。たとえば、ある倉庫の品目には課税されても、他の倉庫の品目には課税されない場合があります。また、各品目の適正在庫数量が倉庫によって異なる場合もあります。

品目マスター情報を入力すると、その品目を倉庫や事業所に割り当てることができます。その後で品目情報を事業所ごとに変更できます。また、品目が保管されている事業所内の保管場所も指定できます。

EnterpriseOne の各システムで品目情報を取り込む場合は、品目マスター情報を検索する前に事業所品目情報が検索されます。

1 つの事業所に品目情報を入力するか、または既存の品目情報を複数の事業所にコピーすることができます。

品目情報は、[品目/事業所情報] フォームで入力します。[品目/事業所情報] フォームのフィールドは、ほとんどが [品目マスターの改訂] フォームのフィールドと同じです。デフォルト値は [品目マスターの改訂] の値が使用されます。

保管場所情報の他に、品目処理情報も入力できます。[カテゴリ・コード] などの他のフォームが表示されるように処理オプションで指定すると、情報の追加や変更が可能になります。

事業所に品目情報を入力すると、F4102 テーブルにレコードが作成されます。

品目保管場所

事業所に品目を割り当てると、その品目の保管場所を複数表示できます。事業所ごとに次の情報を割り当てることができます。

- 基本保管場所（必須）
- 2 次保管場所（複数可）

品目を事業所に割り当てると、基本保管場所を入力するための検索画面が表示されます。通常、品目の処理は基本保管場所で行われます。2 次保管場所を指定しない場合は、品目の入庫時に基本保管場所に割り当てられます。

また、事業所情報の入力時に、2 次保管場所を品目に割り当てることもできます。品目の保管場所を基本保管場所以外に指定すると、品目の入庫時に 2 次保管場所が自動的に割り当てられます。

品目に保管場所を入力すると、F41021 テーブルにレコードが自動的に作成されます。基本保管場所を削除するには、最初にその保管場所を 2 次保管場所に変更します。この場合、数量のある保管場所は削除できません。

システム固定情報で保管場所制御を指定すると、[在庫マスター/トランザクション] メニュー (G4111) の [事業所保管場所マスター] メニューで設定した保管場所にのみ品目を割り当てることができます。保管場所制御を指定しない場合は、任意の保管場所に品目を割り当てることができます。

品目と事業所に保管場所を割り当てる他に、各保管場所に複数のロット番号を割り当てることもできます。ロット番号は、保管場所品目情報または品目の入庫時に手動で入力できます。

品目の基本保管場所を変更することもできます。ただし、品目の基本保管場所を変更するときに次のような数量が存在する場合、その数量は新しい基本保管場所へ転送されます。

- バックオーダー数量
- 購買オーダー数量
- 作業オーダー数量
- その他購買数量 1
- ソフト コミット数量

倉庫管理システム (46) でライセンス プレート処理を使用する場合は、事業所レベルで機能を有効にして、品目のライセンス プレート番号または指定した計量単位の品目寸法グループを自動的に作成するかどうかを指定します。

事業所品目分類コード

類似した特徴を持つ品目をグループにまとめて、グループ全体の処理を同時に実行することができます。たとえば、品目をグループ化すると、有用な売上分析情報を作成できます。

分類コードには 4 つのタイプがあります。それぞれのタイプは、次の EnterpriseOne システムと関連付けられています。

- 受注管理
- 調達管理
- 在庫管理
- 倉庫管理
- 輸送管理

(BRA) Additional Branch/Plant Information for Brazil

Information about an item might be different from warehouse to warehouse. For example, taxes might be applicable to an item at one warehouse but not at another. You might also have different quantity requirements for each item, based on the warehouse. After you enter master information for an item, you can assign the item to different warehouses or branch/plants. You can then customize the item information for each branch/plant. You can also specify at which locations in the branch/plant the item is stored.

Every system that retrieves item information searches for the item branch/plant information before using the item master information.

In Brazil, companies can override the Item Master information that they enter for specific lot locations. Companies should maintain these fields:

- Fiscal classification.
- Tax code (IPI or ICMS).
- Whether the item is subject to tax substitution markup.
- Item origin.
- Purchase use.
- Messages to be printed.

To associate the additional information that is required to meet Brazilian reporting requirements with the inventory items that you enter, the country that is specified in the user display preferences must be Brazil (BR). To access the additional information form when you inquire on an existing inventory item, select a record and then select Regional Information from the Row menu. Brazilian information needs to be added only by location if the location is different than that added for the item.

You may also review (but not add) additional information from the Inventory Master – Brazil menu (G76B4111). You can review additional information by choosing Item Branch/Plant – Brazil.

When you enter additional branch/plant information for an item, the system creates a record for the item in the F76412 table.

事業所品目製造情報の入力

品目ごとに、事業所に固有の製造情報を定義できます。

情報のタイプ	説明
所要量計画情報	在庫の減損に関する情報を入力して、置き換える減損分の数量を計画します。

情報のタイプ	説明
リードタイム情報	リードタイム情報を入力して、品目の組み立てまたは製造に要する期間を計算します。
生産設計情報	品目の図面計画についての参照情報を入力します。

工場製造の品目情報は、ほとんどが製造データの品目情報と同じです。製造データで指定した値がデフォルト値として使用されます。

複数事業所への品目情報の複写

品目情報が複数の事業所の品目に該当する場合があります。このような場合は、1 つの事業所に品目情報を入力して、次のどちらかの方法で最大 10 か所の事業所に情報を複写できます。

- 事業所品目の複写プログラム (P41015) で、複写する品目を選択します。
- 事業所品目のバッチ複写プログラム (R41826) で、複写する品目の基準を定義します。

処理時には F41015 テーブルが使用されます。

どちらの方法でも、処理オプションで情報を複写する事業所を指定します。また、原価、価格、計量単位など、複写する追加情報も指定できます。どちらの処理でも、複写完了時に従業員ワーク センターにメッセージが送信されます。

品目情報を複写する場合、品目の基本保管場所は複写されません。この場合は、情報の複写先として設定されているブランクの保管場所が使用されます。

事業所品目の複写プログラムで複写する品目をそれぞれ選択する場合、検索フィールドを最大 4 つまで表示するように処理オプションを設定して、特定の事業所の品目を検索できます。

マトリックス制御品目では、事業所品目のバッチ複写プログラムを使用して、マトリックス親品目の情報を、マトリックスの生成用を選択した全ての子に複写します。マトリックスの子に対して、次のテーブルにレコードが作成されます。

- F4101
- F4102
- F41021
- F4105
- F4106
- F41002

(ARG) Information for Items Imported by Lot for Argentina

Items that are imported by lot must have specific data collected. This data includes customs dispatch date, customs dispatch number, and customs.

With this process, you can attach to an item all the data that must be printed on an invoice as stipulated by current law.

The dispatch date and customs and dispatch information for imported items must be entered so that they appear on the legal invoice.

You use the Inventory system to enter the imported items and their respective lots into the system.

関連項目:

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「許容ロット状況コードの設定」、250ページ

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- Verify that you have selected Brazil (BR) in the user display preferences.
- 輸入品目の輸入先を UDC (41/L9) で設定します。
- 顧客コードを UDC (41/L0) で設定します。
- [品目/事業所情報] フォームの [生産国] フィールドに値を入力します。

参照: 第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「事業所情報の入力」、97ページ

事業所情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所品目の処理]	W41026E	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[事業所品目マスター]	事業所品目を処理します。
[品目/事業所情報]	W41026A	[事業所品目の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	事業所に品目を割り当てます。
[基本保管場所]	W41026B	このフォームは、[品目/事業所情報] フォームで品目を事業所に割り当てると自動的に表示されます。	品目に基本保管場所を割り当てます。
[保管場所品目の処理]	W41024B	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [保管場所の改訂] をクリックします。	品目の基本保管場所を変更します。
[保管場所の改訂]	W41024A	[保管場所品目の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	品目に 2 次保管場所を割り当てます。
[カテゴリ・コード]	W41026G	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [カテゴリ・コード] をクリックします。	販売分類コードを入力します。
[カテゴリ・コード]	W41026G	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [カテゴリ・コード] をクリックします。	購買分類コードを入力します。
[カテゴリ・コード]	W41026G	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [カテゴリ・コード] をクリックします。	在庫および輸送分類コードを入力します。
[カテゴリ・コード]	W41026G	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [カテゴリ・コード] をクリックします。	倉庫分類コードを入力します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
Work With Item Locations	W41024B	Lot Control (G4113), Item/Lot Information Revisions.	Enter additional branch/plant information for items for Brazil.
Item Branch Regional Information – Brazil	W76412BA	Select Regional Info. from the Row menu on the Work With Item Locations form.	Enter additional branch/plant information for items for Brazil.
[品目/事業所情報]	W41026A	[事業所品目の処理] フォームで、[ロー] メニューの [事業所品目情報] をクリックします。	税情報を入力して品目の出荷元を検索します。
[数量]	W41026C	[事業所品目の処理] で、[ロー] メニューの [数量] をクリックします。	品目の発注数量を入力します。
[追加システム情報]	W41026D	[事業所品目の処理] フォームで、[ロー] メニューの [追加システム情報] をクリックします。	事業所製造情報を入力します。
[事業所品目複写の処理]	W41015A	[上級および技術的操作] (G4131)、[品目/事業所のコピー]	複数の事業所に品目情報を複写します。
Work With Imported Data Entry	W76A4108A	Imported Items (G76A41), Imported Items Data Entry.	Enter imported item information for Argentina.
Imported Data Entry	W76A4108B	Select an item in the Detail area on the Work With Imported Data Entry form, and select Select.	Enter imported item information for Argentina.

事業所への品目の割り当て

[品目/事業所情報] フォームにアクセスします。

F41001 テーブルには、入力する事業所のレコードを含める必要があります。

品目への基本保管場所の割り当て

[基本保管場所] フォームにアクセスします。

[保管場所] 品目を入庫する倉庫内の区域を入力します。保管場所フォーマットは事業所別にユーザーが定義します。

[ロット/シリアル] ロットまたはシリアル番号を識別する数字を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。

品目への 2 次保管場所の割り当て

[保管場所の改訂] フォームにアクセスします。

品目に 2 次保管場所を割り当てるには、保管場所とロット/シリアルを入力します。

品目の基本保管場所の変更

[保管場所品目の処理] フォームにアクセスします。

基本保管場所は 2 次保管場所に変更され、選択した保管場所が基本保管場所になります。

販売分類コードの入力

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

購買分類コードの入力

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

在庫および輸送分類コードの入力

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

輸送管理システムでは、[出荷条件コード] フィールドと [商品出荷クラス] フィールドが使用されます。

倉庫分類コードの入力

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

Entering Additional Branch/Plant Information for Items for Brazil

Access the Work With Item Locations form.

This presents the Item Branch Regional Information – Brazil form that you use to enter additional branch /plant information for items for Brazil.

Item Branch Regional Information - Brazil			
<div> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/> <input type="button" value="Tools"/> </div>			
Short Item Number	<input type="text" value="700592"/>		
Item Number	<input type="text" value="760"/>		
Business Unit	<input type="text" value="SP-VENDA"/>		
Location	<input type="text"/>		
Lot / Serial	<input type="text"/>		
Fiscal Class	<input type="text" value="1002003001"/>	Retention of IR	<input type="text" value="0.00"/>
Tax Code	<input type="text" value="01"/> <i>Pay ICMS and IPI</i>	Reduction IR	<input type="text" value="0.00"/>
Purchase Use	<input type="text" value="RES"/> <i>Purchase for Resale</i>	<input type="checkbox"/> INSS Y/N	
Print Message	<input type="text"/>		
ICMS Substitution	<input type="text" value="Y"/> <i>Yes, Use List Price</i>		
Item Origin	<input type="text" value="0"/> <i>Domestic Goods</i>		

Item Branch Regional Information – Brazil form

Branch/Plant

Enter an alphanumeric code that identifies a separate entity within a business for which you want to track costs. For example, a business unit might be a warehouse location, job, project, work center, branch, or plant.

Item Number

Enter a number that the system assigns to an item. It can be in short, long, or third item number format.

Fiscal Class

Enter a code that specifies groups of products, as defined by the local tax authorities. The product groups are based on taxing conventions and other national statistics. The system uses this code to determine the applicable tax rate for a product.

Tax Code

Enter an auxiliary code that you use to combine ICMS and IPI tax characteristics. Values might include:

- 01 Taxed domestic goods (IPI and ICMS).
- 02 Taxed domestic goods (ICMS taxed, IPI tax rate Zero).
- 03 Exempt products.
- 04 Export.
- 05 ICMS deferred, IPI suspended.
- 06 ICMS exempt, IPI taxed.

Purchase Use

Enter a code that identifies the purpose for which the merchandise was purchased. You define purchase use codes in the Purchase Use UDC table (76/PU). When you define purchase use codes, use the special handling code to specify this tax information:

For ICMS tax:

- 0: ICMS tax is nonrecoverable.
- 1: ICMS tax is 100 percent recoverable.

For IPI tax:

- 0: IPI tax is nonrecoverable.
- 1: IPI tax is 50 or 100 percent recoverable, depending on the status of the ship-to and ship-from taxpayer.

Print Message

Enter a user-defined code (40/PM) that you assign to each fiscal print message that appears on the nota fiscal.

ICMS Substitution

Enter a code that specifies whether a client or product is subject to tax substitution. Values are:

- Y: Use list price
- Z: Use net price.
- N: No.

Item Origin

Enter a code that specifies the origin of a product. You must select a hard-coded value from the Item Origin UDC (76/10).

Retention of IR

Enter the percentage of the retention of income tax for a legal entity.

Reduction IR

Enter the percentage of the reduction of the Tax Calculation Base for an individual.

INSS Y/N

Specify whether the item is part of the Retention/Aggregation calculation for INSS. A check mark in the box indicates that the item is part of the calculation.

税情報の入力

[品目/事業所情報] フォームにアクセスします。

[販売時課税対象]

販売時に品目が課税対象になるかどうかを示すコードを入力します。顧客も課税対象である場合にのみ、品目の税額が計算されます。

[購買時課税対象]

購買時に品目が課税対象になるかどうかを示すコードを入力します。仕入先も課税対象である場合にのみ、品目の税額が計算されます。

品目の出荷元の検索

[品目/事業所情報] フォームにアクセスします。

品目について、出荷元と優先仕入先を検索できます。品目の出荷元を検索すると、国や仕入先に基づいて品目を分類できます。この情報は、品目の事業所情報を入力する際に指定します。

[仕入先No.]

住所録レコードを識別するユーザー定義の名前または番号を入力します。この番号は、住所録レコードに関する情報の検索と入力に使用できます。詳細住所や税 ID など、住所番号 (AN8) 以外の値を入力した場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を前に付ける必要があります。詳細住

所番号でレコードを検索すると、住所番号フィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 “4100” (トータル ソリューション) の詳細住所番号を “TOTAL” と設定して、住所録固定情報で詳細住所番号を区別する記号をアスタリスクと定義した場合、このフィールドに “*TOTAL” と入力して検索すると住所番号 4100 が表示されます。

[生産国]

品目の出荷元の国を識別するユーザー定義コード (00/CN) を入力します。この情報は、在庫を出荷元別に定期的に区分する場合に役に立ちます。

品目発注数量の入力

[数量] フォームにアクセスします。

品目の最小/最大発注数量と通常発注数量を指定できます。また、発注時の在庫レベルを指定することもできます。これらの値は、所要量計画システムで使用されます。

[発注数量]

品目の推定発注数量を入力します。この値は、十分な販売実績がなく正確な発注数量を計算できない場合に入力します。

[最大発注数量]

品目の最大発注数量を入力します。この数量は、鮮度や保管容量など、用途とは異なる要素に基づいて設定できます。

[最小発注数量]

品目の最小発注数量を入力します。この数量は、鮮度や保管容量など、用途とは異なる要素に基づいて設定できます。

[発注点]

品目の補充時期の基準となる数量を入力します。通常は、手持数量とオーダー数量の合計が指定数量以下になると、補充が行われます。この数量は、十分な販売実績がある場合は自動的に計算されますが、任意の値を入力することもできます。

[複数オーダー数量]

MPS/MRP での予定オーダー数量の切り上げに使用する倍数を入力します。予定オーダー数量は、このフィールドに入力した値の倍数のうち最も近い値に切り上げられます。

[コンテナ当り個数]

製造処理で使用するコンテナの標準数量を入力します。通常は、作業の繰り返しがある製造環境で使用します。この数量は、出荷に必要なバーコードラベル数の決定とオーダーのリリース数量の修正に使用します。

[安全在庫]

需要の増加に備えて保管する手持在庫の数量を入力します。

事業所製造情報の入力

[追加システム情報] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

事業所品目マスター - 追加システム情報

事業所品目の処理 追加システム情報

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

事業所 10

品目番号 210 Mountain Bike, Red

工場製造 等級および濃度 サービス保証 デモ/製品情報 サプライチェーン・プランニング Demand Flow®

発注方針コード	1 都度発注	原価計算数量	10
発注方針値		出庫タイプ・コード	I 手作業出庫
計画コード	1 MPSまたはDRPで計画	時間基準コード	U 単位レート
計画枠規則	C 顧客需要(受注オーダー)	品目改訂レベル	AA
計画時間枠	15	減損率	
凍結時間枠	10	減損率方式	%
メッセージ表示時間枠	60	標準リードタイム	
段取労務時間		製造リードタイム	
移動待ち時間		累積リードタイム	
<input type="checkbox"/> MRPメッセージの非表示		単位あたりリードタイム	
ECO No.		固定/変動	F
ECO理由		製造リードタイム数量	10
ECO日付			
入出庫	0 未処理	改訂No.	
補充時間		<input type="checkbox"/> 有効な原料	
		<input type="checkbox"/> かんばん品目	

[追加システム情報] フォーム

[減損率]

品目の在庫減損の確定に使用される固定数量またはパーセントを入力します。DRP/MPS/MRPの生成で、計画オーダー数量がこの量だけ増加します。パーセントとなるか固定数量となるかは、減損率方式の指定方法により異なります。

パーセントを入力する場合、5 パーセントは「5.00」、50 パーセントは「50.00」と入力します。

[減損率方式]

入力する減損率がパーセントと固定数量のどちらかを示すかを指定します。有効値は次のとおりです。

- %: オーダーまたは要求数量のパーセント
- F: 数量に加算される固定数量

[入出庫]

在庫の出庫時に品目を入荷するか、移動および処分プログラムを実行するかどうかを示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- 0: 処理は実行されません。
- 1: 在庫の出庫時に品目を入荷します。
- 2: 在庫の出庫時に移動および処分プログラムを実行します。

[補充時間]	消費場所に供給場所から次のかんばんが到着するまでに必要な時間を入力します。 この値は製造現場管理システムのかんばんカード処理にのみ使用します。
[段取労務時間]	この品目の製造に要する標準段取時間数を入力します。この値は作業員数には影響されません。
[移動/待ち時間]	あるオーダーが作業場で待ち状態にあると予想される時間数と作業場間の移動時間数の合計を入力します。 この値は F4102 テーブルに保存されます。この値は、リードタイム積み上げプログラムを使用して計算するか、手動で入力します。リードタイム積み上げプログラムを実行すると、手動で入力した値が一時変更され、計算結果がテーブルに挿入されます。
[時間基準コード]	製品の機械稼働時間または労務時間を表すユーザー定義コード (30/TB) を入力します。時間基準コードは、作業工程の各ステップに対して入力した機械稼働時間または労務時間の時間基準またはレートを指定します。たとえば、1,000 個あたり 25 時間、10,000 個あたり 15 時間などのレートを指定します。時間基準コードは、時間基準コード プログラムで管理します。 原価計算とスケジュール計算には、ユーザー定義コード フォームの記述 2 フィールドの値が使用されます。記述はコードを説明するものですが、計算では使用されません。
[ECO No.]	設計変更オーダーに割り当てられた番号を入力します。
[ECO理由]	設計変更オーダーの理由を識別するユーザー定義コード (40/CR) を入力します。
[ECO日付]	設計変更オーダーの日付を入力します。
[品目改訂レベル]	品目の改訂レベルを入力します。このフィールドに改訂レベルを入力する場合は、品目の作業工程の改訂レベルが同じ品目の部品表の改訂レベルと一致していることを確認します。
[かんばん品目]	品目をかんばん固有品目として識別します。

注: スクロールバーを使用すると、全てのフィールドを検索できます。

複数事業所用の品目情報の複写

[事業所品目複写の処理] フォームにアクセスします。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「倉庫保管場所の設定」、32ページ

事業所品目 (P41026) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

次の処理オプションでは、[品目/事業所情報] フォームで追加または変更する場合に、追加の事業所品目フォームを表示するかどうかを指定します。

1. **カテゴリコード** 情報の追加または変更時に [カテゴリコード] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
2. **数量** 情報の追加または変更時に [数量] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
3. **追加システム情報** 情報の追加または変更時に [追加システム情報] フォームを表示するかどうか指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
4. **品目プロファイルの改訂** 情報の追加または変更時に [品目プロファイルの改訂] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
5. **原価の改訂** 情報の追加または変更時に [原価の改訂] フォームを表示するかどうか指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
6. **価格の改訂** 情報の追加または変更時に [基本価格の改訂] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。
7. **計量単位** 情報を追加/変更するときと、計量単位の換算を事業所レベルで行う場合に、[品目計量単位の換算] フォームを表示するかどうか指定します。有効値は次のとおりです。
 - ブランク: フォームを表示しません。
 - 1: フォームを表示します。

バージョン

次の処理オプションでは、事業所品目プログラムからアクセスするプログラムのバージョンを指定できます。バージョンにより、情報の処理方法や表示方法を制御します。このため、必要に応じて処理オプションを設定する必要があります。

1. 在庫状況集計 (P41202) 在庫状況集計プログラム (P41202) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
2. 保管場所の改訂 (P41024) 保管場所の改訂プログラム (P41024) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

インタオペラビリティ

次の処理オプションでは、送信インタオペラビリティ処理を行うかどうか、およびトランザクションを変更する前にレコードを作成するかどうかを指定できます。

1. トランザクション タイプ 検索する伝票のタイプを指定します。
トランザクション タイプは、請求書や受注オーダーなどのトランザクションの種類を識別するユーザー定義コード (00/TT) です。トランザクション タイプは直接入力するか、またはユーザー定義コードの選択フォームから選択できます。ここで選択したトランザクション タイプがデフォルトとして使用されます。
この処理オプションを空白にすると、エクスポート処理は実行されません。
2. 変更前/後トランザクションの処理 トランザクション レコードをどの時点で作成するかを指定します。有効値は次のとおりです。
 - 空白: 変更後にレコードを作成します。
 - 1: トランザクションの変更前と変更後の両方のレコードを作成します。

事業所品目の複写 (P41015) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト 1

- | | |
|-----------------------|-------|
| 品目の複写先の事業所
を入力します。 | 事業所 1 |
| | 事業所 2 |
| | 事業所 3 |

事業所 4

事業者 5

事業所 6

デフォルト 2

品目の複写先の事業所
を入力します。

事業所 7

事業所 8

事業所 9

事業所 10

処理

複写する各テーブルの横
に「1」を入力します。ブ
ランクにすると、複写は
行われません。

原価元帳 (F4105)

品目基本価格 (F4106)

計量単位換算係数 (F41002)

バルク デポ/製品情報 (F41022)




品目プロフィール (F46010)

品目計量単位定義 (F46011)

事業所品目マスター - サービス/保証 (F41171)

(ARG) Entering Imported Item Information for Argentina

Access the Imported Data Entry form. This form is illustrated below.

Imported Items Data Entry - Imported Data Entry		
OK	Cancel	Tools
		
Lot Number	<input type="text" value="20715"/>	
Item Number	<input type="text" value="9023"/>	BC Memo Lot 2 (F4108)
Branch/Plant	<input type="text" value="30"/>	
Shipment Nbr	<input type="text" value="3422"/>	
Customs Code	<input type="text" value="BA"/>	Buenos Aires
Shipping Date	<input type="text" value="15/06/05"/>	
Origin	<input type="text" value="FR"/>	Francia

Imported Data Entry form

Shipment Nbr	Enter the commodity code number for the item.
Customs Code	Enter one of ten classification codes available primarily for lot purposes.
Shipping Date	Enter the last date that a particular activity occurred. You determine the type of activity that the category represents (for example, inventory completions). This field represents date category 4. You specify the document types that update this category in user-defined codes (40/LD).
Origin	Enter one of ten classification codes available primarily for lot purposes.

(Rapid Start) Entering Item Master and Item/Branch Information

This section discusses:

- How to enter item master and item/branch information.
- Preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101).

Entering Item Master and Item/Branch Information

This table lists the task for entering item master and item/branch information.

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data Selection
Enter item master and item/branch information.	Product Documentation, Work with Item Master	P4101/RIS0001	Parent part is SAMPLE1. Sub-assembly part is SAMPLE2. Purchased parts are SAMPLE3 and SAMPLE4. Branch/Plant is B10.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Item Master Revisions (P4101)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Primary Unit of Measure	blank
2. Weight Unit of Measure	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Volume Unit of Measure	FC
4. Template	blank

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Notes From Date	blank
2. Notes Thru Date	blank
3. Category Codes	1
4. Additional System Information	1
5. Storage/Shipping	1
6. Cost Revisions (Conditional)	1
7. Price Revisions (Conditional)	1
8. Unit Of Measure Conversions (Conditional)	blank
9. Item Branch	1
10. Attachments	blank
11. Use Templates	blank

Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. Workflow (OBSOLETE)	blank
2. Allow Changes (Restart Workflow) (OBSOLETE)	blank
3. Log as History Record (OBSOLETE)	blank

Global Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Transfer Changes	2

Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Item Availability (P41202)	RIS0001
2. Item Branch (P41026)	RIS0001
3. Cost Revisions (P4105)	RIS0002
4. Segmented Item Availability (P41206)	blank

Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

マトリックスと親品目の処理

このセクションでは、マトリックス品目の概要と使用方法、および以下の方法について説明します。

- マトリックス品目 (P4101E) の処理オプションの設定
- マトリックス品目の処理
- マトリックス オーダー入力 (P41902) の処理オプションの設定
- マトリックス オーダー入力の使い方

マトリックスと親品目について

消費者パッケージ商品 (CPG) 業界では、基本的な特性は同じでもさまざまなバリエーションがある製品を取り扱います。たとえば、在庫に瓶詰めの飲料水があるとした場合、顧客の需要は、香料が使用されている製品、水だけを原料とする製品、炭酸を含む製品、ペットボトル入りの製品、ガラス容器入りの製品など、“瓶詰めの飲料水”という属性に含まれるさまざまなバリエーションに向けられます。数量単位に関しても、6 本パック、12 本パック、ケースなど、さまざまな種類が用意され、容器の大きさに関しても同様です。ただし、保管条件、出荷、価格など、基本的な特性は同じです。

テンプレート マスター プログラム (P410014) でセグメントを定義する場合、マトリックスの子を作成する際にセグメントに使用する値と、マトリックスでの子の品目の表示方法を指定できます。

品目マスター プログラム (P4101) の [マトリックス品目の処理] フォームで、作成したテンプレートを指定し、親品目でマトリックスを作成するかどうかを指定して、品目情報を追加します。次に、テンプレートで定義したセグメントごとに値を選択し、親品目の子の属性を選択します。選択した値の組み合わせにより、親品目の全てのバリエーションが識別されます。品目の入力を続行すると、親品目のバリエーションが全て表示されるため、作成した子品目を全て検討して、事業所品目複写 - バッチ選択プログラム (R41826) の実行時に作成対象から除外する子品目を削除できます。

事業所品目の複写プログラムを実行して子品目を作成し、必要に応じて作成済みの親品目で選択した品目の全てのバリエーションにマトリックスを入力します。事業所品目の複写プログラムを実行すると、属性の組み合わせごとに個別の品目を入力する必要はなくなります。処理オプションを設定すると、品目原価と品目価格、および計量単位換算も事業所にコピーできます。

マトリックスの管理プログラム (P41903) では、順序を再編成したり、マトリックスの列見出しを変更できます。また、マトリックスに品目を追加することもできます。このプログラムで指定した情報により、マトリックス品目に対して受注オーダーや購買オーダーを行う場合に、マトリックスがどのように表示されるかが決まります。

参照: 第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「セグメント品目の入力」、80ページ

参照: 第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「複数事業所用の品目情報の複写」、108ページ

マトリックス品目

親品目の全てのバリエーション (子品目) を作成するには、品目マスター プログラム (P4101) で親品目を入力します。親品目の入力方法は、テンプレートを指定して品目をマトリックス制御するかどうかを指定する点を除いて、在庫に品目を入力する場合と同じです。入力した情報に基づいて、各フォームが表示され、親品目の全てのバリエーションを入力できます。

マトリックス品目のオーダー

マトリックス オーダー入力プログラム (P41902) では、マトリックス品目に対して購買オーダーと受注オーダーを作成できます。また、既存の受注オーダーや購買オーダーでマトリックス品目の数量をオーダーすることもできます。受注オーダーまたは購買オーダーを入力する場合は、マトリックス オーダー入力プログラムにアクセスします。このプログラムでは、以下の作業ができます。

- ・ 親品目の可能なバリエーション (子品目) の検討
- ・ 手持数量と引当可能数量の検討 (マトリックス オーダー入力プログラムの処理オプションを設定している場合)
- ・ 選択した子品目の数量のオーダー (オーダー済みの数量が既に存在する場合は、オーダー前に数量の更新が可能)

既存の受注オーダーまたは購買オーダーを処理している場合は、セグメント品目引当可能数量と在庫状況集計も検討できます。この情報により、マトリックス品目にオーダーを入力する前に引当可能数量を検討できます。マトリックス品目に対して受注オーダーまたは購買オーダーを入力すると、選択した子品目のオーダー明細行が自動的に作成されます。

事前設定

このプログラムを使用する前に、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・ 25 文字全てを使用する場合のみ、セグメント区切文字フィールドを設定します。それ以外の場合は、事業所固定情報プログラム (P41001) に自動的に入力されます。
- ・ 事業所品目複写 - バッチ選択プログラム (R41826) のマトリックスのバージョンで、該当する処理オプションを設定して品目原価、品目価格、計量単位換算の情報をコピーします。
- ・ 製品属性を含むテンプレートを作成します。

参照: 第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「セグメント品目のテンプレートの作成」、79ページ

- ・ オーダーの場合は、受注オーダーの入力プログラム (P4210) または購買オーダー プログラム (P4310) で該当の処理オプションを設定します。

マトリックスと親品目の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[マトリックス品目の処理]	W4101EC	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[マトリックス品目マスター]	マトリックス品目を追加または検討します。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[マトリックス品目の処理] で、[追加]をクリックします。	マトリックス品目の品目マスターを作成します。
[品目セグメントの選択]	W410015F	[品目マスターの改訂] で、[OK]をクリックします。	マトリックス品目の品目セグメントを追加または削除します。複数のレコードを追加するには、[ロー]メニューの[複数追加]をクリックします。
[子品目の選択]	W41902A	[品目セグメントの選択] で、[OK]をクリックします。	子品目を改訂します。
[マトリックス見出しの処理]	W41903A	[上級および技術的操作] (G4131)、[マトリックス管理] をクリックします。	マトリックスを検索して選択します。
[マトリックス見出しの保守管理]	W41903B	[マトリックス見出しの処理] でレコードを選択して、[選択]をクリックします。	マトリックスを改訂します。
[マトリックス・オーダー入力]	W41902A	<ul style="list-style-type: none"> • [受注オーダー処理] (G4211)、[受注明細] • [受注オーダー明細の改訂] で、[ロー]メニューの[マトリックス・オーダー]をクリックします。 • [購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダーの入力] • [オーダー明細] で、[ロー]メニューの[マトリックス品オーダー]をクリックします。 	オーダーするマトリックス品目の数量を指定します。
[セグメント品目在庫状況の処理]	W41206A	<ul style="list-style-type: none"> • [在庫照会] (G41112)、[セグメント品目の在庫状況] • [マトリックス品目の処理] フォームで、[ロー]メニューの[セグメント品目の在庫状況]をクリックします。 	セグメント品目在庫状況を照会します。

マトリックス品目 (P4101E) の処理オプションの設定

マトリックス品目プログラムの以下の処理オプションを設定します。

[バージョン]

- [1. 品目マスター (P4101)] このプログラムで実行するバージョンを指定します。空白にすると、ZJDE0001 がデフォルト値として使用されます。
- [2. 品目セグメントの選択 (P410015)] このプログラムで実行するバージョンを指定します。空白にすると、ZJDE0001 がデフォルト値として使用されます。

マトリックス品目の処理

[マトリックス品目の処理] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

マトリックス品目マスター - マトリックス品目の処理

選択(S) 検索(I) 追加(A) 削除(D) 開じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

セグメント1 SS1 R's Seg. Item

テンプレート T1 R's Template

品目

SS1

SS1P

SS1P

SS1P

レコード 1-3

品目No.	記述	記述行2
SS1PKG	R's Seg. Item	R's Seg. Item
SS1PKG BLUE	R's Seg. Item	R's Seg. Item
SS1PKG GREEN	R's Seg. Item	R's Seg. Item

[マトリックス品目の処理] フォーム

グリッド

マトリックス オーダー入力プログラム (P41902) を使用している場合、このフィールドの値はマトリックス品目の定義済み構造を指定します。受注または購買オーダーの入力時に、このフィールドにオーダー金額を入力できます。[マトリックス品目の処理] フォームからマトリックス オーダー入力プログラムにアクセスすると、マトリックス品目で使用可能な品目が表示されます。このフィールドに "1" の値が入力されている場合は、親マトリックス品目で使用可能な品目の組み合わせを示しています。

マトリックス オーダー入力 (P41902) の処理オプションの設定

マトリックス オーダー入力プログラムの以下の処理オプションを設定します。

表示

1. 数量の表示 数量を表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: 手持数量と引当可能数量のいずれも表示しません。
- 1: 手持数量を表示します。
- 2: 引当可能数量を表示します。
- 3: 手持数量と引当可能数量の両方を表示します。

マトリックス オーダー入力の使い方

[マトリックス・オーダー入力] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

受注明細 - マトリックス・オーダー入力

OK(O) 検索(F) キャンセル(L) ツール(T)

テンプレート T1 R's Template 事業所 30

seg1 SS1 制御数量 10.0000

JC * Color *

計量単位 EA

レコード 1 - 6 グリッドのカスタマイズ

	Color	Package	合計数量
<input type="radio"/>			
<input type="radio"/>			
<input type="radio"/>			
<input type="radio"/>	Blue		
<input type="radio"/>	手持数量Blue		
<input checked="" type="radio"/>	引当可能 -Blue		

合計

[マトリックス・オーダー入力] フォーム

品目原価情報の入力

このセクションでは、品目原価情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 品目への原価レベルの割り当て
- 品目への原価方式の割り当て
- 品目原価の入力
- 製造段取原価情報の入力
- 原価の改訂 (P4105) の処理オプションの設定

品目原価情報について

在庫原価をトラッキングするには、品目の原価情報を入力する必要があります。原価情報により以下が決定します。

- 品目に対して全事業所で共通の原価を適用するか、各事業所で異なる原価を適用するか。
- 在庫原価のトラッキングにどの原価計算方式を使用するか。
- 購買オーダーにどの原価計算方式を使用するか。

比例配分された製造段取原価を追加することもできます。

品目に割り当てる原価計算方式ごとに、原価を指定する必要があります。たとえば、品目に対して最終仕入原価計算方式を使用するには、その原価計算方式に初期原価を入力します。最終仕入原価は、品目の原価に応じて、最終入荷日付で更新されます。

在庫原価レコードは、F4105 テーブルに保存されます。

品目の原価レベル

品目に対して全事業所で共通の原価を適用するか、各事業所で異なる原価を適用するかを指定します。原価レベルは、事業所内の保管場所とロットごとに定義することもできます。品目に割り当てる原価レベルにより、ロット、保管場所、事業所、またはマスターのどのレベルで原価を管理するかが決まります。また、品目の原価計算方式を割り当てるための検索方法と品目原価の入力方法も決まります。たとえば、次の情報に基づいて品目を検索できます。

- 品目
- 品目と事業所
- 品目、事業所、保管場所

購買オーダーの入力時に品目原価を取り込むテーブルを指定することもできます。指定する品目の購買価格レベルにより、次のどの原価を使用するかが決まります。

- 品目在庫原価 (F4105 テーブルに保管)
- 品目の仕入先原価 (仕入先の原価が F41061 テーブルに設定されている場合)

品目の原価方式

次の品目原価の確定に使用する原価計算方式を指定します。

- 売上と売上原価
- 購買オーダー

たとえば、品目の売上原価は加重平均原価計算方式を使用して決定し、購買オーダーの品目単位原価は最終仕入原価計算方式に基づいて決定するように設定できます。品目の原価計算方式は、品目マスター情報または事業所品目情報の入力時に設定できます。

事前定義された原価計算方式は 8 種類あります。原価計算方式は、ユーザー定義コードを使用して独自に定義できます。ただし、01 から 19 までの原価計算方式は予約済みです。

入力する品目原価が販売、在庫、購買に割り当てる原価計算方式に基づかない場合は、警告メッセージが表示されます。警告を無視すると、その原価計算方式にはゼロ原価が割り当てられます。

品目原価の設定

原価計算方式ごとに金額を入力して、品目原価を決定します。品目原価を検討する場合は、金額を入力した方式のみが表示されます。

原価計算方式の金額は随時変更できます。たとえば、売上原価のトラッキングに使用する原価計算方式の金額を変更すると、その品目の手持数量に新しい金額が適用されます。また、仕訳が作成され、変更前と変更後の差額が記録されます。

プログラムによっては、原価計算方式の 01 から 08 までの金額が更新されます。たとえば、最終仕入原価と加重平均原価は次のように更新されます。

- 最終仕入原価（原価計算方式 01）では、入荷時の品目の最終原価に基づいて、対話形式で金額が更新されます。
- 加重平均原価（原価計算方式 02）では、トランザクション数量の合計でトランザクション原価の合計を除算した金額が更新されます。在庫タイプ C または R を使用した売上/棚卸資産原価計算方式には、加重平均原価計算方式（02）は使用できません。
- 実績原価（原価計算方式 09）を使用する場合は、使用実績時間および出庫済み部品の実績数量に基づいて、作業オーダーまたはレート スケジュールに組み込まれた製品の原価が計算されます。原価は最新の情報に基づいて更新されます。在庫タイプ C または R を使用した売上/棚卸資産原価計算方式には、実績原価計算方式（09）は使用できません。

また、次の原価も更新されます。

- 入荷確認プログラム（P4312）により最終仕入原価、購買原価、ロット原価が更新されます。
- 伝票突合せプログラム（P4314）により購買原価が更新されます。

追加の原価計算方式を作成する場合は、手作業で金額を更新する必要があります。

品目に適用できなくなった原価計算方式は削除できますが、販売、在庫、または購買原価計算方式を削除しようとすると、警告メッセージが表示されます。この場合、原価計算方式は削除されずに、原価がゼロとして割り当てられます。

品目原価情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの処理]	W4101AE	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター]	品目に原価レベルを割り当てます。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [品目マスターの改訂] をクリックします。	品目に原価レベルを割り当てます。
[品目原価の処理]	W4105B	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [原価の改訂] をクリックします。	品目に原価方式を割り当てます。
[原価の改訂]	W4105A	[品目原価の処理] フォームで、[ロー]メニューの [原価の改訂] をクリックします。	品目に原価方式を割り当てます。
[原価の改訂]	W4105A	[品目原価の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	品目原価を入力します。
[追加システム情報]	W4101C	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [追加システム情報] をクリックします。	製造段取原価情報を入力します。

品目への原価レベルの割り当て

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[在庫原価レベル]

品目の在庫原価を全体的に管理するか、事業所ごとに管理するか、または事業所内のロットや保管場所ごとに管理するかを示すコードを入力します。在庫原価は F4105 テーブルに保存されます。有効値は次のとおりです。

- 1: 品目レベル
- 2: 品目/事業所レベル
- 3: 品目/事業所/保管場所レベル

[購買価格レベル]

購買オーダー入力時の品目購買価格の取り込みレベルを指定するコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- 1: F41061 テーブルの仕入先/品目価格を使用します。
- 2: F41061 テーブルの仕入先/品目/事業所価格を使用します。
- 3: F4105 テーブルの在庫原価を使用します。この原価は、品目に指定した在庫原価レベルと購買原価計算方法に基づきます。

最初の 2 つのコードは、調達管理システムで仕入先原価を設定した場合のみ適用可能です。仕入先原価を設定していない場合は、在庫原価がデフォルトとして購買オーダーで使用されます。

品目への原価計算方式の割り当て

[原価の改訂] フォームにアクセスします。

[売上/在庫]

品目の売上原価を計算する際の原価計算方式を示すユーザー定義コード (40/CM) を入力します。01 から 19 までは予約済みです。

原価を品目レベルで管理する場合、デフォルト値はデータ辞書から取得されます。原価を品目および事業所レベルで管理する場合、デフォルト値は事業所固定情報から取得されます。

[購買]

購買オーダーの品目原価を決定する際に使用する原価方式を示すユーザー定義コード (40/CM) を入力します。01 から 19 までは予約済みです。

原価を品目レベルで管理する場合、デフォルト値はデータ辞書から取得されます。原価を品目および事業所レベルで管理する場合、デフォルト値は事業所固定情報から取得されます。

品目原価の入力

[原価の改訂] フォームにアクセスします。

[原価方式]

品目原価を計算する際の基準を指定するユーザー定義コード (40/CM) を入力します。01 から 19 までは予約済みです。

製造段取原価情報の入力

[追加システム情報] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目マスター - 追加システム情報

品目マスターの処理 **追加システム情報**

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

品目番号 1001 略式品目 No. 60003 Bike Rack - Trunk Mount

製造データ 等級/濃度 サービス保証 バルク情報 サプライチェーン・プランニング Demand Flow®

発注方針コード	1	都度発注	図面サイズ	
発注方針値			改訂No.	
計画コード	2	MRPで計画	図面No.	
計画枠規則				
計画枠				
凍結枠				
メッセージ表示時間枠				
<input type="checkbox"/> MRPメッセージの非表示				
原価計算数量	1		製造リードタイム数量	
出庫タイプ・コード	1	手作業出庫	標準リードタイム	
整数丸め		丸めなし	製造リードタイム	
入出庫	0	未処理	単位あたりリードタイム	
補充時間			累積リードタイム	
<input type="checkbox"/> 有効な原料			固定変動	F 固定リードタイム
<input type="checkbox"/> かんばん品目			資材状況	

[追加システム情報] フォーム

EnterpriseOne 製造管理システムでは、生産計画上の品目数量に基づいて品目の段取原価を比例配分できます。

[原価計算数量] 段取原価の配賦を決定するときに原価の積み上げプログラムで使用する数量を入力します。段取原価の合計をこの数量で除算して数量 1 つあたりの段取費用を計算します。デフォルトは 1 です。

原価の改訂 (P4105) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

標準原価

標準原価を変更しない場合は「1」を入力します。

インタオペラビリティ

トランザクション タイプ

インタオペラビリティトランザクションのトランザクション タイプを入力します。ブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

任意勘定科目設定

1. 任意勘定科目設定

任意勘定科目を設定します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: 任意勘定科目を有効にしません。
- 1: 任意勘定科目を有効にします。

販売価格情報の入力

このセクションでは、販売価格情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 品目への価格レベルと価格リスト グループの割り当て
- 品目価格の入力

販売価格情報について

在庫管理システムと受注管理システムを使用する場合、各品目の販売価格情報を入力する必要があります。販売価格は、品目の販売に使用する各種の計量単位や通貨で個別に設定できます。また、販売価格の有効日付も指定できます。

品目に対して全事業所で共通の販売価格を適用するか、各事業所で異なる販売価格を適用するかを指定します。価格レベルは、事業所内の保管場所とロットごとに定義することもできます。品目に割り当てる販売価格レベルにより、価格をどのレベルで管理するかが決まります。また、その価格方式を割り当てる品目の検索方法と価格の入力方法を決定します。たとえば、次の情報に基づいて品目を検索できます。

- 品目
- 品目と事業所
- 品目、事業所、保管場所

価格を入力した後に価格レベルを変更するには、販売価格レベルの換算を使用します。

また、キット品目に対する販売価格の計算方法を指定することもできます。キット品目を構成する全ての構成部品価格を自動集計したり、キット品全体に対して 1 つの価格を使用したりできます。

販売価格情報の入力時に、品目の管理を全体的に行うか事業所ごとに行うかを指定できます。また、特性が類似した品目を、受注管理システムから値引や割増が適用される価格グループに割り当てることもできます。価格グループは [品目マスターの改訂] フォームまたは [品目/事業所情報] フォームで割り当てることができます。

販売価格を入力する場合は、計量単位、通貨、価格が適用される有効日付に基づいて金額を入力します。また、多通貨を使用する価格については通貨コードを入力できます。販売価格は F4106 テーブルに保存されます。

関連項目:

第 8 章、「キットの使い方」、「部品表の入力」、233ページ

販売価格情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの処理]	W4101AE	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター]	品目マスターを処理します。
[品目マスターの改訂]	W4101A	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [品目マスターの改訂] をクリックします。	品目に価格レベルと価格リストグループを割り当てます。
[優先基本価格の処理]	W4106J	[品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューの [価格の改訂] をクリックします。	品目価格を入力します。
[優先階層の選択]	W40073F	[優先基本価格の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	品目価格を入力します。
[基本価格の改訂]	W4106K	[優先階層の選択] フォームで品目と顧客グループを選択して、[選択] をクリックします。	品目価格を入力します。

品目への価格レベルと価格リストグループの割り当て

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[販売価格レベル]

標準販売価格を管理するレベル（品目レベル、事業所レベルで異なる販売価格、または事業所の各保管場所とロットレベルで異なる販売価格）を示すコードを入力します。販売価格は F4106 テーブルに保存されます。有効値は次のとおりです。

- 1: 品目レベル
- 2: 品目/事業所レベル
- 3: 品目/事業所/保管場所レベル

[キット/コンフィギュレータ価格設定方法]

キット品目や構成品の価格計算方法を決定するコードを入力します。有効値は次のとおりです。

- ブランク: キット品目でも構成品目でもない場合に使用します。
- 1: 構成価格調整を使用して構成品の基準価格を累計し、その合計に値引を適用します。
- 2: 構成価格調整を使用して親品目の基準価格を累計し、その合計に値引を適用します。
- 3: 構成価格調整を使用して累計を行い、その合計に値引を適用します。

- 4: 構成価格調整を使用して、個別に値引された構成品の価格を累計します。

注: 構成価格調整は、構成品目の計算にのみ適用されます。価格管理システムを使用する場合は、原価値引のみが適用されます。

以下に、それぞれの計算方法の例を示します。

親品目: 125

構成品 A: 50

構成品 B: 100

コンフィギュレーション原価調整 1: 15

コンフィギュレーション原価調整 2: 10

上級価格設定による値引: 10 パーセント

計算方法:

1: $50 + 100 = 150$ 、 $150 + 15 + 10 = 175$ 、 $175 - 17.50 = 157.5$

2: $125 + 15 + 10 = 150$ 、 $150 - 15 = 135$

3: $15 + 10 + 25 - 2.5 = 22.5$

4: $(50 - 5) + (100 - 10) = 135$ 、 $135 + 15 + 10 = 160$

[追加情報]

[追加情報] をクリックします。

[品目価格グループ]

品目の在庫価格グループを識別するユーザー定義コード (40/PI) を入力します。

在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この値引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。

受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

[バスケット価格再設定グループ]

品目の価格グループを識別するユーザー定義コード (40/PI) を入力します。

バスケット価格再設定グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。値引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。オーダー/バスケット価格再設定プログラムを実行すると、共通のバスケット価格再設定グループに属する受注品目が識別され、該当する値引または割増が各品目の価格に適用されます。

[オーダー価格再設定グループ]

品目の価格グループを識別するユーザー定義コード (40/PI) を入力します。

オーダー価格再設定グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。値引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。標準のオーダー/バスケット価格再設定処理を実行すると、

共通のオーダー価格再設定グループに属するオーダー品目が識別され、オーダーの値引を一律金額として反映して新しい明細行が表示されます。

品目価格の入力

[基本価格の改訂] フォームにアクセスします。

[単価]	この品目 1 単位に対して請求される表示価格または基本価格を入力します。受注オーダーを入力する際は、全ての価格を F4106 テーブルに設定します。
[返品価格]	受注管理システムで使用する返品価格を入力します。返品オーダーを入力するには、F40205 テーブルで符号反転フラグ (RSGN) を “Y” に設定した行タイプを使用します。返品価格は全て F4106 テーブルに保存されます。
[金額]	係数値をオーダー価格に適用する場合に金額 (A) を使用する場合に選択します。
[パーセント]	係数値をオーダー価格に適用する場合に乗数 (%) を使用する場合に選択します。

第 4 章

在庫トランザクションの使い方

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、在庫トランザクションの概要と以下の内容について説明します。

- 在庫出庫
- (Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Issue inventory for customer credit with return
- 在庫調整
- 在庫移動
- (Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Transfer inventory for customer credit with return

在庫トランザクションについて

在庫の最新情報の管理には、複雑な記録と会計処理が伴います。これらの情報を管理するため、事業所間と保管場所間の在庫の移動を記録する必要があります。出庫トランザクションを使用すると、損傷品や廃品を在庫から除去することができます。場合によっては、損傷品や差異に対する調整が必要になります。この場合、移動トランザクションを使用して、ある事業所から他の事業所に在庫を移動することもできます。在庫を移動すると、品目の残数が調整され、そのトランザクションの仕訳が正しく作成されます。

在庫移動には、以下のプログラムを使用します。

- 在庫出庫 (P4112)
- 在庫調整 (P4114)
- 在庫移動 (P4113)

在庫を出庫する場合は、その在庫を保管場所から除去します。在庫を調整する場合は、通常 1 つの保管場所から他の保管場所に移動して、保管場所に記録されている品目数量と実際の数量の差異を調整します。また、品目に損傷がある場合に、保管場所の在庫を調整することもあります。在庫移動を行うと、他の保管場所へ在庫が移動します。

トランザクション情報の入力方法は、品目と特定のビジネス環境によって異なります。数量または原価、あるいは両方の情報を入力することにより、品目を出庫、調整、移動できます。原価別にトランザクションを入力すると、事業所によってさまざまな原価計算方式が使用されることによる差異に対処できます。

各トランザクションは F4111 テーブルに記録され、以下のテーブルの情報が更新されます。

- F4102
- F41021
- F0911
- F4108

事業所固定情報で総勘定元帳インターフェイスを設定すると、全てのトランザクションが勘定科目情報に反映されます。総勘定元帳は AAI（自動仕訳）により、トランザクションに関連する勘定科目情報を基に全て更新されます。AAI は、在庫トランザクションを総勘定元帳の特定の勘定科目に振り分けます。

トランザクションの処理中に以下のプログラムを使用して、更新された勘定科目情報を確認できます。

プログラム	説明
仕訳の検討 (P0911B)	2つのレベルで情報を提供します。 集計または詳細バッチレベル。集計レベルでは、ユーザー、状況、番号、および入力日付別にバッチ情報が表示されます。詳細レベルでは、伝票のトランザクションタイプなどの仕訳別にバッチ情報が表示されます。 伝票レベル。伝票レベルでは、更新済み勘定科目や勘定残高への転記金額などの各仕訳情報が表示されます。
仕訳入力 (P0911)	転記前にトランザクションが書き込まれる勘定科目を表示します。
品目元帳照会 (P4111)	品目に関するトランザクションを全て表示します。

関連項目:

[第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「流通システムの AAI 設定」、37ページ](#)

在庫出庫

このセクションでは、在庫出庫の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 在庫の出庫
- 在庫出庫 (P4112) の処理オプションの設定

在庫について

通常、在庫の出庫には事業所または保管場所からの品目の移動、在庫残高の調整、および総勘定元帳へのトランザクションの記録などの作業があります。場合によっては、原価のみを在庫の記録上削除することもあります。これは、品目の原価を下げるために行います。

出庫には、次のようにさまざまな処理が関連付けられています。

- 社内の部門による在庫品の使用を記録する。
- 旧品目または破損品を除去する。
- 作業に対して在庫を出庫する。
- 修理や設備の保守管理に使用される在庫品の費用を請求する。
- 出庫用の部品表をコピーする。

在庫を出庫するには、トランザクション、品目、および勘定科目情報を入力する必要があります。また、品目が保管されている各事業所の出庫関連情報を入力できます。

トランザクションを入力すると、伝票タイプやバッチ番号、伝票番号が表示されます。後でトランザクションを検索できるように伝票番号を記録してください。

関連する処理オプションを設定して、異なるタイプの出庫を記録またはトラッキングするためのオンラインフォーマットを以下から選択できます。

フォーマット	説明
標準フォーマット	事業所から在庫を出庫します。
設備フォーマット	特定の設備に出庫された在庫を記録します。
補助元帳フォーマット	出庫について、借方の特定の勘定科目に記録します。
設備および補助元帳フォーマット	作業に対して出庫された特定の設備を記録し、出庫について借方の特定の勘定科目に記録します。

キット品を処理する場合には、[出庫在庫] フォームから [部品表のコピー] にアクセスして、全てのキット構成部品を一度に出庫できます。この機能により、親品目の数量に影響を与えずに構成部品を出庫できます。この機能を使用しない場合は、親品目の数量に影響することがありますが、構成部品数量はそのまま変更されません。ただし、フィーチャー品のあるキット品目について対しては出庫を入力しないでください。

特定の処理オプションを設定すると、キット品の親品目について手持数量を超過する数量も出庫できます。この場合、親品目数量はマイナスの数値で表示されます。

誤って実行された出庫は、逆仕訳を作成して修正できます。各在庫トランザクションのレコードは、会計処理用に保管されているため削除できません。逆仕訳により、プラスの数量と原価が品目情報に入力されます。

事前設定

このセクションのタスクを実行する前に、以下の情報が設定されていることを確認してください。

- F4102 テーブルと F41021 テーブルに品目と事業所情報が設定されている。
- F0901 テーブルに総勘定元帳勘定が設定されている。
- 流通トランザクションの AAI が設定されている。
- 補助元帳情報が参照できるように処理オプションが設定されている。

在庫出庫に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[出庫在庫]	W4112A	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[在庫出庫] [出庫処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	在庫を出庫します。
[勘定科目情報]	W4112C	[出庫在庫] フォームで、[フォーム] メニューの [補助元帳情報] をクリックします。 ゼロの単位原価を使用するには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価] をクリックします。 ゼロ原価を無効にするには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価の取消し] をクリックします。	トランザクションが処理され、トランザクションの伝票番号や伝票タイプ、バッチ番号が表示されます。 ゼロの単位原価の場合は、[単位原価] フィールドがゼロに変更され、[合計金額] フィールドがブランクになります。これらのフィールドは入力できません。 カーソルを次の行に移動すると、[単位原価] フィールドと [合計金額] フィールドに、F4105 テーブルからデフォルト値が入力されます。

在庫出庫

[出庫在庫] フォームにアクセスします。

[2次計量単位数量] 在庫固定情報で 2 次計量単位のオプションを選択した場合、このフィールドがデータ入力画面に表示されます。

[2次単位] その品目の代替用の計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

[勘定科目コード] 総勘定元帳の勘定科目を指定する値を入力します。勘定科目コードの入力には、以下のフォーマットのいずれかを使用します。

標準勘定科目コード (ビジネスユニット.主科目.補助科目または自由形式)

第 3 勘定科目コード (最大 25 桁の数字)

略式 ID。8 桁の数字です。

スピードコード (AAI 項目 SP に付ける 2 文字のコード)。勘定科目の代わりにこのコードを入力できます。

最初の文字は勘定科目コードの形式を示します。一般会計固定情報で勘定科目のフォーマットを定義します。

[補助元帳] 総勘定元帳の勘定科目を細分化して補助的に使用する科目を識別するコードを入力します。設備品目番号や住所番号も補助元帳として使用できます。補助元帳を入力する場合は、同時に補助元帳タイプも指定してください。

[タイプ] [補助元帳] フィールドで使用するユーザー定義コード (00/ST) を入力します。このコードでは、補助元帳タイプと補助元帳編集の実行方法を指定し

ます。[ユーザー定義コード] フォームでは、記述の 2 行目により編集方法が制御されます。このコードはハードコードされている場合も、ユーザー定義の場合もあります。以下の値があります。

A

英数字（照合しない）

N

数字フィールド（右に揃え、ゼロで埋める）

C

英数字フィールド（右に揃え、ブランクで埋める）

[フェーズ]

作業オーダー作成の現在の段階を示すユーザー定義コード (00/W1) を入力します。作業オーダーは、一度に 1 つのフェーズ コードに割り当てることが出来ます。

注: フォームによっては、このフィールドのデフォルト値を入力可能にする処理オプションが含まれます。この処理オプションを設定したフォームでデフォルト値を入力すると、作成した作業オーダーの該当フィールドに値が表示されます。値は、[プロジェクトの設定] フォームにも表示されます。デフォルト値を使用するか、デフォルト値を上書きできます。

在庫出庫 (P4112) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成します。

デフォルト

この処理オプションでは、トランザクションに他の値が入力されていない場合に、在庫出庫プログラム (P4112) で使用する伝票タイプと保管場所/ロットを指定します。この処理オプションをブランクにすると、トランザクションの入力時にデフォルト値は入力されません。

1. 伝票タイプ

出庫処理で実行する在庫出庫プログラム (P4112) でデフォルトとして使用する伝票タイプを指定します。通常、デフォルトの伝票タイプは II (在庫出庫) です。伝票タイプは直接入力するか、または [ユーザー定義コード言語の選択] フォームから選択します。

ブランクにすると、[伝票タイプ] フィールドにデフォルト値は入力されません。

2. 保管場所/ロット

出庫処理で保管場所とロットのフィールドにデフォルト値を自動入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト値を自動入力しない。

1

基本保管場所とロットをデフォルトとして自動入力する。

注: 基本保管場所をデフォルトとして使用できるのは、全ての 2 次保管場所に物理的な保管場所（通路や棚番など）がある場合のみです。2 次保管場所に空白の保管場所とロットが 1 つでも存在する場合は、基本保管場所をデフォルトとして使用することはできません。

バージョン

この処理オプションでは、[出庫在庫] フォームに関連する [ロー] メニューまたは [フォーム] メニューを選択する場合に使用されるバージョンを指定します。仕訳入力プログラム (P0911)、品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111)、手作業補充プログラム (P46100) のバージョンを指定できます。空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンごとにプログラムの情報の表示方法が異なります。このため、個々のバージョンに応じて処理オプションを設定する必要があります。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 仕訳入力 (P0911) | [出庫処理] フォームの [ロー] メニューまたは [出庫在庫] フォームの [フォーム] メニューから仕訳入力プログラム (P0911) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。

空白にすると、ZJDE0001 バージョンが使用され、仕訳入力プログラムでの情報の表示方法が決まります。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。 |
| 2. 品目元帳 (P4111) | [出庫処理] フォームの [ロー] メニューまたは [出庫在庫] フォームの [フォーム] メニューから品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。 |
| 3. 倉庫要求 (P46100) | [出庫在庫] フォームの [フォーム] メニューから手作業補充プログラム (P46100) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。 |

処理

この処理オプションでは、在庫出庫プログラムで実行する処理を指定します。

- 標準出庫のフィールドを表示するか、設備情報または補助元帳情報、あるいはその両方を表示する。
- 補助元帳情報が表示されている場合に勘定科目コードを入力するように要求する。
- [出庫在庫] フォームに [原価] フィールドを表示して変更を可能にする。
- 出庫時に各行の仕訳を作成するか、または勘定科目コード別に集計された仕訳を作成する。
- マイナスの手持数量になる出庫を許可する。
- 保留中のロットの出庫を許可する。
- F4115 テーブルを更新する。

在庫出庫プログラム (P4112) の処理オプションの [処理] タブでは、[出庫タイプ] に入力する値によって、[勘定科目コード] で勘定科目コードを必須とするかどうかが決まります。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 出庫タイプ | [出庫在庫] フォームのグリッドに、設備と補助元帳情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|-----------------|--|

1

グリッドに [設備] フィールドを表示し、[勘定科目コード] フィールド、[補助元帳] フィールド、および [補助タイプ] フィールドを非表示にする。[フォーム] メニューから [補助元帳情報] を選択すると、[勘定科目情報] フォームに [設備] フィールドは表示されますが、勘定科目コードと補助元帳情報のフィールドは表示されません。

2

グリッドに [勘定科目コード] フィールド、[補助元帳] フィールド、および [補助タイプ] フィールドを表示し、[設備] フィールドを非表示にする。[フォーム] メニューから [補助元帳情報] を選択すると、[勘定科目情報] フォームに勘定科目コードと補助元帳情報のフィールドは表示されますが、[設備] フィールドは表示されません。

3

グリッドに [設備] フィールド、[勘定科目コード] フィールド、[補助元帳] フィールド、および [補助タイプ] フィールドを表示する。

[フォーム] メニューから [補助元帳情報] を選択すると、[勘定科目情報] フォームに、設備、勘定科目コード、補助元帳情報の各フィールドが表示されます。

ブランク

設備と補助元帳情報のフィールドがない標準の出庫フォーマットで表示する。在庫出庫プログラムの [フォーム] メニューの [補助元帳情報] は使用不可になります。

注: この処理オプションで “2” または “3” を指定すると、在庫出庫プログラム (P4112) の [処理] タブにある [勘定科目コード] 処理オプションを設定して、[勘定科目コード] フィールドの入力を必須にできます。

2. 勘定科目コード

[出庫在庫] フォームのグリッドで勘定科目コード (たとえば、ビジネスユニット.主科目.補助科目) の入力を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

在庫のデフォルト AAI 項目 4124 の経費勘定を使用するトランザクションを許可する。

1

グリッドの [勘定科目コード] フィールドの入力を必須にする。このフィールドは、在庫出庫プログラム (P4112) の [処理] タブにある [出庫タイプ] 処理オプションで “2” または “3” を指定した場合にのみ使用できます。

3. 原価入力

[出庫在庫] フォームで、[単位原価] と [合計金額] フィールドを表示するか、および更新を不可にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

表示する。

1

F4105 テーブルのデフォルト値をこれらのフィールドに表示するが、更新不可にする。

2

このフィールドを表示しない。

4. 仕訳入力

総勘定元帳の在庫出庫から明細仕訳と集計仕訳のどちらを作成するかを指定します。

在庫出庫から明細仕訳を作成する場合、バッチ タイプ N を使用して出庫の明細行ごとに 1 つの仕訳（借方/貸方）が作成されます。この処理オプションは F0911 テーブルの仕訳のみに影響します。通常、使用される AAI は 4122（在庫）と 4124（経費/売上原価）です。標準原価を使用すると、AAI 項目 4141（在庫または経費/売上原価）に基づいて差異の仕訳が作成されることがあります。F4111 テーブルには、この処理オプションの値に関係なく、各出庫の明細行ごとに情報が保存されます。

在庫出庫から勘定科目コード別に集計した仕訳を作成する場合は、出庫の全ての行で、勘定科目コード別の集計仕訳合計が借方と貸方のそれぞれに作成されます。

有効値は以下のとおりです。

ブランク

出庫の明細行ごとに 1 つの仕訳を作成する。

1

勘定科目コード別に集計した仕訳を作成する。

5. 出庫数量

引当可能数量を超える出庫数量を許可するかどうかを指定します。これを許可すると、手持数量がマイナスになる場合があります。

注: マイナスの手持数量を許可すると、加重平均原価は使用できなくなります。

有効値は以下のとおりです。

ブランク

マイナスの手持数量になる出庫数量を許可しない。

1

マイナスの手持数量になる出庫数量を許可する。

6. 保留ロット

保留中のロットの出庫を許可するかどうかを指定します。[品目/事業所情報] フォームの [ロット状況コード] フィールドがブランクの場合、そのロットは保留されていません。有効値は以下のとおりです。

ブランク

保留中のロットの出庫を許可しない。

1

保留中のロットの出庫を許可する。

7. 検証する許可済みロット 状況グループの入力

ロット状況が許可済みで保留中の品目を処理するロット グループを指定します。

8. 品目販売実績

受注管理システムを使用せずに在庫管理システムを使用している場合に F4115 テーブルを更新します。たとえば、委託倉庫を扱う場合に在庫出庫プログラムを使用して在庫を減らすことがあります。この場合、[在庫照会]

メニュー (G41112) からアクセスできる購買担当者用情報で出庫の履歴情報を確認できます。

受注管理システムを使用している場合は、売上更新処理の受注トランザクションの結果として品目履歴テーブルが更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク

フィールドを更新しない。

1

品目履歴テーブルの品目番号、事業所、会計年度、会計期間のフィールドを出庫トランザクションの情報で更新する。

インタオペラビリティ

この処理オプションでは、在庫出庫で送信インタオペラビリティトランザクションが作成されるかどうか、およびその場合に使用するトランザクション タイプを指定します。

トランザクション タイプ

送信インタオペラビリティトランザクションを作成する場合に使用するトランザクション タイプを定義します。このトランザクション タイプはユーザー定義コード (00/TT) です。この処理オプションをブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Issuing Inventory for Customer Credit With Return

This section discusses:

- How to issue inventory for customer credit with return.
- Preconfigured processing options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Simple Inventory Issues (P4112).

Issuing Inventory for Customer Credit With Return

This table lists tasks for issuing inventory for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Issue inventory for customer credit with return.	Inventory Transactions, Inventory Issue	P4112/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> Document Type: CO = Sales Order, II = Inventory Issue and IT = Inventory Transfer Line Type: C = Credit Stock Item Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type C. Hold Code: XX = Administrative Hold AAIs: AAIs are provided for inventory issues and transfers using document types II and IT. Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. 	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Simple Inventory Issues (P4112)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Document Type A specific document type	II
2. Location/Lot	1

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Exit Versions A specific version	blank
1. Journal Entries (P0911)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
2. Item Ledger (P4111)	RIS0001
3. Warehouse Request (P46100)	blank

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Issue Type	2
2. Account Number	1
3. Cost Entry	blank
4. Journal Entries	1
5. Issue Quantity	1
6. Lots on Hold	blank
Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank
7. Item Sales History	blank

Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type A specific transaction type	blank

Agreement

Processing Option Description	Value or Status
1. Agreement Assignment (FUTURE)	blank

関連項目:

第 4 章、「在庫トランザクションの使い方」、「在庫出庫 (P4112) の処理オプションの設定」、131 ページ

在庫調整

このセクションでは、在庫調整の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 在庫の調整
- 在庫調整 (P4114) の処理オプションの設定

在庫調整について

在庫調整を入力すると、実地棚卸を実施せずに事業所内の手持数量と在庫品目の原価を増減させることができます。たとえば、ある保管場所について記録上の品目数量と実際の数量に相違がある場合、在庫を調整できます。

ロット処理を使用している場合は、調整を実行して在庫にロットを加えたり、保留を指示したり、または有効日付や有効期限を上書きできます。キット品目を処理している場合は、各構成品に調整を入力してキット全体を在庫に追加します。在庫調整プログラム (P4114) では、親品目への調整を入力できます。ただし、構成品の数量情報は更新されません。

事業所でライセンス プレート機能を有効にしている場合は、[倉庫] タブの処理オプションとライセンス プレーットの事業所固定情報を使用して、在庫を保管場所に追加するためのライセンス プレート情報を処理します。

在庫を調整するには、トランザクション、品目、およびロット情報を入力する必要があります。調整情報は、品目が保管されている事業所ごとに入力できます。トランザクションを入力すると、伝票タイプ、バッチ番号、伝票番号が表示されます。後でトランザクションを検索できるように伝票番号を記録してください。

誤って実行された調整は、逆仕訳を入力して修正できます。各在庫トランザクションのレコードは、会計処理用に保管されているため削除できません。逆仕訳により、マイナスの数量と原価が品目情報に入力されます。

処理オプションを設定すると、デフォルト値を自動入力したり、原価とロット情報を表示することができます。表示されるロット情報は、[システム固定情報] フォームの重複ロット処理の設定によって決まります。

事前設定

このセクションのタスクを実行する前に、以下の情報が設定されていることを確認してください。

- F4102 テーブルと F41021 テーブルに品目と事業所情報が設定されている。
- F0901 テーブルに総勘定元帳の勘定科目が設定されている。
- 流通トランザクションの AAI が設定されている。

在庫調整に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[在庫調整]	W4114A	<p>[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[在庫調整]</p> <p>[在庫調整の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。</p> <p>ゼロの単位原価を使用するには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価] をクリックします。</p> <p>ゼロ原価を無効にするには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価の取消] をクリックします。</p>	<p>在庫を調整します。</p> <p>ゼロの単位原価の場合は、[単位原価] フィールドがゼロに変更され、[合計金額] フィールドがブランクになります。これらのフィールドは入力できません。</p> <p>カーソルを次の行に移動すると、[単位原価] フィールドと [合計金額] フィールドに、F4105 テーブルからデフォルト値が入力されます。</p>

在庫調整

[在庫調整] フォームにアクセスします。

在庫調整 (P4114) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成します。

デフォルト

この処理オプションでは、トランザクションに他の値が入力されていない場合に、在庫調整プログラム (P4114) で使用する伝票タイプと保管場所/ロットを指定します。この処理オプションをブランクにすると、トランザクションの入力時にデフォルト値は入力されません。

1. 伝票タイプ

在庫調整で使用するデフォルトの伝票タイプを指定します。通常、デフォルトの伝票は 1A (在庫調整) です。ブランクにすると、デフォルトの伝票タイプは入力されません。

2. 保管場所/ロット

調整を入力するときのデフォルトの保管場所として基本保管場所を指定します。基本保管場所をデフォルトとして使用できるのは、全ての 2 次保管場所に物理的な保管場所 (通路や棚番など) がある場合のみです。2 次保管場所にブランクの保管場所とロットが 1 つでも存在する場合は、基本保管場所をデフォルトとして使用することはできません。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト値を自動入力しない。

1

基本保管場所とロットをデフォルトとして使用する。

バージョン

この処理オプションでは、[在庫調整] フォームで関連する [ロー] メニューまたは [フォーム] メニューを選択する場合に使用されるバージョンを指定します。仕訳入力プログラム (P0911)、品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111)、手作業補充プログラム (P46100) のバージョンを指定できます。ブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンごとにプログラムの情報の表示方法が異なります。このため、バージョンに応じて処理オプションを設定する必要があります。

1. 仕訳入力 (P0911)

[在庫調整の処理] フォームの [ロー] メニューまたは [在庫調整] フォームの [フォーム] メニューから仕訳入力プログラム (P0911) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。

2. 品目元帳 (P4111)

[在庫調整の処理] フォームの [ロー] メニューまたは [在庫調整] フォームの [フォーム] メニューから品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111)

にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。

3. 倉庫要求 (P46100)

[出庫在庫] フォームの [フォーム] メニューから手作業補充プログラム (P46100) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。

処理

この処理オプションでは、在庫調整プログラムで実行する処理を指定します。

- [在庫調整] フォームに [原価] フィールドを表示して変更を可能にする。
- 調整時に各行の仕訳を作成するか、または勘定科目コード別に集計された仕訳を作成する。
- ロットと階層情報を有効にする。
- マイナスの手持数量になる調整を許可する。
- 保留中のロットの調整を許可する。

1. 原価入力

[在庫調整] フォームで、[単位原価] と [合計金額] フィールドを表示するか、および更新を可能にするかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白

表示する。

1

F4105 テーブルのデフォルト値をこれらのフィールドに表示するが、更新は不可にする。

2

このフィールドを表示しない。

2. 仕訳入力

総勘定元帳に明細仕訳と集計仕訳のどちらを作成するかを指定します。集計仕訳では、在庫調整の各行で、勘定科目コード別に集計仕訳合計が借方と貸方のそれぞれに作成されます。明細仕訳では、在庫調整の明細行ごとに 1 つの仕訳 (借方/貸方) が作成されます。

在庫調整プログラム (P4114) で作成されるバッチ タイプは N です。この処理オプションは F0911 テーブルの仕訳のみに影響します。通常、使用される AAI は 4122 (在庫評価勘定) と 4124 (経費/売上原価勘定) です。標準原価を使用すると、AAI 項目 4141 に基づいて差異仕訳が作成されることがあります。F4111 テーブルには、この処理オプションの値に関係なく、各出庫の明細行ごとに情報が保存されます。有効値は以下のとおりです。

空白

在庫調整の明細行ごとに 1 つの仕訳 (借方/貸方) を作成する。

1

勘定科目コード別に集計した仕訳を作成する。

3. ロット/階層フィールド

ロット情報のフィールドをフォームに表示して更新を可能にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

4. 調整数量

ブランク

ロット情報フィールドを表示しない。

1

全てのロット情報フィールドを表示して変更を可能にする。

2

全てのロット情報フィールドを表示するが、更新を不可にする。

マイナスの数量になるトランザクションの検証方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

マイナスの引当可能数量を許可しない。

1

マイナスの引当可能数量を許可する。

2

マイナスの手持数量を許可しない。

警告: マイナスの引当可能数量を許可すると、加重平均原価計算は使用できなくなります。

5. 保留ロット

保留中のロットを調整できるようにします。[品目/事業所情報] フォームの [ロット状況コード] フィールドがブランクの場合、そのロットは保留されていません。有効値は以下のとおりです。

ブランク

保留中のロットの調整を許可しない。

1

保留中のロットの調整を許可する。

6. 検証する許可済みロット 状況グループの入力

ロット グループを入力します。ロット グループとは、許容ロット状況の設定 (P41081) プログラムで定義された、ブランク以外の使用可能なロット状況コードのユーザー定義リストの名前です。ロット グループの名前を入力すると、保留中の品目を処理できます。

インタオペラビリティ

この処理オプションでは、在庫調整で送信インタオペラビリティトランザクションが作成されるかどうか、およびその場合に使用するトランザクション タイプを指定します。

トランザクション タイプ

送信インタオペラビリティトランザクションを作成する場合に使用するトランザクション タイプを定義します。このトランザクション タイプはユーザー定義コード (00/TT) です。トランザクション タイプは直接入力するか、または [ユーザー定義コード言語の選択] フォームから選択できます。この処理オプションをブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

契約

この処理オプションでは、在庫管理システムでの契約の検索方法を指定します。

契約割当て

在庫管理システムを契約管理システムと連動させて使用している場合に契約の検索方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

1

1 つの契約のみ表示する。複数の契約が検索されると、その行のロー見出しと [契約複数あり] カラムにチェック マークが表示されます。契約の選択が必須となります。

2

全ての契約を検索して表示する。

3

終了日付が最も早い契約を検索して表示する。

ブランク

契約を検索しない。

倉庫

この処理オプションでは、在庫移動時のライセンス プレート番号の処理方法を指定します。

1. ライセンス プレート番号の生成方法

使用するライセンス プレート番号の生成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

01

手動で登録する。

02

ユーザー定義計算式を作成する。

03

自動システム コード (EPC) 番号を作成する。

2. デフォルトの計量単位構造体の作成

デフォルトの計量単位構造体の作成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルトの計量単位構造体

1

取引の計量単位構造体

3. 品目のライセンス プレートへの割当て (P46L30)

在庫移動時の [ライセンス・プレートへの品目の割当て/削除] フォーム (W46L30B) の表示方法を指定します。事業所、品目およびロット情報を検索して品目をライセンス プレートレコードに割り当てるには、ライセンス プレートへの品目の割当て/削除プログラム (P46L30) を使用します。このプログラムを使用すると、品目の構造に基づいてライセンス プレートレコードを作成できます。また、ライセンス プレートを新しく作成することもできます。

在庫移動

このセクションでは、在庫移動の概要と以下の方法について説明します。

- 在庫の移動
- 在庫移動 (P4113) の処理オプションの設定

在庫移動について

移動トランザクション機能では、次の 2 つのタイプの在庫移動を記録できます。

- 同じ事業所内での保管場所間の移動
- 異なる事業所間での移動

在庫移動では、総勘定元帳に 2 つの仕訳が作成されます。第 1 の仕訳により移動元の保管場所の在庫が減少し、第 2 の仕訳により移動先の保管場所の在庫が増加します。

在庫を移動するには、移動元と移動先についてのトランザクションと品目情報を入力する必要があります。処理オプションの設定により、デフォルト値を決定したり原価情報を表示できます。ある保管場所から在庫を移動した結果、数量がゼロになったにもかかわらずまだ金額と関連付けられている場合には、自動的に仕訳が作成され、該当する勘定科目の残高がゼロになります。

誤って実行された移動は、逆仕訳を入力して修正できます。各在庫トランザクションのレコードは、会計処理用に保管されているため削除できません。逆仕訳により、プラスの数量と原価が移動元保管場所の品目情報に入力され、マイナスの数量と金額が移動先の保管場所の品目に入力されます。

キット品を移動する場合、構成部品それぞれに移動を入力する必要があります。在庫移動プログラム (P4113) では、親品目への移動を入力できますが、構成部品の数量情報は更新されません。

例: 移動トランザクション

事業所間で原価が異なる品目を移動する場合、AAI により、その原価の差額が勘定科目に記録されます。たとえば、原価が 25.50 の品目が事業所 A から事業所 B に移動し、そこでの原価が 25.00 とします。この場合、事業所 A には貸方に金額 25.50、事業所 B には借方に金額 25.00 が作成され、標準原価差異は 0.50 になります。この差額 0.50 は差異勘定に記録されます。

移動元事業所 A	移動先事業所 B
(貸) 25.50 (標準原価)	(借) 25.00 (差異勘定に記録される標準原価差異は 0.50)

重要: 在庫管理システムの在庫移動プログラム (P4113) では、受注/購買オーダーは作成されません。事業所の原価計算方式だけが更新されます。また、受注/購買オーダーから発生した転送処理に対する適切な監査証跡も記録されません。このプログラムは、在庫管理に限定して使用してください。

また、在庫の移動元のライセンス プレート番号を入力することもできます。事業所でライセンス プレート機能を有効にしている場合は、[倉庫] タブの処理オプションとライセンス プレートの事業所固定情報を使用して、移動先保管場所のライセンス プレート情報を処理します。

在庫移動に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[在庫移動]	W4111B	<p>[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[在庫移動] [在庫移動の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。</p> <p>ゼロの単位原価を使用するには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価] をクリックします。</p> <p>ゼロ原価を無効にするには、ローを選択して、[ロー] メニューの [ゼロ原価の取消] をクリックします。</p>	<p>在庫を移動します。</p> <p>ゼロの単位原価の場合は、[単位原価] フィールドがゼロに変更され、[合計金額] フィールドがブランクになります。これらのフィールドは入力できません。</p> <p>カーソルを次の行に移動すると、[単位原価] フィールドと [合計金額] フィールドに、F4105 テーブルからデフォルト値が入力されます。</p>

在庫移動

[在庫移動] フォームにアクセスします。

在庫移動 (P4113) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成します。

デフォルト

この処理オプションでは、トランザクションに他の値が入力されていない場合に、在庫移動プログラム (P4113) で使用する伝票タイプと保管場所/ロットを指定します。この処理オプションをブランクにすると、トランザクションの入力時にデフォルト値は入力されません。

1. 伝票タイプ

在庫移動プログラム (P4113) で在庫移動に使用するデフォルトの伝票タイプを指定します。通常、デフォルトの伝票タイプは IT (在庫移動) です。

ブランクにすると、在庫移動プログラムではデフォルトの伝票タイプは入力されません。

2. 移動元保管場所/ロット

在庫移動の入力時に在庫移動プログラムの [移動元保管場所] フィールドと [移動元ロット/シリアル] フィールドに使用するデフォルトの保管場所としての基本保管場所とロットを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

[移動元保管場所] フィールドと [移動元ロット/シリアル] フィールドにデフォルト値を自動入力しない。

1

[移動元保管場所] のデフォルト値として基本保管場所とロットを使用する。

注: 基本保管場所をデフォルトとして使用できるのは、全ての 2 次保管場所に物理的な保管場所（通路や棚番など）がある場合のみです。2 次保管場所にブランクの保管場所とロットが 1 つでも存在する場合は、基本保管場所をデフォルトとして使用することはできません。

3. 移動先保管場所/ロット

在庫移動の入力時に在庫移動プログラム (P4113) の [移動先保管場所] フィールドと [移動先ロット/シリアル] フィールドに使用するデフォルトの保管場所としての基本保管場所とロットを指定します。基本保管場所をデフォルトとして使用できるのは、全ての 2 次保管場所に物理的な保管場所（通路や棚番など）がある場合のみです。2 次保管場所にブランクの保管場所とロットが 1 つでも存在する場合は、基本保管場所をデフォルトとして使用することはできません。有効値は以下のとおりです。

ブランク

[移動先保管場所] フィールドと [移動先ロット/シリアル] フィールドにデフォルト値を自動入力しない。

1

[移動先保管場所] のデフォルト値として基本保管場所とロットを使用する。

バージョン

この処理オプションでは、[在庫移動] フォームで関連する [ロー] メニューまたは [フォーム] メニューを選択する場合に使用されるバージョンを指定します。仕訳入力プログラム (P0911) と品目元帳照会プログラム (P4111) のバージョンを指定できます。ブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンごとにプログラムの情報の表示方法が異なります。このため、バージョンに応じて処理オプションを設定する必要があります。

1. 仕訳入力 (P0911)

[在庫移動の処理] フォームの [ロー] メニューまたは [在庫移動] メニューの [フォーム] メニューから仕訳入力プログラム (P0911) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。

2. 品目元帳 (P4111)

[在庫移動の処理] フォームの [ロー] メニューまたは [在庫移動] メニューの [フォーム] メニューから品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111) にアクセスする場合に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。バージョンに応じて、この処理オプションを設定してください。

処理

この処理オプションでは、在庫移動プログラムで実行する処理を指定します。

- [在庫移動] フォームに [原価] フィールドを表示して変更を可能にする。
- 在庫移動時に各行の仕訳を作成するか、または勘定科目コード別に集計された仕訳を作成する。
- 保留中のロットの移動を許可する。
- マイナスの手持数量になる移動を許可する。

1. 原価入力

[在庫移動] フォームで、[単位原価] と [合計金額] フィールドを表示するか、または使用できないようにするかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

表示する。

1

F4105 テーブルのデフォルト値をこれらのフィールドに表示するが、更新はできない。

2

このフィールドを表示しない。

2. 仕訳入力

総勘定元帳の在庫移動から明細仕訳と集計仕訳のどちらを作成するかを指定します。集計仕訳では、在庫移動の全ての行で、勘定科目コードあたりの集計仕訳合計が借方と貸方のそれぞれに作成されます。明細仕訳では、在庫移動の明細行ごとに 1 つの仕訳（借方/貸方）が作成されます。

在庫移動で作成されるバッチ タイプは N です。この処理オプションは F0911 テーブルの仕訳のみに影響します。通常、使用される AAI は 4122（在庫）と 4124（経費/売上原価）です。通常、原価を使用すると、AAI 項目 4141（在庫または経費/売上原価）に基づく差異の仕訳が作成されることがあります。F4111 テーブルには、この処理オプションの設定に関係なく、各出庫の明細行ごとに情報が保存されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク

出庫の明細行ごとに 1 つの仕訳（借方および貸方）を作成する。

1

勘定科目コード別に集計した仕訳を作成する。

3. 保留ロット

保留中のロットの移動を許可するかどうかを指定します。[品目/事業所情報] フォームの [ロット状況コード] フィールドがブランクの場合、そのロットは保留されていません。有効値は以下のとおりです。

ブランク

保留中のロットの移動を許可しない。

1

保留中のロットの移動を許可する。

4. 検証する許可済みロット状況グループの入力

ロット状況が許可済みで保留中の品目を処理するロット グループの名前を入力します。許容ロット状況の設定 (P41081) プログラムで設定したロット状況グループに照らし合わせて、ロット状況コードが検証されます。

5. 数量の移動

マイナスの手持数量を生じる数量の移動を許可するかどうかを指定します。これを許可すると、移動数量が手持数量より多くなる場合があります。

警告: マイナスの手持数量を許可すると、加重平均原価は使用できなくなります。

有効値は以下のとおりです。

ブランク

マイナスの手持数量になる移動数量を許可しない。

1

マイナスの手持数量になる移動数量を許可する。

6. ロット状況のデフォルト ロット状況のデフォルト値を指定します。

インタオペラビリティ

この処理オプションでは、在庫移動で送信インタオペラビリティトランザクションが作成されるかどうか、およびその場合に使用するトランザクション タイプを指定します。

トランザクション タイプ 送信インタオペラビリティトランザクションを作成する場合に使用するトランザクション タイプを定義します。このトランザクション タイプはユーザー定義コード (00/TT) です。この処理オプションをブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

契約

この処理オプションでは、在庫管理システムでの契約の検索方法を指定します。

契約割当て 在庫管理システムを契約管理システムと連動させて使用している場合に契約の検索方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

契約を検索しない。

1

1 つの契約のみ表示する。複数の契約が検索されると、その行のロー見出しと [契約複数あり] カラムにチェック マークが表示されます。契約の選択が必須となります。

2

全ての契約を検索して表示する。

3

終了日付が最も早い契約を検索して表示する。

倉庫

この処理オプションでは、在庫移動時のライセンス プレート番号の処理方法を指定します。

1. ライセンス プレート番号の生成方法 使用するライセンス プレート番号の生成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

01

手動で入力する。

02

ユーザー定義計算式を作成する。

03

自動システム コード (EPC) 番号を作成する。

2. デフォルトの計量単位構造体の作成 デフォルトの計量単位構造体の作成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

	ブランク
	デフォルトの計量単位構造体
	1
	取引の計量単位構造体
3. 品目のライセンス プレートへの割当て (P46L30)	在庫移動時の [ライセンス・プレートへの品目の割当て/削除] フォーム (W46L30B) の表示方法を指定します。事業所、品目およびロット情報を検索して品目をライセンス プレートレコードに割り当てるには、ライセンス プレートへの品目の割当て/削除プログラム (P46L30) を使用します。このプログラムを使用すると、品目の構造に基づいてライセンス プレートレコードを作成できます。また、ライセンス プレートを新しく作成することもできます。

(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Transferring Inventory for Customer Credit With Return

- This section discusses:
- How to transfer inventory for customer credit with return.
 - Preconfigured processing options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Inventory Transfers (P4113).

Transferring Inventory for Customer Credit With Return

This table lists the tasks for transferring inventory for customer credit with return.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Transfer inventory for customer credit with return.	Inventory Transactions, Inventory Transfer	P4113/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> Document Type: CO = Sales Order, II = Inventory Issue and IT = Inventory Transfer Line Type: C = Credit Stock Item Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type C. Hold Code: XX = Administrative Hold AAIs: AAIs are provided for inventory issues and transfers using document types II and IT. Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. 	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and United States Inventory Transfers (P4113)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Document Type A specific document type	IT
2. FROM Location/Lot	blank
3. TO Location/Lot	blank

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Exit Versions A specific version	blank
1. Journal Entries (P0911)	RIS0001
2. Item Ledger (P4111)	RIS0001

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Cost Entry	2
2. Journal Entries	1
3. Lots on Hold	1
Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank
4. Transfer Quantity	1
5. Lot Status Default	blank

Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type A specific transaction type	blank

Agreement

Processing Option Description	Value or Status
1. Agreement Assignment (FUTURE)	blank

Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. License Plate Number Generation Method	blank
2. Build default UOM structure	blank
3. Assign Items to License Plate Window (P46L30)	blank

関連項目:

第 4 章、「在庫トランザクションの使い方」、「在庫移動 (P4113) の処理オプションの設定」、144ページ

第 5 章

品目および数量情報の検討

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、品目および数量情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 品目情報の検索
- 数量情報の検索
- (Rapid Start) Review item ledger records
- (Rapid Start) Review item availability
- 需要/供給情報の検討
- パフォーマンス情報の検討
- トランザクション レコードの処理

品目および数量情報について

品目と数量に関する情報を検討することにより、将来必要になる在庫を正確に計画できます。たとえば、以下のような操作が可能です。

- 保管する品目の情報への迅速なアクセス
- 手持在庫品目、引当済み品目、引当可能品目に関する集計情報や明細情報へのアクセス
- 将来の必要在庫を計画するための、需要/供給情報へのアクセスとモニタリング
- 過去の売上、現行の在庫数量、将来の入荷に関する品目情報へのアクセス
- 特定会計年度の繰越残高レコードの検討
- 総勘定元帳による在庫残高の調整と、詳細な品目トランザクション情報へのアクセス
- 期末在庫残高と総勘定元帳の同期末残高との比較

数量情報を使用して現在や将来の必要在庫を決定するには、次の情報を理解する必要があります。

- 引当可能数量と手持数量
- 4 種類の引当方法と在庫管理システムによる在庫の引当

このセクションでは、以下の項目について説明します。

- 数量タイプ
- システムによる在庫の引当
- 需要/供給数量のシステム計算

- ・ 総勘定元帳による品目残高調整

数量タイプ

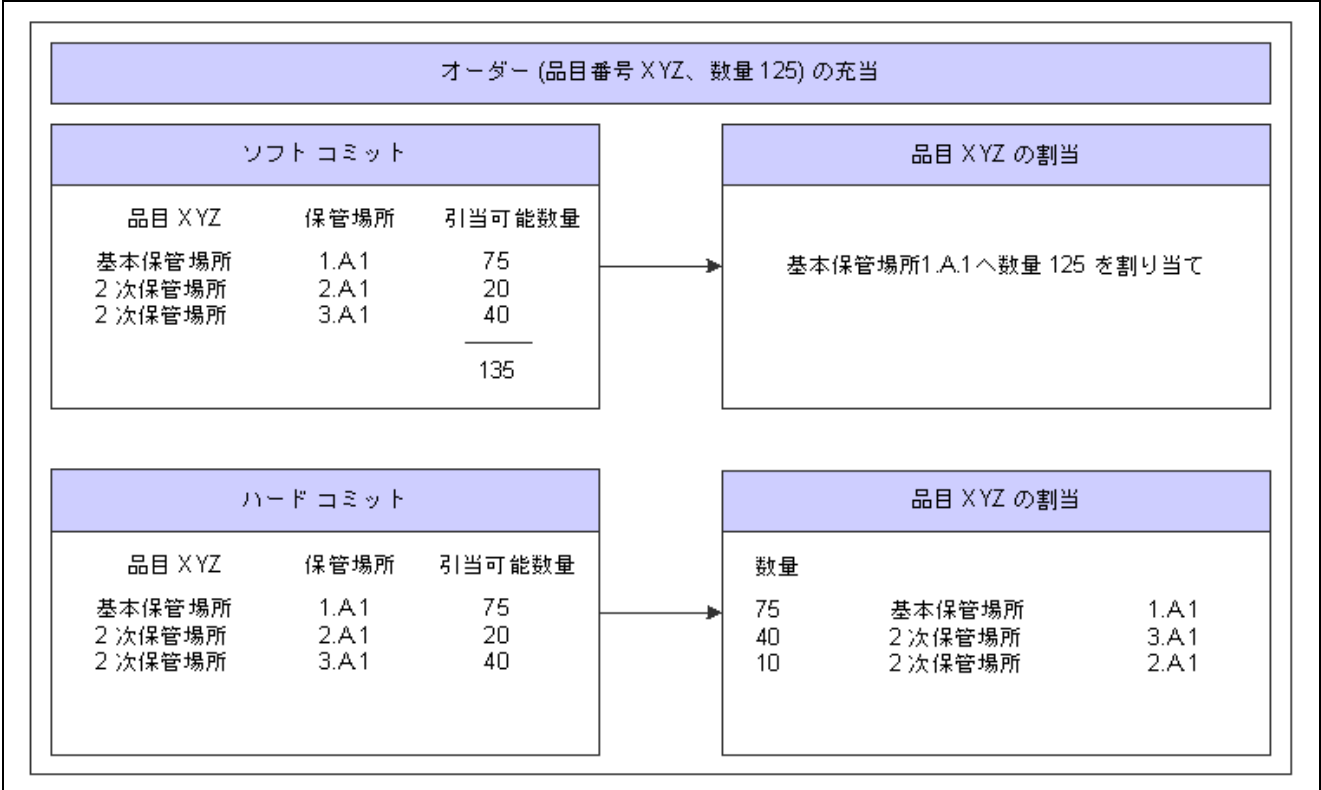
次の表は、数量のタイプの一覧を示しています。

数量	定義
引当可能数量	<p>ユーザー定義の計算方式に基づく使用可能な品目数量です。品目数量に加算または減算する要素を定義することで、システムが品目の引当可能数量を計算する方法を決定します。この計算には、手持在庫数量に直接影響しない数量も含むことができます。</p> <p>たとえば、受注オーダーや作業オーダーに対して引き当てられた数量を減算し、購買オーダーや積送中の数量を加算するように、引当可能数量の計算式を設定できます。</p>
手持数量	<p>物理的に在庫がある品目の数量で、基本計量単位で表されます。手持数量は次の情報に影響を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実地棚卸後に記録された差異数量 ・ 日次処理における品目の除去、追加、移動 ・ 出荷確認や更新販売情報 ・ 保留ロット(要検査や検疫中の品目など)がある保管場所
約束可能数量	<p>販売や流通は可能でも、次の補充分が到着するまで引き当てられない数量です。</p> <p>約束可能数量の計算に、基本方式と累計方式のどちらを使用するかを選択します。</p> <p>基本方式の場合の前提は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受注オーダーなど、顧客の需要のみ。 ・ 次の補充オーダー(購買オーダーなど)が到着するまでの全期間の需要。 ・ 現行会計期間で既存の数量が完全消化されるため、次の期間への繰越数量はない。 <p>累計方式では繰越残高を計算します。前提は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行会計期間内での消費は想定しない。 ・ 期間内で約束可能数量がマイナスになることはできないが、累計約束可能数量はマイナスでもよい。
その他数量 1、2	<p>在庫をその他数量に引き当てると、見積オーダーや一括オーダーなど、別のタイプの受注伝票や購買伝票に対して引当が実行されます。引当可能数量は影響を受けません。</p>

システムによる在庫の引当

ロット処理を使用している場合は、その他の引当方法を使うことができます。たとえば、ロット番号やロット満了日付による引当方法を定義できます。

次の図は、在庫管理システムの一般的な在庫引当方法を示しています。



オーダー完了プロセス

需要/供給数量のシステム計算

品目の需要/供給数量の計算には、需要/供給組込規則が使用されます。製造環境では作業オーダーを使用して部品や資材の供給を作成し、保守管理環境の作業オーダーでは部品の需要を作成します。

タイプ	定義
供給元	<p>購買オーダーの要求日付を開始点として、次の供給元から供給数量を計算します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手持在庫 (供給数量 = 手持数量 - ハードコミット数量 - 受注オーダー数量 - 作業オーダー数量) • 購買オーダー (供給数量 = 購買オーダーに入力した数量) • 製造作業オーダー (供給数量 = 作業オーダーに入力した数量 - 出荷数量)
需要元	<p>受注オーダーの要求日付を開始点として、次の需要元から需要数量が計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 受注オーダー (需要数量 = 受注オーダーに入力した数量 - 出荷数量 - 取消数量) • 安全在庫 (需要数量 = 需要/供給の変動に対処するために確保される数量) • 作業オーダー所要量と部品リスト (需要数量 = 所要数量 - 出庫数量)

総勘定元帳による品目残高調整

期末に、在庫残高を総勘定元帳と比較することができます。在庫トランザクションは総勘定元帳の期間を締めた後にも継続されるため、どの会計期間においても総勘定元帳に対して在庫残高を調整する方法が提供されています。

この情報を使用して、以下を作成できます。

- 元帳分類コードに基づいた集計レベル レポート
- 品目元帳照会の繰越残高情報
- 繰越残高レコード
- 整合性レポート

関連項目:

[第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「品目引当可能数量の定義」、28 ページ](#)

[第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19 ページ](#)

品目情報の検索

このセクションでは、品目情報の検索の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品名検索情報の更新
- 品名検索テーブルの作成 (R41829) の処理オプションの設定
- 品目マスターに対する品目検索

- ・トランザクションに対する品目検索
- ・品目情報の検索と結果の表示
- ・検索条件の定義
- ・検索テキストの入力

品目情報の検索方法について

在庫への変更入力、在庫品目に関連する情報の改訂、引当可能数量の検討など、さまざまな理由から品目情報を検索する場合があります。

使用する検索条件タイプと検索を行う場所により、検索方法の選択は次のように異なります。

方法	定義
品名検索による品目の検索	6つのテーブルの31個のフィールドに保管されているテキストに基づいて、品目を検索します。品目マスターまたは出庫、移動、調整、再分類などのトランザクション入力フォームを使用している場合に、この検索方法が使用可能です。
品目情報の検索と結果の表示	複数の品目を品目番号で検索して引当可能数量を確認し、結果をトランザクション入力フォームの複数の情報フィールドに表示します。必要に応じて、品名検索機能にアクセスして品目番号を調べることができます。出庫、移動、調整、再分類などのトランザクション入力フォームを使用している場合に、この検索方法が使用可能です。
品目検索による品目情報の検索	定義した検索テキストにより品目を検索します。この検索方法は、品目番号フィールドのビジュアルアシストと在庫照会メニュー(G41112)のアプリケーションで使用可能です。

品名検索

対象のカテゴリ全体を表す用語や他の説明的な用語を検索することにより、品目を検索することができます。たとえば、在庫にある自転車部品の全タイプを参照する場合、品目名、記述、検索テキストなどの31個のフィールドに“自転車”というテキストを含む全ての品目を検索できます。

検索テキスト

品名検索テーブルを作成すると、以下のフォームから品名検索テーブルの作成プログラム(R41829)を使用することができます。

- ・[品目マスターの処理] フォーム
- ・トランザクション入力フォーム(出庫、移動、調整、再分類)

検索を開始するフォームにより、検索手順が異なります。

品目情報の検索と結果の表示

出庫、移動、調整などのトランザクションの作成時に、品目情報を検索して、その情報を作成中のトランザクションに表示することができます。保管場所、ロット番号、等級、濃度、満了日付、ロット状況コードなどの情報を検索して結果を表示することにより、入力時間を短縮してエラーを削減できます。品目検索の結果数量プログラム (P40ITM2) を使用して、品目の検索結果情報をトランザクション入力フォームに表示できます。

品質モードを使用する場合、顧客優先情報で指定された事業所、等級、濃度情報のみを使用可能です。

品目検索

各事業所に定義した基準に従って、品目情報を検索できます。品目情報を検索した後に、品目の数量情報にアクセスすることもできます。

品名検索に個別の条件を定義することができます。品目がわかっていて、さらに検索を絞り込みたい場合に、この検索タイプを使用します。たとえば、特定の事業所と仕入先に限定して品目を検索することができます。

検索条件を定義すると、条件に一致する情報を持つ品目が以下のテーブルで検索されます。

テーブル	説明
F4101	次の情報が検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> 検索テキスト 記述 図面番号 (製造管理システム使用時)
F4102	次の情報が検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> 品目番号 (略式、第 2 または第 3) 事業所 仕入先 購買または販売カテゴリコード 1 ~ 5 (処理オプションの設定に基づく)

検索テキストは、品目マスターに検索テキスト情報を持つ品目の検索にのみ使用することができます。処理オプションを設定して、品目に該当する販売カテゴリコードや購買カテゴリコードを表示できます。

次のテーブルの情報が検索されます。

テーブル	説明
F41021	次の情報が検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> 保管場所 ロット番号 ロット状況コード

テーブル	説明
F4108	次の情報が検索されます。 <ul style="list-style-type: none">• ロット• ロット記述• シリアル番号• 満了日付
F4100	次の情報が検索されます。 <ul style="list-style-type: none">• ピッキング区域• 貯蔵区域• 補充区域

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 品名検索テーブルの作成プログラムを実行して、品名検索テーブルを作成または更新します。
- 在庫品目のマスター品目情報レコードに検索テキストがあることを確認します。
- ユーザー定義コード テーブル (41/DT) の相互参照番号に、品目相互参照タイプが設定されていることを確認します。
- 品目相互参照プログラム (P4104) で、仕入先番号や代替番号などの他社品目番号が設定されていることを確認します。
- 品目マスターの改訂プログラムで、第 2 品目番号や第 3 品目番号などの自社品目番号が設定されていることを確認します。

品目情報の検索に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの処理]	W4101E	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター]	品目マスターに対する品目検索を行います。
[品目検索の結果数量]	W40ITM2F	トランザクション入力フォームの [フォーム] メニューで、[品目検索] を選択します。	トランザクションに対する品目検索を行います。
[品名検索の処理]	W41829C	[品目検索の結果数量] フォームの [フォーム] メニューで、[品名検索] を選択します。	トランザクションに対する品目検索を行います。
[品目検索の結果数量]	W40ITM2F	[品名検索の処理] フォームで品目を選択し、[選択] をクリックします。	トランザクションに対する品目検索を行います。
[品目検索の処理]	W41200A	[在庫照会](G41112)、[品目検索]	品目検索の処理を行います。
[品目相互参照の処理]	W4104A	[品目検索の処理] フォームで、[ロー] メニューの [相互参照] を選択します。	検索条件を定義し、検索テキストを入力します。

品名検索情報の更新

[定期処理] メニュー (G4120) から、[品名検索テーブルの作成] を選択します。

品名検索を使用して品目を検索すると、F41829 テーブルにアクセスして品目情報が検索されます。品名検索テーブルの作成プログラム (R41829) を実行して、品名検索テーブルの作成と更新を行う必要があります。このプログラムは、品目全体に対して、または事業所ごとに実行できます。記述 (テキスト) 情報を変更しても、品名検索テーブルは更新されません。次のテーブルから情報が抽出されます。

- F4101
- F4102
- F4100
- F4108
- F4101D
- F4104

品名検索テーブルの作成プログラムは、必要に応じて繰り返し実行できます。たとえば、記述の変更回数に応じてプログラムを毎月実行する場合があります。必要に応じて、品名検索テーブルをクリアして完全に再作成するように処理オプションを設定することもできます。テーブルをクリアしない場合は、データ選択を使用して更新する品目を指定します。

レポートを事業所別に実行すると、処理時間を大幅に短縮できます。

品名検索テーブルの作成 (R41829) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

作成オプション

品名検索テーブルを作成前にクリアするかどうかを制御します。

1. 品目用語検索テーブルのクリア 品名検索テーブルの作成前にテーブルをクリアするかどうかを指定するコードを入力します。有効値は次のとおりです。

ブランク

作成前にテーブルをクリアしない。

1

作成前にテーブルをクリアする。

品目マスターに対する品目検索

[品目マスターの処理] フォームにアクセスします。

注: 品目マスター プログラムで品目情報を更新する品目の品目番号が不明の場合は、品名検索の処理を使用して品目番号を検索します。

トランザクションに対する品目検索

次の画面で、在庫調整などのトランザクション入力フォームについて説明します。

次の図は、トランザクションに対する品目の検索に使用する [品名検索の処理] フォームです。

品目マスター - 品名検索の処理

選択(S) 検索(F) 開じる(L) ツール(T)

品名検索テキスト *

テキスト1

レコード 1 - 10

グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	記述	記述 行2	品目番号	略式品目 No.
<input checked="" type="radio"/>	Unidentified Object		UNIDENTIFIED	700550
<input type="radio"/>	Helmet		2410	60441
<input type="radio"/>	Tire Repair Kit		2440	60492
<input type="radio"/>	Cyclometer		3000	60505
<input type="radio"/>	Mountain Bike, Red		210	60011
<input type="radio"/>	Seat		2017	60222
<input type="radio"/>	Tire Pump	Mounting hardware included	2200	60290

[品名検索の処理] フォーム

注: トランザクションの入力時に品目番号が不明な場合、品名検索テーブルの作成を使って品目番号を検索します。[品目検索の結果数量] フォームを使用してトランザクション フォームにその情報を表示すると、複数行を持つトランザクションを迅速に作成できます。

品目情報の検索と結果の表示

在庫調整などのトランザクション入力フォームにアクセスします。

検索条件の定義

[品目相互参照の処理] フォームにアクセスします。このフォームを以下に示します。

品目検索 - 品目相互参照の処理

選択(S) 検索(O) 追加(A) 削除(D) 開じる(L) ロー(R) ツール(T)

品目番号

1001

Bike Rack - Trunk Mount

有効日付

レコード 1 - 4

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名1

	相互参照タイプ	住所 No.	住所 記述	第 2 品目 No.	記述	記述 2
<input type="checkbox"/>	VN	4343	Parts Emporium	1001	Bike Rack - Trunk Mount	
<input type="checkbox"/>	VN	4345	E&D World Wide Company	1001	Bike Rack - Trunk Mount	
<input type="checkbox"/>	VN	6031	Eastern Distribution Center	1001	Bike Rack - Trunk Mount	
<input type="checkbox"/>	VN	6035	EPS Distribution Center	1001	Bike Rack - Trunk Mount	

[品目相互参照の処理] フォーム

- [相互参照タイプ]

この顧客に設定した相互参照タイプを識別するユーザー定義コード (41/DT) を入力します。次のような相互参照タイプがあります。

代替品目

置換品目

バーコード

顧客品目番号

仕入先品目番号
- [住所No.]

顧客または仕入先の住所番号を入力します。
- [第 2 品目No.]

品目の ID を入力します。
- [相互参照品目 No.]

品目番号に割り当てられた相互参照品目番号を入力します。相互参照番号により、オーダー処理や印刷の際に、自社品目番号と異なる仕入先の品目番号を使用することができます。この番号は、品目相互参照プログラム (P4104) で設定します。
- [相互参照記述]

品目に関する備考を入力します。

検索テキストの入力

[品目検索の処理] フォームにアクセスします。

数量情報の検索

このセクションでは、数量情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 集計数量情報の検索
- 在庫状況の処理 (P41202) の処理オプションの設定
- 明細数量情報の検索
- セグメント品目在庫状況の検索

- セグメント品目の在庫状況 (P41206) の処理オプションの設定
- セグメント化された保管場所の数量の検索
- 保管場所セグメント照会 (P4100142) の処理オプションの設定
- ロット別数量情報の検索
- ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定
- 手持数量情報の検索
- 品目元帳照会 (P4111) の処理オプションの設定
- Web での現行在庫レベルの検討

数量情報について

数量情報には、品目の引当可能数量と手持在庫数量が含まれます。数量情報を使って、現在や将来の必要在庫を決定します。数量計算には次のタイプがあります。

引当可能日数	将来、品目が引当可能になるまでの日数を計算します。
手持数量	特定の事業所の品目数量合計を計算します。
引当	ソフト コミット、ハード コミット、作業オーダー数量を計算します。
引当可能数量	計算方法を定義します。通常は、手持数量から未決済の引当数量、予約数量、バックオーダー数量を差し引いた数量です。
入荷予定数量	発注残の数量を計算します。
発注点	補充が必要な最小品目数量を指定するか、自動計算することもできます。
経済的発注量 (EOQ)	発注と在庫維持に要する原価の経済分析に基づいて、品目の最小数量を決定します。

集計数量情報

品目番号と事業所に基づく各品目の集計数量情報にアクセスできます。また、次のカテゴリに属する品目の合計数量を参照することもできます。

- 手持数量
- 保留
- ハード コミットとソフト コミット
- 引当可能数量
- 購買オーダーと作業オーダー
- バックオーダー

事業所の特定の保管場所にある全品目を検索し、その保管場所の各品目に関する明細情報を検討することができます。[引当可能数量詳細] フォームにアクセスすると、特定の保管場所にある品目の引当可能数量を検討できます。

また、処理オプションの設定で、計算に使用する丸め方法を指定できます。プログラムでは、“手持数量 – 基本計量単位 (PQOH)” のデータ項目で指定した小数点以下の桁数に計算結果が丸められます。表示小数点以下桁数フィールドは、小数点以下を表示しないようにデフォルト設定されています。このデータ項目で指定しない場合、計算後の手持数量に小数点以下は表示されません。

次の 3 つの丸め方法があります。

- 丸め:通常の上捨五入 (デフォルト値)。

例: 小数点以下の表示数が指定されていなければ、“2.3” は “2” に、“2.6” は “3” に丸められます。

- 切上げ:常に次の整数に切り上げられます。

例: 小数点以下の表示桁数が指定されていなければ、“2.3” と “2.6” は両方とも “3” に切り上げられます。

- 切り捨て:常に小数点以下が切り捨てられます。

例: 小数点以下の表示桁数が指定されていなければ、“2.3” と “2.6” は両方とも “2” に切り捨てられます。

別の例として、基本計量単位に “個” が設定されている品目があるとします。この品目の計量単位は、10 個で 1 箱に換算されます。現在、6 個の在庫があるとします。[在庫状況の処理] フォームの見出し域にある [単位] フィールドの値を “EA” (個) から “BX” (箱) に変更すると、手持数量には “0.6” (6 個) と表示されることとなります。ただし、表示する小数点以下桁数の指定がない場合には、小数点以下は表示されません。表示される数量は、選択した丸め方法によって異なります。

- 丸めまたは切上げ:0.6 箱 (6 個) は 1 箱として表示される。
- 切捨て:0.6 箱 (6 個) は 0 箱として表示される。

丸め方法は、[在庫状況の処理] フォームの [追加選択 1] タブで変更できます。変更すると、対話形式で再計算した数量が表示されます。

次の設定作業が完了している場合には、品質モードで在庫状況を検討することができます。

- [品質管理セットアップ] メニュー (G3741) で [品質管理のアクティブ化] を選択して、品質管理システムを有効にします。
- 品質試験を組み込む各事業所に対して、[事業所固定情報] フォームで [品質制御] チェック ボックスをオンにします。

品質検査に合格したレコードのみを検討するには、集計在庫状況プログラムの関連処理オプションも設定します。品質モードでは住所番号を入力できます。処理オプションの設定にかかわらず、[事業所]、[等級範囲]、[濃度範囲] の各フィールドは変更できません。ユーザー優先情報で設定した事業所のみが表示されます。

処理オプションの設定により、次の処理を実行することができます。

- 要求された計量単位が基本計量単位ではない場合に、基本単位と要求された計量単位の両方で在庫状況を表示します。
- セルフサービス モードで在庫状況を検討します。このモードでは住所番号が表示されます。このモードでは、詳細グリッドに通常表示される全てのフィールドが使用できるわけではありません。

明細数量情報

特定の保管区域にある品目の明細数量情報を表示し、引当数量をその保管区域の数量と比較して検証することができます。

事業所固定情報プログラムで、需要を満たすための引当可能数量の計算方法を定義します。引当可能数量の計算には次の数量が含まれます。

- 引当可能数量から差し引く数量 (ソフト コミット数量、ハード コミット数量、先日付引当数量など)
- 引当可能数量に追加する数量 (購買オーダー数量、その他数量など)

手持数量は、保管場所にある現時点での物理的な品目数量です。

セグメント品目在庫状況

セグメント品目を設定している場合、次の在庫状況を表示することができます。

在庫状況のタイプ	説明
セグメント別在庫状況	[在庫状況の処理]の[在庫状況]にアクセスして、セグメント別に在庫状況を表示します。
出荷在庫状況	各計量単位で出荷できる倉庫と数量についての計量単位構造を表示します。

多数のセグメント品目をさまざまなテンプレートで使用している場合には、セグメント品目の在庫状況プログラム (P41206) のバージョンを各テンプレートに対応して設定します。

保管場所セグメント数量の検索

保管場所セグメント照会プログラムを使用して、セグメントが設定されている保管場所に割り当てられた品目の在庫残高を検討します。次の方法で在庫情報を取り込むことができます。

方法	説明
製品	特定の保管場所の、指定したセグメントまたは全てのセグメントにある現行製品の残高を確認できます。
セグメント	特定の保管場所セグメントを選択し、そのセグメント内の全ての所有者について残高を表示できます。
住所番号	セグメントの1つを住所録レコードとして設定した場合、指定した所有者や住所番号別に全ての保管場所と製品の残高を表示できます。

注: Web 上で [保管場所セグメント照会] フォームにアクセスするには、適切な処理オプションを設定してください。ユーザー ID と住所番号に従って、そのユーザーに関連する品目と保管場所の情報のみが表示されます。Web 経由でシステムにサインオンした場合、在庫状況プログラムは使用できません。

ロット別数量情報

特定のロット品目数、処理日付、品目数量、そのロットに関連する保留状況などを検討することができます。処理日付と数量情報には、入庫や販売などのトランザクションが反映されます。同じ品目やロットが複数表示される場合、その品目は複数の保管場所に存在しています。

手持数量情報の検索

倉庫で実地棚卸を実施した後に、品目の手持数量のあらゆる差異を検討することができます。手持数量は、物理的に在庫として存在する品目の数量です。

さらに品目元帳照会プログラム (P4111) で、特定のトランザクション日付と伝票番号の手持数量と会計情報を検索できます。品目元帳照会には、在庫にある各品目の販売、入庫、移動などのトランザクション履歴が含まれます。それぞれの情報は、品目の手持数量に影響するトランザクションを表します。

トランザクションを検討して、特定の日付における事業所、保管場所、またはロットの品目数量と関連原価の両方を決定することができます。また、品目に対して特定の日付に発生したトランザクションを参照して、手持数量から差し引かれる数量の情報を検索することもできます。

Web 上の現行在庫レベル

仕入先は Web を使用して仕入品目を照会できます。仕入品目の在庫状況と手持数量を確認できるため、サプライヤ セルフサービス システムの他のアプリケーションを使用して購買オーダーの作成や見積の発行を行うかどうかを決定できます。

Web 上で在庫レベルが検討できると、仕入先は商品やサービスの納入を予測して行うことができるため、コミュニケーションや取引関係の向上にもつながります。また、仕入先が将来の業務準備や特定の動向に関する情報収集、過剰品目や不足品目への対応を行えるようになります。

さらに仕入先は、独自の品目番号を使用して、事業所、手持数量、購買オーダー数量、保管場所、ロット/シリアル番号、略式品目番号などの情報を検討できます。この情報は、集計モードと明細モードのどちらでも表示可能です。

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 製造データ管理システムを使用している場合、製造管理処理で引当可能数量を計算するように設定されていることを確認します。
- 保管場所セグメントを設定して、その情報を使用できるようにします。
- 在庫品目の引当可能数量を計算するように設定されていることを確認します。

参照: 第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19ページ

関連項目:

第 5 章、「品目および数量情報の検討」、「保管場所セグメント数量の検索」、172ページ

数量情報の検索に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[在庫状況の処理]	W41202A	[在庫照会] (G41112)、[集計在庫状況]	集計数量情報を検索します。
[在庫状況の処理]	W41202A	[在庫照会] (G41112)、[在庫明細照会]	明細数量情報を検索します。
[引当可能数量詳細]	W41202C	[在庫状況の処理] フォームで、[ロー] メニューの [引当可能数量詳細] を選択します。	明細数量情報を検索します。
[セグメント品目在庫状況の処理]	W41206A	[在庫照会] (G41112)、[セグメント品目の在庫状況]	セグメント品目の在庫状況を検索します。
[保管場所セグメント照会]	W4100142B	[在庫照会] (G41112)、[保管場所セグメント照会]	セグメント化された保管場所の数量を検索します。
[ロット別在庫状況の処理]	W41280B	[ロット管理] (G4113)、[ロット別在庫状況]	ロット別数量情報を検索します。
[品目元帳の処理]	W4111A	[在庫照会] (G41112)、[品目元帳]	手持数量情報を検索します。
[在庫数量の処理]	W41201A	[在庫照会] (G41112)、[仕入先セルフサービス在庫]	Web で現行在庫レベルを検討します。
[出荷可能数量の処理]	W41206B	[セグメント品目在庫状況の処理] フォームで、[ロー] メニューの [出荷可能数量] を選択します。	出荷可能数量を検討します。

集計数量情報の検索

[在庫状況の処理] フォームにアクセスします。

注: “手持数量 - 基本計量単位 (PQOH)” データ項目の表示小数点以下桁数フィールドで小数点以下を表示するよう設定していない場合 (デフォルト) は、小数点以下の数値は表示されません。

[手持数量] 物理的に在庫として存在する数量を入力します。手持数量は、基本計量単位で表示されます。

[引当済み数量] 特定の保管場所に引き当てる合計数量を入力します。合計数量は、以下から販売された、または引き当てられた全数量の合計です。

受注オーダーに対するソフト コミット

受注オーダーに対するハード コミット

作業オーダーに対するソフト コミット

作業オーダーに対するハード コミット

[引当可能数量] 引当可能な数量を識別する数字を入力します。

たとえば、手持数量から引当数量、予約数量、バックオーダー数量を引いた数が引当可能数量になります。

	引当可能数量はユーザーが定義します。この数量は、事業所固定情報プログラム (P41001) で設定できます。
[入荷予定数量]	特定の保管場所に入荷予定の品目の総数を入力します。総数は、オーダー済みで保管場所に配送中の品目の全数量の合計です。
[受注/作業オーダー ソフト・コミット]	受注オーダーまたは作業オーダーに対してソフト コミットされた数量を、基本計量単位で入力します。
[受注オーダー ハード・コミット]	特定の保管場所とロットに対して引き当てられた数量を入力します。
[先日付引当て]	要求出荷日付が事業所固定情報で指定した標準引当期間を超える受注オーダーの数量を入力します。たとえば、通常はほとんどのオーダーを 90 日以内に出荷している場合に、ある品目のオーダーの要求出荷日付が 1 年後になっていると、その数量がこのフィールドに表示されます。
[バックオーダー]	バックオーダーの数量を基本計量単位で入力します。
[作業オーダー ハード・コミット]	作業オーダーに対してハード コミットされた数量を、基本計量単位で入力します。
[受注オーダーその他数量 1]	販売可能数量を決定する際に、追加相殺 (手持ち数量からの差し引き量) として指定できる 2 つの数量のうちの 1 番目を、基本計量単位で入力します。
[受注オーダーその他数量 2]	販売可能数量を決定する際に、追加相殺 (手持ち数量からの差し引き量) として指定できる 2 つの数量のうちの 2 番目を、基本計量単位で入力します。
[購買オーダー数量]	購買オーダーに指定された数量を、基本計量単位で入力します。
[購買オーダーその他数量 1]	入札要求などの伝票に表示される数量を入力します。これは、組織の部門が購入する公式の引当ではありません。
[等級範囲]	<p>品目に対する許容等級範囲の下限を示すユーザー定義コード (40/LG) を入力します。</p> <p>許容下限等級に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。許容等級の下限に満たない品目は、販売することはできません。</p>
[濃度範囲]	<p>品目に対する有効成分の許容濃度またはパーセントの下限を示す数字を入力します。</p> <p>許容下限濃度に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。許容濃度の下限に満たない品目は、販売することはできません。</p>
[集計のみ]	<p>照会結果を明細モードと集計モードのどちらで表示するかを指定します。</p> <p>このチェック ボックスをオフにすると、個別の入荷レコードが表示されます。</p> <p>このチェック ボックスをオンにすると、品目別、会社別、通貨コード別、費用規則別に集計した情報が表示されます。</p>
[ゼロ数量の非表示]	<p>手持数量がゼロの情報を表示するかどうかを指定します。</p> <p>このチェック ボックスをオフにすると、手持数量ゼロの情報が表示されません。</p>

このチェック ボックスをオンにすると、手持数量ゼロの情報は表示されません。

在庫状況プログラム (P41202) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バージョン

在庫状況プログラム (P41202) からアクセスするさまざまなプログラムのバージョンを指定できます。バージョンにより、情報の処理方法や表示方法を制御します。このため、特定のニーズを満たすように処理オプションを設定する必要があります。

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 品目マスター | 品目マスター プログラム (P4101) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 2. 品目注記 | 品目注記プログラム (P40163) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 3. 品目検索 | 品目検索プログラム (P41200) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 4. 購買オーダー照会 | 購買オーダー照会プログラム (P430301) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 5. 受注残および完了オーダー照会 | 受注残および完了オーダー照会プログラム (P42045) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 6. 手配済み作業オーダー | 手配済み作業オーダー プログラム (R31400) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 7. 需要/供給 | 需要/供給照会プログラム (P4021) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 8. 部品表 | 部品表照会プログラム (P30200) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |

- | | |
|---------------------|--|
| 9. ロット別在庫状況 | ロット別在庫状況プログラム (P41280) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 10. 品目元帳 | 品目元帳照会プログラム (P4111) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 11. 事業所品目情報 | 事業所固定情報プログラム (P41001) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 12. 保管場所マスター | 保管場所マスター プログラム (P4100) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 13. 保管場所品目情報 | 品目保管場所タイプ プログラム (P41023) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |

表示

特定の情報を表示するかどうか、および特定情報の計算方法を指定できます。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 等級情報 | <p>等級情報を表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>等級情報を表示しない。</p> <p>1</p> <p>等級情報を表示する。</p> |
| 2. 濃度情報 | <p>濃度情報を表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>濃度情報を表示しない。</p> <p>1</p> <p>濃度情報を表示する。</p> |
| 3. 品質管理 | <p>品質管理システムの情報を表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>品質管理情報を表示しない。</p> <p>1</p> <p>品質管理情報を表示する。</p> |
| 4. 数量 (基本計量単位) | <p>数量情報を基本計量単位で表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>数量を基本計量単位で表示しない。</p> <p>1</p> |

数量を基本計量単位で表示する。

5. 切捨て/切上げ

詳細グリッドの情報の丸め方法を指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク

標準の四捨五入を使用して、詳細グリッドの情報を丸める。たとえば、表示小数点以下桁数が指定されていない場合、“2.3” は “2”、“2.6” は “3” に丸められる。

1

切捨てを行う。小数点以下は常に切り捨てられる。たとえば、小数点以下の表示桁数が指定されていない場合、“2.3” と “2.6” は両方とも “2” に切り捨てられる。

2

切上げを行う。常に次の整数に切り上げられる。たとえば、小数点以下の表示桁数が指定されていない場合、“2.3” と “2.6” は両方とも “3” に切り上げられる。

6. カスタマ セルフサービス

標準モードとカスタマ セルフサービス機能のどちらを使用するかを指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク

カスタマ セルフサービス機能ではなく、標準モードを使用する。

1

カスタマ セルフサービス機能を有効にする。

ロット オプション

上級ロット処理のフィールドを表示するかどうかと、ロットが満了するまでの日数を計算するためのデフォルト日付を指定できます。

1. 期限までの余日パーセントの表示

[期日までの余日パーセント] フィールドを表示するかどうかを指定します。このチェック ボックスをオンにしないと、[期日までの余日パーセント] フィールドは表示されません。

2. 残日数の表示

[残日数] フィールドを表示するかどうかを指定します。このチェック ボックスをオンにしないと、[残日数] フィールドは表示されません。

3. 計算日付

ロット満了までの残日数を計算する際に使用する日付を入力します。このフィールドをブランクのままにすると、今日の日付が使用されます。

明細数量情報の検索

[引当可能数量詳細] フォームにアクセスします。

[ソフト・コミット - 受注/作業オーダー]

受注オーダーまたは作業オーダーに対してソフト コミットされた数量を、基本計量単位で入力します。

[受注オーダー/ハード・コミット]

特定の保管場所とロットに対して引き当てられた数量を入力します。

[作業オーダー/ハード・コミット]

作業オーダーに対してハード コミットされた数量を、基本計量単位で入力します。

[先日付引当て]	要求出荷日付が事業所固定情報で指定した標準引当期間を超える受注オーダーの数量を入力します。たとえば、通常はほとんどのオーダーを 90 日以内に出荷している場合に、ある品目のオーダーの要求出荷日付が 1 年後になっていると、その数量がこのフィールドに表示されます。
[受注オーダー(その他 1)]	販売可能数量を決定する際に、追加相殺(手持ち数量からの差し引き量)として指定できる 2 つの数量のうちの 1 番目を、基本計量単位で入力します。
[受注オーダー(その他 2)]	販売可能数量を決定する際に、追加相殺(手持ち数量からの差し引き量)として指定できる 2 つの数量のうちの 2 番目を、基本計量単位で入力します。
[安全在庫]	需要の増加に備えて保管する手持在庫の数量を入力します。
[購買オーダー]	購買オーダーに指定された数量を、基本計量単位で入力します。
[購買オーダー(その他 1)]	入札要求などの伝票に表示される数量を入力します。これは、組織の部門が購入する公式の引当ではありません。
[作業オーダー入庫]	作業オーダーの数量を基本計量単位で入力します。
[積送中]	現在、仕入先から積送中の数量を入力します。
[検収中]	現在検収中の数量を入力します。この数量は入荷済みですが、手持数量とは見なされません。
[作業中 1]	ドックから在庫への移動プロセスで、ユーザーが定義した作業に現在ある数量を入力します。この数量は入荷済みですが、手持数量と見なすかどうかは設定によって異なります。
[作業中 2]	ドックから在庫への移動プロセスで、ユーザーが定義した作業に現在ある数量を入力します。この数量は入荷済みですが、手持数量と見なすかどうかは設定によって異なります。

セグメント品目在庫状況の検索

[セグメント品目在庫状況の処理] フォームにアクセスします。

デフォルトのテンプレートを使用する場合は、処理オプション“テンプレート”を設定してください。デフォルトのテンプレートは一時変更できます。

[基本単位手持数量] フィールドをブランクにすると、最初に検索された品目には基本計量単位が使用されます。

セグメント品目の在庫状況 (P41206) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

テンプレート

P4101 に品目を入力する際に使用できるテンプレート名を入力します。テンプレート名では、大文字と小文字が区別されます。

バージョン

1. 在庫状況 (P41202)

実行する P41202 のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

保管場所セグメント数量の検索

[保管場所セグメント照会] フォームにアクセスします。

[集計のみ]

照会結果を明細モードと集計モードのどちらで表示するかを指定します。
このチェック ボックスをオフにすると、個別の入荷レコードが表示されます。
このチェック ボックスをオンにすると、品目別、会社別、通貨コード別、費用規則別に集計した情報が表示されます。

[ゼロ数量の省略]

手持数量がゼロの情報を表示するかどうかを指定します。
このチェック ボックスをオフにすると、手持数量ゼロの情報が表示されません。
このチェック ボックスをオンにすると、手持数量ゼロの情報は表示されます。

保管場所セグメント照会 (P4100142) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

モード

モード

プログラムの実行モードを選択します。有効値は次のとおりです。

空白: クライアント モード

1: Web モード

ロット別数量情報の検索

[ロット別在庫状況の処理] フォームにアクセスします。

[事業所]

事業所を入力します。

[ロット/シリアル]	ロットまたはシリアル番号を識別する数字を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。
[品目番号]	品目に割り当てられた番号を入力します。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。
[等級]	<p>ロットの等級を示すコードを入力します。ロット等級は、ロットの品質を示すために使用します。たとえば、次のような等級があります。</p> <p>A1 最高等級</p> <p>A2 第 2 等級</p> <p>ロット等級は F4108 テーブルに保存されます。</p>
[濃度]	有効成分や有用物質のパーセンテージ（溶液中のアルコール度数など）で表したロットの濃度を示すコードを入力します。実際のロット濃度は F4108 テーブルで定義します。
[手持数量ロットの表示]	全ロットを表示するか、手持数量のあるロットのみを表示するかを選択します。

ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バージョン

トレース/トラッキング 呼び出すトレース/トラッキング照会のバージョンを入力します。

品目マスターの改訂 呼び出す品目マスターの改訂のバージョンを入力します。

作業オーダー入力 呼び出す作業オーダー入力のバージョンを入力します。

事業所品目情報 呼び出す事業所品目情報のバージョンを入力します。

表示

ロット状況 ロット状況が更新されないようにするには「1」を入力します。

等級範囲 等級範囲を表示するには、「1」を入力します。ブランクの場合、選択する範囲は表示されません。

濃度範囲 濃度範囲を表示するには、「1」を入力します。ブランクの場合、選択する濃度は表示されません。

手持数量情報の検索

[品目元帳の処理] フォームにアクセスします。

[数量] 引当可能数量を表す値を入力します。たとえば、手持残高数量から引当数量、予約数量、バックオーダー数量を引いた数量を入力します。この数量は、事業所固定情報プログラム (P41001) で計算されます。

関連項目:

第 5 章、「品目および数量情報の検討」、「トランザクションレコードの処理」、183 ページ

品目元帳 (P4111) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

1. 伝票タイプ 伝票タイプを入力します。空白にした場合は、“*” がデフォルト値として使用され、全ての伝票タイプが表示されます。

バージョン

1. 積荷および配送実績照会 (将来使用) 各プログラムのバージョンを入力します。空白にした場合、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

表示

数量 トランザクション計量単位の数量に加えて基本計量単位の数量も表示するには、「1」を入力します。

Web での現行在庫レベルの検討

[在庫数量の処理] フォームにアクセスします。

(Rapid Start) Reviewing Item Ledger Records.

This section discusses:

- How to review item ledger records.
- Preconfigured processing options for Item Ledger (P4111).

Reviewing Item Ledger Records.

This table list the task for reviewing item ledger records:

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Review item ledger records	Manufacturing Inquiries, Item Ledger	P4111/RIS001	Items are SAMPLE1, SAMPLE2, SAMPLE3 and SAMPLE4. Branch plant is B10. Work center is W10.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start

Preconfigured Processing Options for Item Ledger (P4111)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Default

Processing Option Description	Value or Status
Enter a Document Type. If left blank, '*' will be the default value and all document types will be shown.	blank
1. Document Type	blank

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Enter the version to be used for each program. If left blank, ZJDE0001 will be used.	blank
1. Load and Delivery Ledger Inquiry (FUTURE)	blank

Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter a '1' to display Quantity in Primary Units of Measure along with Quantity in Transaction Units of Measure.	1

(Rapid Start) Reviewing Item Availability

This section discusses:

- How to review item availability.

- Preconfigured processing options for Item Availability (P41202)

Reviewing Item Availability

This table list the task for reviewing item availability:

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Review item availability	Manufacturing Inquiries Summary Availability	P41202/RIS0001	Items are SAMPLE1, SAMPLE2, SAMPLE3 and SAMPLE4. Branch plant is B10. Work center is W10.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Item Availability (P41202)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Enter the version for each program. If left blank, ZJDE0001 will be used.	blank
1. Item Master	RIS0001
2. Item Notes	blank
3. Item Search	blank
4. Purchase Order Inquiry	RIS0013
5. Customer Service Inquiry	RIS0001
6. Open Work Orders	RIS0001
7. Supply and Demand	RIS0004
8. Bill of Material	RIS0001
9. Lot Availability	blank
10. Item Ledger	RIS0001
11. Branch/Plant Item Information	RIS0001
12. Location Master	RIS0001
13. Item Location Information	blank

Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Grade Information	blank
2. Potency Information	blank
3. Quality Management	blank
4. Quantity – Primary Units of Measure	1
5. Truncate/Round	blank
6. Customer Self-Service	blank

Lot Options

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Percent of Life Remaining	blank
2. Display Number of Days Remaining	blank
3. Calculation Date	blank

需要/供給情報の検討

このセクションでは、需要/供給情報の概要と検討方法について説明します。

需要/供給情報について

[需要/供給の処理] フォームを使用して、特定の品目の需要、供給、引当可能数量を検討します。指定した事業所について、製品と品目の全体的なパフォーマンス、過去の売上内容、現在の需要、他の品目情報などを検討できます。これらの情報は在庫、購買、販売の履歴に基づいています。

[需要/供給の処理] フォームでハイライトされた約束可能数量 (ATP) 行は、自社の引当可能な在庫を示します。約束可能数量の在庫は、指定期間中の販売や流通用に引当可能です。

次のテーブルの情報が表示されます。

- F41021
- F4211
- F4311

需要数量は日付別に表示されます。この数量には安全在庫、受注オーダー数量、作業オーダー部品リスト、下位レベル計画オーダー需要、工場間の需要、予測需要などを含めることができます。

供給数量は日付別に表示されます。この数量には、手持在庫、購買オーダー数量、製造作業オーダー、計画オーダー、レート スケジュールなどを含めることができます。日付やオーダー情報のない供給数量は、事業所保管場所別の現行引当可能数量を表します。

次のフォームにアクセスして、詳細情報を確認することもできます。

- オーダー スケジュールの処理
- 部品在庫状況
- 詳細メッセージの処理
- タイム フェイズの処理
- ペギング照会の処理
- 在庫状況の処理
- 受注残および完了オーダー照会
- 製造データ

需要/供給情報の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[需要/供給の処理]	W4021B	[在庫照会](G41112)、[需要/供給] [受注オーダー照会](G42112)、[需要/供給] [日次オーダー準備 - 組立製造](G3111)、[需要/供給照会]	需要/供給情報を検討します。

需要/供給照会プログラム (P4021) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

安全在庫の減算

安全在庫を差し引くかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク: 安全在庫を差し引かない。

1: 安全在庫を差し引く。

入荷工程中数量を手持ち数量に含める

入荷工程中数量を手持ち数量と見なすかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク: 含めない。

1: 手持ち数量に含める。

積送中数量

積送中数量を手持ち在庫に含める場合、「1」を入力します。

検収中数量	検収中数量を手持在庫に含める場合、「1」を入力します。
ユーザー定義数量 1	ユーザー定義数量 1 を手持在庫に含める場合、「1」を入力します。
ユーザー定義数量 2	ユーザー定義数量 2 を手持在庫に含める場合、「1」を入力します。
需要/供給組込規則	使用する組込規則のバージョン (40/RV) を指定します。
満了ロット数量の減算	満了ロット数量を差し引くかどうかを指定します。満了ロットを差し引く場合、「1」を入力します。
受注設計 (ETO) の使用	ETO 機能を使用する場合、「1」を入力します。
期日を経過した供給の使用 可能数量への組込み	期日を経過した供給を含める場合、「1」を入力します。
レート スケジュールのタイプ	レート基準品目を含める場合、「1」を入力します。
MPS/MRP/DRP 計画 オーダー	計画オーダーを含める場合、「1」を入力します。
予測タイプ (最大 5 種 類まで)	照会で使用する予測タイプを指定します。
予測に含める本日から の日数	本日を含める場合は、このフィールドをブランクのままにします。
バルク品目の除外	バルク品目を除外する場合、「1」を入力します。
期日を経過したレート スケ ジュールの供給への組込み	期日を経過したレートを含める場合、「1」を入力します。
ロット保留コード (5 つまで)	ロット保留コードを含めるかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。 ブランク: 手持在庫の計算に保留ロットを含めない。 *: 手持在庫の計算に全ての保留ロットを含める。

表示

標準濃度への数量の変換	標準濃度に変換する場合、「1」を入力します。
ATP (約束可能数量行) の表示	ATP 行を表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。 ブランク: 表示しない。 1: ATP 行を表示する。 2: CATP (累計約束可能数量) 行を表示する。
入荷工程ステップへの集計	入荷工程ステップへの集計を行う場合、「1」を入力します。
ウィンドウ形式でのデータ 表示	ウィンドウ形式で表示する場合、「1」を入力します。
ペギングと部品リスト需要 の集計	ペギングと部品リスト需要を集計する場合、「1」を入力します。

バージョン

使用するプログラムのバージョン

使用する次のプログラムのバージョンを指定します。

- 購買オーダー入力 (P4310)
- 購買オーダー照会 (P4310)
- 受注オーダー入力 (P4210)
- 受注オーダー照会 (P4210)
- スケジュール ワークベンチ (P31225)
- MPS/MRP/DRP ペギング照会 (P3412)
- MPS/MRP/DRP タイム フェイズ (P3413)
- MPS/MRP/DRP メッセージ詳細 (P3411)
- 部品表照会 (P30200)
- 事業所品目 (P41026)
- オーダーの入力/変更 (P48013)
- レート スケジュールの入力/変更 (P3109)
- 在庫状況 (P41202)

需要/供給情報の検討

[需要/供給の処理] フォームにアクセスします。

[終了日付]

品目の到着予定日付、または作業の完了予定日付を入力します。

[約束日付] には、作業オーダーや購買オーダーの計画有効日付、受注オーダーの要求日付、ロットのロット有効日付とロット満了日付、予測の予測日付が表示されます。

[単位]

計量単位情報を入力します。

[需要]

受注オーダー入力で出荷に引き当てられた数量を入力します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。

製造管理システムと作業オーダー時間入力では、このフィールドで完了数量や仕損数量を表すことができます。数量タイプは、入力したタイプコードで決まります。

[供給]

引当可能数量を表す値を入力します。たとえば、手持残高数量から引当数量、予約数量、バックオーダー数量を引いた数量を設定できます。この値は、事業所固定情報プログラム (P41001) で入力します。

[引当可能数量]

引当可能な数量を識別する数字を入力します。

たとえば、手持数量から引当数量、予約数量、バックオーダー数量を引いた数を引当可能数量にすることができます。

引当可能数量はユーザーが定義します。この値は、事業所固定情報プログラム (P41001) で設定できます。

[オーダー No.]

当初伝票を識別する番号を入力します。当初伝票には、仕入先請求書、受注オーダー、請求書、仮受金、仕訳などの種類があります。

[タイプ]

伝票のタイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、タイム シートの伝票タイプ コードは予約されていて、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。

次の伝票タイプは事前定義されています。この伝票タイプは変更しないでください。

- P
買掛伝票
- R
売掛伝票
- T
給与計算伝票
- I
在庫伝票
- O
購買オーダー処理伝票
- J
一般会計/共有利息請求伝票
- S
受注オーダー処理伝票

パフォーマンス情報の検討

品目のパフォーマンス情報を検討すると、品目、販売履歴、発注残に関連する購買担当者用情報を検討できます。この情報を在庫状況情報と共に使用すると、在庫需要計画に役立ちます。

このセクションでは、以下の項目について説明します。

- パフォーマンス情報の検討
- 購買担当者用情報 (P4115) の処理オプションの設定

パフォーマンス情報の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買担当者情報の処理]	W4115A	[在庫照会](G41112)、[購買担当者用情報]	パフォーマンス情報を検討します。

パフォーマンス情報の検討

[購買担当者情報の処理] フォームにアクセスします。

[購買担当者No.]	品目の適切な在庫レベルの設定と管理を行う担当者の住所番号を入力します。
[ABC 1(売上)]	<p>品目の売上金額別の ABC ランクを示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。</p> <p>A</p> <p>品目を第 1 (最高) の金額ランクに割り当てます。</p> <p>B</p> <p>品目を第 2 (中間) の金額ランクに割り当てます。</p> <p>C</p> <p>品目を第 3 (最低) の金額ランクに割り当てます。</p> <p>D</p> <p>この品目を ABC 分析に含めません。</p> <p>ABC 分析には売上、マージン、手持在庫の 3 つのタイプがあります。それぞれの分析タイプに対して A、B、C の 3 つのグループを作ることができます。</p> <p>ABC コードのフィールドには、ABC 分析で品目を分類する 3 つのグループがどのように分けられるかを指定するパーセンテージが含まれます。各グループで、分析タイプ内での合計を判定します。</p> <p>全てのグループに対し、1 つの品目の売上、マージン、または手持在庫の合計が全品目の合計と比較され、各品目の値が計算されます。品目の値は、その合計に占めるパーセントです。次に、全品目が値の高いものから順に並べられ、パーセントが累計されます。以降の処理は、グループによって異なります。</p> <p>A グループ: ある品目の値を加えると累計が A グループのパーセントを超える場合、その品目は B グループに割り当てられます。</p> <p>B グループ: 累計が A グループのパーセントを超えてから B グループのパーセントに達するまで、品目の値を加算します。A と B のパーセントの間にある品目は、全て B グループに割り当てられます。</p> <p>C グループ: C グループには、値の累計が B のパーセントを超える品目が入ります。通常、C グループに入力するパーセントは “.999” です。</p>
[発注点]	品目の補充時期の基準となる数量を入力します。通常は、手持数量とオーダー数量の合計が指定数量以下になると、補充が行われます。この数量は手入力できますが、十分な販売実績がある場合は自動計算することもできます。
[経済的発注数量]	品目の推定発注数量を入力します。十分な販売実績がなく正確な発注数量を自動計算できない場合は、この値を手動で入力します。
[安全在庫]	需要の増加に備えて保管する手持在庫の数量を入力します。
[標準リードタイム]	<p>製造データで定義されている、生産プロセスで割り当てられるレベルで品目のリードタイムを表す値を入力します。この値に基づいて、固定リードタイムを使用する作業オーダーの開始日付が計算されます。</p> <p>標準リードタイムは、購買品目と製造品目で異なります。</p>

購買品目の場合は、仕入先が購買オーダーを受け取ってから事業所に品目が到着するのに必要なカレンダー日数になります。

製造品目の場合は、全ての構成部品が入荷してから品目の製造または組み立てに必要な作業日数になります。

標準リードタイムは、[追加システム情報] フォームで手動で入力するか、またはリードタイム積み上げプログラムを使用して計算することができます。リードタイム積み上げプログラムで標準リードタイムを計算するには、最初に F4102 テーブルの製造リードタイム数量フィールドに数量を入力しておく必要があります。

[事業所]、[品目No.] 事業所と品目番号を入力します。

購買担当者用情報 (P4115) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バージョン

プログラムのバージョン 使用する各プログラムのバージョンを入力します。ブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

- 1. 発注残照会 (P4310)
- 2. 在庫状況 (P41202)
- 3. 仕入先分析 (P43230)
- 4. 仕入先カタログ管理 (P41061)
- 5. 需要/供給 (P4021)

トランザクション レコードの処理

このセクションでは、トランザクション レコードの概要、前提条件、および以下の方法について説明します。

- 品目元帳基準日生成プログラムの実行
- 品目元帳基準日生成 (R41542) の処理オプションの設定
- 会計年度における非活動の繰越残高レコードの更新
- 基準日更新 (R41548) の処理オプションの設定
- (ARG) Generate as of beginning balances for inventory inflation adjustments
- (ARG) Set processing options for Create a Missing AS OF record (R76A397)

- 個別のトランザクションの入力
- 複数のトランザクションと残高の検討
- 品目元帳明細レポート (R41540) の検討
- 品目元帳明細レポートの処理オプションの設定
- 元帳クラス別品目元帳レポートの検討
- 元帳クラス別品目元帳の処理オプションの設定
- 主科目別総勘定元帳レポートの検討
- 主科目別総勘定元帳レポートの処理オプションの設定
- 主科目別試算表レポートの検討
- 主科目別試算表レポートの処理オプションの設定

トランザクション レコードについて

トランザクション レコードは、次の目的で使用します。

- 各年度の正確な繰越残高レコードの管理
- 異なる会計期間における在庫残高の比較と調整
- 任意の保管場所にある品目の数量や原価に関する情報へのアクセス

会計年度に対する繰越残高レコードを作成するには、品目元帳基準レコードの生成プログラム (R41542) を実行します。このプログラムは、それぞれの元帳カテゴリ コードについて品目トランザクションを集計し、最も正確で効率的な方法で F41112 テーブルのレコードを更新します。

繰越残高レコードを作成すると、指定した会計期間の期末在庫残高を総勘定元帳の同期間の期末残高と比較して調整できます。総勘定元帳の期間を締めた後にも在庫トランザクションは継続して記録されます。

繰越残高レコードを使用すると、トランザクションを保管場所別に検討したり、特定の基準日において、特定の事業所、保管場所、ロットにどれだけの品目があるか (数量と原価の両方) を検討することができます。その日付以降にこの品目に対して実行されたトランザクションについても検討できます。

繰越残高を年度別に正確に管理することができます。品目トランザクションの繰越残高レコードを作成するには、品目元帳基準レコードの生成プログラム (R41542) を実行します。このプログラムは次のいずれかの方法で実行します。

方法	説明
完全な再生成	<p>通常、品目元帳基準レコードの生成プログラムを実行するのは、初めて F41112 テーブルを作成するときのみです。ただし、総勘定元帳の会計期間パターンを変更した場合には、このテーブルを完全に再生成する必要があります。完全な再生成では、情報が次のように処理されます。</p> <p>前回の完全再生成時に存在したレコードも含めて、レコードを検証します。</p> <p>F4111 テーブルのトランザクションに基づいて、現行日付でテーブルを作成します。</p> <p>テーブルの全てのトランザクションを“集計済”に指定し、部分的な再生成に含まれないようにします。</p>
部分的な再生成	<p>F41112 テーブルを初めて作成する際には、総勘定元帳の各会計期末にこの処理を実行し、新規トランザクションを入力して最新の繰越残高レコードを保管できます。</p>

F4111 テーブルからレコードが除去された場合や除去処理が実行されたかどうか不明な場合は、部分的な再生成を使用します。

次の情報に対して、トランザクションが基本計量単位で記録されます。

- 会計期間パターンに基づいた通年のデータ
- 前年度からの累積数量と原価合計
- 保管場所
- ロット
- 元帳クラス
- 会計年度

F41112 テーブルに個別のトランザクションを入力する場合は、そのレベル間の固有の各組み合わせに対してレコードを作成します。これらのレコードのうち 1 つが変更されると、各レベルで繰越残高が新規作成されます。ただし、品目元帳と会計取引勘定は省略されます。

品目元帳基準レコードの生成プログラムの実行時には、次のデータ順序を使用します。

- 略式品目番号
- 事業所
- 保管場所
- ロット
- 元帳クラス
- 元帳日付

F41112 テーブルからトランザクションを削除しないでください。削除すると、次のような理由で合計数量に影響します。

- 繰越残高情報は更新されますが、品目元帳と他の会計取引勘定は更新されません。

- ・ 削除する全てのトランザクションは品目元帳テーブルで集計済みに指定されていて、品目基準日生成テーブルの部分的な再生成を実行しても再選択されません。

品目元帳基準レコードの生成プログラムの実行中には、売上更新で処理された受注オーダーのレコードのみがロードされます。除去した品目元帳レコードは、F41112 テーブルにはロードできません。除去した品目元帳レコードをロードすると、合計が不正確になります。

複数のトランザクションと残高の検討

品目元帳の繰越残高バージョンを使用して、会計期間別に集計されたトランザクションの履歴を検討できます。繰越残高集計バージョンでは、トランザクション日付ではなく元帳日付別にトランザクション履歴を検討できます。F41112 テーブルの集計情報のみが表示されます。

各会計期間の明細情報にアクセスして、各会計期間の個別のトランザクションを検討することもできます。F41112 テーブルの情報の他に、F4111 テーブルの情報も表示されます。この情報の検討は、在庫調整に備えて多くのトランザクションを検討する必要がある場合に役立ちます。また、トランザクションの当初伝票タイプと総勘定元帳伝票タイプをトラッキングする際にも役立ちます。

個別のトランザクション

F41112 テーブルのレコードが除去されていたり、一部のレコードが破損した場合に、トランザクションを個別に入力する必要があります。基準日情報直接入力プログラム (P41112A) を使用して、これらのトランザクションを入力することができます。

重要: 品目元帳テーブルに実際に存在する品目数量のみを入力してください。品目元帳テーブルと一致しない数量を入力すると、品目残高/元帳整合性レポートでエラーが発生します。また、差異を調整するための適切な監査証跡が残らない場合もあります。

前提条件

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・ 品目元帳基準レコードの生成プログラムを実行するための時間が十分にあることを確認します。業務のピーク時を避けて、システム資源を十分に活用できる時間帯にプログラムを実行します。
- ・ 品目元帳の現行のトランザクション情報の検討の詳細については、この PeopleBook の「手持数量情報の検索」を参照してください。
- ・ 品目元帳基準レコードの生成プログラム (R41542) を実行して、個別のトランザクションに対する繰越残高レコードを作成する必要があります。詳細については、「繰越残高レコードの作成」を参照してください。

トランザクション レコードの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[基準日情報直接入力の処理]	W41112AA	[基準日処理] (G4122)、[基準日情報直接入力]	トランザクションを個別に入力します。
[基準日情報直接入力]	W41112AB	[基準日情報直接入力の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	トランザクションを個別に入力します。
[品目元帳 (繰越残高集計)]	W41112A	[基準日処理] (G4122)、[品目元帳 (繰越残高)]	複数のトランザクションと残高を検討します。

品目元帳基準日生成プログラムの実行

正確な繰越残高レコードは、在庫残高の比較と調整のためには必要不可欠です。このレコードにより、指定した保管場所にある品目の数量や原価に関する情報にアクセスできます。

[基準日処理] メニュー (G4122) で [品目元帳基準日生成] を選択します。

品目元帳基準日生成 (R41542) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

生成

再生成オプション

F41112 テーブル全体を再生成するには、「1」を入力します。空白にした場合、F4111 テーブルにある基準日生成プログラムで処理されていない任意のトランザクションを使用して、基準日テーブルが更新されます。

完了レポート

完了レポートを印刷するには「1」を入力します。空白にすると、エラーがある場合のみレポートを印刷します。

会計年度における非活動の繰越残高レコードの更新

現行会計年度にトランザクションがない品目を繰越残高レコードに含めるには、[基準日処理] メニュー (G4122) で [基準日更新] を選択します。

品目元帳基準レコードの生成プログラム (R41542) は、レコードが品目元帳テーブルに存在する場合のみ、品目基準日テーブルにレコードを作成します。その年度内に品目に対するトランザクションが発生しない場合、F4111 テーブルにレコードは作成されません。このため、F41112 テーブルにもレコードは作成されません。

前年度の活動レコードを含めるには、品目元帳基準レコードの生成プログラムを実行した後に、基準日更新プログラム (R41548) を実行します。基準日更新プログラムは品目基準日テーブルの品目レコードを検索して、次年度に対応するレコードが存在するかどうかを判断します。次年度のレコードが存在しない場合は、レコードを挿入して累計の金額と数量を繰り越します。処理オプションで指定した年度の処理が完了するまで、継続的にギャップが埋められます。

たとえば、1999 年に F41112 テーブルが初めて生成された場合、処理オプションで 2002 年を指定すると、プログラムは 1999 年の残高から処理を開始します。品目 1001 のトランザクションが 1999 年にのみ発生している場合は、2000 年、2001 年、2002 年のレコードを作成して、1999 年の残高を繰り越します。

基準日更新 (R41548) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

年度 テーブルの処理をどの会計年度まで実行するかを 4 桁の数字 (例: 1999) で入力します。空白にした場合、現行年度がデフォルトとして使用されます。無効な年度を入力すると、プログラムは実行されません。

(ARG) Generating As Of Beginning Balances for Inventory Inflation Adjustments

From the Inventory Inflation Adjustment menu (G76A39), select Create missing AS OF record.

When a new fiscal year begins and stock movement occurs in the first period, you run the Item Ledger As Of Record Generation program (R41542) for the first period, and then run the Create missing AS OF record program (R76A397) for the current period to generate records for the fiscal year in the F41112 table.

(ARG) Setting Processing Options for Create Missing
AS OF record (R76A397)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

General

Century Enter the calendar century associated with the year.

Fiscal Year Specify the fiscal year.

個別のトランザクションの入力

[基準日情報直接入力] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

基準日情報直接入力 - 基準日情報直接入力

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ビュー ツール(T)

品目 No. 2001 事業所 30

保管場所 会計年度 4 西暦上2桁 20

ロット/リアル 累計金額

元帳クラス IN30 累計数量

期間 01/07	金額	期間 08/14	金額
2005/01/31		2005/08/31	
2005/02/28		2005/09/30	
2005/03/31		2005/10/31	
2005/04/30		2005/11/30	
2005/05/31		2005/12/31	
2005/06/30		2005/12/31	
2005/07/31		2005/12/31	

[基準日情報直接入力] フォーム

F41112 テーブルが生成されると、[基準日情報直接入力の処理] フォームで特定の会計年度における品目のトランザクションと残高に関する情報を検討することができます。

[会計年度]

会計年度を識別する数字を入力します。通常、このフィールドに数字を入力するか、またはブランクのままにして [会社の設定] フォームで定義した現行会計年度を指定します。

会計期間が終了する年度ではなく、最初の期間が終わる年度を指定します。たとえば、会計年度の開始日が 1998 年 10 月 1 日、終了日が 1999 年 9 月 30 日であり、最初の期間の期末日が 1998 年 10 月 31 日である場合は、“99”ではなく“98”を指定します。

[品目 No.],[保管場所]

品目番号と保管場所の情報を入力します。

[累計金額]

指定した品目に関して、品目元帳に存在する全てのトランザクションの合計金額を入力します。

前年の累計金額と累計数量が存在する場合、[基準日情報直接入力] フォームに会計年度、事業所、品目番号を入力すると、その情報が表示されます。前年度の繰越残高レコードが存在せず、この情報が表示されない場合は、手動で入力することができます。ただし、入力する金額は前年度の合計と一致している必要があります。

[累計数量]

指定した品目に関して、品目元帳に存在する全てのトランザクションの累計数量を入力します。

[金額]

会計期間中に転記された正味金額を表す数字を入力します。F0010 テーブルの会計期間が使用されます。正味転記額は、期間の開始日付から終了日付までの借方金額と貸方金額の合計です。

複数のトランザクションと残高の検討

[品目元帳(繰越残高集計)] フォームにアクセスします。次の図は、このフォームを示しています。

品目元帳(繰越残高) - 品目元帳(繰越残高集計) [?] [!]

選択(S) 検索(O) 閉じる(L) ロー(R) ツール(T)

☒ ☐ ☒ ☐ ☒

品目番号	*			元帳クラス	*
事業所コード	*			会計年度(4桁)	2005
保管場所	*			計量単位	
ロット/リアルNo.	*				

レコード 1 - 13 グリッドのカスタマイズ [?] [!]

	終了期間	期間数量	累計数量	期間金額	累計金額
<input checked="" type="radio"/>	Balance Forward				
<input type="radio"/>	05/01/31	32800	32800	1,040,670.53	1,040,670.53
<input type="radio"/>	05/02/28	280	33080	117,443.00	1,158,113.53
<input type="radio"/>	05/03/31	935	34015	427,633.50	1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/04/30		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/05/31		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/06/30		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/07/31		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/08/31		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/09/30		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/10/31		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/11/30		34015		1,585,747.03
<input type="radio"/>	05/12/31		34015		1,585,747.03

[品目元帳(繰越残高集計)] フォーム

[終了期間] ユーザー定義の名前または備考を入力します。

[期間数量] 将来使用のために予約されています。基本計量単位で表された、部品表上の実績数量です。

[累計数量] ECO 処分の結果、再作業または仕損となる品目の合計数量を入力します。

品目元帳明細レポート (R41540) の検討

[基準日処理] メニュー (G4122) で [品目元帳明細レポート] を選択します。

品目元帳明細レポート (R41540) では、処理オプションで選択した元帳日付よりも前の繰越残高レコードからの累計トランザクションを表示します。選択する元帳日付は、処理オプションで設定したユーザー定義の元帳日付に基づきます。

品目元帳明細レポートの処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

レポート表示

- | | |
|------|------------------|
| 開始日付 | 1. 開始元帳日付を入力します。 |
| 終了日付 | 2. 終了元帳日付を入力します。 |

元帳クラス別品目元帳レポートの検討

[基準日処理] メニュー (G4122) で [元帳クラス別品目元帳レポート] を選択します。

元帳クラス別品目元帳レポートを使用して、特定の元帳クラスとカテゴリ コードに関するトランザクションの上位レベル合計を検討します。レポートの各行には、処理オプションで指定した会計年度と会計期間における総勘定元帳の分類コード別の合計が表示されます。

品目元帳基準レコードの生成プログラムによって、このプログラムで使用される会計期間の数量と金額が作成されます。

次のレポート順序は変更しないでください。

- 事業所
- 元帳クラス

元帳クラス別品目元帳の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

レポート オプション

- | | |
|------------|---|
| 有効年度 | 元帳クラス別品目元帳レポートを作成する最終の年度と期間を入力します。会計期間と会計年度を入力しない場合は、財務レポートの年度と期間が使用されます。 |
| 期間 - 総勘定元帳 | 元帳クラス別品目元帳レポートを作成する最終の年度と期間を入力します。会計期間と会計年度を入力しない場合は、財務レポートの年度と期間が使用されます。 |

主科目別総勘定元帳レポートの検討

[基準日処理] メニュー (G4122) で [主科目別総勘定元帳レポート] を選択します。

主科目別総勘定元帳レポートを使用して、総勘定元帳を主科目順に印刷します。特定のトランザクション伝票または全てのトランザクション伝票を選択できます。このレポートでは、F0006 と F0901 テーブルの情報にアクセスします。表示される情報は次のとおりです。

- 繰越残高集計

- 勘定科目モード選択
- 補助元帳選択
- 主科目集計

主科目別総勘定元帳レポートの処理オプションの設定

参照: JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「EnterpriseOne 一般会計レポート」、「総勘定元帳（主科目別）(R09421) の処理オプション」

主科目別試算表レポートの検討

[基準日処理] メニュー (G4122) で [主科目別試算表レポート] を選択します。

主科目別試算表レポートを使用して、転記額合計を含む試算表と勘定残高を主科目順に印刷します。このレポートでは、F0006 と F0901 テーブルの情報にアクセスします。表示される情報は次のとおりです。

- 主科目別試算表
- 勘定科目モード選択
- 補助元帳選択
- 主科目集計

主科目別試算表レポートの処理オプションの設定

参照: JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「EnterpriseOne 一般会計レポート」、「試算表（主科目別）(R094121) の処理オプション」

第 6 章

実地棚卸の管理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、実地棚卸の管理の概要、および以下の方法について説明します。

- 循環棚卸の処理
- タグ棚卸の処理
- (Rapid Start) Manage inventory counts
- (Rapid Start) Process items for putaway

実地棚卸の管理について

正確に在庫を把握することにより、次の点に貢献できます。

- バックオーダーの減少
- 在庫投資金額の節減
- 在庫不足に起因するダウンタイムの減少
- 安定した期日納品

さまざまなニーズに応じて、循環棚卸とタグ棚卸の両方を使うことができます。双方とも、オンラインの棚卸記録と実地棚卸の管理を調整するのに役立ちます。

循環棚卸は品目に基づく棚卸方法です。循環棚卸処理では、年間を通じて一定の間隔で棚卸を実施する品目を選択します。タグ棚卸は保管場所に基づく棚卸方法で、年度末に行う一斉実地棚卸に適しています。

この章で使用する共通フィールド

絶対値	棚卸前の絶対値またはパーセント値を超える場合に、差異金額を表示するかどうかを指定します。
棚卸数量	全ての場所に保管されている対象品目の合計棚卸数量を基本計量単位で入力します。
差異数量、差異金額	差異数量および差異金額を計算して表示するかどうかを指定します。

循環棚卸の処理

このセクションでは、循環棚卸の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 棚卸品目の選択プログラムの実行
- 棚卸品目の選択プログラム (R41411) の処理オプションの設定
- 循環棚卸状況の確認
- 循環棚卸票の印刷
- 循環棚卸票の印刷プログラム (R41410A) の処理オプションの設定
- 循環棚卸の取り消し
- 循環棚卸の入力
- 既存ライセンス プレートの棚卸数量の入力
- 循環棚卸差異の確認
- 循環棚卸数量の改訂
- 循環棚卸の承認
- 循環棚卸の更新プログラムの実行
- 循環棚卸の更新プログラム (R41413) の処理オプションの設定

循環棚卸について

循環棚卸は品目に基づく在庫棚卸方法です。在庫棚卸票を印刷して、その用紙に品目番号と記述、保管場所などのデータを記録します。棚卸後、在庫棚卸票を使ってオンラインの在庫レコードを更新します。

循環棚卸方法には以下のような効果があります。

- 年間を通して定期的に棚卸する品目のグループ化
- 差異のトラッキング
- 原価およびバックオーダーの低減

棚卸の精度を高めるために、タグ棚卸と関連させて循環棚卸を使用することをお勧めします。これらのアプリケーションでは、既存ライセンス プレートに棚卸数量を表示することもできます。循環棚卸入力 (P4141A) の [ロー] メニュー、またはタグ棚卸入力 (W41604P) の [フォーム] メニューから、ライセンス プレート番号詳細入力プログラム (P46L42) にアクセスできます。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 次の AAI (自動仕訳) が設定されていることを確認します。
 - AAI テーブル 4152: 棚卸差異について、棚卸資産の相手科目を指定する AAI
 - AAI テーブル 4154: 更新する売上原価勘定科目を指定する AAI
 - AAI テーブル 4141: 更新する差異勘定科目を指定する AAI (標準原価を使用する場合のみ設定)
 - AAI テーブル 4122、4124、4126、4128: ゼロ残高調整用の勘定科目を指定する AAI

- 品目マスター プログラム (P4101) と事業所品目プログラム (P41026) で [循環棚卸カテゴリコード] フィールドを設定します。循環棚卸の更新プログラム (R41413) で関連する更新方法を使用するには、このフィールドを設定する必要があります。
- F4102 テーブルまたは F41021 テーブルのフィールドをレビューして、棚卸する品目を指定します。
- 処理オプションで状況コードを指定して、表示する情報を指定します。
- 循環棚卸票を印刷する前に、プリンタ ファイルの上書き情報を変更していないことを確認します。レポートの長さや幅などの情報を変更すると、レポートのフォーマットに影響する場合があります。

循環棚卸の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[循環棚卸の処理]	W41240A	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[循環棚卸の検討]	循環棚卸を確認します。
[循環棚卸明細の処理]	W41241A	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[循環棚卸の検討] [循環棚卸の処理] フォームで、循環棚卸を1つ選択し、[ロー] メニューから [循環棚卸明細] をクリックします。	循環棚卸明細を確認します。
[循環棚卸の入力]	W4141A	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[循環棚卸の入力] [循環棚卸の処理] フォームで、循環棚卸を1つ選択し、[ロー] メニューから [循環棚卸の入力] をクリックします。	循環棚卸の結果を入力します。
[循環/タグ棚卸ライセンス・プレート番号詳細入力]	W46L42A	[タグ棚卸入力] で、[フォーム] メニューから [ライセンス・プレート詳細の入力] をクリックします。	既存ライセンスプレートの棚卸数量を入力します。 注: ライセンスプレート処理は、上級倉庫管理を使用していて、事業所に対しライセンスプレート処理を有効化している場合にのみ機能します。

循環棚卸品目の選択プログラムの実行

[在庫棚卸(その他)] メニュー (G4121) で [循環棚卸品目の選択] をクリックします。

循環棚卸の処理を開始する前に循環棚卸品目の選択プログラム (R41411) を実行する必要があります。循環棚卸品目の選択プログラムにより、棚卸の対象になる各在庫品目のレコードが作成され、現行の手持数量と原価が記録されます。次に、循環棚卸品目の選択レポートが生成されます。このレポートにより、実際の手持数量をオンライン レコードと比較します。

情報は次のように処理されます。

- データ選択に基づいて棚卸品目が選択される
- 現行の手持在庫残高が F4141 テーブルの [棚卸時手持数量] フィールドにコピーされる

- F4140 テーブルに、循環棚卸品目の処理完了時状況コードを含む循環棚卸見出しが作成される
- 次の見出しデータが、各品目の選択保管場所を示す F4141 テーブルで更新される
 - 品目情報
 - 手持数量
 - 手持在庫金額
- 各保管場所の選択品目と、棚卸時の品目手持数量を表示した棚卸品目の選択レポートが作成される
データ選択を使用して、次の項目別に品目を整理することができます。
- 循環棚卸カテゴリ（例：月次、半年ごと）
- ABC コード（例：A 品目の月次棚卸）

循環棚卸品目の選択レポートで使用される次の情報の順序は変更できません。

- 略式品目番号
- ロット
- 保管場所

関連項目:

第 6 章、「実地棚卸の管理」、「循環棚卸の更新プログラムの実行」、201 ページ

循環棚卸品目の選択 (R41411) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

印刷

[循環棚卸記述] 循環棚卸記述を入力してください。

循環棚卸状況の確認

[循環棚卸の処理] フォームにアクセスします。

循環棚卸を実施する前に、各循環棚卸のオンライン状況を確認して、棚卸の品目記述などの明細情報にアクセスします。状況コード範囲は、処理オプションで指定します。プログラムは、これらの状況コードを使って循環棚卸レコードを選択および表示します。状況コード範囲は、循環棚卸の確認中にいつでも変更できます。

場合によっては、循環棚卸品目の選択プログラムを実行してから実地棚卸を実施するまでの間にトランザクションが発生し、F4141 テーブルの [手持数量] フィールドの値が不正確になることがあります。この場合、棚卸を実行する前に [循環棚卸の処理] フォームで最新の手持数量に更新することができます。システムでは、この処理を「凍結値の再設定」と呼びます。

プログラムにより F4141 テーブルの手持数量フィールドが保管場所品目テーブルの手持数量に更新され、新しい数量を基に金額フィールドが更新されて、棚卸数量フィールドがゼロになります。

- [品目番号] 品目の ID を入力します。
- [手持数量] 循環棚卸の最初の品目に基本計量単位で合計手持数量を入力します。
- [棚卸数量] この品目に対する全ての保管場所における棚卸の合計数量を入力します。

循環棚卸票の印刷

[在庫棚卸 (その他)] メニュー (G4121) で [循環棚卸票の印刷] をクリックします。

循環棚卸品目を選択してオンラインで確認した後、実地棚卸に使用する循環棚卸リストを印刷します。循環棚卸リストは、循環棚卸の検討プログラム (P41240) からでも印刷できます。処理オプションで指定したバージョンが使用されます。

循環棚卸票の印刷プログラムを実行して、棚卸票に F4141 テーブルの情報を印刷します。特定の循環棚卸番号を印刷するには、データ選択でその番号を指定します。

循環棚卸票の印刷レポートの生成では、次の順序を使用します。

- 循環棚卸番号
- 品目番号
- 事業所

循環棚卸票を印刷すると、[状況] フィールドが “印刷済み” になります。

循環棚卸リストの印刷 (R41410A) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

印刷

[取消しなしの棚卸表印刷] エラーのみを印刷するには、“1” を入力します。ブランクにした場合は、全ての循環棚卸が印刷されます。

循環棚卸の取り消し

[在庫棚卸 (その他)] メニュー (G4121) で [循環棚卸の検討] をクリックします。

更新前であれば、いつでも循環棚卸を取り消すことができます。たとえば、循環棚卸リストを印刷してから循環棚卸を実施するまでに何日か空いてしまう場合、循環棚卸を取り消して、後で再印刷することができます。

棚卸リストを取り消すと、[状況] フィールドは “取消済み” になります。

循環棚卸結果の入力

[循環棚卸の入力] フォームにアクセスします。

循環棚卸を実施して循環棚卸リストに棚卸の結果を記録した後、その情報をシステムの在庫レコードに入力します。棚卸の結果がゼロの場合でも、その結果を入力する必要があります。

棚卸の結果、新しい保管場所で見つかった品目がある場合、保管場所制御の固定情報がその事業所に対して有効になっていなければ、[循環棚卸の入力] フォームのブランク行にその新しい保管場所を追加することができます。保管場所制御の固定情報が有効になっている場合は、[循環棚卸の入力] フォームに数量を入力する前に F4100 テーブルに新しい保管場所を設定する必要があります。

新しい保管場所を入力した場合、循環棚卸の結果を入力して循環棚卸の更新プログラムを実行した後、保管場所品目レコードと数量/金額全体に対する差異が作成されます。

[棚卸数量]	基本計算単位で棚卸件数を入力します。
[単位]	CS (ケース)、BX (箱) など、在庫の数量単位の表示に使用するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。
[合計数量]	この品目に対する全ての保管場所における棚卸の合計数量を入力します。
[2 次計量単位棚卸数量]	[在庫固定情報] で 2 次計量単位のオプションを選択した場合、このフィールドがデータ入力画面に表示されます。
[2 次計量単位]	対象品目の代替用の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「倉庫保管場所の設定」、32 ページ

既存ライセンス プレートの棚卸数量の入力

[循環/タグ棚卸ライセンス・プレート番号詳細入力] フォームにアクセスします。

注: 既存ライセンス プレートに棚卸数量を入力するには、上級倉庫管理機能が有効化されていて、倉庫とライセンス プレートについて全ての必要な設定がなされている必要があります。

[ライセンス プレート番号]	品目の集合などを示すライセンス プレートを識別する固有値を入力します。通常、ライセンス プレート番号は、移動や在庫トランザクションを簡略化するために用います。
[棚卸数量]	全ての場所に保管されている対象品目の合計棚卸数量を基本計量単位で入力します。
[2 重単位棚卸数量]	2 重計量単位の棚卸数量を入力します。このフィールドは、2 重計量単位の品目の場合のみ表示されます。

F46L11 テーブルにライセンス プレート品目明細レコードがない場合は、[循環/タグ棚卸ライセンス・プレート番号詳細入力] フォーム (W46L42A) にアクセスできません。また、以下の場合、ライセンス プレート品目明細は処理されません。

- 事業所が倉庫制御されていない
- 事業所に対してライセンス プレート番号処理が有効化されていない
- 保管場所についてライセンス プレート番号が存在しない
- 在庫タイプが無効
- 在庫インターフェイス フラグが無効

- 品目がバルク品目
- 工程が手持ステップにない
- 非同期処理が完了していない

循環棚卸差異の確認

[循環棚卸明細の処理] フォームにアクセスします。以下の画面が表示されます。

循環棚卸の検討 - 循環棚卸明細の処理

検索(🔍) 開じる(L) フォーム(F) ツール(T)

循環棚卸No. 250 事業所 *

☒ 差異数量
☐ 差異金額

比較演算子 金額

☒ 絶対値
☐ %

レコード 1 - 19

品目No.	記述	手持数量	棚卸数量	棚卸コード	棚卸日付	数量差異	差異数量 %	2次手持数量
<input checked="" type="radio"/> 1001	Bike Rack - Trunk Mount	0	0					
<input type="radio"/>	TOTALS	0	0					
<input type="radio"/> 2001	Cro-Moly Frame, Red	500	0					
<input type="radio"/>	TOTALS	500	0					
<input type="radio"/> 2002	Cro-Moly Frame, Two Tone	500	0					
<input type="radio"/>	TOTALS	500	0					
<input type="radio"/> 2003	Cro-Moly Frame, Green	500	0					
<input type="radio"/>	TOTALS	500	0					
<input type="radio"/> 2004	Cro-Moly Frame	500	0					
<input type="radio"/>	TOTALS	500	0					
<input type="radio"/> 2005	Chain Stay	500	0					

[循環棚卸明細の処理] フォーム

循環棚卸の結果を入力すると、差異が自動的に計算されます。差異は手持数量と棚卸数量との差です。差異の解消方法に関する情報はオンラインで参照してください。

各品目に対して次の情報を検討することができます。

- 手持数量
- 棚卸数量
- 差異

システムによって棚卸が更新される際に、F41021、F4111、および F0911 テーブルに差異が記録されます。

オンラインで差異情報を確認できるだけでなく、[フォーム] メニューまたは [在庫棚卸 (その他)] メニューから [循環棚卸差異明細の印刷] を選択してレポートを印刷できます。このレポートには循環棚卸の結果と在庫レコードの差異が表示され、差異の解消に役立ちます。

[フォーム] メニューからこのレポートを実行すると、フォームに設定された差異基準が使用され、処理オプションのデフォルトが上書きされます。このレポートを [在庫棚卸 (その他)] メニューから実行すると、処理オプションで設定したバージョンが使用されます。

[差異数量]、[差異金額]	差異数量と差異金額のどちらを計算して表示するかを示す差異タイプを入力します。
[金額]	関連する勘定科目番号の勘定残高に追加される金額を示す数字を入力します。貸方の金額は、金額の前か後にマイナスの符号 (-) を付けて入力します。
[絶対値]	棚卸前の絶対値またはパーセント値を超える場合に差異金額を表示するかどうかを指定します。
[%]	棚卸前の絶対値またはパーセント値を超える場合に差異金額を表示するかどうかを指定します。
[比較演算子]	<p>表示する差異の範囲間の関係を示すユーザー定義コード (00/VA) を入力します。有効値は次のとおりです。</p> <p>EQ 同等 (=)</p> <p>LT 未満</p> <p>LE 以下 (<=)</p> <p>GT より大きい (>)</p> <p>GE 以上 (>=)</p> <p>NE 等しくない</p> <p>このフォームで可以使用なのは、EQ、LT、LE、GT と GE のみです。NL、NG、CT、CU は有効値ではありません。</p> <p>NL より小さくない</p> <p>NG より大きくない</p> <p>CT オープン クエリー ファイル (クエリー ファイルを開く機能について選択時のみ使用可能)</p> <p>CU 入力データを全て大文字に変換する以外は CT と同じ</p>

関連項目:

付録 B、「EnterpriseOne 在庫管理レポート」、「差異明細の印刷レポート」、346ページ

循環棚卸数量の改訂

[循環棚卸の入力] フォームにアクセスします。

循環棚卸の差異情報を入力および確認した後、一部の品目だけ再度棚卸を実行して循環棚卸数量を改訂する場合があります。改訂後、オンラインまたは循環棚卸差異明細の印刷レポート (R41403) で差異を再確認できます。

循環棚卸数量を改訂するには、次のどちらかの方法を使用できます。

- 棚卸の置換
- 数量の加算および減算

関連項目:

付録 B、「EnterpriseOne 在庫管理レポート」、「差異明細の印刷レポート」、346ページ

循環棚卸の承認

[循環棚卸の処理] フォームにアクセスします。

循環棚卸を入力および確認して責任者による承認を得た後、循環棚卸状況を更新してその棚卸が承認されたことを示す必要があります。棚卸状況は、F4140 テーブルに保存されます。

循環棚卸の状況コードが“承認済み”に更新されると、その棚卸情報を更新処理で使えるようになります。棚卸情報は必要に応じて上書きできます。

循環棚卸情報の入力、確認、および承認が終わったら、循環棚卸の更新プログラムを実行して元帳と残高を更新してください。

循環棚卸の更新プログラムの実行

[在庫棚卸 (その他)] メニュー (G4121) で、[循環棚卸の更新] をクリックします。

循環棚卸情報の入力、確認、および承認が終わった後に、循環棚卸の更新プログラム (R41413) を実行してください。このプログラムにより、F4111、F0911、F41021 テーブルに差異が記録されます。

データ選択を使用して、更新する循環棚卸番号を指定します。状況が“承認済み”の循環棚卸のみが更新されます。正常に更新されると、循環棚卸の更新プログラムにより状況が“完了”に更新されます。正常に更新されなかった場合、エラー ログは生成されません。この場合、循環棚卸状況は“承認済み”のままです。

次の循環棚卸に備えて、保管場所品目テーブルの [次回棚卸日付] フィールドが更新されます。処理オプションの設定に従って、プログラムによって使用される方法が決まります。以下の方法があります。

- ユーザー定義コード テーブル (41/8) の循環棚卸カテゴリコードを使用して、循環棚卸の頻度と日数を定義する

この方法を使用するには、F4101 テーブルと F4102 テーブルに適切な循環棚卸コードを入力する必要があります。

たとえば、[デフォルト] タブの [次回棚卸日付] に“1”を入力した場合、品目の [循環棚卸カテゴリ] フィールドが“QTR”であれば、QTR の [記述2] フィールドの日数 (91 など) を使用して現行の日付から次の棚卸日付が計算されます。

- [デフォルト] タブの [次回棚卸日付] を空白にした場合、その品目に対する [ABC コード 1 売上 - 在庫] のランキングがユーザー定義コード テーブル (41/NC) と関連付けられ、次の棚卸日付が決まります。

[保管場所の改訂] フォームの [次回棚卸日] フィールドでこの日付を確認し、循環棚卸品目の選択プログラムのデータ選択でそのフィールドを指定することができます。

関連項目:

付録 B、「EnterpriseOne 在庫管理レポート」、「差異明細の印刷レポート」、346ページ

循環棚卸の更新プログラム (R41413) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

この処理オプションでは、総勘定元帳への転記および次回の循環棚卸に使用される日付を定義します。

[1. 元帳日付] 循環棚卸差異が F0911 テーブルに転記される際に関連付けられる日付を入力します。特定の日付を入力するか、カレンダーから日付を選択してください。ブランクにすると、現在の日付が使用されます。

[2. 次回棚卸日付] 次回循環棚卸の日付を指定します。循環棚卸の入力プログラム (P4141) は、次回の循環棚卸に備えて F41021 テーブルの [次回棚卸日] フィールドを更新します。

この日付は循環棚卸カテゴリ コードまたは ABC コードのどちらかに基づいて決定されます。どちらの方法も、コードと次回の循環棚卸までの日数との関係を示すユーザー定義コードのセットに基づきます。品目の入力時または改訂時に F4101 テーブルと F4102 テーブルに適切なコードを入力してください。

循環棚卸カテゴリ コードを使用する場合はユーザー定義コード テーブル (41/8) が参照されます。この場合、対象の品目について、品目マスターと事業所品目テーブルの [循環棚卸カテゴリ] フィールドの両方に循環棚卸コードが設定されている必要があります。たとえば、品目の [循環棚卸カテゴリ] フィールドに "QTR" が設定されている場合、ユーザー定義コード テーブル (41/8) で QTR の [記述02] フィールドに入力されている日数 (91 など) を現行の日付に加えることにより、次回の循環棚卸日が計算されます。

ABC コードを使用する場合は、ユーザー定義コード テーブル (41/NC) が参照されます。この場合、品目マスターと事業所品目テーブルの ABC コード 1 フィールド (売上 - 在庫) に ABC コードが設定されている必要があります。

計算された日付は [保管場所の改訂] フォームの [次回棚卸日] フィールドで確認できます。また、循環棚卸品目の選択プログラム (R41411) のデータ選択でこのフィールドを指定することも可能です。

有効値は次のとおりです。

ブランク

ABC コードに基づいて日付が決定されます。

1

循環棚卸カテゴリ コードに基づいて日付が決定されます。

処理

この処理オプションでは、次の処理をプログラムで実行するかどうかを指定します。

- F4141 と F4142 テーブルから明細レコードを削除する。
- 差異がゼロのトランザクションに対して F4111 テーブルにレコードを作成する。

1. [循環棚卸テーブルと倉庫トランザクション テーブルからの明細レコードの削除]

F4141 テーブルと F4142 テーブルから処理済みのレコードを削除するかどうかを指定します。明細レコードには、総勘定元帳に保管されている手持数量と金額が記録されています。また、棚卸の対象となった保管場所、単位原価、棚卸を行った担当者名、および棚卸日付も記録されています。

この処理オプションを "1" にすると、処理の完了後にレコードは削除されます。"1" を設定した場合は、まず差異レポートを実行してから循環棚卸の更新プログラム (R41413) を実行してください。このプログラムを実行すると、差異を計算するための明細レコードが存在しなくなります。

この処理オプションを空白にした場合、ファイル ユーティリティを使用するか、またはバッチ プログラムを作成して、後で循環棚卸トランザクション ファイル テーブルと倉庫棚卸トランザクション テーブルから明細レコードを削除できます。有効値は次のとおりです。

1

循環棚卸トランザクション ファイル テーブルと倉庫棚卸トランザクション テーブルから明細レコードを削除する。

空白

明細レコードを削除しない。

2. [差異がゼロの品目元帳レコードを作成します。]

差異がゼロのトランザクションに対して F4111 テーブルにレコードを作成するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

空白

差異がゼロの場合はレコードを作成しない。

1

差異がゼロの場合もレコードを作成する。

インタオペラビリティ

この処理オプションでは、循環棚卸差異に対して送信インタオペラビリティトランザクションを作成するかどうか、また、その場合に送信トランザクションに使用するトランザクション タイプを指定します。

[1. トランザクション・タイプ]

送信インタオペラビリティトランザクションを作成するときに使用されるトランザクション タイプ定義コード (00/TT) を定義します。空白にすると、循環棚卸トランザクションの送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

タグ棚卸の処理

このセクションでは、タグ棚卸の概要と以下の方法について説明します。

- 棚卸品目の選択プログラムの実行
- 在庫タグの印刷
- 在庫タグの印刷の処理オプション設定 (R41607)
- タグ配布情報の記録
- タグ状況の検討の処理オプション設定
- タグ受取り情報の記録
- タグ棚卸結果の入力
- タグ状況の検討
- タグ状況集計の検討
- タグ棚卸差異の検討
- タグ棚卸更新の実行
- タグ在庫の更新の処理オプション設定 (R41610)

タグ棚卸について

タグ棚卸は保管場所の全品目について棚卸を実施する方法です。タグ棚卸では、実際に全品目にタグを付けて保管場所別に棚卸を 2 回実施します。通常、年度末または会社が決定した時期に実施します。タグ棚卸では、2 つのチームが同じ棚卸を別個に行い、タグ上の異なる箇所に各チームの棚卸データを記録します。その後、各チームの棚卸結果を比較して差異を解消します。

循環棚卸とタグ棚卸の両方を実施すると、情報の精度を向上させることができます。これらのアプリケーションでは、既存ライセンス プレートに棚卸数量を表示することもできます。循環棚卸入力 (P4141A) の [ロー] メニューまたはタグ棚卸入力 (W41604P) の [フォーム] メニューから、ライセンス プレート番号詳細入力プログラム (P46L42) にアクセスできます。

タグ配布情報

タグを棚卸チームに配布する前に、タグ番号ごとの担当者を記録する必要があります。この情報を使って、次の情報をトラッキングします。

- 誰が各品目にタグを付けたか
- 誰が個々のタグの記録データを回収したか

棚卸中に発生した入出荷や品目破損については各チームに報告する必要があります。棚卸担当者は棚卸中に追加および移動された全ての品目を保管場所別に記録します。

既存のグループに追加のタグを入力することはできません。この場合、タグ印刷プログラムを使って、続き番号が付いたタグの新しいグループを印刷してください。また、タグ状況の検討プログラムを使ってタグを削除することはできません。全てのタグ番号が影響を受けるからです。ただし、タグの状況を “DS” (破損) に変更して、そのタグを使用できないようにすることは可能です。

特定の保管場所詳細レコードの棚卸情報を入力する場合、タグ状況の検討プログラム (P41604) で適切な処理オプションを設定してください。

関連項目:

第 6 章、「実地棚卸の管理」、「循環棚卸の処理」、194ページ

タグ棚卸の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[タグの発行/受取り]	W41604E	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[タグの発行/ 受取り] [タグ状況検討の処理] フォームで、循環棚卸を 1 つ選択し、[ロー]メニュー から[発行/受取り]をク リックします。	タグ配布情報を記録 します。
[タグ棚卸入力]	W41604P	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[タグ棚卸入力] [タグ状況検討の処理] フォームで、循環棚卸を 1 つ選択し、[ロー]メニュー から[発行/受取り]をク リックします。	タグ棚卸結果を入力 します。
[タグ状況検討の処理]	W41604A	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[タグ状況の検討]	タグ状況を確認します。
[タグ状況集計の処理]	W41604O	[タグ状況検討の処理] フォームで、行を 1 行選択 し、[フォーム]メニュー から[状況の集計]をク リックします。	タグ状況集計を確認 します。
[タグ差異検討の処理]	W41604L	[タグ状況検討の処理] フォームで、行を 1 行選択 し、[フォーム]メニュー から[差異の検討]をク リックします。	タグ棚卸の差異を確認 します。

タグ棚卸品目の選択プログラムの実行

[在庫棚卸(その他)] メニュー (G4121) で [タグ棚卸品目の選択] をクリックします。

タグ棚卸を処理する前に、棚卸品目の選択 (タグ在庫) プログラム (R416060) を実行してください。このプログラムは、棚卸の対象になる各在庫品目のレコードを作成して、現行の手持数量と原価を記録します。

タグ棚卸品目の選択 (タグ在庫) プログラムを実行する前に、非在庫品目に対応する以下の非在庫タイプを除外してください。

- K (キット品)
- F (フィーチャー品)
- その他のユーザー定義在庫タイプ

在庫タグの印刷

[在庫棚卸 (その他)] メニュー (G4121) から [タグ印刷] をクリックします。

タグは随時印刷できますが、通常はタグ棚卸処理の開始時にタグを印刷して、棚卸を実施するチームに配布します。タグ印刷プログラム (R41607) を実行して、それぞれの保管場所の在庫タグを印刷してください。タグは 2 つの部分に分かれていて、次の情報が印刷されます。

- 事業所
- 印刷日付
- タグ番号

タグのフォーマットは必要に応じて変更できます。タグ番号とタグ状況の情報は F4160 テーブルに保存されます。

タグ印刷プログラムでは、データ選択とデータ順序設定は使用できません。このプログラムは、処理オプションで指定した枚数だけタグを印刷することを目的としているためです。

在庫タグの印刷 (R41607) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

[タグ数] 印刷するタグの数を入力します。

[事業所] タグに印刷する事業所を入力します。

タグ配布情報の記録

[タグの発行/受取り] フォームにアクセスします。

[タグ状況] タグ在庫の棚卸処理におけるタグの状況を示すユーザー定義コード (41/TS) を入力します。

[発行済みタグ チーム ID] タグを発行した個人またはチームの住所番号を入力します。

タグ状況の検討の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

- [状況 1] タグの変更に關する有効な状況を入力します。
- [状況 2] タグの変更に關する有効な状況を入力します。
- [状況 3] タグの変更に關する有効な状況を入力します。
- [状況 4] タグの変更に關する有効な状況を入力します。
- [デフォルト基本保管場所とロット] 基本保管場所の保管場所とロットをデフォルトとして使用するには“1”を入力します。ブランクの 2 次保管場所を使用する場合、この処理オプションは無効になります。
- [2 次保管場所の追加] 2 次保管場所レコードを追加できるようにするには、“1”を入力します。

倉庫

- [保管場所詳細] [保管場所詳細の選択] フォームを使って特定の保管場所詳細レコードの棚卸を入力するには“1”を入力します。ブランクにすると、保管場所詳細レコードは自動的に選択されます。
- [ライセンス プレート] ライセンス プレート番号を手入力できるようにするには“1”を入力します。

タグ受取り情報の記録

- [タグの発行/受取り] フォームにアクセスします。
- 棚卸担当者が在庫タグを回収した後に、次の情報を入力します。

- タグを回収したチーム
- チームから受け取ったタグ番号

[受取済みタグチーム ID] タグを発行した個人またはチームの住所番号を入力します。

タグ棚卸結果の入力

- [タグ棚卸入力] フォームにアクセスします。
- タグ棚卸の終了後は、必ず、各タグの情報を入力してください。

タグ状況の確認

- [タグ状況検討の処理] フォームにアクセスします。
- タグの現行状況を確認して、紛失したタグや不完全なタグをチェックすることができます。

タグ状況集計の確認

- [タグ状況集計の処理] フォームにアクセスします。
- タグ詳細情報を印刷するには、[フォーム] メニューから [詳細の印刷] をクリックします。

タグ棚卸差異の確認

- [タグ差異検討の処理] フォームにアクセスします。

タグ棚卸の結果を入力した後、オンラインの在庫の金額および原価と実施した棚卸在庫の金額との差異を確認することができます。

- [差異数量]** この品目に対する全ての保管場所における棚卸の合計数量を入力します。
- [差異金額]** 関連する勘定科目番号の勘定残高に追加される金額を示す数字を入力します。貸方の金額は、金額の前か後にマイナスの符号 (-) を付けて入力します。
- [絶対値]** 棚卸前の絶対値またはパーセント値を超える場合に、差異金額を表示するかどうかを指定します。

タグ棚卸の更新の実行

[在庫棚卸 (その他)] メニュー (G4121) で [タグの更新] をクリックします。

タグ棚卸結果を入力して差異を確認した後にタグの更新プログラムを実行します。このプログラムは以下の処理を行います。

- オンラインの手持数量と実際の棚卸結果の比較
- 差異数量および差異金額の計算
- 保管場所品目レコードと品目元帳の数量情報の更新
- AAI (自動仕訳) に基づいた仕訳の作成

更新に使われたタグ グループの棚卸情報は追加入力できません。タグの更新を実行すると、処理オプションの設定に従って、タグ在庫テーブルの状況が "CL" (終了) に更新されるか、またはレコードが削除されます。更新の結果は [品目元帳の照会] フォームと [仕訳の検討] フォームで確認することができます。

データ順序

タグ棚卸の更新プログラム (R41610) では次の順序を使用することをお勧めします。

- 略式品目番号
- 事業所
- 保管場所
- ロット

タグ在庫の更新 (R41610) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

この処理オプションでは、タグ在庫の更新に関する情報を設定できます。

- [1. タグの削除]** 更新後に F4160 テーブルから、タグを削除するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク
更新後にタグを削除しない。
1
更新後にタグを削除する。

2. [元帳日付] タグ在庫の更新と関連付ける元帳日付を指定します。特定の日付を入力するか、カレンダーから日付を選択してください。ブランクにすると、現在の日付が使用されます。

インタオペラビリティ
この処理オプションでは、送信インタオペラビリティ処理を実行するかどうかを制御します。

[1. トランザクション・タイプ] サブシステム経由で、送信インタオペラビリティトランザクション処理を実行するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。
ブランク
インタオペラビリティ処理を実行しない。
1
インタオペラビリティ処理を実行する。

(Rapid Start) Manage Inventory

This section lists prerequisites and discusses how to manage inventory count.

Managing Inventory Count

This table lists the tasks that should be completed to manage inventory count:

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Select items for inventory count.	Cycle Count Select Items for Inventory Count	R41411/RIS0001	User Defined Table 41/NC is set to reschedule items for count on the frequency based on inventory ABC codes: A items – 5 weeks B items – 13 weeks C items – 26 weeks D items – 26 weeks

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Print count sheets.	Cycle Count Review Items Selected for Count Select Print Count Sheets from the Row menu	P41240/RIS0001 R41410A/RIS0001	
Review items selected for count.	Cycle Count Review Items Selected for Count	P41240/RIS0001	
Enter the correct quantities for the recounted items and locations.	Cycle Count Review Items Selected for Count Select Enter Cycle Count from the Row menu.	P41240/RIS0001 P4141/no version	
Approve cycle count.	Cycle Count Review Items Selected for Count, Select Approve Cycle Count from the Row menu.	P41240/RIS0001	
Update the counts to inventory.	Cycle Count Review Items Selected for Count Select Update Cycle Count from the Row menu.	P41240/RIS0001 R41413/RIS0001	
Post inventory transactions.	Post to the General Ledger Post All Inventory Transactions	R09801/RIS0008	

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Select Items for Count (R41411)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the Cycle Count Description	blank
Cycle Count Description	Daily Count

Preconfigured Processing Options for Cycle Count Review (P41240)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. From Cycle Status	10
2. Thru Cycle Status	40

Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Cycle Count Print (R41410A)	RIS0001
2. Cycle Count Update (R41413)	RIS0001

Preconfigured Processing Options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter a '1' to print non-cancelled sheets. If left blank, all cycle sheets will be printed.	blank
Print Non-cancelled sheets	1

Preconfigured Processing Options for Cycle Count Update (R41413)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. General Ledger Date A specific date	blank
2. Next Count Date	blank

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Delete Detail Records from Cycle Count and Warehouse Transaction tables	blank
2. Create Item Ledger Records for zero variances	1
3. Dual Unit of Measure G/L Variance Offset Account	blank

Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type A specific transaction type	blank

Preconfigured Processing Options for Inventory Transaction Post (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0008.

Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	blank

Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

Taxes

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	blank
2. Update VAT Discounts	blank
3. Update VAT Receipts and W/O	blank

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

Cash Basis

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

(Rapid Start) Manage Materials

This section describes the transactions associated with putting items away, whether they are being completed from a work order or received on a purchase order.

Processing Items for Putaway

This table lists the tasks that should be completed to process items for putaway:

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Identify items availability	Materials Management Inquiries Item Availability	P41202/RIS0001	Items Sample3 and Sample4 can be used for this process.

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data
Transfer inventory	Inventory Transactions Inventory Transfer	P4113/RIS0003	Location 1.A is set for transfers or issues for item Sample3.
Post inventory transactions	Post to the General Ledger Post All Inventory Transactions	R09801/RIS0008	

Data reports provide additional information about the data that has been preconfigured for Rapid Start.

Preconfigured Processing Options for Item Availability (P41202)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Enter the version for each program. If left blank, ZJDE0001 will be used.	blank
1. Item Master	RIS0001
2. Item Notes	blank
3. Item Search	blank
4. Purchase Order Inquiry	RIS0013
5. Customer Service Inquiry	RIS0001
6. Open Work Orders	RIS0001
7. Supply and Demand	RIS0004
8. Bill of Material	RIS0001
9. Lot Availability	blank
10. Item Ledger	RIS0001
11. Branch/Plant Item Information	RIS0001
12. Location Master	RIS0001
13. Item Location Information	blank

Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Grade Information	blank
2. Potency Information	blank
3. Quality Management	blank
4. Quantity – Primary Units of Measure	1
5. Truncate/Round	blank
6. Customer Self-Service	blank

Lot Options

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Percent of Life Remaining	blank
2. Display Number of Days Remaining	blank
3. Calculation Date	blank

Preconfigured Processing Options for Inventory Transfers (P4113)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003.

Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Document Type A specific document type	IT
2. FROM Location/Lot	blank
3. TO Location/Lot	blank

Versions

Processing Option Description	Value or Status
Exit Versions A specific version	blank
1. Journal Entries (P0911)	RIS0001
2. Item Ledger (P4111)	RIS0001

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Cost Entry	2
2. Journal Entries	1
3. Lots on Hold	1
Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank
4. Transfer Quantity	1
5. Lot Status Default	blank

Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type A specific transaction type	blank

Agreement

Processing Option Description	Value or Status
1. Agreement Assignment (FUTURE)	blank

Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. License Plate Number Generation Method	blank
2. Build default UOM structure	blank
3. Assign Items to License Plate Window (P46L30)	blank

Preconfigured Processing Options for Inventory Transaction Post (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0008.

Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	blank

Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

Taxes

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	blank
2. Update VAT Discounts	blank
3. Update VAT Receipts and W/O	blank

Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

Cash Basis

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

第 7 章

原価の更新

この章では、原価の更新の概要と以下の方法について説明します。

- 原価の更新
- 流通システムにおける明細原価計算の処理

原価の更新について

このセクションでは、事前設定および原価の更新について説明します。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の確認を行う必要があります。

- 現行の品目原価情報の確認
- 在庫原価の変更に対応できるよう AAI（自動仕訳）が設定済みであることの確認

原価の更新

原価は、個別にではなく、同時に複数の品目について更新できます。たとえば、ある品目グループの標準原価を、パーセント値を指定して上げることができます。平均原価計算方式を使用して在庫原価を決定すると、全ての品目に対する平均原価の更新が可能になります。

原価の保守管理手順に従って、選択した事業所、保管場所、ロット内における個別品目または複数品目の原価を更新できます。原価計算方式を選択して、原価を更新します。

品目原価は、F4105 テーブルに保管されます。品目原価を更新すると、品目原価ファイル テーブルも更新されます。品目の売上/在庫原価計算方式の原価を更新すると、総勘定元帳と品目元帳のレコードが作成されます。

関連項目:

第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「品目原価情報の入力」、118 ページ

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「流通システムの AAI 設定」、37 ページ

品目原価の更新

このセクションでは、品目原価更新の概要と以下の項目について説明します。

- 複数の事業所に共通する品目原価の更新
- 保管場所原価の改訂に関する処理オプションの設定
- 複数の事業所に共通する複数の品目原価の更新
- 原価の一括更新に関する処理オプションの設定
- 品目の平均原価の更新
- 先日付原価への現行品目原価の更新
- 先日付原価の更新 (R41052) に関する処理オプションの設定

品目原価の更新について

事業所、保管場所、およびロットを選択して、その品目原価を更新することができます。パーセントまたは金額で原価を上下させるか、または金額を新しく指定できます。原価を更新する際には、その原価計算方式を指定します。選択する全ての品目の平均原価、または先日付原価の更新も可能です。

品目原価の更新に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保管場所原価の処理]	W41051A	[在庫価格/原価の更新] (G4123)、[保管場所原価の改訂]	原価の処理をする事業所を選択します。
[原価の改訂]	W41051B	[保管場所原価の処理] フォームで事業所を選択し、[ロー]メニューから[原価の改訂]をクリックします。	複数の事業所に共通する品目原価を更新します。

複数の事業所に共通する品目原価の更新

[原価の改訂] フォームにアクセスしてください。

複数の事業所、保管場所、ロットに共通する 1 品目の原価を更新することができます。原価を更新する際には、その原価計算方式を指定します。たとえば、品目の最終仕入原価や平均原価などの更新が可能です。原価を変更した時点で、その変更が有効になります。

次の情報を使って原価を変更することができます。

- 指定金額
- 指定パーセント

金額を新しく入力して、以前の原価を上書きすることもできます。

[売上/在庫] と [購買] の原価計算方式

品目の売上原価を計算する際の原価計算方式を示すユーザー定義コード (40/CM) を入力してください。原価計算方式 01 から原価計算方式 19 までは、システム用として予約されています。

原価を品目レベルで管理する場合、デフォルト値はデータ辞書から取得されます。原価を品目および事業所レベルで管理する場合は、デフォルト値は事業所固定情報から取得されます。

保管場所原価の改訂の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

表示するデフォルトの原価方式の入力

購買オーダーの品目原価を決定する際に使用する原価方式を示すユーザー定義コード (40/CM) を入力してください。原価計算方式 01 から原価計算方式 19 までは、システム用として予約されています。

処理

標準原価

標準原価を変更しない場合は "1" を入力してください。

複数の事業所に共通する複数の品目原価の更新

[在庫価格/原価の更新] メニュー (G4123) から、[原価の一括更新] を選択してください。

原価の一括更新プログラムを使用して、複数の事業所、保管場所、ロットに共通する複数の品目原価を更新できます。特定の金額またはパーセント分だけ品目原価を上下させるか、または新しい原価を指定することができます。

選択した原価計算方式を使って品目原価を更新できます。たとえば、最終仕入原価や加重平均原価などが使用できます。

このプログラムをテスト モードで実行してレポートを検討すると、変更内容のプレビューを表示できます。情報が正しいことを確認したら、プログラムを最終モードで実行してください。

原価の一括更新の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

原価変更

1. 更新する原価変更を入力します。
パーセント値を入力する際は、整数で入力してください。

2. 原価変更タイプを入力します。

有効値は次のとおりです。“A” = 金額、“%” = パーセント、“*” = 実際

デフォルト

- | | |
|----------|---|
| 1. 理由コード | トランザクションの目的を示すユーザー定義コード (41/RC) を入力します。 |
| 2. 伝票タイプ | 伝票のタイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。 |
| 3. 元帳日付 | 仕訳に使用する日付を指定します。このフィールドを空白にすると、現在日付が使用されます。 |

印刷

- | | |
|---------|---|
| レポートの印刷 | レポートを作成するには “1” を入力します。このフィールドを空白にすると、レポートは作成されません。 |
|---------|---|

編集

- | | |
|-----|---|
| モード | プログラムを最終更新モードで実行するには、“1” を入力します。このフィールドを空白にすると、プログラムはファイル更新をしません。 |
|-----|---|

品目の平均原価の更新

[在庫価格/原価の更新] メニュー (G4123) から [平均原価の更新] を選択します。

品目の平均原価を更新するには、2 つの方法があります。

- 対話形式
- 平均原価の更新プログラムによるバッチ処理

対話形式で平均原価を更新するには、システム固定情報を設定してください。バッチ モードで平均原価を更新するには、平均原価の更新プログラムを使用します。平均原価更新の対象となる品目、事業所、保管場所およびロットを指定します。

トランザクションが現行の品目原価に影響を与えるたびに、平均原価ワークファイルが更新されます。平均原価の更新プログラムを実行すると、次の処理が実行されます。

- F41051 テーブルからの現行原価情報の読み込み/取り込み
- 各品目の平均原価の計算
- F4105 テーブルの更新
- ワークファイルからのトランザクションの削除

[平均原価の定義] を使用して、ユーザー定義コード テーブル (40/AV) を含むワークファイルを更新するプログラムを指定することができます。

平均原価の更新プログラムを実行する前に、更新する品目原価レベルを把握しておく必要があります。考慮事項は、以下のとおりです。

- 原価レベル 1 の全ての品目には、事業所および保管場所に “ALL” を指定する。
- 原価レベル 2 の全ての品目には、保管場所のみに “ALL” を指定する。
- 3 つの原価レベルの品目全てを更新する場合、品目番号別に処理する。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19 ページ

先日付原価への現行品目原価の更新

[在庫価格/原価の更新] メニュー (G4123) から [先日付原価の更新] を選択します。

先日付原価の更新プログラム (R41052) では、現行原価を先日付原価に置き換えることができます。先日付原価に更新する品目の原価レベルを選択してください。たとえば、[原価の改訂] フォームで品目と事業所について、原価計算方式 05 を使用して先日付原価を表示することができます。次に、先日付原価の更新プログラムのデータ選択で、原価計算方式 05 の品目を選択します。

このプログラムを実行すると、新旧の原価を表示したレポートが印刷されます。レポートには、無効な原価計算方式に関するエラーも表示されます。

先日付原価の更新 (R41052) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理制御

原価計算方式

1. 先日付原価に更新する原価計算方式を入力します。

このフィールドをブランクにすると、現行の在庫/売上原価計算方式に関連する原価が更新されます。

伝票タイプ

2. 総勘定元帳レコードおよび品目元帳レコードの書き込みに使用する伝票タイプを入力します。

ブランクの場合、伝票タイプ WD が使用されます。

日付 - 元帳 (および伝票)

3. 総勘定元帳および品目元帳レコードの書き込みに使用する元帳日付を入力します。

ブランクの場合、システム日付が使用されます。

4. 先日付原価レコードを除去するには "1" を入力します。

インタオペラビリティ

トランザクション タイプ

インタオペラビリティトランザクション用のトランザクション タイプを入力してください。このフィールドをブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

流通システムにおける明細原価計算の処理

このセクションでは、明細原価計算の概要と以下の項目について説明します。

- 流通システムにおける明細原価計算の設定
- 流通シミュレート原価の作成
- シミュレート原価更新に関する処理オプションの設定
- 製造原価要素のコピー
- 原価要素のコピーに関する処理オプションの設定

明細原価計算について

流通システムでは、原価を計算する部品表と作業工程がありません。代わりに、シミュレート原価更新プログラムで品目原価テーブル (F4105) の原価を使用して、原価要素テーブル (F30026) の原価を更新します。処理オプションで、更新する原価の原価要素を定義してください。

更新する原価の原価要素であれば、どれでも指定できます。この環境では、A、B、C 原価要素はハードコード化されていません。

流通システムにおける明細原価計算の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所固定情報の処理]	W41001B	[在庫管理セットアップ] (G4141)、[事業所固定情報]	処理する事業所固定情報を選択します。
[事業所固定情報]	W41001H	[事業所固定情報の処理] フォームで、事業所を選択し、[選択] をクリックします。	流通システムにおける明細原価計算を設定します。

流通における明細原価計算の設定

[事業所固定情報] フォームにアクセスします。

[製品原価明細] の使用 流通プログラムで合計原価計算方式を使用するか、または明細製造原価計算方式を使用するかを指定します。

明細原価計算を使用する場合は、チェック ボックスをオンにします。

流通シミュレート原価の作成

[製造原価明細 (流通)] メニュー (G4125) から [シミュレート原価更新] を選択します。

流通のシミュレート原価更新プログラム (R30840) は、製造の原価シミュレート プログラムと似ています。シミュレート原価更新プログラムを使って、品目原価テーブル (F4105) から原価要素テーブル (F30026) に原価をコピーします。

シミュレート原価を更新して変更による影響を確認した後に、凍結原価更新を実行して凍結原価をシミュレート原価に更新することができます。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19 ページ

シミュレート原価の更新の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

購買原価方式

原価を品目原価テーブル (F4105) から原価要素テーブル (F30026) に取り込む原価計算方式 (例: 01、02、03) を入力します。このフィールドを空白にすると、原価は取り込まれません。

製造原価方式

原価を品目原価テーブル (F4105) から原価要素テーブル (F30026) に取り込む原価計算方式 (例: 01、02、03) を入力します。このフィールドを空白にすると、原価は取り込まれません。

原価タイプ

品目原価テーブル (F4105) から原価を取り込む際に使用する原価タイプ (例: A1、X1) を入力します。

デフォルト

処理オプションは EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに、処理オプションを変更することができます。

原価計算方式

原価計算方式 (例: 01、02、03) を入力します。このフィールドを空白にすると、標準原価計算方式 07 が使用されます。

印刷

処理オプションは EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに、処理オプションを変更することができます。

レポート選択

選択した全品目を印刷するには "1"、変更品目のみを印刷するには "2" を入力します。

製造原価要素のコピー

[在庫価格/原価の更新] メニュー (G4123) から [製造原価要素のコピー] を選択します。

F30026 テーブルから F41291 テーブルに原価をコピーする際は、このプログラムを使用します。指定した原価計算方式のシミュレート原価または凍結原価をコピーできます。

原価要素のコピーの処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で指定されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

コピー元

原価計算方式 コピーする原価計算方式 (例: 01、02、03) を入力します。このフィールドを空白にすると、原価はコピーされません。

コピーする原価 コピーする原価を選択します。

- 1: シミュレート原価
- 2: 凍結原価

陸揚費用

有効開始日付 原価要素に対する有効開始日付を入力します。デフォルトは現在の日付です。この日付は、既存原価要素の有効性の確認、および新規の原価要素の書き込みに使用されます。

有効終了日付 新規の原価要素に対する有効終了日付を入力します。デフォルトは変換世紀年の 12 月 31 日 (データ辞書の "CENTCHG" からのデフォルト) です。

デフォルト

5. 元帳のクラス コード 元帳のカテゴリ コードを入力します。

6. 仕入先番号 仕入先番号を入力します。

第 8 章

キットの使い方

この章では、キットの概要と以下の方法について説明します。

- キット情報の入力
- 部品表の入力

キットについて

この章では、以下の内容について説明します。

- キットの基礎
- キット構成品
- 流通システムにおけるキット

キットの基礎

キットは、1 つの親品目に関連付けられる在庫品目の集合です。キットには次の用途があります。

- 複数の品目を 1 つのパッケージにして、親品目の名前で販売する。
- 複数の在庫品目から 1 つの親品目を組み立てる。

たとえば、モニター、ハードディスク、キーボード、マウスなどのコンピュータの構成品をまとめて保管することがあります。これらの品目を販売するときに、1 つのコンピュータ システムとしてセット販売することもあります。また、コンピュータの同じ構成品を倉庫内の別々の場所に保管することもあります。この場合、キット構成品としてシステムに入力しておく、各品目を簡単に検索して最終製品を組み立てることができます。親品目は、在庫品目として保管しません。

キットを構成する品目は部品表で定義します。キットに乱反射防止スクリーンなどのフィーチャー品目やオプション品目がある場合、それらの品目を指定することができます。キットに必須の構成品がある場合は自動的に組み込まれます。

適切な処理オプションを設定しておけば、受注管理システムや調達管理システムでキット構成品を表示することも可能です。

キット構成品

キットは通常、複数のタイプの在庫品目で構成されます。

- 親品目

親品目は、組み立てられる最終製品の品目です。一般的に、親品目は在庫品目にはなりません。親品目は、品目マスターに設定し、在庫タイプ “K” (キット) を割り当てる必要があります。品目マスターにより、価格計算方法が決定します。

- 構成品

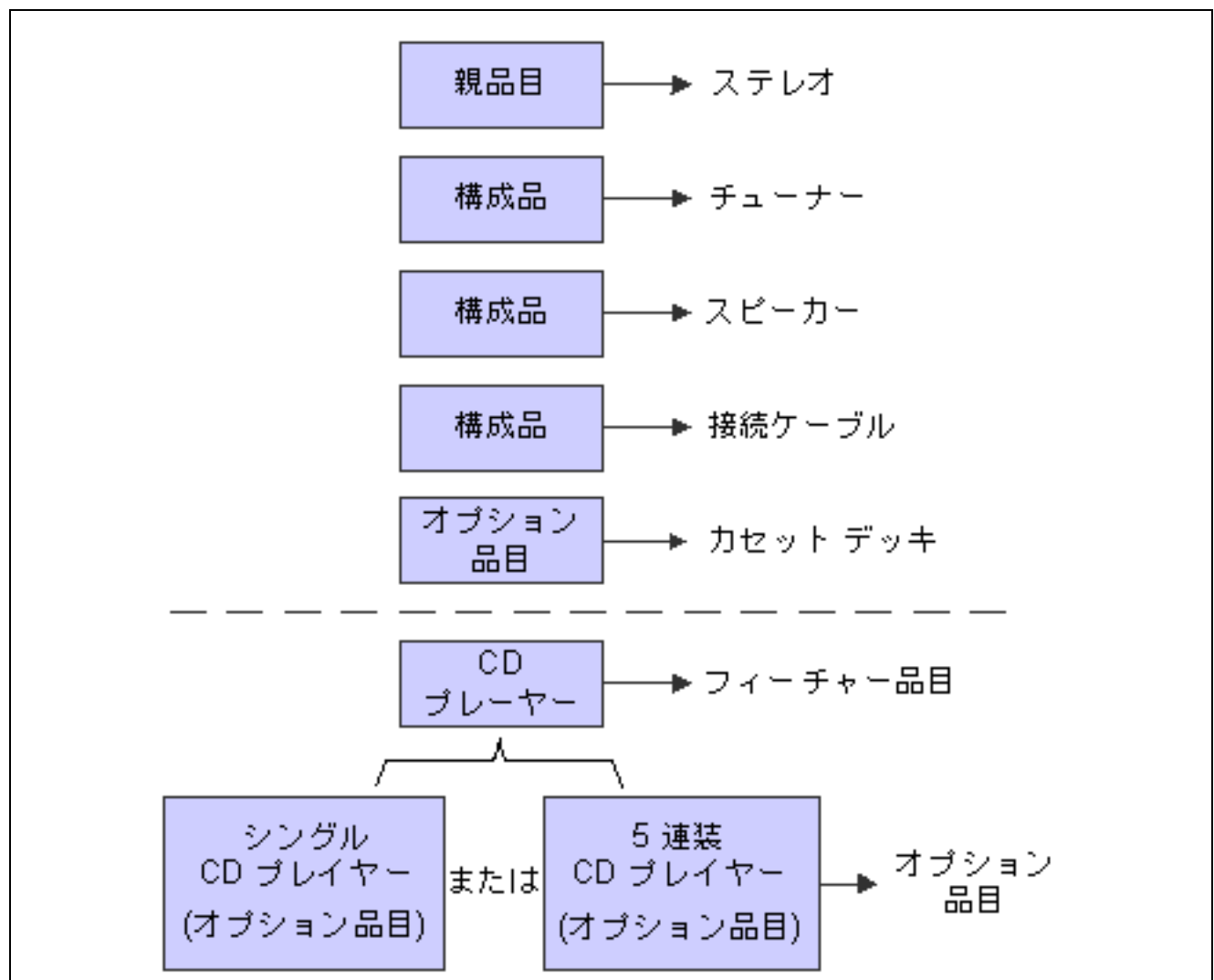
構成品は、キットに含まれる実際の在庫品目です。構成品は、通常の在庫品目として、品目マスターに設定します。

- フィーチャー品目とオプション品目

フィーチャー品目とオプション品目は、キット用の追加品目です。フィーチャー品目の在庫タイプは “F” (フィーチャー) です。フィーチャー品目は在庫品目にならないので、システムによりレベル 2 の親品目と見なされます。部品表には実際の在庫品目を設定します。

キットの例

次の図は、キットの例を示したものです。



キット構成品

この例のキットは、親品目であるステレオと、以下の構成品およびオプション品目で構成されています。

- 接続ケーブル (構成品)

- チューナー（構成成品）
- スピーカー（構成成品）
- カセット デッキ（オプション品目）
- 5 連装 CD プレーヤー（オプション品目）
- シングル CD プレーヤー（オプション品目）

CD（コンパクト ディスク）プレーヤーはこのキットのフィーチャー品目で、次の 2 つのタイプがあります。

- 5 連装 CD プレーヤー
- シングル CD プレーヤー

流通システムにおけるキット

製造システムと流通システムでは、“キット”という言葉異なる意味で使用することに注意してください。

- 流通システムでは、キットを構成する品目のグループを検索して組み立てるために部品表を使用します。
- 製造管理システムでは、作業オーダーの部品リストを作成するために部品表を使用します。作業オーダーの作成は、製品を製造するための準備段階です。部品リストには、必要な資材と数量が示されます。

キット情報の入力

このセクションでは、キット情報の概要と以下の方法について説明します。

- キット品目マスター レコードの入力
- キット保管場所の設定
- キット価格設定情報の入力

キット情報について

キットと部品表は、最大 999 レベルまで指定することができます。1 つのレベルは構成成品、フィーチャー品目、オプション品目で構成されます。各レベルがさまざまな部品で構成される場合もあります。たとえば、親キット構成成品にフィーチャー品目を定義し、そのフィーチャー品目を親品目として入力するとします。フィーチャー品目の親は、レベル 1 です。フィーチャー品目はレベル 2（レベル 1 の子レベル）になります。

各キット構成成品を入力した後、構成成品、フィーチャー品目、またはオプション品目に行タイプを割り当てる場合に、構成成品番号が品目マスターと照合されます。キットは、非在庫の構成成品を含む場合もあります。この場合、品目番号と品目マスターとの照合は行われません。非在庫構成成品の例には、チラシやカタログなどがあります。

キット情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの改訂]	W4101A	<p>[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター]</p> <p>[品目マスターの処理] フォームで、[追加]をクリックします。</p> <p>[品目マスターの処理] フォームでキット品目を選択し、[ロー]メニューから [品目マスターの改訂] を選択します。</p>	キットに関する品目マスターレコードを入力します。
[品目/事業所情報]	W41026A	<p>[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[事業所品目マスター]</p> <p>[事業所品目の処理] フォームで構成品を選択し、[ロー]メニューから [事業所品目情報] を選択します。</p> <p>[事業所品目の処理] フォームで、[追加]をクリックします。</p>	追加キット情報を設定します。
[基本保管場所]	W41026B	[品目/事業所情報] で、[OK]をクリックします。	キット保管場所情報を入力します。

キット品目マスター レコードの入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[在庫タイプ]

品目（完成品、原料など）の保管方法を示すユーザー定義コード (41/I) を入力します。次の在庫タイプはハードコード化されているため、変更しないでください。

- O: 擬似品目
- B: バルク在庫品
- C: コンフィギュレーション品目
- E: エネルギー/改良保全
- F: フィーチャー品目
- K: キットまたは親品目
- N: 非在庫品目

ユーザー定義コード テーブルの [記述 2] フィールドの最初の文字が “P” の場合は購買品目、“M” の場合は製造品目です。

[キット/コンフィギュレータ 価格設定方法]

キット品目やコンフィギュレーション品目の価格計算方法を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:キット品目でもコンフィギュレーション品目でもない品目に使用します。

1: 構成品の基本価格にコンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。

2: 親品目の基本価格にコンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。

3: コンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。

4: 個別に値引を適用した構成品の価格の合計に、コンフィギュレーション価格調整を加算します。

注: コンフィギュレーション価格調整は、コンフィギュレーション品目の計算にのみ、適用されます。また、価格管理システムを使用している場合のみ、値引が適用されます。

以下に、それぞれの価格計算方法の例を示します。

親品目: 125

構成品 A: 50

構成品 B: 100

コンフィギュレーション価格調整 1: 15

コンフィギュレーション価格調整 2: 10

上級価格設定による値引: 10 パーセント

価格計算方法:

1: $50 + 100 = 150$ $150 + 15 + 10 = 175$ $175 - 17.50 = 157.5$

2: $125 + 15 + 10 = 150$ $150 - 15 = 135$

3: $15 + 10 = 25$ $25 - 2.5 = 22.5$

4: $(50 - 5) + (100 - 10) = 135$ $135 + 15 + 10 = 160$

キット保管場所の設定

[品目/事業所情報] フォームにアクセスします。

キット構成品を入力した後、キットの保管場所を指定する必要があります。

キット価格設定情報の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

キット価格設定方法は、品目マスターで指定する必要があります。親レベルでキットの価格設定を行う場合は、親品目の価格設定情報のみを入力します。構成品の価格を合計してキットの価格を設定する場合は、各構成品の価格設定情報を入力します。この場合、フィーチャー親品目の価格設定情報は入力しないでください。

[販売価格レベル]

標準販売価格を管理するレベル (品目レベル、品目/事業所のレベル、または品目/事業所/保管場所/ロットのレベルのいずれで管理するか) を示すコードを入力します。販売価格は F4106 テーブルで管理します。有効なコードは次のとおりです。

[購買価格レベル]

- 1: 品目のみ
- 2: 事業所品目のみ
- 3: 品目/事業所/保管場所/ロット

購買オーダー入力時に品目購買価格を取り込むレベルを示すコードを入力します。有効なコードは次のとおりです。

- 1: F41061 テーブルの仕入先/品目価格を使用します。
- 2: F41061 テーブルの仕入先/品目/事業所価格を使用します。
- 3: F4105 テーブルの在庫原価を使用します。この原価は、品目に指定した在庫原価レベルと購買原価計算方法に基づきます。

最初の 2 つのコードは、調達管理システムで仕入先原価を設定した場合のみ適用可能です。仕入先原価を設定していない場合は、在庫原価がデフォルトとして購買オーダーで使用されます。

**[キット/コンフィギュレータ
価格設定方法]**

キット品目やコンフィギュレーション品目の価格計算方法を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:キット品目でもコンフィギュレーション品目でもない品目に使用します。

- 1: 構成品の基本価格にコンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。
- 2: 親品目の基本価格にコンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。
- 3: コンフィギュレーション価格調整を加算し、その合計に値引を適用します。
- 4: 個別に値引を適用した構成品の価格の合計に、コンフィギュレーション価格調整を加算します。

注: コンフィギュレーション価格調整は、コンフィギュレーション品目の計算にのみ、適用されます。また、EnterpriseOne 価格管理システムを使用している場合のみ、値引が適用されます。

以下に、それぞれの価格計算方法の例を示します。

親品目: 125

構成品 A: 50

構成品 B: 100

コンフィギュレーション価格調整 1: 15

コンフィギュレーション価格調整 2: 10

上級価格設定による値引:10 パーセント

方法:

$$1: 50 + 100 = 150 \quad 150 + 15 + 10 = 175 \quad 175 - 17.50 = 157.5$$

$$2: 125 + 15 + 10 = 150 \quad 150 - 15 = 135$$

$$3: 15 + 10 = 25 \quad 25 - 2.5 = 22.5$$

$$4: (50 - 5) + (100 - 10) = 135 \quad 135 + 15 + 10 = 160$$

部品表の入力

このセクションでは、部品表の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 部品表の入力
- 部品表改訂 (P3002) の処理オプションの設定

部品表について

部品表を入力して、親品目の作成に必要なキット構成品の組み立て方法を指定する必要があります。部品表を入力する際には次の情報も入力します。

- キットに含まれるフィーチャー品目とオプション品目
- オプションのフィーチャー品目
- キットの組み立てに必要な品目数

部品表を入力するには、在庫キットを設定して、キットに含まれる各レベルを個別に入力する必要があります。

フィーチャー品目を含むキットの部品表を入力する場合は、まず、フィーチャー品目を除く全てのキット構成品に対して部品表を入力します。次に、フィーチャー品目を親品目として、部品表に再入力します。さらに、フィーチャー品目を構成する個々の品目を部品表に追加します。

処理オプションで事業所レコードの存在を検証しないように設定した場合には、キットが作成される事業所に構成品の保管場所を設定する必要はありません。ただし、品目情報は品目マスターに記録されている必要があります。

事前設定

部品表を入力する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 品目マスター情報にキットの親品目、構成品、フィーチャー品目、オプション品目が設定されていることを確認します。
- 品目マスターに有効な親品目番号が存在することを確認します。
- キットの事業所情報を入力する必要があるかどうかを決定します。

部品表の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[部品表情報の入力]	W3002A	[部品表] (G4114)、[部品表改訂] [部品表の処理] フォームで [事業所] フィールドと [品目 No.] フィールドに値を入力し、[追加] をクリックします。	部品表情報を入力します。

部品表の入力

[部品表情報の入力] フォームにアクセスします。以下の画面が表示されます。

部品表改訂 - 部品表情報の入力

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) レポート(P) ツール(T)

親品目

2400

事業所

30

バッチ数量

Bike Accessory Kit

基準日

*

部品表タイプ

M

作業順序

*

図面No.

品目改訂レベル

スキップ先行No.

*

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

	品目 *	記述	数量	単位	有効原料	固定	出庫	在庫	行	行	作業	有効
	No.				フラグ	本	タイプ	タイプ	タイプ	No.	順序	開始日
			1									

[部品表情報の入力] フォーム

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19ページ

部品表改訂 (P3002) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

1. 構成成品事業所

ブランク:部品表をコピーする際に構成成品事業所を使用します。
1: 部品表をコピーする際に親事業所を使用します。
2. 部品表タイプ

ブランク:M (製造部品表) を使用します。
3. 基準日

ブランク:全ての日付を使用します。
1: 現行日付を使用します。
4. 表示順序

ブランク:構成成品行番号の順に表示します。
1: 構成成品行番号の順に表示します。
2: 作業順序番号の順に表示します。

表示

1. 部品表タイプ

ブランク:部品表タイプ フィールドを表示しません。
1: 部品表タイプ フィールドを表示します。
2. バッチ数量

ブランク:バッチ数量フィールドを表示しません。
1: バッチ数量フィールドを表示します。

バージョン

各アプリケーションのバージョンを入力してください。ブランクの場合はバージョン ZJDE0001 が使用されます。

1. 単一レベル部品表の印刷 (R30460)
2. 複数レベル部品表の印刷 (R30460)
3. ECO ワークベンチ (P30225)
4. 構成品ロケータ (P3015)
5. ECO 見出し (P30BREV)
6. 逆部品表照会 (P30201)
7. 品目マスター (P4101)
8. 連産品/副産物照会 (P30211)
9. 部品表照会 (P30200)

編集

1. 事業所品目の検証

ブランク:事業所品目が有効かどうかをチェックしません。

- 1: 事業所品目レコードが有効かどうかをチェックします。

インタオペラビリティ

1. トランザクション タイプ

ブランク:送信インタオペラビリティ処理を実行しません。

JDEBOM:送信インタオペラビリティ処理を実行します。

2. 変更トランザクションの書込み

ブランク:変更後トランザクションを F3002 から F3002Z1 に保管します。

- 1: 変更前トランザクションを F3002 から F3002Z1 に保管します。

3. 送信インタオペラビリティ (R00460)

ブランク:R00460 のバージョン ZJDE0001 を使用します。

第 9 章

ロット処理の使い方

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、ロット処理の概要と、以下の方法について説明します。

- ロット情報の入力
- (RUS) Enter additional lot information
- ロット別在庫状況の処理
- 許容ロット状況コードの設定
- ロットトランザクションの表示
- ロットの再分類
- ロット日付の設定
- 先日付引当可能数量の有効日付の定義
- ロット出荷昇順日付の設定
- ロット満了日付の一括更新の実行

ロット処理について

ロット処理により、品目グループの情報を管理できます。たとえば、腐敗しやすい品目に入庫日付に基づいたロット番号を割り当て、最初に販売する必要のある品目を識別することができます。引当可能な品目の数量やロットに関連する取引など、各ロットに関する最新情報を表示することもできます。

ロット管理は、最終製品を構成する品目グループを識別するのに役立ちます。たとえば、自転車のタイヤとそのタイヤを組み立てに使用した自転車自体にロット番号を割り当てることにより、次の情報を識別できます。

- 特定の自転車に使用したタイヤのロット番号
- 特定のロットのタイヤを組み立てに使用した全ての自転車

後で特定のロットのタイヤに欠陥を発見した場合、その欠陥タイヤを使っている全ての自転車をすぐにトラッキングしてリコールできます。

通常 1 つのロットには同じタイプの品目が含まれますが、システム固定情報の設定により、同じロットに異なるタイプの品目を含めることもできます。異なる品目で構成されるロットの場合には、各ロット番号と品目についてロット情報が管理されます。また、システム固定情報の設定によりロットを 1 つの品目タイプに限定し、そのロットを複数の倉庫で保管することもできます。

以下のいずれかの方法で、品目にロット番号を割り当てることができます。

- 自動割り当て
- 自社ロット番号の割り当て
- 仕入先ロット番号の割り当て

ロットを作成すると、そのレコードは F4108 テーブルに追加されます。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「在庫固定情報の設定」、19ページ

この章で使用する共通フィールド

引当日付方法	品目が日付に基づいて引き当てられるときに在庫引当処理で使用される日付を指定するユーザー定義コード (H40/CD) を入力します。デフォルト値は、01 (ロット満了日付) です。この日付のフィールドは、F4108 テーブルに保存されます。
ロット状況	ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。ブランクの場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。 [保管場所の改訂] フォームまたは [保管場所ロット状況の更新] フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。
貯蔵期間	有効期限まで品目を在庫として保管できる日数を入力します。品目の入荷日にこの日数が加算され、品目の有効期限が決定されます。このフィールドに値を入力しなかった場合、ロット品目が入荷するたびに有効期限を入力する必要があります。

ロット情報の入力

このセクションでは、ロット情報の概要と以下の方法について説明します。

- 品目のロット情報の入力
- ロットの作成
- ロット管理情報の入力
- 引当可能数量情報の入力
- 仕入先情報の入力
- ロット マスターの改訂 (P4108) の処理オプションの設定

ロット情報について

品目をロットに割り当てることにより、在庫管理システムでその品目をグループ化してモニタリングできます。

品目のロット情報を入力する際に、ロット番号を必須とするか、ロット番号をどのように割り当てるかなどを指定します。また、ロットに含まれる品目のタイプやロットの満了日付なども指定します。

品目のロット情報

品目のマスター情報や事業所情報を入力する際、次の情報を指定できます。

- 品目入荷時にロット番号が必要かどうか
- ロット番号に基づいて在庫品目を引き当てるかどうか

また、次の情報も指定できます。

- 品目にロット番号を割り当てる方法
- 有効期限まで品目を在庫として保管できる日数

ロット内の品目にシリアル番号を割り当てて、ロットをさらに細かく指定することもできます。

新規ロットの情報

品目に新しいロット番号を割り当てると、ロットが作成されます。新規ロットの情報は、ロット マスターの改訂プログラム (P4108) の [ロット マスターの処理] フォームで入力できます。入荷確認書の受取り時、在庫調整時、作業オーダーの完了時にも、ロット番号を新しく割り当てることができます。また、品目/ロット情報の改訂プログラム (P41024) の [保管場所品目の処理] フォームでも、品目に新しいロット番号を割り当てることができます。

将来入荷予定の品目に対してロットを作成する場合があります。手入力でロットを作成するには、[ロット マスターの処理] フォームでロット番号を入力してロット情報を指定します。

ロット情報には、満了日付、等級、濃度、仕入先情報などが含まれます。また、レポート目的で各ロットに最大 10 個のカテゴリ コードを割り当てることができます。

ロット情報はロット内の各品目タイプに対して個別に管理されます。たとえば、ロット 1 に品目 A と品目 B がある場合、それぞれの品目についてロット情報を個別に入力できます。1 つのロットに複数の品目を含められるのは、システム固定情報で複数品目タイプを保管できるように設定した場合のみです。

また、システム固定情報の設定により、単一の品目タイプしか含まないが保管場所が複数の倉庫にまたがるロットを処理することもできます。たとえば、ロット 234 には 1 つの品目 (自転車タイヤ) のみが含まれるとします。また、倉庫 A はバルク品用倉庫で、タイヤのほとんどはこの倉庫に保管します。ただし、倉庫 A の保管スペースを調整するため、倉庫 B と倉庫 C に同じ品目の一部数量を入庫するとします。倉庫 B、C にタイヤを入庫するときに、これらのタイヤをロット 234 に割り当てると、1 つのロット番号でトラッキングすることができます。

ロット情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの改訂]	W4101A	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[品目マスター] [品目マスターの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	品目のロット情報を入力します。
[ロットマスターの改訂]	W4108A	[ロット管理] (G4113)、[ロットマスターの改訂] [ロットマスターの処理] フォームで、[追加] をクリックします。 [ロットマスターの処理] フォームでロットを選択し、[ロー] メニューから [ロットの改訂] をクリックします。	ロットの作成と既存ロットの情報修正を行います。
[ロット日付および数量]	W4108F	[ロット管理] (G4113)、[ロットマスターの改訂] [ロットマスターの処理] フォームでロットを選択し、[ロー] メニューから [数量/日付] をクリックします。	引当可能数量情報を入力します。

品目のロット情報の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[ロット状況コード]

ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。ブランクの場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。

[保管場所の改訂] フォームまたは [保管場所ロット状況の更新] フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。

[ロット処理タイプ]

ロットまたはシリアル番号が割り当てられているかどうかを示すコードを入力します。ロットとシリアル番号の処理には、F4108 テーブルが使用されません。

有効なコードは以下のとおりです。

0

ロットの割り当ては任意。番号は手入力で割り当てることができる。数量が 1 より大きい場合もある。(デフォルト)

1

ロットの割り当ては必須。番号は YYYYMMDD 形式のシステム日付を使用して割り当てられる。数量が 1 より大きい場合もある。

2

ロットの割り当ては必須。番号は自動採番を使用して昇順で割り当てられる。数量が 1 より大きい場合もある。

3

ロットの割り当ては必須。番号は手入力で割り当てる必要がある。数量が 1 より大きい場合もある。

4

出荷確認時以外は、シリアル番号の割り当ては任意。数量は 1 を超えることはできない。

5

シリアル番号の割り当ては必須。番号は YYYYMMDD 形式のシステム日付を使用して割り当てられる。数量は 1 を超えることはできない。

6

シリアル番号の割り当ては必須。番号は自動採番を使用して昇順で割り当てられる。数量は 1 を超えることはできない。

7

シリアル番号の割り当ては必須。番号は手入力で割り当てる必要がある。数量は 1 を超えることはできない。

[引当方法]

在庫からのロット品目の引当に使用される方法を示すコードを入力します。有効なコードは以下のとおりです。

1

標準の在庫引当方法。最初に基本保管場所、次いで 2 次保管場所、という順序で在庫が引き当てられる。

最大数量の保管場所からの在庫引当が、最小数量の保管場所からの引当より先に行われる。バックオーダーは基本保管場所に引き当てられる。

2

ロット番号による在庫引当方法。最小のロット番号から始めて、引当可能なロットに対してオーダーを引き当てていく。

3

ロット満了日付による在庫引当方法。満了日が最も早いロットがある保管場所から在庫の引当を行う。引当の対象となるのは、満了日付が受注オーダー日付または部品リスト要求日付以降の在庫がある保管場所のみ。

[シリアル No. 必須]

基本シリアル番号処理の場合は入荷時または販売時にこの品目にシリアル番号を添付する必要があるかどうか、上級シリアル番号処理用の場合はメモ ロット情報が必要かどうかを指定するコードを入力します。上級シリアル番号処理を使用すると、シリアル番号により購買および販売の全体を通して品目をトラッキングすることができます。基本シリアル番号処理の有効値は次のとおりです。

Y

関連する在庫管理、受注管理、購買オーダーのプログラムで、この品目に関係する全てのトランザクションにシリアル番号が必須。

N

シリアル番号は必須ではない。

シリアル番号のある品目にロットを指定する場合の有効値は次のとおりです。

3

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。

4

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。メモ ロット 1 も必須。

5

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。メモ ロット 1、メモ ロット 2 も必須。

6

シリアル番号のない品目番号（CSMS のみ）。

3 ～ 5 は、シリアル番号のある品目にロットの割り当てが必要であることを示します。仕入先ロット、メモ ロット 1、メモ ロット 2 の最大 3 つのロット番号の割り当てを必須とすることができます。

[貯蔵期間]

有効期限まで品目を在庫として保管できる日数を入力します。品目の入荷日にこの日数が加算されて、品目の有効期限が決定されます。このフィールドに値を入力しなかった場合、ロット品目が入荷するたびに有効期限を入力する必要があります。

ロットの作成

[ロット マスターの改訂] フォームにアクセスします。

[ロット/シリアル]

ロットまたはシリアル番号を識別する数字を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。

[ロット満了日付]

ロット品目の期限が満了する日付を入力します。

[品目マスターの改訂] フォームまたは [品目/事業所情報] フォームで品目の貯蔵期間を指定している場合、この日付は自動的に入力されます。

満了日付は、品目の入荷日付に貯蔵期間を加えて計算されます。

品目のロット満了日付に基づいて在庫引当を行うことができます。[品目マスターの改訂] フォームまたは [品目/事業所情報] フォームで、品目の在庫引当方法を選択します。

ロット管理情報の入力

[ロット マスターの改訂] フォームにアクセスします。

ロットを作成すると、等級や濃度などのロット管理情報を入力することができます。等級や濃度の情報を変更するには、そのフィールドが更新されないように保護する処理オプションをオフにします。

[ロット等級]

ロットの等級を示すコードを入力します。ロット等級は、ロットの品質を示すために使用します。たとえば、次のような等級があります。

A1

最高等級

A2

第 2 等級

ロット等級は F4108 テーブルに保存されます。

[ロット濃度]

活性物質や有用物質のパーセンテージ（溶液中のアルコール度数など）で表したロットの濃度を示すコードを入力します。実際のロット濃度は F4108 テーブルで定義されています。

引当可能数量情報の入力

[ロット日付および数量] フォームにアクセスします。以下の画面が表示されます。

ロット・マスターの改訂 - ロット日付および数量

ロット・マスターの処理 **ロット日付および数量**

OK(O) キャンセル(L) 前へ 次へ ツール(T)

事業所 D30

ロットシリアル 452445

品目番号 220 *Touring Bike, Red*

日付	数量
入庫/作成 <input type="text"/>	入庫/作成 <input type="text"/>
出庫 <input type="text"/>	出庫 <input type="text"/>
調整 <input type="text"/>	調整 <input type="text"/>
完了 05/06/28	完了 1,000
承認 <input type="text"/>	承認 <input type="text"/>
販売 <input type="text"/>	販売 <input type="text"/>
	手持数量 950
	保留数量 <input type="text"/>
	引当可能数量 950

[ロット日付および数量] フォーム

ロットを作成してロット管理情報を入力した後、品目の入庫日付などの値を入力または修正することができます。

[入庫/作成]

数量タイプを入力します。このフィールドは、数量カテゴリ 1 を表します。ユーザー定義コード (40/LQ) で、このカテゴリを更新する伝票タイプを指定します。

ユーザー定義数量は、品目元帳 (F4111) への書き込み時に更新されます。

[出庫]、[調整]、[完了]、[承認]、[販売]

それぞれのアクティビティが発生した最終日付を入力します。カテゴリが表すアクティビティタイプ（作業オーダーへの出庫など）を指定します。

このフィールドは、日付カテゴリ 2 を表します。ユーザー定義コード (40/LD) で、このカテゴリを更新する伝票タイプを指定します。

仕入先情報の入力

[ロット マスターの改訂] フォームにアクセスします。

ロットを作成してロット管理情報や在庫状況を入力した後、ロットの仕入先情報を入力できます。

[仕入先] この品目の優先仕入先の住所番号を入力します。

ロット マスターの改訂 (P4108) の処理オプションの設定

処理オプションの設定により、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

- | | |
|---------------|--|
| 1. ロット状況の更新 | blank
ロット状況を更新する。
1
ロット状況を更新しない。 |
| 2. ロット等級の更新 | blank
ロット等級を更新する。
1
ロット等級を更新しない。 |
| 3. ロット濃度の更新 | blank
ロット濃度を更新する。
1
ロット濃度を更新しない。 |
| 4. ロット日付の一括更新 | blank
一括更新しない。
1
全ての事業所で修正された全ての日付を自動更新する。
2
全ての事業所を表示して、更新する日付と事業所を選択する。 |

デフォルト

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. ロット等級を更新するときの伝票タイプ | blank
デフォルト伝票タイプ (CG) を使用する。 |
|-----------------------|---------------------------------|

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 2. ロット濃度を更新するときの伝票タイプ | ブランク
デフォルト伝票タイプ (CP) を使用する。 |
|-----------------------|--------------------------------|

ロット オプション

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 期限までの余日パーセントの表示 | ブランク
表示しない。
1
表示する。 |
| 2. 残日数の表示 | ブランク
表示しない。
1
表示する。 |
| 3. 計算日付 | ブランク
本日の日付。 |

(RUS) Entering Additional Lot Information

This section provides an overview of the additional lot information you must enter for Russia and discusses how to:

- Set processing options for Set Up Item – Custom Declaration Number (P7464108).
- Enter additional lot information.

Understanding Lot Information for Russia

After you enter lot information by using the Lot Master program (P4108), the system displays the forms for the Set Up Item – Custom Declaration Number program (P7464108). You enter customs information for foreign items for Russia in the Lot Additional Information program. The system determines that an item is a foreign item by comparing the Country of Origin field in the F4108 table with the Country Code field of the Address Book number of the Business Unit in table F4108. If both fields are different and are not blank, the system identifies the item as foreign.

When you enter the customs information, the system updates the F4108 table with the status code, according to the values set in the processing options.

Forms Used to Enter Additional Lot Information for Russia

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Lot Master Revisions	W4108A	Lot Control (G4113), Lot Master Revisions. Select Add on the Work With Lot Master form.	Select Add on the Work With Lot Master form.
Work With Lot Additional Information	W7464108A	Select OK on the Lot Master Revisions form.	Select an existing lot record.
Lot Additional Information	W7464108B	Select a record on the Work With Lot Additional Information form and select Select.	Add customs information.

Setting Processing Options for Set Up Item – Custom Declaration Number (P7464108)

Use these processing options to specify default values for the program.

General

- 1. Update Status Code** Specify whether the system updates the status code in the Status Code field (data item LOTS) in the F4801 table. Enter 1 to update the Status Code. Leave this processing option blank to suppress updating the status code.
- 2. Enter Status Code** Enter the code that the system uses to update the Status Code field (data item LOTS) in the F4801 table when you set the Update Status Code processing option to 1.
- 3. Status Code Search** Specify the status of the lot that the system uses to select records. The value that you specify must exist in the Lot Status Codes (41/L) UDC table.

Entering Additional Lot Information for Russia

Access the Lot Additional Information form.

- Customs Declaration Nbr (Customs Declaration Number)** Enter the Declaration Number from the customs form.
- Customs Dispatch Date** Enter the date of the customs form.
- Customs Code** Enter the code that describes the customs classification for the lot. The code that you enter must exist in the Customs Code (74/CU) UDC table.

ロット別在庫状況の処理

ロットに関する処理日付、品目数量、保留情報と同様に、そのロット品目の在庫状況を表示することができます。処理日付と品目数量は、ロット品目の入庫、出庫、販売などを反映します。このセクションでは、以下の方法について説明します。

- ロット別在庫状況の表示
- ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定
- ロット数量の確認
- ロット処理日付の改訂
- ロット状況コードの割り当て

ロット別在庫状況の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[ロット別在庫状況の処理]	W41280B	[ロット管理] (G4113)、[ロット別在庫状況]	ロット別在庫状況を表示します。
[ロット日付および数量]	W4108F	[ロット管理] (G4113)、[ロットマスターの改訂] [ロットマスターの処理] フォームでロットを選択し、[ロー]メニューから[数量/日付]をクリックします。	ロット数量と処理日付の確認や改訂を行います。
[保管場所ロット状況の更新]	W4108C	[ロット管理] (G4113)、[ロットマスターの改訂] [ロットマスターの処理] フォームでロットを選択し、[ロー]メニューから[保管場所ロット状況]をクリックします。	ロット状況コードを割り当てます。

ロット別在庫状況の表示

[ロット別在庫状況の処理] フォームにアクセスします。

次の情報について、ロット別に在庫状況を表示できます。

- ロットの全品目
- 指定した品目を含む全てのロット

手持在庫残高のある品目またはロットのみを表示することもできます。同じ品目またはロットが複数表示されるのは、それぞれの品目またはロットが異なる保管場所に存在する場合です。

[手持数量ロットの表示] 全ロットを表示するか、手持数量のあるロットのみを表示するかを指定します。オンにすると、手持数量のあるロットのみが表示されます。

[ロット状況] ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。空白の場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。

[保管場所の改訂] フォームまたは [保管場所ロット状況の更新] フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。

[満了日付]

ロット品目の期限が満了する日付を入力します。

[品目マスターの改訂] フォームまたは [品目/事業所情報] フォームで品目の貯蔵期間を指定している場合、この日付は自動的に入力されます。

満了日付は、品目の入荷日付に貯蔵期間を加えて計算されます。

品目のロット満了日付に基づいて在庫引当を行うことができます。[品目マスターの改訂] フォームまたは [品目/事業所情報] フォームで、品目の在庫引当方法を選択します。

[手持数量]

物理的に在庫として存在する数量を入力します。手持数量は、基本計量単位で表示されます。

[引当可能数量]

引当可能な数量を示す数字を入力します。

たとえば、手持数量から引当数量、予約数量、バックオーダー数量を引いた数量が引当可能数量になります。

引当可能数量はユーザーが定義します。引当可能数量は、事業所固定情報プログラム (P41001) で設定できます。

ロット別在庫状況 (P41280) の処理オプションの設定

処理オプションの設定により、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バージョン

- | | |
|---------------|--|
| トレース/トラッキング照会 | 1. 呼び出すトレース/トラッキング照会プログラムのバージョンを入力します。 |
| 品目マスターの改訂 | 2. 呼び出す品目マスターの改訂プログラムのバージョンを入力します。 |
| 作業オーダー入力 | 3. 呼び出す作業オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。 |
| 事業所品目情報 | 4. 呼び出す事業所品目情報プログラムのバージョンを入力します。 |

表示

- | | |
|-------|--|
| ロット状況 | 1. ロット状況が更新されないように保護するには「1」を入力します。 |
| 等級範囲 | 2. 等級範囲を表示するには、「1」を入力します。ブランクの場合、選択する範囲は表示されません。 |
| 濃度範囲 | 3. 濃度範囲を表示するには、「1」を入力します。ブランクの場合、選択する濃度は表示されません。 |

ロット数量の確認

[ロット日付および数量] フォームにアクセスします。

各ロットの手持数量、引当可能数量、保留数量を表示できます。ユーザー定義コード テーブル (40/LQ) に設定した最大 6 つの数量タイプを表示することもできます。これらの数量タイプは品目数量を反映することもあります。

- 入庫
- 出庫
- 調整
- 完了
- 承認
- 販売

ユーザー定義コード テーブル (40/LQ) の設定により、ロット数量のトラッキング対象となる伝票タイプを指定します。各伝票タイプを [ロット マスターの改訂] フォームに表示される数量タイプ カテゴリの 1 つと関連付ける必要があります。

たとえば、購買オーダーの品目が入庫するたびに “入庫” カテゴリを伝票タイプ “OP” (購買オーダー) に対して指定すると、数量はロットの “入庫” カテゴリに記録されます。

品目によっては、等級または濃度の情報を入力する必要があります。等級または濃度の情報が必要な品目に情報を指定しなかった場合、[等級/濃度プロファイルの改訂] フォームの標準等級または標準濃度が使用されます。

ロット処理日付の改訂

[ロット日付および数量] フォームにアクセスします。

ロットには、最大 6 つの処理日付を表示することができます。表示する処理日付は、ユーザー定義コード テーブル (40/LD) で設定します。これらの処理日付は、次の処理が品目に発生した最終日付を反映します。

- 入庫/作成
- 出庫
- 再検定
- 完了
- 承認
- 販売

ユーザー定義コード テーブル (40/LD) を設定して、ロット処理日付のトラッキング対象となる伝票タイプを指定します。各伝票タイプを上記の日付カテゴリの 1 つと関連付ける必要があります。

たとえば、伝票タイプ “SO” (受注オーダー) に対して “販売” カテゴリを指定します。この場合、受注オーダーの出荷確認を実行するたびに、そのロットの “販売” カテゴリに日付が記録されます。

ロット処理日付をシステムでトラッキングする代わりに、手作業でロット処理日付を入力することもできます。

ロット状況コードの割り当て

[保管場所ロット状況の更新] フォームにアクセスします。以下の画面が表示されます。

ロット・マスターの改訂 - 保管場所ロット 状況の更新

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

事業所 D30

ロットシリアル 452445

品目番号 220 Touring Bike, Red

レコード 1 - 1 グリッドのカスタマイズ

保管場所	現行 ロット状況	新規 ロット状況	状況変更 理由	手持数量	引当可能 数量
				950	950

[保管場所ロット状況の更新] フォーム

ロットの保留理由を識別するロット状況コードを設定します。コードを設定した後、[品目マスターの改訂]、[事業所品目の処理]、[ロット マスターの改訂] などのフォームで、そのコードを品目とロットに割り当てることができます。保留ロットの品目は処理できません。

ロットが複数の保管場所に保管されている場合、1 つのロットに複数の異なる状況コードを割り当てることができます。

ロットと同様に、保管場所にも状況コードを割り当てることができます。システムは、ロットの保留状況を検証した後、保管場所の保留状況を検証します。作業しているプログラムや処理オプションの設定によっては、保留状態の保管場所の品目が処理されることもあります。

満了ロットの保留プログラムを実行して、満了ロットを保留にすることができます。このプログラムをテストモードで実行すると、保留になる全てのロットを事前に確認できます。

[新規ロット状況]

ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。空白の場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。

[保管場所の改訂] フォームまたは [保管場所ロット状況の更新] フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。

許容ロット状況コードの設定

このセクションでは、ロット状況コードの概要と設定方法について説明します。

ロット状況コードについて

許容ロット状況の設定 (P41081) プログラムを使用して、空白以外の許容ロット状況コードのセットを定義できます。許容ロット状況コードを使用すると、ロット状況処理を手作業で管理し、保留ロットの在庫を消化することができます。以下のプログラムを実行すると、F41081 テーブルを使用して許容ロット状況の情報が処理されます。

- 出荷確認 (P4205)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を出荷できます。処理オプションの編集タブにある [検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを検証します。

- ピッキング リストの印刷 (R42520)、一括ピッキング リスト (R42521)、保管場所別ピッキング リスト (R42522)

許容ロット状況が割り当てられている品目を引き当てることができます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 保管場所選択ドライバ (R46171)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を転送できます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 倉庫移動確認 (P4617)

許容ロット状況が割り当てられている品目を移動することができます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- バックオーダー リリース (P42117)

許容ロット状況が割り当てられているバックオーダー品目をリリースすることができます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- バックオーダー リリース/レポート (R42118)

許容ロット状況が割り当てられているバックオーダー品目をリリースすることができます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 受注オーダー入力 (P4210)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を処理することができます。処理オプションの引当てタブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- キット選択 (P41351)

受注オーダーを使用して、許容ロット状況が割り当てられている保留キット構成成品を処理することができます。受注オーダー入力 (P4210) で指定したのと同じ処理オプションが使用されます。

- コンフィギュレーション品目仕様 (P32942)

ロット状況コードを指定したロット状況グループと照合することができます。受注オーダーを使用して、許容ロット状況が割り当てられている保留コンフィギュレーション構成成品を処理することができます。受注オーダー入力 (P4210) で指定したのと同じ処理オプションが使用されます。

- コンフィギュレーション品目セグメントの検索 (P32202)

受注オーダーを使用して、許容ロット状況が割り当てられている保留コンフィギュレーション構成成品を処理することができます。受注オーダー入力 (P4210) で指定したのと同じ処理オプションが使用されます。

- コンフィギュレーション品目の選択 (P32053)

受注オーダーを使用して、許容ロット状況が割り当てられている保留コンフィギュレーション構成成品を処理することができます。受注オーダー入力 (P4210) で指定したのと同じ処理オプションが使用されます。

- オーダー処理 (R31410)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目をリリースすることができます。処理オプションの編集タブにある「検証する許可済みロット状況グループの入力」処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 作業オーダー構成成品不足リスト (R31418)

オーダー処理 (R31410) で指定したのと同じ処理オプションが使用されます。

- 作業オーダー在庫出庫 (P31113)

作業オーダーに許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を出庫することができます。処理オプションの編集タブにある[検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 作業オーダー部品リスト (P3111)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を引き当てることができます。処理オプションの編集タブにある[検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 作業オーダー完了 (P31114)

保留中の品目が使用された場合、終了ロットにブランク以外のロット状況コードを入力するよう、ユーザーに要求することができます。処理オプションの編集タブにある[保留コード要件の入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 事業所品目の保管場所 (P41LOCN)

事業所品目の保管場所に、許容ロット状況が割り当てられている品目の引当可能数量を表示することができます。

- 在庫移動 (P4113)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を処理することができます。処理オプションの処理タブにある[検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 在庫出庫 (P4112)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を処理することができます。処理オプションの処理タブにある[検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

- 在庫調整 (P4114)

許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目を処理することができます。処理オプションの処理タブにある[検証する許可済みロット状況グループの入力] 処理オプションを使用して、ロット状況グループを指定します。

ピッキング リストの印刷、出荷確認、保管場所選択の処理では、ブランク以外のロット状況コードはユーザー定義のステータス コードの値と照合されます。ブランク以外のロット状況コードが F41081 テーブルにある場合、ユーザー定義のロット状況コードはブランクと見なされ、上記の処理において保留中の品目はそのままになります。

許容ロット状況コードの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[許容ロット状況設定の処理]	W41081A	[ロット管理] (G4113)、[許容ロット状況の設定]	ロット状況コードを検索します。
[許容ロット状況設定の改訂]	W41081B	[許容ロット状況設定の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	許容ロット状況コードを追加します。

ロット状況コードの追加

[許容ロット状況設定の改訂] フォームにアクセスします。

[伝票タイプ]	伝票のタイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。
[ロット状況コード]	ロットの状況を示すユーザー定義コード (41/L) を入力します。空白の場合は、ロットが承認済みであることを示します。他のコードは、ロットが保留中であることを示します。[保管場所の改訂] フォームまたは [保管場所ロット状況の更新] フォームで、ロットの保管場所ごとに異なる状況コードを割り当てることができます。
[ロット グループ]	ロット グループを入力します。これは、空白以外の許容ロット状況コードのユーザー定義リストの名前です。ロット グループの処理オプションで、ロット グループ名を入力すると、F41081 テーブルを使用して、ロット状況コードが空白以外のロットが指定ロットグループ名と照合されます。
[事業所]	ビジネスにおける特定の単位を識別する英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、事業所、工場などです。

ロット トランザクションの表示

このセクションでは、トレース/トラッキングの概要、不良ロットのトレース、および以下の方法について説明します。

- トレース/トラッキング照会 (P41203) の処理オプションの設定
- ロットのトレース/トラッキング情報の確認
- 仕入先または仕入先ロット番号によるロットの検索

トレース/トラッキングについて

ロットに影響する次のようなトランザクションを表示したい場合、トレース/トラッキングを使用します。

- ロットへの品目の割り当てにより発生する入在庫
- ロットからの品目の削除により発生する在庫出庫、作業オーダー完了、および販売

ロットのトレースにより、品目をロットに割り当てたトランザクションを表示できます。ロットにキット品や組立品が含まれる場合、ロット品目の組み立てに使用された部品とその部品が調達されたロットを識別できます。

ロットのトラッキングにより、ロットから品目を削除したトランザクションを表示できます。ロットの部品で組み立てられた品目と組立品に割り当てられたロットを識別することができます。

ロットのトレース/トラッキング方法に関する情報を入力します。たとえば、ロットのトレース/トラッキングでモニタリングされる伝票タイプを指定します。また、トレース/トラッキング モードを指定することにより、組立品と非組立品のどちらのトランザクションを表示するかも指定します。

不良ロットのトレースについて

構成品や原料のロットに不具合が見つかった場合、そのロットを直接仕入先までさかのぼってトレースできます。また、不良品やリコールされた構成品を含むロットに関する有効なオーダーを特定し、影響度を判断して製品リコール処理を効率的に行う必要があります。この手順により、既に顧客に出荷済みのオーダーに対する無駄な仕損やリコールの処理を減らすことができます。

[ロット管理ワークベンチ] (W41203D) フォームでは、システム ロット、仕入先ロット (リコールの場合)、メモ ロットからの検索が可能です。不良ロットに関連する有効オーダーが見つかったら、製品リコールの影響度を判断できます。また、このフォームのオーダー タブから個別のオーダー管理アプリケーションにアクセスし、必要に応じてオーダーを変更することもできます。

仕入先と仕入先ロット番号は、他の購買オーダー入荷情報と共に F4111 テーブルに保存されており、以下のフォームに表示されます。

- 品目元帳の処理 (W4111A)
- ロット仕入先の照会 (W41203C)
- トランザクション情報 (W4111C)

情報の処理には、F4108 テーブルも使用されます。

ロット トランザクションの表示に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[ロット管理ワークベンチ]	W41203D	[ロット管理] (G4113)、[トレース/トラッキング照会]	トレース/トラッキング情報を確認します。 ロットに関連する有効なオーダーを照会します。 複数の事業所にまたがってロットをトレース/トラッキングします。 ロット入力タイプを指定します。
[ロット仕入先の照会]	W41203C	[ロット管理ワークベンチ] フォームで、[フォーム] メニューから [仕入先ロットの照会] をクリックします。	仕入先または仕入先ロット番号によるロットの検索を行います。

トレース/トラッキング照会 (P41203) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

表示

情報の表示方法を指定します。

1. トラッキング/トレースの入力

ロットの使用をトレース/トラッキングする方法を指定します。ロットのトレースでは、出荷時点から製造時点までさかのぼって、現行の品目を構成する全ての品目をトレースします。品目のトラッキングでは、製造時点から出荷時点までこの品目を構成品として使用する全ての組立品をトラッキングします。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ロットの使用をトレースする。

1

ロットの使用をトラッキングする。

2. 表示レベルの入力

トレース/トラッキング結果が表示されるレベルを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

IB、IX、IZ タイプを除く全てのトランザクションを表示する。

1

新規デリバティブ ロットを作成した可能性のあるトランザクションのみを表示する。

伝票タイプ

伝票タイプ情報を指定します。

1. 作業オーダーの出庫伝票タイプの入力

作業オーダー出庫の記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト伝票タイプ (IM) を使用する。

ユーザー入力

ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。

2. 作業オーダーの完了伝票タイプの入力

作業オーダー完了の記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト伝票タイプ (IC) を使用する。

ユーザー入力

ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。

3. 作業オーダーの仕損伝票タイプの入力

作業オーダーの仕損の記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト伝票タイプ (IS) を使用する。

ユーザー入力

ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。

4. 入荷確認伝票タイプの入力

入荷確認の記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

デフォルト伝票タイプ (OV) を使用する。

ユーザー入力

ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。

- 5. 請求済み受注伝票タイプの入力** 請求済みの受注オーダーの記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
デフォルト伝票タイプ (RI) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。
- 6. 転送オーダー (受注) 伝票タイプの入力** 受注の転送オーダーの記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
デフォルト伝票タイプ (ST) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。
- 7. 転送オーダー (購買) 伝票タイプの入力** 購買の転送オーダーの記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
デフォルト伝票タイプ (OT) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。
- 8. 在庫再分類伝票タイプの入力** 在庫の再分類の記録に使用される伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
デフォルト伝票タイプ (IR) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。

デフォルト

ロット処理のシステム デフォルトを指定します。

- 1. 照会する PO 伝票タイプの入力** 照会する購買オーダー伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
デフォルト伝票タイプ (OP) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。
- 2. 開始 PO 最終日付の入力** 購買オーダー照会のオーダー状況の範囲を指定します。このオプションで、開始状況を指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
全て
ユーザー入力

- 有効なオーダー状況を入力可。
- 3. 開始 PO 入荷日付の入力** 購買オーダー照会の日付の範囲を指定します。このオプションで、開始日付を指定します。有効値は以下のとおりです。
blank
全て
ユーザー入力
有効なカレンダー日付を入力可。
- 4. 照会する作業オーダーの伝票タイプの入力** 照会する作業オーダーの伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
blank
デフォルト伝票タイプ (WO) を使用する。
ユーザー入力
ユーザー定義コード (00/DT) の有効な伝票タイプを入力可。
- 5. 開始作業オーダー状況の入力** 作業オーダー照会のオーダー状況の範囲を指定します。開始状況を指定します。有効値は以下のとおりです。
blank
全て
ユーザー入力
有効なオーダー状況を入力可。
- 6. 開始作業オーダーの要求日付の入力** 作業オーダー照会の日付範囲の開始日付を指定します。有効値は以下のとおりです。
blank
全て
ユーザー入力
有効なカレンダー日付を入力可。
- 7. 照会する SO 伝票タイプの入力** 照会する受注オーダー伝票タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
blank = SO (デフォルト)
ユーザー定義コード (00/DT) から有効な伝票タイプを入力可。
- 8. 開始 SO 最終状況の入力** 受注オーダー照会のオーダー状況範囲の開始状況を指定します。
blank
全て
ユーザー入力
有効なオーダー状況を入力可。
- 9. 開始 SO 要求日付の入力** 受注オーダー照会の開始日付を指定します。有効値は以下のとおりです。
blank
全て

ユーザー入力

有効なカレンダー日付を入力可。

10. 以前の取引日数の入力

以前の取引の日数を指定します。トレース/トラッキングの範囲を限定するため、取引の開始日付と終了日付が使用されます。デフォルトでは、終了日付は今日の日付、開始日付はこの値から計算した日付になります。有効値は以下のとおりです。

ブランク

360 日

ユーザー入力

正の整数値を入力可。

バージョン

使用するバージョンを指定します。

1. ロット マスターの改訂 (P4108) のバージョン

ロット マスター (P4108) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

2. 入荷処理中オーダー (P43214) のバージョンの入力

入荷確認照会 (P43214) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

3. WO 入力 (P48013) のバージョンの入力

製造作業オーダー処理 (P48013) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

4. SO 入力 (P4210) のバージョンの入力

受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

5. 倉庫貯蔵要求 (P4600) のバージョンの入力

貯蔵要求の照会 (P4600) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

6. 倉庫ピッキング要求 (P4600) のバージョンの入力

倉庫ピッキング要求の照会 (P4600) プログラムのバージョンを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク

ZJDE0001

ユーザー入力

有効なプログラム バージョンを入力可。

ロット トレース/トラッキング情報の確認

[ロット管理ワークベンチ] フォームにアクセスします。

[入荷確認]、[作業オーダー]、[受注オーダー] の各タブを使用して、選択した品目、事業所、保管場所、ロットが明細行にあるオーダーを照会できます。

[後方トレース]

このオプションをオンにすると、複数の事業所に対して、製造プロセスと転送プロセスの複数レベルで、最初の入荷確認までさかのぼって、選択したロットのトレースを行います。

[前方トレース]

このオプションをオンにすると、複数の事業所に対して、製造プロセスと転送プロセスの複数レベルで、前回出荷が行われたときまでさかのぼって、選択したロットのトレースを行います。

[品目 No.]

品目番号を入力します。

[ロット/シリアル No.]

ロット番号またはシリアル番号を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。

**[システム]、[仕入先]、
[メモ 1]**

入力したロットが仕入先ロットの場合は [仕入先]、ロット メモ 1 の場合は [メモ 1] を選択します。内部ロット番号の場合は [システム] を選択します。

[詳細]

トレース/トラッキングの結果が表示されるレベルを指定します。オンにすると、IB、IX、IZ タイプを除く全てのトランザクションが表示されます。

[デリバティブ ロットのみ]

オンにすると、指定した品目またはロットから新規ロット番号を作成したトランザクションのみが表示されます。トランザクションの例としては、転送オーダー、再分類、作業オーダー完了などがあります。

[事業所]

追加フィルタとして事業所を入力します。

[トランザクション日付]

オーダーが入力された日付を指定します。

仕入先または仕入先ロット番号によるロットの検索

[ロット仕入先の照会] フォームにアクセスします。

検索フィルタのフィールドを使用し、仕入先または仕入先ロット番号に基づいてロットを検索します。

ロットの再分類

このセクションでは、ロット再分類の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品目とロットの再分類
- 品目再分類 (P4116) の処理オプションの設定

ロットの再分類について

品目の特性に変更があった場合に、品目とそれに関連するロットを再分類することができます。再分類できるのは、数量が引き当てられていない品目とロットのみです。再分類する際には、品目番号を新しく作成して、保管場所内の既存ロットを統合または分割します。

たとえば、工業用の硫酸は時間の経過と共に特性が変化して、酸性レベルが低下することがあります。このような硫酸に対して、濃度や等級の異なる新しいロットを作成できます。同様に、異なるロットの硫酸を混合したり希釈した場合も、新しい濃度と等級のロットを作成できます。

以下の方法で、ロットとその関連品目を変更できます。

- 品目番号、保管場所、ロット、ロット状況を変更する。
- 既存ロットから新規ロットを作成する。
- 複数のロットを 1 つのロットに統合する。
- 1 つのロットを複数のロットに分割する。
- 複数のロットを統合して複数の新規ロットを作成する。

重要: 品目とロットの再分類に使用できるのは、再分類プログラムのみです。他のプログラムを使用して品目やロットの再分類を行うと、受注管理システムや調達管理システムの情報に悪影響が出る可能性があります。

品目とロットを再分類すると、トランザクションの検索に使う伝票タイプ、バッチ番号、伝票番号が表示されます。次に、在庫残高が調整され、関連するトラッキングと会計処理が行われます。品目とロットの変更情報により、次のテーブルが更新されます。

- F4111
- F0911
- F41021
- F4602 (在庫管理システムと上級倉庫管理システムを併用している場合)

[仕訳入力] フォームと [品目元帳照会] フォームで、これらのトランザクションに関する明細仕訳や集計仕訳を表示することができます。

再分類をいくつか入力した後に、それらの再分類をグループ化して処理できます。トランザクションをグループ化すると、そのグループの各トランザクションに同じ番号が割り当てられ、同じトランザクション番号を持つ開始行と終了行が全て処理されます。処理オプションの設定に従って、開始数量残高と終了数量残高が検証されます。

再分類プログラムは、バルク在庫の再分類には使用できません。バルク在庫の再分類には、バルク在庫管理プログラムを使用します。

品目やロットの再分類処理に誤りがあった場合、逆仕訳を入力して修正できます。個々の再分類レコードは会計処理のために保管されているので、削除することはできません。当初の再分類と同じ伝票番号およびバッチで品目の逆仕訳が作成されます。

有効日付の計算

ロットの再分類の際に、手動で有効日付を上書きまたは入力できます。有効日付を指定しない場合、F4102 テーブルの [製造有効日数] フィールドと [購買有効日数] フィールドのデフォルト値を使用して、自動的に有効日付が計算されます。

[ロット有効日付] フィールドの値を計算するため、再分類する品目の在庫タイプがシステムにより決定されます。品目が製造在庫タイプの場合は、[製造有効日数] フィールドの値を手持在庫日付に加算して、有効日付が計算されます。品目が購買在庫タイプの場合は、[購買有効日数] フィールドの値を手持在庫日付に加算して、有効日付が計算されます。

ロットの分割、混合、統合を行う際、有効日付は別々に計算されます。

ロットを分割する場合、単一の親ロットから複数のロットを作成します。それぞれの子ロットは、親ロットの有効日付とロット作成日付を引き継ぎます。ロットの特性によって異なる有効日付が必要な場合、この日付を上書きできます。

ロットを統合する場合、子ロットは親ロットの手持在庫日付と有効日付を引き継ぐことができます。たとえば、ロットを統合する際に、子ロット 1 と子ロット 2 がロット A またはロット B から情報を引き継ぐかどうかを指定できます。

複数のロットを 1 つのロットに混合する場合、新しいロットが手持在庫日付や有効日付を引き継ぐかどうかを指定できます。

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- F0901 テーブルの勘定科目の設定を確認します。
- 流通用の AAI の設定を確認します。
- [在庫状況] フォームで再分類する予定の品目と関連ロットの未引当数量情報を確認します。

ロットの再分類に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目再分類]	W4116B	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[再分類] [品目再分類の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	品目とロットを再分類します。

品目とロットの再分類

[品目再分類] フォームにアクセスします。

トランザクションが処理され、そのトランザクションの伝票番号、伝票タイプ、バッチ番号が表示されます。

[伝票タイプ]

トランザクションの発生元と目的を示すユーザー定義コード (00/DT) を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、

いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイプ プレフィックスは、次のとおりです。

P

買掛伝票

R

売掛伝票

T

時間/給与伝票

I

在庫伝票

O

購買伝票

S

受注伝票

[トランザクション日付]

トランザクションが発生した日付を入力します。

[移動元事業所]

ユーザーがデータの表示や処理を行う権限の範囲の下限值を入力します。この値は、上限値を定義するビジネスユニット終了コードと共に使用されます。ユーザーとファイルに対応するレコードが存在しない場合、ユーザーはファイルに対する完全な権限を与えられています。ユーザーに対してファイル名がブランクの場合、ビジネスユニット範囲セットアップがファイルの全ユーザーに適用されます。

[移動先事業所]

原価のトラッキング対象となる個々の事業単位を表す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センター、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。

[増/減]

トランザクション行が増加行か減少行かを示すコードを入力します。このフィールドを使用して、複数の既存製品や保管場所を 1 つの製品や保管場所に統合することができます。たとえば、3 つの減少行と 1 つの増加行を作成することができます。また、1 つの既存製品や保管場所を複数の新規製品や保管場所に分割することもできます。つまり、1 つの減少行と 2 つの増加行を作成することができます。減少トランザクション行に含まれる情報は、必ず既存の保管場所品目情報になります。

[トランザクション グループ No.]

複数の再分類トランザクションが実行される際に、グループ化された行を識別する値を入力します。

[関連開始行 No.]

この行がロットや品質のデータを引き継いだ元の行品目の番号を入力します。

[ロット有効日付]

ロットが引当可能になる日付を入力します。この日付は引当可能数量と引当処理に使用され、指定した日付以降にロットが引当可能になることを示します。在庫が最初にロットの手持数量となるとときに、このフィールドを入力する必要があります。ブランクにすると、ロットの有効日付は F4102 テーブルの有効日数（有効日数がゼロの場合は現行日付）を使用して計算されます。

[ロット/シリアル] ロットまたはシリアル番号を識別する数字を入力します。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。

品目再分類 (P4116) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

トランザクションに特に値が指定されていない場合に、再分類プログラム (P4116) で使用する伝票タイプなどのデフォルト値を指定できます。

1. **伝票タイプ** デフォルトの伝票タイプを指定します。
伝票タイプは、トランザクションの発生元を示すユーザー定義コード (00/DT) です。ブランクにすると、伝票タイプは入力されません。
2. **満了日付の割当て** 新規ロットへの満了日付の割り当て方法を指定します。
有効値は以下のとおりです。
ブランク = 手動で割り当てる。
1
トランザクション日付 + 貯蔵期間

バージョン

再分類プログラムからアクセスするさまざまなプログラムのバージョンを指定できます。バージョンにより、情報の処理方法や表示方法が制御されます。このため、特定のニーズに合わせて処理オプションを設定する必要があります。

1. **仕訳入力 (P0911)** 仕訳入力プログラムにアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
2. **品目検索 (P40ITM2)** 品目検索プログラムにアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
3. **品目元帳 (P4111)** 品目元帳プログラムにアクセスする際に使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

処理

原価入力、仕訳入力、保留ロット、数量再分類、数量の検証方法などの情報を指定できます。

1. **原価入力** 原価の表示と入力保護を行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
ブランク
原価を表示し、入力を許可する。

- 1
原価を表示するが、入力を許可しない。
 - 2
原価を表示しない。
- 2. 仕訳入力** 勘定科目の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク
 明細モードで実行する。
- 1
勘定科目コード別に集計する。
- 3. 保留ロット** 保留ロットからの移動を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク
 保留ロットからの移動を許可しない。
- 1
保留ロットからの移動を許可する。
- 検証する許可済みロット状況グループの入力** ロットグループを入力します。ロットグループは、ブランク以外の許容ロット状況コードのユーザー定義リストの名前です。ロットグループ名を入力すると、指定したロットグループ内でロット状況コードが定義されているロットが処理可能になります。ブランク以外のロット状況コードが F41081 テーブルにある場合、ユーザー定義のロット状況コードはブランクと見なされ、保留中の品目は再分類処理中もそのままになります。
- 4. 数量の再分類** 引当可能数量を超える数量の再分類を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク
 引当可能数量を超える数量の再分類を許可しない。
- 1
引当可能数量を超える数量の再分類を許可する。
- 5. 数量の検証** トランザクションの開始数量と終了数量に対して使用する数量検証方法を指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク
 検証を行わない。
- 1
数量が残高不一致の場合に警告を表示する。
 - 2
数量が残高不一致の場合にエラーを表示する。

インタオペラビリティ

送信インタオペラビリティ処理を実行するかどうかを制御します。

- 1. トランザクション タイプ** 検索に使用するトランザクション タイプを指定します。トランザクション タイプは、請求書や受注オーダーなどのトランザクションの種類を識別するユーザー定義コード (00/TT) です。デフォルトとして使用するトランザクション タイプを直接入力するか、または [ユーザー定義コードの選択] フォームから選択できます。この処理オプションをブランクにすると、エクスポート処理は実行されません。

ロットの日付設定

このセクションでは、ロット日付情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- ロット日付情報の入力
- 有効な構成成品や原料の計算

ロット日付情報について

ロットに関連するさまざまな日付タイプをトラッキングしたり、在庫引当や引当可能数量のトラッキングで使用する日付を選択することができます。日付には、満了日付、販売期限、有効期限、有効日付、および業界標準に応じたユーザー定義用のロット日付情報が含まれます。たとえば資材の中には、ロットの濃度や純度の再検査が必要なものもあります。再攪拌や混合が必要なタイプの資材もあります。再検査日などの日付タイプを定義して、これらの情報を品目およびロット別に補足データベースに保存することができます。

同様に、受注の引当に使用する日付を指定できます。たとえば、在庫引当に関して、顧客が販売期限基準と満了日付基準のどちらを希望するかを指定する顧客優先情報を定義できます。

[品目マスターの改訂] フォームを使用して、デフォルト日付を設定します。複数のロット日付の処理には次のテーブルが使用されます。

- F4108
- F4101
- F4102
- F4801
- F4311
- F43121
- F4211
- F4111

満了日付計算方法

ロット満了日付の計算方法を選択できます。一般的に、製品が完成した時点で貯蔵期間を基にロット満了日付が計算されます。別の計算方法として、親品目の有効構成成品を基にした方法があります。たとえば、親ロットは有効構成成品の最も早い満了日を引き継ぐことができます。

有効期限を計算するための基準日が製品完成日より前の場合、その品目の作業工程を基に満了日付を割り当てることができます。基準日は、品目の満了日を計算するために使用する貯蔵期間の開始点です。

次の表は、ロット満了日付を計算する 3 種類の方法を示したものです。

方法	説明
貯蔵期間 + 作業オーダー完了日	品目に定義された貯蔵期間の日数を製造完了日に足して品目の満了日付を計算します。貯蔵期間がブランクの場合、ロット満了日付のデフォルト値は、最新システム日付になります。作業オーダー完了の際に、この値を上書きできます。
貯蔵期間 + 基準日	基準日に貯蔵期間の日数を足して品目の満了日付を計算します。作業オーダーの完了プログラム (P31114) で基準日を指定できます。この計算方法では、作業工程が終了する前のどの時点から最終製品の有効期限のカウントを始めるかを指定する必要があります。
貯蔵期間 + 有効原料/有効構成品の最小満了日付	<p>下位レベルの構成品を基に製造される親ロットの満了日付を計算できます。たとえば、アイスクリームの製造に牛乳を使用する際に、アイスクリームのロットの賞味期限を牛乳の賞味期限に基づいて計算できます。</p> <p>この方法では、[追加システム情報] フォーム ([製造データ] または [工場製造] タブ) の [有効な原料] オプション (AING) を合わせて使用します。このオプションで、構成品が有効な原料かどうかを指定します。</p>

関連項目:

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「ロットの日付設定」、265 ページ

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「有効な構成品や原料の計算」、268 ページ

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「先日付引当可能数量の有効日付の定義」、269 ページ

事前設定

ロット日付を設定する前に、ユーザー定義コード (40/VF) テーブルに、値 "03 CPGLC" と特殊取扱コード "Y" が設定されていることを確認してください。

ロット日付の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの改訂]	W4101A	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター] [品目マスターの処理] フォームで、品目を選択して[選択]をクリックします。	[ロット処理] タブでロット日付情報を入力します。
[追加システム情報]	W4101C	[在庫マスター/トランザクション](G4111)、[品目マスター] [品目マスターの処理] フォームで、[ロー]メニューから[追加システム情報]をクリックします。	有効な構成部品や原料を計算します。

ロット日付情報の入力

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。[ロット処理] タブをクリックします。

[引当日付方法]

品目が日付に基づいて引き当てられるときに、在庫引当処理に使用される日付を指定するユーザー定義コード (H40/CD) を入力します。デフォルト値は、01 (ロット満了日付) です。この日付のフィールドは、F4108 テーブルに保存されます。

[貯蔵期間]

有効期限まで品目を在庫として保管できる日数を入力します。品目の入荷日にこの日数が加算されて、品目の有効期限が決定されます。このフィールドに値を入力しなかった場合、ロット品目が入荷するたびに有効期限を入力する必要があります。

[有効期限までのデフォルト日数]

品目が消費されるまでに在庫として保管できる日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、有効期限の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足してロットの有効期限が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて有効期限が決定されます。

[販売期限までのデフォルト日数]

品目が販売されるまでに在庫として保管できる日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、販売期限の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足してロットの販売期限が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて販売期限が決定されます。

[ユーザー ロット日付 1 のデフォルト日数]

ロット マスター (F4108) の [ユーザー ロット日付 1] フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、[ユーザー ロット日付 1] フィールドの値の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足して [ユーザー ロット日付 1] フィールドの値が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて [ユーザー ロット日付 1] フィールドの値が決定されます。

[ユーザー ロット日付 2 のデフォルト日数]

F4108 テーブルの [ユーザー ロット日付 2] フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、[ユーザー ロット日付 2] フィールドの値の計算方法が異なりま

す。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足して [ユーザー ロット日付 2] フィールドの値が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて [ユーザー ロット日付 2] フィールドの値が決定されます。

[ユーザー ロット日付 3 のデフォルト日数]

F4108 テーブルの [ユーザー ロット日付 3] フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、[ユーザー ロット日付 3] フィールドの値の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足して [ユーザー ロット日付 3] フィールドの値が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて [ユーザー ロット日付 3] フィールドの値が決定されます。

[ユーザー ロット日付 4 のデフォルト日数]

F4108 テーブルの [ユーザー ロット日付 4] フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、[ユーザー ロット日付 4] フィールドの値の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足して [ユーザー ロット日付 4] フィールドの値が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて [ユーザー ロット日付 4] フィールドの値が決定されます。

[ユーザー ロット日付 5 のデフォルト日数]

F4108 テーブルの [ユーザー ロット日付 5] フィールドの値の計算に使用する日数を入力します。このフィールドに入力した値がプラスかマイナスかによって、[ユーザー ロット日付 5] フィールドの値の計算方法が異なります。プラスの場合は、入力した日数を基準日に足して [ユーザー ロット日付 5] フィールドの値が決定されます。マイナスの場合は、入力した日数をロット満了日付から引いて [ユーザー ロット日付 5] フィールドの値が決定されます。

[ロット満了日の計算方法]

ロット満了日付の計算に使用する方法を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

1

手持ち日付 + 貯蔵期間

2

基準日 + 貯蔵期間

3

有効構成品の最小満了日付

計算方法 “3” を選択する場合、事業所レベルで [有効な原料] オプションもオンにしておく必要があります。

有効な構成品や原料の計算

[追加システム情報] フォームにアクセスします。

[有効な原料]

品目が親品目の有効な構成品かどうかを示します。有効な構成品であれば、システムは全ての構成品の満了日付を比較し、最も早い日付を選択して、親品目の満了日付を計算します。有効値は次のとおりです。

ブランク

親品目の有効な構成品ではない。

1

親品目の有効な構成品である。

[工場製造] タブでもこのオプションを有効にできます。その場合は、[事業所品目の処理] フォームから [追加システム情報] を選択します。

先日付引当可能数量の有効日付の定義

このセクションでは、先日付引当可能数量の概要と、以下の方法について説明します。

- 有効日数の定義
- 有効ロットの更新 (R41083) プログラムの実行
- 有効ロットの更新 (R41083) プログラムの処理オプションの設定

先日付引当可能数量について

有効日付を使用してロットの将来の引当可能数量を指定できます。たとえばワイン製造業で、流通業者や顧客に販売できるようになるまで 600 日の発酵期間が必要なタイプのワインがあるとします。この場合、このワインのバッチの有効日数は 600 日になります。また、品質保証検査の合格後に販売可能になるロットに対して、将来の引当可能日を設定し、在庫として保管することができます。

将来の引当可能日から、次のような情報が得られます。

- 作業オーダー完了から予想される完成品の数量
- 購買オーダーからの購買品の数量
- 受注オーダーと作業オーダーに対して現在引当済みの在庫の数量
- 新しい受注オーダーと作業オーダーに対して引当可能な在庫の数量

こうした情報を基に、引当可能な予想数量や手持在庫の引当を計算し、受注オーダーの実際の納期を交渉できます。

注: 引当可能と見なされるロットは、有効日付が現在かそれより前の日付で、関連する保留コードのないロットである必要があります。満了ロットの保留プログラム (R41082) または有効ロットの更新プログラム (R41083) を使用して、手動または自動でロット状況コードを削除できます。

次のプログラムでロットの有効日付を参照または上書きできます。

- ロット マスターの改訂 (P4108)
- 在庫調整 (P4114)
- 品目再分類 (P4116)
- 作業オーダー完了 (P31114)
- 作業オーダー プロセス資源の改訂 (P3111P)
- 在庫出庫 (P31113)
- 連産品/副産物完了 (P31115)
- 製造作業オーダー処理 (P48013)
- 購買オーダー (P4310)

- 入荷確認 (P4312)
- MRP/MPS 詳細メッセージの改訂 (P3411)
- 需要/供給照会 (P4021)
- MPS タイム フェイズ (P3413)

有効日付の保存や処理には、F4108 テーブルが使用されます。

有効日数の計算

有効日数は、ロットが手持在庫となった際に、受注オーダーや作業オーダーに対して引当可能になるまでの、週末を含む見積日数です。システムがロットの将来の有効日付を計算するには、ロットが有効になるまでの日数を定義する必要があります。必要に応じて、計算された有効日付を上書きできます。

有効日数の計算の際、ロット手持在庫日付に [製造有効日数] フィールドまたは [購買有効日数] フィールドで設定した日数を足したものと等しい有効日付が全てのロットに割り当てられます。入荷確認を使用してロットを作成する場合の有効日付は、入荷確認日に [購買有効日数] フィールドで指定した日数を足したものと等しくなります。作業オーダー完了によってロットを作成する場合の有効日付は、作業オーダー完了日に [製造有効日数] フィールドで指定した日数を足したものと等しくなります。

製造有効日数と購買有効日数のデフォルト値の割り当てと管理は、品目マスター プログラム (P4101) と事業所品目プログラム (P41026) で行います。品目マスターでこの値を指定すると、事業所品目でその値が更新されます。ただし、ロットの有効日付を計算する際は、事業所品目レコードのみから有効日数が取得されます。

引当可能数量と引当計算

在庫の引当可能数量は、手持在庫、購買オーダー、および作業オーダーを使用して計算されます。計算では、トランザクション日付と有効日付が照合されます。つまり、トランザクション日付または要求日付が、有効日付以降で満了日以前であるかどうかを検証されます。ロットが保留で有効日付が割り当てられている場合、そのロットは処理されません。

購買引当

有効日数の計算の際、ロット手持在庫日付に [購買有効日数] フィールドで指定した日数を足したものと等しい有効日付が全てのロットに割り当てられます。入荷確認を使用してロットを作成する場合の有効日付は、入荷確認日に [購買有効日数] フィールドで指定した日数を足したものと等しくなります。

製造引当

製造過程でロットから品目を引き当てる際、部品リストの要求日付（作業オーダー開始日付のデフォルト値）がロットの有効日付および満了日付と比較されます。自動引当では、要求日付が有効日付より前か、またはロット満了日付より後の場合、別のロットに対して同じ検証が実行されます。日付条件を満たす引当可能なロットが見つかるまで、この処理が続けられます。

手動引当の場合、要求が引き当てられる時点の有効日付と満了日付に対して部品リストの要求日付がチェックされます。ロットが条件を満たさない場合、警告が表示されます。

MRP（資材所要量計画）

在庫状況を正確に反映するため、一定期間の需要を満たす一定期間の供給在庫および供給能力を計算する際に、システムはロットの有効日付を考慮します。次の表は MRP のプロセスを示したものです。

MRP 要素	有効日付の用途
手持在庫	<p>システムは、手持在庫から引当可能数量を計算する際に、ロットの有効日付を使用して、ロットに関連する数量が引当可能かどうかを判断します。ロットの有効日付が供給を計算する期間より後の場合、ロットに関連する数量はその期間の計画のために引当可能とは見なされません。</p> <p>一方、有効日付が計画期間以前の場合は、品目の数量はその期間の需要を満たすために引当可能と見なされます。ロットの数量がゼロになるかロットが満了するまでは、このロットの数量により以降の期間の需要を満たすことができます。</p>
購買オーダー	<p>ロットの有効日付が供給を計算する期間より後の場合、ロットに関連する数量はその期間の計画のために引当可能とは見なされません。一方、有効日付が計画期間以前の場合、ロットの品目の数量はその期間の需要を満たすために引当可能と見なされます。ロットの数量がゼロになるかロットが満了するまでは、このロットの数量により以降の期間の需要を満たすことができます。この時点では、ロットはどのような目的に対しても引当可能とは見なされません。</p> <p>システムは全ての購買オーダー行で有効日付を検索します。購買品目がロット制御されていない場合、その品目の購買有効日数はゼロかブランクです。この場合、システムは約束納入日付にゼロを追加し、計画有効日付を約束納入日付と同じにします。</p>
作業オーダー	<p>システムは、[計画有効日付] フィールドの値を使用して、作業オーダーからの計画供給可能数量を計算します。この計算は、F4102 テーブルで定義された作業オーダーの品目の作業オーダー要求日付と製造有効日数に基づいて行われます。</p> <p>システムは品目の製造有効日数に作業オーダーの計画完了日付を足して計画有効日付を計算します。計画有効日付が供給を計算する期間より後の場合、ロットに関連する在庫数量はその期間の需要を満たすために引当可能とは見なされません。一方、計画有効日付が計画期間以前の場合は、引当可能と見なされます。ロットの数量がゼロになるかロットが満了するまでは、このロットの数量により以降の期間の需要を満たすことができます。この時点では、ロットはどのような目的に対しても引当可能とは見なされません。</p>

MRP 要素	有効日付の用途
タイムフェイズ	システムは、計画の相殺作業を実行する際、および供給在庫を該当日付に適用する際に、有効日付を考慮します。たとえば、部品 A のロット 100 が 8 月 1 日に作成され、8 月 15 日に有効になる場合、このロットは 8 月 15 日までは在庫の一部として表示されません。
需要/供給照会	システムは、オーダーの品目の計画有効日付に基づいて、在庫が引当可能かどうかを判断します。購買オーダーからの供給を計算する場合は、購買オーダー明細の予想有効日付の値に基づいて引当可能数量を計算します。作業オーダーからの供給在庫を計算する場合は、作業オーダーの計画有効日付に基づいて引当可能数量を計算します。

関連項目:

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「有効ロットの更新プログラム (R41083) の実行」、272 ページ

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「ロットの再分類」、260 ページ

先日付引当可能数量の有効日付の定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[品目マスターの改訂]	W4101A	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[品目マスター] [品目マスターの処理] フォームで、品目を選択して [選択] をクリックします。	[ロット処理] タブでロット日付情報を入力します。

有効日数の定義

[品目マスターの改訂] フォームにアクセスします。[ロット処理] タブをクリックします。

[製造有効日数] 品目が販売または製造用に引当可能となるまでに在庫として保管する必要のある日数を入力します。システムは、このフィールドに入力された値を F4108 テーブルの基準日に足して、ロットの有効日付を計算します。

[購買有効日数] 購買品目を入荷してからロットが引当可能となるまでの日数を入力します。システムは、購買オーダー プログラム (P4310) と入荷確認プログラム (P4312) で有効日付フィールドの計算や表示を行う際に、この日数を使用します。

有効ロットの更新プログラム (R41083) の実行

[ロット管理] メニュー (G4113) の [有効ロットの更新] をクリックします。

[有効ロットの更新] (R41083) を使用して、手動または自動でロット状況コードを削除できます。このバッチ アプリケーションにより、満了日付が到来した場合にロットからロット状況コードを削除するかどうか、どのロット保留コードを削除するかを管理します。

有効ロットの更新 (R41083) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムやレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

- | | |
|----------------|---|
| 1. ロット有効日付 | 有効日付を入力します。ロットの有効日付がここに入力した日付以前の場合には、ロットの状況コードは新しい状況コードに変更されます。空白にすると、現在の日付が使用されます。 |
| 2. 新しいロット状況コード | 有効ロットの更新に使用される新しいロット状況コードを指定します。 |
| 3. 理由コード | ロット状況変更の理由コードを指定します。空白にした場合、デフォルトの理由コードは使用されません。 |

除外状況

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 除外するロット状況コード | 有効ロットの更新時に除外されるロット状況コードを指定します。 |
| 2. 除外するロット状況コード | 有効ロットの更新時に除外されるロット状況コードを指定します。 |
| 3. 除外するロット状況コード | 有効ロットの更新時に除外されるロット状況コードを指定します。 |
| 4. 除外するロット状況コード | 有効ロットの更新時に除外されるロット状況コードを指定します。 |
| 5. 除外するロット状況コード | 有効ロットの更新時に除外されるロット状況コードを指定します。 |

処理

- | | |
|--------------|--|
| 1. テスト/最終モード | <p>プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>テスト モード</p> <p>1</p> <p>最終モード</p> |
| 2. 印刷モード | <p>レポートを生成するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。</p> <p>空白</p> <p>レポートを生成しない。</p> <p>1</p> <p>レポートを生成する。</p> |

ロット出荷昇順日付の設定

このセクションでは、出荷昇順日付規則の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 詳細ロットの優先情報名の設定
- 優先情報名のスケジュールへの添付

出荷昇順日付規則について

出荷昇順日付規則を設定することができます。この規則を使用することにより、ロット日付が前回出荷日付以後の製品を出荷できます。日付には、満了日付、有効期限、販売期限などがあります。顧客、顧客グループ、製品、製品グループのあらゆる組み合わせに対して日付昇順規則を指定できます。

次の基準を使用して最近の顧客への出荷を確認できます。

- 最終ロット番号
- 最終満了日付
- 最終ロットの有効期限
- 最終ロットの販売期限
- 最大ロット番号
- 最大満了日付
- 最大ロット販売期限
- 最大ロット有効期限

システムは、満了日付、販売期限、有効期限、または F4239 テーブルのユーザー定義日付オプション 1 ~ 5 の値を使用し、[品目マスターの改訂] フォームで指定した引当日付方法に応じて、ハードコミットされる品目の日付を比較します。ロットをハードコミットする場合は、以下の処理の際に、システムは前回顧客出荷テーブルを使用して、指定されたロットの出荷昇順規則を編集します。

- 受注オーダー入力
- ピッキング確認の一時変更（上書き）
- 手作業計画
- 出荷確認

昇順規則は、F49211 テーブルに保管されます。この情報の処理には、次のテーブルが使用される場合もあります。

- F40721
- F4009
- F4600

注: ロット出荷昇順日付規則を設定したら、システム固定情報の [出荷日付規則 (昇順)] オプション、および受注オーダー入力プログラム (P4210) の [昇順日付規則チェックの警告/エラー表示] 処理オプションが有効になっていることを確認してください。手動でオーダーにロット番号を入力すると、警告が表示されます。また、受注オーダー入力プログラムの [優先プロファイル] タブの処理オプションで、上級優先情報のスケジュールを上書きできます。

関連項目:

第 9 章、「ロット処理の使い方」、「ロットの日付設定」、265ページ

事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- [品目マスターの改訂] フォームまたは [優先値の改訂] フォームで引当日付方法を指定します。
- [システム固定情報] フォームで事業所の [出荷日付規則 (昇順)] オプションを有効にして、優先スケジュール (40/AP) を割り当てます。
- 受注オーダー入力プログラム (P4210) の [優先プロファイル] タブの [優先プロファイル処理] 処理オプションを有効にします。

出荷昇順日付の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先定義の改訂]	W4071A	[詳細優先情報] (G40311)、 [詳細優先情報名の改訂] [優先タイプの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	詳細ロットの優先情報名を設定します。
[優先スケジュールの改訂]	W4070C	[詳細優先情報] (G40311)、 [詳細優先情報スケジュールの改訂] [優先スケジュールの処理] フォームで、スケジュールを選択して [選択] をクリックします。	スケジュールに優先情報名を添付します。
[優先明細の処理]	W4072B	[詳細優先情報] (G40311)、 [詳細優先情報詳細の改訂]	優先調整名を入力します。
[優先階層の選択]	W40073F	[優先明細の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	優先階層情報を追加または編集します。
[優先詳細の改訂]	W4072A	[優先階層の選択] フォームの優先タイプから1つを選択して、[選択] をクリックします。	優先詳細を入力します。
[優先値の改訂]	W4072D	[優先詳細の改訂] フォームでレコードを選択し、[ロー] メニューから [優先明細] をクリックします。	優先値を入力します。

詳細ロットの優先情報名の設定

[優先定義の改訂] フォームにアクセスします。

詳細ロットに詳細優先タイプ 23 を使用します。

優先情報名のスケジュールへの添付

[優先スケジュールの改訂] フォームにアクセスします。

[優先調整名] フィールドに値を入力します。

何も入力しない場合は、デフォルトの順序番号が使用されます。この番号によって優先情報をリゾルブする順序が決まります。

ロット満了日付の一括更新の実行

このセクションでは、ロット満了日付の一括更新の概要、事前設定、および一括更新の実行方法について説明します。

ロット満了日付の一括更新について

任意のロットの任意の日付を変更するとき、全ての事業所レコードのロット日付を更新することができます。ロット日付を入力すると、その品目とロットが保管されている全ての事業所で、ロット日付が同期されます。処理オプションの設定によって、そのロットが他の事業所にある場合は警告が表示されるか、または変更される全ての日付と事業所が表示されます。

ロット マスターの改訂プログラム (P4108) を使用して、ロット日付を更新します。全事業所の全てのロット日付を更新することも、事業所ごとに更新する日付を指定することもできます。

注: 全事業所の全てのロット日付を更新するには、事業所レコードのシステム固定情報で [重複ロットの許可] オプションを "2" に設定し、複数の事業所で同じ品目番号やロット番号を使用できるようにします。ロットが複数の事業所に存在し、そのロットに関連付けられた品目番号が異なる場合、そのロットは更新されません。

事前設定

ロット満了日付の一括更新を実行する前に、ロット マスターの改訂プログラム (P4108) の [ロット日付の一括更新] 処理オプションで、ロット日付の一括更新の方法を指定します。

この処理オプションの設定に従って、事業所レコードのロットが更新されます。たとえば、処理オプションを "1" に設定すると、指定した品目とロットが保管されている全ての事業所のロット日付が新しい日付で更新されます。処理オプションを "2" に設定すると、更新する日付レコードの選択が可能になります。処理オプションをブランクにすると、一括更新は行われず、選択した事業所のレコードのみが更新されます。

ロット満了日付の一括更新の実行に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[ロット マスターの改訂]	W4108A	<p>[ロット管理] (G4113)、[ロット マスターの改訂]</p> <p>[ロット マスターの処理] フォームで、[追加] をクリックします。</p> <p>[ロット マスターの処理] フォームでロットを選択し、[ロー] メニューから [ロットの改訂] をクリックします。</p>	ロットの作成と既存ロットの情報の変更を行います。
[ロット日付の一括更新]	W4108H	<p>ロット マスターの改訂プログラムの [処理] タブで [ロット日付の一括更新] 処理オプションを "1" または "2" に設定しておきます。</p>	ロット日付情報の一括更新を実行します。

ロット満了日付の一括更新の実行

[ロット マスターの改訂] フォームにアクセスします。[ロット日付] タブをクリックします。

[更新フラグ]

レコードを更新するかどうかを示すコードを入力します。有効値は次のとおりです。

ブランク

レコードを更新しない。

1

レコードを更新する。

第 10 章

コンテナ管理

この章では、コンテナ管理の概要、タスクの設定、および以下の方法について説明します。

- コンテナ コードと品目の設定
- コンテナ優先情報の設定
- 価格設定スケジュールの設定
- シリアル番号トラッキングの設定
- コンテナ トランザクションの処理

コンテナ管理について

このセクションでは、事前設定と以下の項目について説明します。

- コンテナ管理機能
- 在庫とコンテナ ライフサイクル
- コンテナ管理システム フロー
- コンテナ管理統合タスク
- コンテナ タイプ
- 保証金と賃貸料
- 請求方法

関連項目:

第 3 章、「品目在庫情報の入力」、「品目マスター情報の入力」、62ページ

事前設定

コンテナ管理を使用する前に、調達管理システム、在庫管理システム、および受注管理システムでコンテナ情報とコンテナ トランザクションが入力され、処理されていることを確認します。

コンテナ管理機能

コンテナ (容器) は経済的価値を有し、顧客の手元にある間も自社の所有物であるため、コンテナ トランザクションを注意深くトラッキングすることが重要です。

コンテナ管理機能では、調達管理システムおよび受注管理システムとの連動により、次の処理が可能になります。

- 他のシステムからのコンテナトランザクションに関するあらゆる情報を抽出し、それらの情報をコンテナ管理独自のテーブルで管理する。
- 空コンテナと満載コンテナ（製品が充填されたコンテナ）の動きをトラッキングする。
- コンテナの顧客保証金や賃貸料をトラッキングする。
- 顧客への保証金請求や返却コンテナに対する払戻を行う時期を決定する。
- 保証金と賃貸料の請求書や払戻金に対するクレジット メモを印刷する。
- コンテナ残高や顧客保証金情報をレビューし、必要なレポートを印刷する。

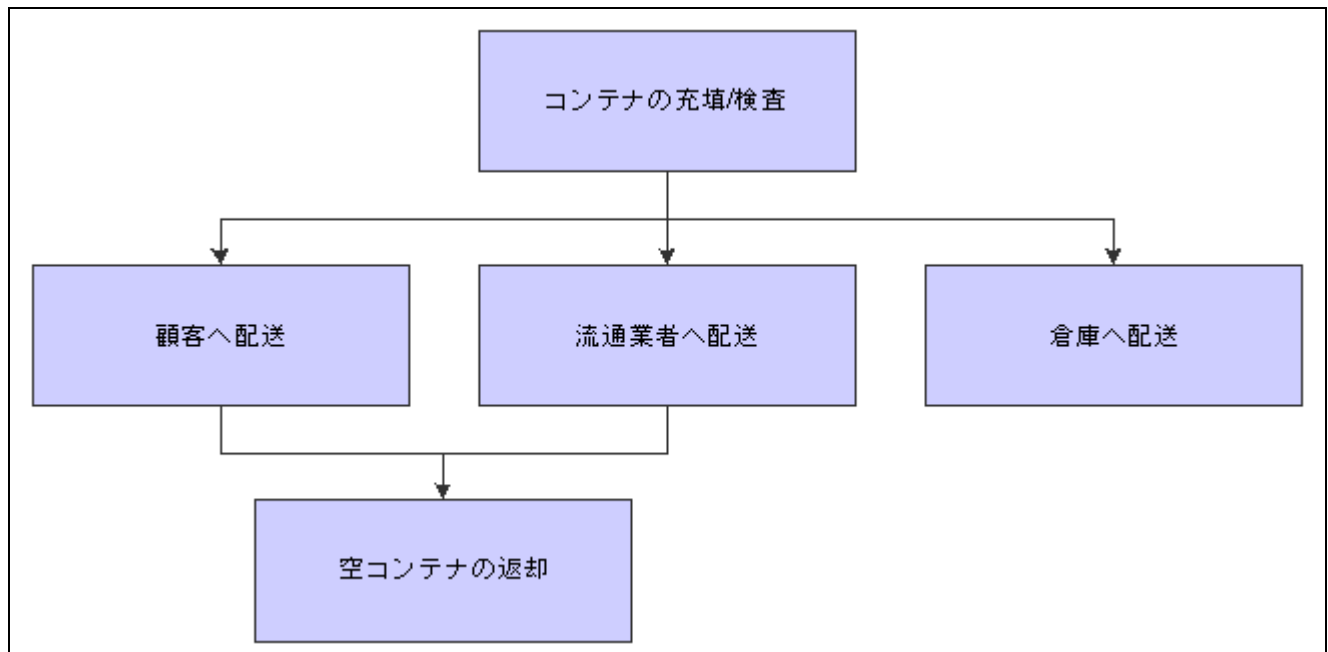
在庫とコンテナ ライフサイクル

通常、会社には大規模なコンテナ在庫があり、その多くは顧客との間で常に循環しています。コンテナでの製品販売には、独自の在庫処理が含まれます。コンテナは、顧客が購入した製品の保管用として、顧客が製品を全て消費するまで貸し出されます。その後、コンテナは返却され、通常は製品を充填したコンテナと交換されます。コンテナが顧客の手元にある間も、所有権は自社にあります。コンテナが販売されないこの種の入出荷トランザクションでは、次の 2 点が重要になります。

- コンテナには経済的価値があります。顧客の手元にある間も会社はコンテナに責任を負います。常にコンテナの状況をトラッキングし、責任を負うことが必要です。
- 顧客は各コンテナに対し、保証金または賃貸料を支払います。これらについては製品の請求とは別にトラッキングする必要があります。

コンテナ管理では、通常のコンテナ交換と保証金、賃貸料、払戻金の支払を管理できます。

以下の図は、コンテナのライフサイクルを示したものです。



コンテナ ライフサイクル

通常、供給元の会社はコンテナを購入して、コンテナ充填プラントの処理サイクルに渡します。コンテナに製品を充填して検査を行ったら、顧客に配送するか、将来の配送に備えて倉庫に送ります。また、顧客への配送を委託する流通業者に満載コンテナを送る場合もあります。コンテナの製品を使い尽くすと、顧客や流通業者から空コンテナが返却されます。

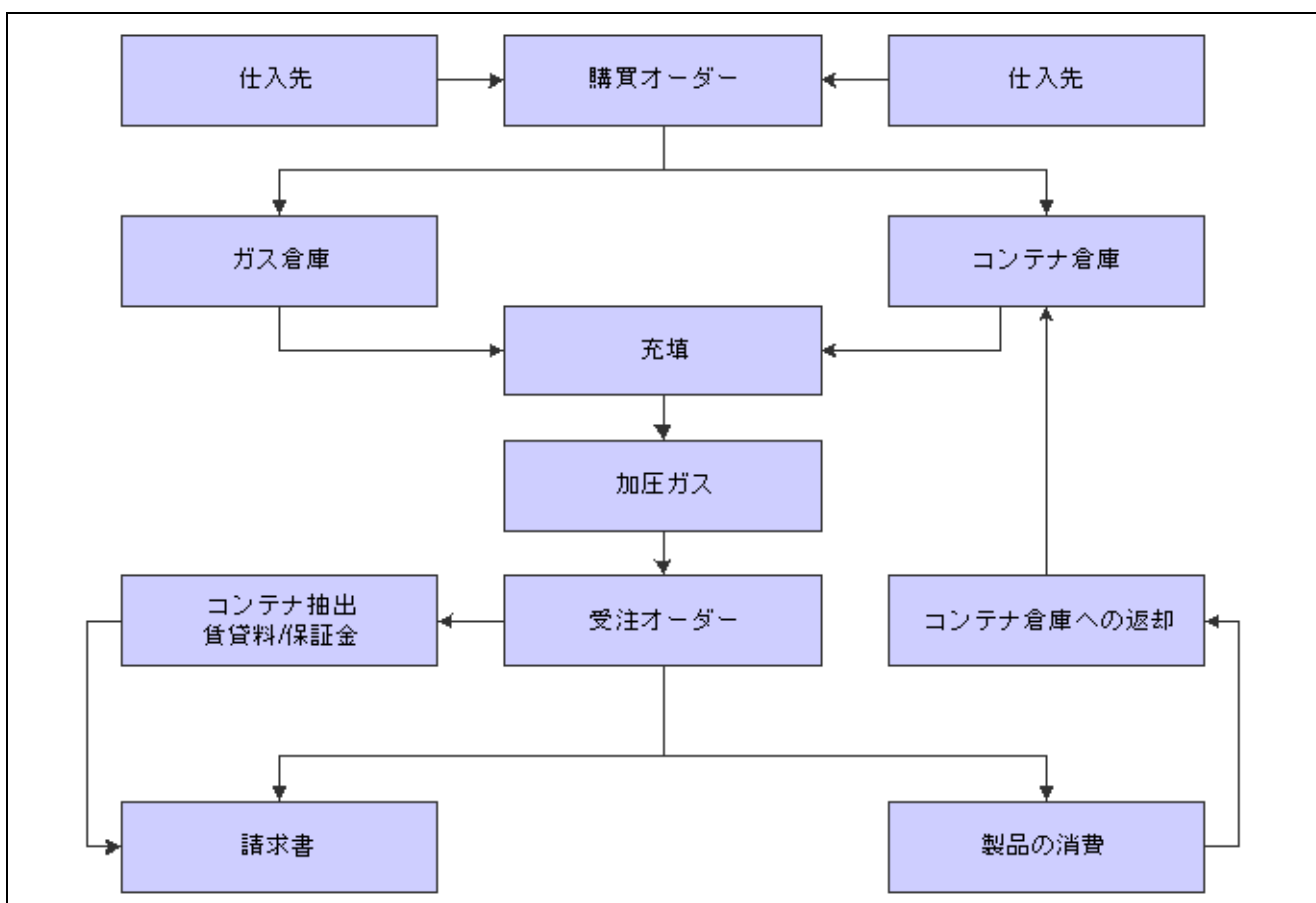
コンテナは一定期間にわたりこのサイクルを繰り返しますが、いずれはコンテナのメンテナンスが必要になります。製品を安全にコンテナに保管するためにはメンテナンスが不可欠です。充填プラントの処理サイクルが一巡するたびに、コンテナを検査する必要があります。何度もサイクルを経て修理不可能なほど破損し、使用不能となったコンテナは廃棄処分します。

コンテナ管理では、一連のサイクルを通してコンテナをトラッキングし、コンテナ交換で発生する保証金や払戻金を管理します。

コンテナ管理システム フロー

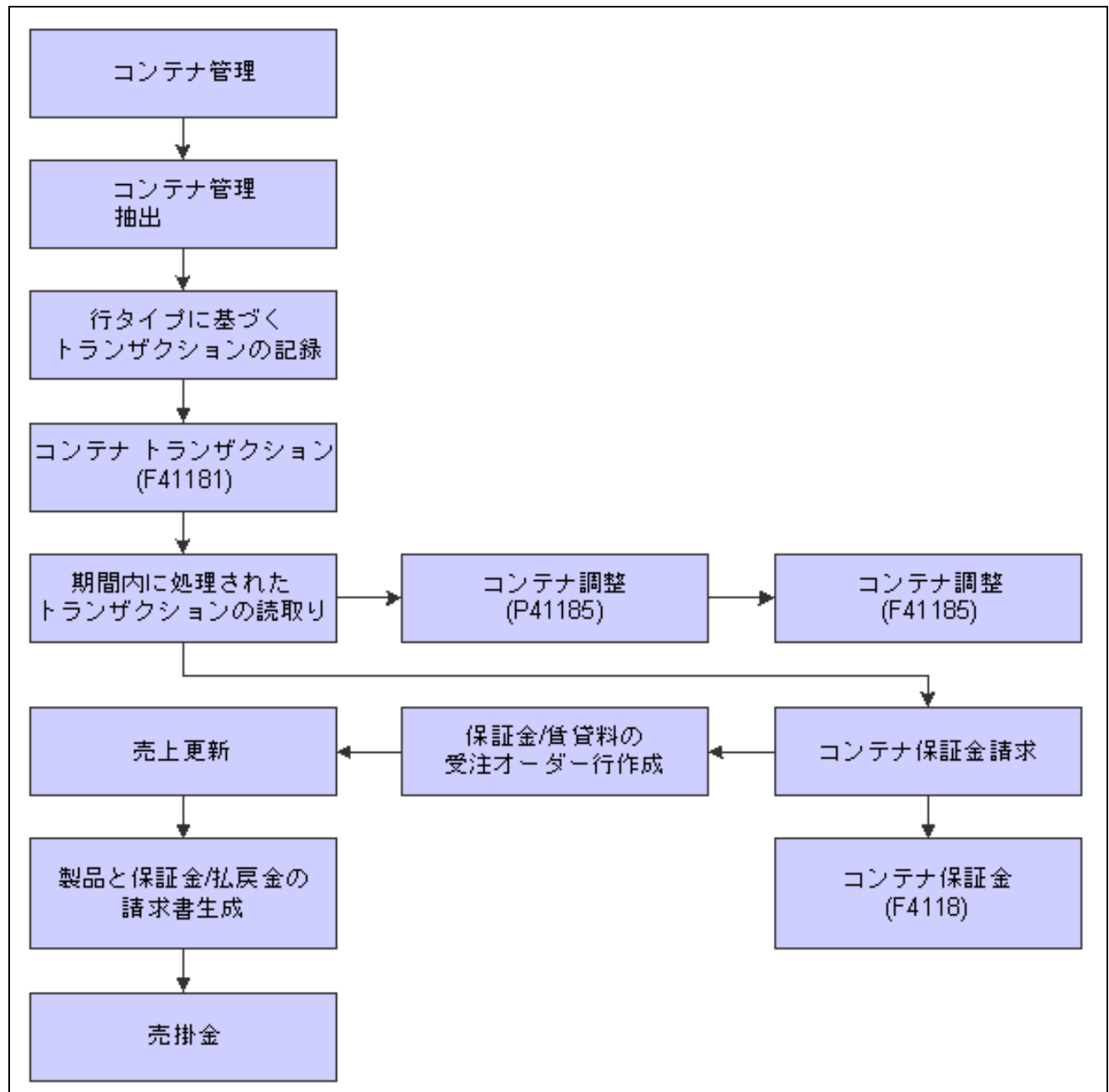
調達管理システムと受注管理システムでコンテナを処理した後でなければ、コンテナ管理機能は使用できません。

以下の図は、コンテナ管理が EnterpriseOne システム全体のフローにどのように組み込まれているかを示したものです。



コンテナ管理と他のシステムとの統合

次の図は、コンテナ管理の処理と関連テーブルを示したものです。



コンテナ管理の処理

コンテナ管理統合タスク

コンテナ管理を使用する前に実行が必要なタスクがいくつかあります。

コンテナの入荷記録

廃棄処分したコンテナを補充したり需要の増加に対応したりするために、空コンテナを限られた数量だけ購入する場合があります。調達管理システムで購買オーダーを入力して、新しいコンテナのオーダーを記録します。

新しいコンテナが納品されたら、その入荷の記録を F4111 テーブルに書き込み、勘定科目を更新します。品目元帳テーブルは、全ての在庫と原価の動きを記録する中央リポジトリです。全てのシステムの在庫を取り扱うプログラムは、在庫と原価に影響するあらゆるレコードをこのテーブルに書き込みます。その後、コンテナの入荷と購買オーダーを照合します。調達管理システムで差異が検出されると、新しいレコードが品目元帳テーブルに書き込まれ、勘定科目が更新されます。

通常は、空コンテナを原価ゼロで調達管理システムに入力し、コンテナにバルク製品を充填する際に、満載コンテナの原価とバルク製品の原価が一致するようにします。空コンテナは経費または固定資産として処理できます。固定資産として扱うと、固定資産管理システムで空コンテナをトラッキングできます。

コンテナの充填

コンテナ充填の記録は、在庫管理システム（または必要に応じてバルク在庫管理システム）で行います。バルク製品を空コンテナに充填する際には、新しいパッケージ品目である満載コンテナを作成します。在庫管理システムでは、コンテナの充填時に次の処理を行います。

- 空コンテナの在庫の減少
- バルク製品の在庫の減少
- 満載コンテナの在庫の増加

受注オーダーの処理

顧客から製品の購買依頼があったら、受注オーダーを入力します。その顧客に販売する品目として、満載コンテナを受注オーダーに入力します。満載コンテナの配送と同時に顧客が空のコンテナを返却する場合、受注オーダーに空コンテナの数に応じた払戻金を入力します。

品目の出荷を記録して、在庫が減っていることや、未配送のコンテナ（空または満載）が在庫に戻されていることを確認します。この追加の処理は受注管理システムで実行します。輸送管理システムで積荷確認を実行すると、満載コンテナの在庫が減少します。

顧客から返却された空コンテナを記録するには、返品オーダーを入力して確認する必要があります。受注管理システムでこの返品オーダーを処理すると、品目元帳テーブルの空コンテナ数が増加します。

コンテナ管理は他のシステムと連動してコンテナトランザクション情報を抽出し、それらの情報をコンテナ管理独自のテーブルで管理します。

コンテナ タイプ

コンテナ管理機能では、パレット、金属製ボンベ、鉄道車両など、あらゆるタイプのコンテナをトラッキングすることができます。エネルギー産業や化学産業では、最も一般的なコンテナタイプは金属製ボンベです。次の 2 種類の製品は通常、金属製ボンベで販売されます。

- 液化プロパンガス (LPG) - 天然ガスがパイプラインで住宅に供給されない国や遠隔地では、金属製ボンベに保管された LPG が調理用や暖房用の主な燃料になります。また LPG は、切断用バーナーやスプレー製品の高圧ガスなど、工業用としても一般的に使用されます。
- 環境ガス-金属製ボンベで供給されるガスには、酸素、アルゴン、ヘリウム、窒素、水素、二酸化炭素があります。米国環境保護庁 (EPA) などの行政機関により、これらのガスに対する特定の保管方法や輸送方法が定められているため、トラッキングの必要性が高くなります。

金属製ボンベの構造は、どれも似たり寄ったりです。サイズと容量はさまざまですが、基本設計は一般的に同じです。金属製ボンベは、顧客によって異なる特別な用途に応じた運搬ができるように設計されています。

保証金と賃貸料

顧客の保証金と賃貸料を記録するための特別な勘定科目を設定する必要があります。この勘定科目はコンテナの払戻金の場合のみ差し引かれます。保証金、賃貸料、払戻金の請求は、顧客の通常の収益や現金勘定には影響しません。コンテナは返却したが製品の支払をしない不良顧客については、返却コンテナに対して発生した払戻金を未収の請求書の支払に充てることができます。

保証金階層

顧客が最初に支払う保証金に従って、追加の保証金なしで交換できるコンテナ数が決まります。コンテナ管理では、顧客から受領した個々の保証金を 1 つの階層として記録します。最初の保証金によって決まったコンテナ数を超えるコンテナを顧客に納入した際は、コンテナ管理により追加の保証金階層が作成されます。

たとえば、1 台 10.00 ドルのレートに基づいてコンテナ 10,000 台に相当する 100,000.00 ドルの保証金を顧客が最初に支払い、実際の納入は 11,000 台だった場合、超過した 1,000 台分のコンテナについて現行の保証金レートで請求するとします。1,000 台分のコンテナに対する追加の支払を受領すると、コンテナ管理ではその保証金に対して新しい階層が作成されます。

コンテナ管理では、FIFO（先入れ先出し）方式の会計処理を使用して払戻金を計算します。この方式では、払戻が発生した際にはまず、最も古い保証金階層が払戻に充てられます。顧客の保証金レートが変動する場合、払戻の計算に使用するレートは、払戻に充てることが可能な最も古い階層のレートになります。

以下の例は、期間終了日付 2005 年 2 月 28 日に FIFO 方式を使用して保証金階層を払戻に充てる方法を示したものです。この場合、2000 年 1 月 1 日に作成された最も古い階層から、3,000 台のコンテナに対して保証金の払戻を行います。この払戻により、1 台 20.00 ドルのレートのコンテナ 2,000 台に対する階層の保証金残額が減少します。

次の表は、初期アクティビティを示したものです。

説明	数量	レート (米ドル)	金額 (米ドル)
2000/01/01	5,000	20.00	100,000.00
2003/12/15	3,000	30.00	90,000.00
2005/02/10	1,000	40.00	40,000.00
開始残高	9,000	なし	230,000.00

次の表は、コンテナの納入と返却の状況を示したものです。

説明	数量
納入数量	5,000
返却数量	8,000
正味納入/返却数量	-3,000
終了残高	6,000

このアクティビティに基づいて、保証金は以下のように調整されます。

説明	数量	レート (米ドル)	金額 (米ドル)
調整後正味保証金	-3,000	20.00	(60,000.00)
2000/01/01	2,000	20.00	40,000.00
2003/12/15	3,000	30.00	90,000.00
2005/02/10	1,000	40.00	40,000.00
終了残高	6,000	なし	170,000.00

請求方法

顧客への保証金と賃貸料の請求方法について、コンテナ管理では次の 2 つの方法を使用します。

- 集計方法 (保証金のみ)
- トラザクション方法

集計方法

集計方法を使用する場合、コンテナ管理では一定期間内に発生したトラザクションの正味数量と正味金額を計算し、その合計額に基づいて請求や払戻を行います。

次の例で、最初の返却と納入では、交換したコンテナの数量が一致しています。2 回目 (2003 年 1 月 15 日) の交換では、数量が一致していません。集計方法では、顧客への請求なしでこれらの交換を行うことができます。保証金が追加請求されるのは、納入されたコンテナの数量が 5,000 台を超過する場合のみになります。

次の表は、顧客のトラザクション記録を示したものです。

説明	日付	数量	レート (米ドル)	金額 (米ドル)
初回保証金	2000/01/01	5,000	20.00	100,000.00
返却	2003/01/10	(500)	なし	なし
納入	2003/01/10	500	なし	なし
返却	2003/01/15	(1,000)	なし	なし
納入	2003/01/15	800	なし	なし
返却	2003/01/25	(800)	なし	なし
納入	2003/01/25	1,000	なし	なし
残高	なし	5,000	なし	100,000.00

トランザクション方法

トランザクション方法を使用する場合、コンテナ管理では顧客に対して記録された各トランザクションを処理します。つまり、返却時には払戻、納入時には請求を個別に行います。保証金レートが変動する場合、トランザクション方法と集計方法では請求内容が大きく異なります。

次の例は、FIFO 会計処理方法と合わせてトランザクション方法を使用した場合の結果を示しています。この場合、保証金に基づく初回コンテナ数を超えていなくても、顧客への請求を行います。

次の表は、顧客のトランザクション記録を示したものです。

説明	日付	数量	レート (米ドル)	金額 (米ドル)
初回保証金	2000/01/01	5,000	20.00	100,000.00
返却	2003/01/10	(500)	20.00	(10,000.00)
納入	2003/01/10	500	20.00	10,000.00
返却	2003/01/15	(1,000)	20.00	(20,000.00)
納入	2003/01/15	800	30.00	24,000.00
返却	2003/01/25	(800)	20.00	(16,000.00)
納入	2003/01/25	1,000	30.00	30,000.00
残高	なし	5,000	なし	118,000.00

設定タスクについて

コンテナ管理を使用する前に、複数の機能を設定してコンテナ トランザクション処理に使用する情報を定義しておく必要があります。このセクションでは、以下の内容について説明します。

- オーダー行タイプ
- オーダー処理順序定義
- 品目タイプ
- ユーザー定義コード
- 印刷メッセージ
- AAI (自動仕訳)
- 請求書サイクル計算

オーダー行タイプ

オーダー行タイプを設定して、受注オーダー明細行の処理方法を定義します。コンテナ抽出プログラムは、コンテナを識別する行タイプに従って受注オーダーから情報を抽出します。たとえば、以下の行タイプを使用することにより、コンテナ トランザクションを正しく処理することができます。

- CT (コンテナトランザクション) - 満載コンテナ
- A (資産移動) - 空コンテナ
- EC (コンテナ保証金/払戻金) - 保証金/払戻金の受注オーダー行
- CA (カートン) - 在庫をリリースするが、事前出荷通知 (ASN) のデータ選択からは除外し、カートン料金が抽出されないようにする。
- CI (カートン在庫) - 売上更新時に在庫をリリースするが、ASN の抽出からは除外する。カートンに基づいた数量に対する受注オーダー入力バージョンを使用して、これらの行が書き込まれる。このオーダータイプと行タイプの組み合わせは、行を新規出荷番号に割り当てないようにするため、UDC (49/SD) に含めないようにする必要がある。
- CC (カートン料金) - カートン料金を含む受注オーダー行を書き込む。このオーダータイプと行タイプの組み合わせは、行を新規出荷番号に割り当てないようにするため、UDC (49/SD) に含めないようにする必要がある。

また、他のシステムとのインターフェイスを正しく取るため、次の方法で各行タイプを設定することをお勧めします。

行タイプ	説明
満載コンテナ行タイプ	一般会計、在庫管理システム、売掛管理システム、買掛管理システムとインターフェイスを取るため、基本的な在庫品目などの満載コンテナを設定する必要があります。
空コンテナ行タイプ	一般会計、売掛管理システム、買掛管理システムには直接書き込まずに、在庫管理システムのみとインターフェイスを取るため、空コンテナを設定する必要があります。また、空コンテナを含む全ての受注オーダー入力は返品の方貸方仕訳になるため、[符号反転]フィールドに「Y」を入力します。
保証金/払戻金の受注オーダー行タイプ	一般会計と売掛管理システムのみとインターフェイスを取るため、コンテナ保証金受注オーダー行の行タイプを設定する必要があります。 注: 行タイプ "EC" については、[行タイプ固定情報の改訂] フォームで [非在庫品用品目マスターの編集] チェックボックスをオンにする必要があります。

オーダー処理順序定義

オーダー処理順序定義を設定して、各タイプのオーダーの処理ステップを指示する一連の状況コードを定義します。使用するオーダータイプと行タイプの組み合わせごとに、オーダー処理順序定義を作成する必要があります。

空コンテナと満載コンテナに行タイプとオーダータイプを設定する場合、行タイプとオーダータイプの組み合わせごとにオーダー処理順序定義を設定する必要があります。コンテナ保証金の受注オーダーに対して異なるオーダータイプを設定する場合は、このオーダータイプを使用します。それ以外の場合は、通常の受注オーダータイプ (SO など) を使用します。

処理対象の各行タイプに対して、次のようにオーダー処理順序定義を設定する必要があります。

行タイプ	オーダー処理順序定義
空コンテナ	<p>空コンテナは次のステップで処理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 返品オーダーの入力 • 返品オーダーの出荷確認 • 抽出の実行 • 売上仕訳更新
満載コンテナ	<p>満載コンテナは次のステップで処理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 受注オーダーの通常処理ステップ • 出荷確認後のコンテナ抽出用の追加ステップ
コンテナ保証金/払戻金の受注オーダー行	<p>コンテナ保証金/払戻金の受注オーダー行の処理は次のステップで処理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 保証金/払戻金のオーダー作成 • 請求書の印刷 • 売上仕訳更新

品目タイプ

標準の品目入力を実行して、コンテナ管理に次の 3 品目を定義します。

- 空コンテナ
- 満載コンテナ
- パッケージ品目またはバルク品目（バルク在庫管理システムをインストールしている場合）となる製品

品目マスター プログラムを使用して、品目情報（品目番号、記述、価格、原価計算方式、引当可能数量、引当規則など）を入力します。また、[オーダー行タイプ] フォームで設定した満載コンテナと空コンテナの行タイプも入力します。

コンテナの計量単位を定義する際は、空コンテナの重量をゼロに近い値（たとえば、1 EA（個）= 0.00002 LT（リットル）または 0.00002 KG（キログラム））に設定して、満載コンテナ価格決定時の計量単位換算でコンテナ重量が影響しないようにする必要があります。

バルク在庫管理システムをインストールしている場合、バルク品目、タンク、デフォルトのタンク情報を設定することができます。

タンクを設定する際には、[タンク マスターの保守管理] フォームと[デフォルト タンク情報の改訂] フォームを使用し、通常の手順に従います。この手順により、バルク製品の保管に使用するタンクの構造情報を指定することができます。トランザクションを処理して容量を計算するときに、この情報が使用されます。

ユーザー定義コード

必要であれば次のユーザー定義コード（UDC）を設定して、コンテナ管理の機能をカスタマイズすることができます。

- 伝票タイプ
- 状況コード

- 行タイプ

それぞれのシステムには、固有のユーザー定義コード タイプがあります。ユーザー定義コードはシステム番号とタイプによって参照されます。たとえば、コンテナ管理のシステム コードは“41”、伝票タイプのユーザー定義コードは“DT”です。

標準でユーザー定義コード テーブルに既に設定されているコードもあります。ハードコード化されているユーザー定義コードには特別な用途があるため、変更しないでください。変更した場合、情報が正しく処理されない可能性があります。ただし、固有のビジネス ニーズに応じてユーザー定義コードを追加することはできます。

次の伝票タイプを定義すると、コンテナ トランザクションのトラッキングが容易になります。

- 保証金、賃貸料、払戻金の請求書タイプ
- 保証金、賃貸料、払戻金の受注オーダー タイプ

ユーザー定義コード (40/IU) に保証金、賃貸料、払戻金の受注オーダーに対する伝票タイプを入力し、出荷確認時にこのオーダーに基づいて在庫が更新されるようにします。

印刷メッセージ

印刷メッセージを設定して、伝票印刷時にカスタマイズされたメッセージが印刷されるようにします。たとえば、コンテナの保証金と払戻金に対する請求書をカスタマイズする場合があります。印刷メッセージの設定により、請求書タイトルを「コンテナ保証金請求書」にすることができます。また、保証金や賃貸料の請求書の印刷メッセージも多種多様に設定できます。

印刷メッセージを設定するには、まずユーザー定義コード テーブル (40/PM) に印刷メッセージのコードを追加します。次に、印刷メッセージを作成し、そのメッセージを印刷する伝票に追加します。

保証金を請求する顧客と賃貸料を請求する顧客が存在し、それぞれの顧客に対して異なる印刷メッセージを使う場合、[印刷メッセージ優先情報] で適切なメッセージを指定します。この優先情報を使って、各顧客に対するメッセージをそれぞれ印刷することができます。

関連項目:

第 10 章、「コンテナ管理」、「コンテナ優先情報の設定」、291 ページ

AAI (自動仕訳)

AAI はユーザーが定義するもので、日次業務、勘定科目表、財務レポート間の橋渡しに使用されます。システムは AAI を使って、元帳仕訳の生成時にその配賦方法を決定します。

流通システムでは、使用が予想される会社、伝票タイプ、元帳クラスの固有の組み合わせごとに AAI を作成する必要があります。各 AAI は、ビジネスユニット、主科目、補助科目で構成される特定の勘定科目に対応します。

AAI を定義すると、トランザクションの記録方法がシステムに認識されます。売上更新プログラムを実行すると、適切な勘定科目で仕訳が作成されます。

コンテナ保証金/払戻金の受注オーダーに対して定義した伝票タイプを、AAI 4230 (収益) と組み合わせる必要があります。この AAI を設定して、収益勘定ではなく、顧客の保証金や賃貸料の個々の負債勘定にレコードを作成する必要があります。この勘定科目はコンテナの払戻金の場合のみ差し引かれます。

関連項目:

第 2 章、「在庫管理システムの設定」、「流通システムの AAI 設定」、37 ページ

請求書サイクル計算

請求書サイクルを設定して、サイクル請求プログラムの計画請求日付の計算方法を決定します。請求書サイクルを設定する場合、さまざまな請求ルールと計画を、さまざまな顧客と品目の組み合わせに適用します。たとえば、1 か月の全出荷に対する請求書を月末にまとめて受け取ることを希望する顧客もいれば、特定の品目に対する週次の請求を希望する顧客もいます。

請求書サイクル計算ルールを設定して、請求書日付の計算に使用される計算タイプを定義します。定義した後、テスト用の日付で計算した請求書日付をレビューすることにより、計算の設定が正しいかどうかを確認できます。計算ルールが隔週、月 2 回、または月末の場合には、計画請求日付の範囲も設定する必要があります。

請求書サイクルを設定すると、請求書サイクル優先情報で、顧客と品目の組み合わせに対してそのサイクルを割り当てることができます。必要があれば、計画請求日付を後から変更することもできます。

関連項目:

[第 10 章、「コンテナ管理」、「コンテナ優先情報の設定」、291 ページ](#)

コンテナ コードと品目の設定

このセクションでは、コンテナ コードの概要と以下の方法について説明します。

- コンテナ コードの指定
- 空コンテナに対する品目番号の指定

コンテナ コードについて

コンテナ管理では空コンテナ タイプのみトラッキングします。[品目マスターの改訂] フォームでは、空コンテナと満載コンテナの両方を設定します。満載コンテナは、コンテナ コードで識別されます。[コンテナ/カートン コードの改訂] フォームで設定するコンテナ コードのレコードには、空品目の品目番号が含まれます。

この設定により、コンテナ抽出プログラムで空コンテナ トランザクションと共に満載コンテナ トランザクションを抽出し、その情報をコンテナ トランザクション テーブルに書き込むことができます。

コンテナ コードと品目の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保管/出荷]	W4101D	<p>[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[品目マスター]</p> <p>[品目マスターの処理] フォームで満載コンテナの品目番号を選択し、[ロー]メニューの[保管/出荷]をクリックします。</p>	コンテナコードを指定します。
[コンテナ/カートンコードの改訂]	W46091B	<p>[コンテナ管理セットアップ] (G41184)、[コンテナ/カートンコード]</p> <p>[コンテナ/カートンコードの処理] フォームでコンテナを選択し、[選択]をクリックします。</p>	空コンテナに対する品目番号を指定します。

コンテナ コードの指定

[保管/出荷] フォームにアクセスします。

満載コンテナコードと空コンテナコードの両方に品目を入力する必要があります。コンテナ管理が満載コンテナとしてトラッキングする全ての品目に対して、コンテナコードを指定する必要があります。たとえば、品目“F11”が満載コンテナを表す場合、その品目にコンテナコード“C1”を割り当てることができます。

[コンテナ コード]

保管コンテナまたは出荷カートンを示すユーザー定義コード (46/EQ) を入力します。保管コンテナには、コンテナ上に品目を保管する開放型コンテナ (パレットなど) とコンテナ内に品目を保管する密閉型コンテナ (箱など) があります。コンテナ/カートンコード プログラム (P46091) を使用して、保管コンテナを定義します。

空コンテナに対する品目番号の指定

[コンテナ/カートン コードの改訂] フォームにアクセスします。

満載コンテナと空コンテナの関係を設定するには、満載コンテナに指定したコンテナコードのレコードに空コンテナの品目番号を入力します。

たとえば、品目“F11”がコンテナコード“C1”の満載コンテナであるとしします。対応する空コンテナには品目番号“E11”を使用します。この関係を設定するには、[コンテナ/カートンコードの改訂] フォームで、コンテナコード“C1”のレコードに品目番号「E11」を入力します。

[コンテナ管理] タブをクリックし、[品目 No.] フィールドに値を入力して [OK] をクリックします。

入力した品目番号によって空コンテナが識別されます。

コンテナ優先情報の設定

このセクションでは、コンテナ優先情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- コンテナ保証金/賃貸料優先情報の作成
- 請求書サイクル優先情報の作成
- 価格設定計量単位優先情報の作成
- 印刷メッセージ優先情報の作成

コンテナ優先情報について

優先情報を使用して、受注オーダーの処理方法をカスタマイズします。コンテナ管理では、顧客や顧客と品目の組み合わせに対する優先情報を設定し、次の情報を定義します。

- 顧客に請求するコンテナトランザクション、保証金、賃貸料のタイプ
- コンテナトランザクションについて顧客に送る請求書のタイプ（集計またはトランザクション）
- 顧客とコンテナ品目の組み合わせに対する請求サイクル
- 価格設定計量単位

特定の優先情報を作成するには、まず優先情報を有効にして優先階層を定義する必要があります。

優先情報を作成する前に、優先マスターに情報があるかどうかを必ず確認してください。情報がない場合は、優先マスターに追加する必要があります。優先マスターに優先情報を設定したら、コンテナ管理に必要な全ての優先情報を有効にします。その後に優先階層を定義して、優先情報が適用される順序を指示します。また、優先情報を使用するには、受注オーダー入力などの特定のプログラムで適切な処理オプションを設定する必要もあります。

コンテナ保証金/賃貸料優先情報

コンテナ保証金/賃貸料優先情報を作成して、顧客と品目の組み合わせについて次の 3 つのオプションを定義します。

- コンテナの使用に対する保証金や賃貸料を顧客に請求するかどうか。
- コンテナ保証金や賃貸料の請求書を集計方法とトランザクション方法のどちらで顧客に送るか。
- どの元帳クラスを使用するか。品目マスターで定義された元帳クラスではなく、優先情報で定義された元帳クラスを使用できるので、空コンテナの見込販売と実際の保証金を区別することができます。

注: [優先マスターの処理] フォームで、コンテナ保証金/賃貸料優先情報の [有効数量使用] フィールドが “N” になっていることを確認する必要があります。[有効数量使用] フィールドが “Y” になっていると、返品オーダーは処理されません。

請求書サイクル優先情報

顧客とコンテナ品目の組み合わせに対する請求書サイクル優先情報を作成して、保証金や賃貸料の請求書をいつ顧客に送るかを定義します。たとえば、1 か月分の全出荷をまとめた月締めの請求書を月末に送ることを希望する顧客もいます。一方、日次請求を希望する顧客もいます。

納入のオーダーが確認されると、サイクル請求プログラムで処理されます。このプログラムは請求書サイクル優先情報にアクセスし、請求書サイクル計算ルールと計画請求書日付範囲に基づいて計画請求書日付を計算します。通常、請求書サイクル計算ルールと計画請求書日付範囲はインストール時に設定します。少なくとも年に 1 回は、計画請求書日付を改訂する必要があります。

[請求書サイクルの処理] フォームから請求書サイクル計算ルールにアクセスできます。優先情報を追加するたびに請求書サイクル計算ルールを設定する必要はありません。

価格設定計量単位優先情報

価格設定計量単位優先情報を使用して、受注オーダーの価格設定計量単位を上書きできます。受注オーダー明細行の価格設定計量単位は、[品目マスターの改訂] フォームで入力した情報に基づいて決まります。販売価格の計算に使用する計量単位により、行価格の読み込みに使用される計量単位が決まります。これは、行のデフォルト計量単位の設定には使用されません。この優先情報を使用すると、事業所に基づいて顧客と品目の組み合わせに異なる価格設定計量単位を割り当てることができます。

また、価格設定計量単位優先情報により、[システム固定情報] フォームの [販売価格基準日] フィールドも上書きされます。[販売価格基準日] フィールドに従って、受注見出しテーブルと受注明細テーブルの [価格有効日付] フィールドの更新方法が決まります。

価格設定計量単位優先情報を使用して、特定の顧客とコンテナの組み合わせに対する 1 日あたりの賃貸料を決定できます。この優先情報により、コンテナの保証金や賃貸料が計算されます。ユーザー定義コード テーブル (00/UM) に 1 日あたりの賃貸料の計量単位ユーザー定義コードを作成すると、顧客とコンテナの組み合わせに対する価格設定計量単位優先情報に使用することができます。

たとえば、30.00 ドルの保証金で空コンテナを設定するとします。顧客 502 がこのコンテナに対して賃貸料を支払う場合、計量単位ユーザー定義コードを 1 日あたり 2.00 ドルの賃貸料で設定し、顧客とコンテナの組み合わせに対する価格設定計量単位優先情報にこのコードを入力することができます。優先情報により顧客に対する受注オーダーの価格設定計量単位が上書きされます。顧客 502 にはコンテナの使用料として 1 日あたり 2.00 ドルが請求され、他の顧客には通常の保証金 30.00 ドルが請求されることになります。

印刷メッセージ優先情報

印刷メッセージ優先情報を使用して、特定の顧客と品目の組み合わせに対する伝票に自動印刷するメッセージを選択します。

この優先情報は、オーダー入力時ではなく伝票の印刷時に適用されます。印刷メッセージ優先情報によって、[顧客請求指示] および [事業所品目情報] で設定した他のメッセージが上書きされることはありません。

注: キー フィールドをブランクにすると、そのフィールドに対する有効な値の全てを指定したことになります。たとえば、[ビジネスユニット] フィールドをブランクにすると、印刷メッセージ優先情報は全てのビジネスユニットに適用されます。

事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- コンテナ保証金/賃貸優先情報の作成前に、コンテナの保証金や賃貸料に対する元帳クラス勘定が作成済みであることを確認します。
- 請求書サイクル優先情報の作成前に、請求書サイクル計算ルールが設定済みであることを確認します。
- 価格設定計量単位優先情報の作成前に、この優先情報に入力する価格設定計量単位の基本価格レコードが存在することを確認します。
- 印刷メッセージ優先情報作成前に、印刷メッセージが作成済みであることを確認します。

コンテナ優先情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コンテナ保証金/賃貸プロファイルの改訂]	W40317C	<p>[コンテナ管理セットアップ] (G41184)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] フォームで、コンテナ優先情報の行を選択し、[選択] をクリックします。</p> <p>[コンテナ保証金/賃貸プロファイルの処理] フォームで、[追加] をクリックします。</p> <p>[優先階層の選択] フォームの記述から1つを選択して、[選択] をクリックします。</p>	コンテナ保証金/賃貸料優先情報を作成します。
[請求書サイクルの改訂]	W40315B	<p>[コンテナ管理セットアップ] (G41184)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] フォームで、請求書サイクル優先情報の行を選択し、[選択] をクリックします。</p> <p>[請求書サイクルの処理] フォームで、[追加] をクリックします。</p> <p>[優先階層の選択] フォームの記述から1つを選択して、[選択] をクリックします。</p>	請求書サイクル優先情報を作成します。
[価格設定計量単位の改訂]	W40347B	<p>[コンテナ管理セットアップ] (G41184)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] フォームで、価格設定計量単位優先情報の行を選択し、[選択] をクリックします。</p> <p>[価格設定計量単位プロファイルの処理] フォームで、[追加] をクリックします。</p> <p>[優先階層の選択] フォームの記述から1つを選択して、[選択] をクリックします。</p>	価格設定計量単位優先情報を作成します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[印刷メッセージプロファイルの改訂]	W40305B	<p>[コンテナ管理セットアップ] (G41184)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] フォームで、印刷メッセージ優先情報の行を選択し、[選択]をクリックします。</p> <p>[印刷メッセージプロファイルの処理] フォームで、[追加]をクリックします。</p> <p>[優先階層の選択] フォームの記述から1つを選択して、[選択]をクリックします。</p>	印刷メッセージ優先情報を作成します。

コンテナ保証金/賃貸料優先情報の作成

[コンテナ保証金/賃貸プロファイルの改訂] フォームにアクセスします。

注: 上級シリアル番号処理に関する情報と [シリアルNo. 必須] フィールドの 3 ~ 5 の値は、コンテナ管理には適用されません。

[顧客グループ]

コンテナ保証金/賃貸料優先情報用に顧客を割り当てるグループを識別するユーザー定義コード (40/17) を入力します。これは、類似した顧客をグループにまとめて、優先情報を迅速かつ容易に定義する場合に実行します。

優先情報を定義する顧客グループを識別するコードを入力します。優先情報はこの顧客グループのみに対して定義することも、顧客グループと品目/品目グループの組み合わせに対して定義することもできます。

[顧客 No.] と [顧客グループ] の両フィールドを空白にすると、優先情報は全ての顧客に適用されます。

顧客番号または顧客グループを使用する優先階層を選択した場合は、その値を入力する必要があります。

[品目グループ]

コンテナ保証金/賃貸料優先情報用に品目を割り当てるグループを識別するユーザー定義コード (40/17) を入力します。これは、類似した品目をグループにまとめて、優先情報を迅速かつ容易に定義する場合に実行します。

優先情報を定義する品目グループを識別するコードを入力します。優先情報はこの品目グループのみに対して定義することも、品目グループと顧客/顧客グループの組み合わせに対して定義することもできます。

[品目番号] と [品目グループ] の両フィールドを空白にすると、優先情報は全ての品目に適用されます。

品目番号または品目グループを使用する優先階層を選択した場合は、その値を入力する必要があります。

[有効開始日付]

トランザクション、契約、義務、優先情報、ポリシー規則などが有効になる日付を入力します。

[有効終了日付]	トランザクション、テキスト メッセージ、契約、義務、優先情報などが完了または失効する日付を入力します。
[保証金賃貸]	<p>このコードを使用して、顧客が空コンテナに対して保証金を払うか賃貸料を払うかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1 保証金</p> <p>2 賃貸料</p>
[トランザクション集計]	<p>このコードを使用して、コンテナ保証金の請求や払戻をトランザクションごとに行うか、請求期間内で集計するかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1 トランザクション</p> <p>2 集計。このコードの設定は、賃貸トランザクションには影響しない。</p>
[元帳クラス]	<p>請求書や伝票の転記時に元帳クラスとして使用する取引勘定科目を決定するコードを入力します。AAI 項目 RC (売掛管理) と PC (買掛管理) を組み合わせて、取引勘定科目が検索されます。たとえば、「TRAD」と入力すると、AAI 項目 "RCTRAD" (売掛) または "PCTRAD" (買掛) が検索されます。</p> <p>元帳クラスを表す最大 4 文字の英数字、または (多通貨環境でトランザクションを入力する場合は) 3 文字の通貨コードを割り当てることができます。ただし、対応する AAI 項目をシステムに設定しておく必要があります。設定していない場合は元帳クラスは無視され、指定された会社の PC または RC に設定されている勘定科目が使用されます。</p> <p>顧客または仕入先レコードの [元帳クラス] フィールドにデフォルト値を設定すると、上書きしない限り、トランザクション入力中はこの値が使用されます。</p>
[シリアル No. 必須]	<hr/> <p>注: 元帳クラスに "9999" は使用しないでください。これは、転記プログラム用の予約コードで、相殺を行わないように指定するものです。</p> <hr/> <p>基本シリアル番号処理用に入荷時または販売時にこの品目にシリアル番号を添付する必要があるかどうか、または上級シリアル番号処理用にメモロット情報が必要かどうかを指定するコードを入力します。上級シリアル番号処理を使用すると、シリアル番号により購買や販売の全てのトランザクションで品目をトラッキングすることができます。基本シリアル番号処理の有効値は次のとおりです。</p> <p>Y 在庫管理、受注管理、購買オーダーのプログラムに関連してこの品目に発生する全てのトランザクションにシリアル番号が必須。</p> <p>N シリアル番号は必須ではない。 シリアル番号で品目にロットを指定する場合の有効値は次のとおりです。</p>

3

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。

4

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。メモ ロット 1 も必須。

5

仕入先ロット番号が必須（購買のみ）。メモ ロット 1、メモ ロット 2 も必須。

6

シリアル番号のない品目番号（CSMS のみ）。

3 ～ 5 の値は、シリアル番号のある品目にロットの割り当てが必要かどうかを指定します。仕入先ロット、メモ ロット 1、メモ ロット 2 の最高 3 つまでのロット番号の割り当てを必須とすることができます。

請求書サイクル優先情報の作成

[請求書サイクルの改訂] フォームにアクセスします。

[請求書サイクル] 使用する請求方法を指定します。（日次、週次、月次など）

価格設定計量単位優先情報の作成

[価格設定計量単位の改訂] フォームにアクセスします。

[価格設定単位] 通常の品目価格設定に使用する計量単位を示すユーザー定義コード (00/UM) を入力します。

価格設定計量単位優先情報:

価格設定計量単位優先情報のフォームで計量単位を指定すると、この優先情報が適用される顧客/品目の品目マスターを介して品目に添付された計量単位が入力または上書きされます。価格設定計量単位優先情報のフォームでこのフィールドをブランクにすると、品目マスターから取得されるデフォルト値は上書きされません。

この優先情報は、オーダー入力で適用されます。

印刷メッセージ優先情報の作成

[印刷メッセージ プロファイルの改訂] フォームにアクセスします。

[印刷メッセージ] 各印刷メッセージに割り当てるユーザー定義コードを入力します。メッセージで使用されるテキストとしては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。

他の優先情報とは違って、印刷メッセージ優先情報はフィールドの上書きには使用されません。ここで入力した印刷メッセージは、選択した他の印刷メッセージに追加されます。

価格設定スケジュールの設定

通常、顧客が支払うコンテナの保証金と賃貸料の設定は、顧客と実際に取引を開始する前に行います。受注管理システムの標準基本価格設定を使用して、顧客、顧客グループ、品目（コンテナ）、品目グループのあらゆる組み合わせに対して保証金または賃貸料を定義することができます。価格管理システムをインストールしている場合には、このシステムを使用して保証金と賃貸料の価格設定スケジュールを設定することもできます。

空コンテナの基本価格は、保証金や賃貸料と同額に設定できます（価格管理システムを使用していない場合）。この価格が適用されるのは、保証金や払戻金の受注オーダー行を処理する場合のみです。また、満載コンテナの基本価格は、その製品価格と同額に設定できます。この金額は、製品販売時に顧客に請求する金額です。

シリアル番号トラッキングの設定

このセクションでは、シリアル番号処理の概要と、シリアル番号トラッキングの設定に使用するフォームについて説明します。

シリアル番号の処理について

シリアル番号処理を使用すると、倉庫から顧客への往復経路や他の顧客への回送経路などにおいて、特定コンテナの位置を記録できます。コンテナ優先情報でシリアル番号必須の設定をしていると、シリアル番号の入力用に [梱包確認] フォームが表示されます。

シリアル番号トラッキングの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コンテナシリアル番号トラッキングの改訂]	W41184B	[コンテナ管理] (G4118)、[コンテナシリアル番号のトラッキング] [コンテナシリアル番号トラッキングの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	シリアル番号トラッキングの設定を行います。

コンテナ トランザクションの処理

このセクションでは、コンテナ トランザクションの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- コンテナ抽出の実行
- 賃貸料、保証金、払戻金の処理
- 賃貸料の受注オーダー行作成
- 保証金と払戻金の受注オーダー行作成
- 賃貸料、保証金、払戻金の受注オーダー行処理

- コンテナ保証金の確認
- コンテナ トランザクションの確認
- シリアル番号情報の確認と改訂

コンテナ トランザクションについて

コンテナ トランザクションを処理して、F41181、F41185、F4118 テーブルにコンテナ、賃貸料、保証金の情報を記録します。

通常、日次締め処理時にコンテナ抽出プログラムを実行して、F4211 テーブルからコンテナ トランザクション情報を抽出します。次に、コンテナ保証金/払戻金請求バッチ プログラムを実行して、顧客に納入したコンテナの賃貸料や保証金の受注オーダー行の作成や、顧客が返却したコンテナの払戻について返品オーダーの作成を行います。

レポートを作成して、各顧客に対するコンテナ トランザクション処理や手元にあるコンテナ数を確認できます。また、コンテナ管理の照会プログラムを使用して、各顧客の保証金階層の確認やコンテナ トランザクションの分析をすることもできます。

事前設定

コンテナ抽出を実行する前に、以下の作業を行う必要があります。

- オーダー行タイプとオーダー処理順序定義が設定済みであることを確認します。
- コンテナ コードと品目が設定済みであることを確認します。
- コンテナ保証金/賃貸料優先情報と請求書サイクル優先情報が設定済みであることを確認します。

賃貸料、保証金、払戻金を処理する前に、以下の作業を行う必要があります。

- コンテナ保証金/賃貸料優先情報と請求書サイクル優先情報が設定済みであることを確認します。
- コンテナ請求プログラムの処理オプションで、カスタマイズした優先情報の正しいバージョンを使用するよう設定済みであることを確認します。
- コンテナ賃貸料と保証金に対して受注オーダー行タイプが設定済みであることを確認します。
- コンテナ賃貸料と保証金に対して伝票タイプが個別に設定済みであることを確認します。

コンテナ トランザクションの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コンテナ保証金照会の処理]	W4118A	[コンテナ管理] (G4118)、[コンテナ保証金照会]	コンテナ保証金情報を表示します。
[コンテナトランザクション照会の処理]	W41181B	[コンテナ管理] (G4118)、[コンテナトランザクション照会]	コンテナトランザクション情報を表示します。
[コンテナシリアル番号トラッキングの改訂]	W41184B	[コンテナ管理] (G4118)、[コンテナシリアル番号のトラッキング] [コンテナシリアル番号トラッキングの処理] フォームで、コンテナを選択して[選択]をクリックします。	シリアル番号トラッキングを改訂します。

コンテナ抽出の実行

[コンテナ管理] (G4118) メニューの [コンテナ抽出] をクリックします。

通常、日次締め処理時にコンテナ抽出プログラムを実行して、F4211 テーブルからコンテナ トランザクション情報を抽出します。抽出した情報は、F41181 テーブルにコピーされます。

コンテナ抽出プログラムにより、満載コンテナと空コンテナの情報が抽出されます。満載コンテナを空コンテナとしてトラッキングするよう、コンテナ管理の設定を行います。また、品目の入力時にコンテナ タイプを指定し、満載コンテナと空コンテナとの関係も設定します。

コンテナ トランザクション テーブルの更新時には、次の処理が実行されます。

- 満載コンテナと空コンテナに設定した行タイプの品目情報の抽出
- 品目相互参照の検証
- 顧客/品目別の優先情報の取り込みと、請求の詳細の決定（顧客がコンテナの保証金と賃貸料のどちらを支払うか、集計方法とトランザクション方法のどちらで請求を行うか）
- オーダーの計画請求書日付の計算
- 処理オプションまたはオーダー処理順序定義に基づく、コンテナ トランザクションのオーダー状況の更新

コンテナ抽出プログラムは、コンテナ トランザクション情報をコンテナ トランザクション テーブルに保存し、他のシステムとは別個にコンテナの移動状況と請求をトラッキングできるようにします。たとえば、受注管理システムで受注オーダー行が F42119 テーブルに移動されても、コンテナ トランザクション情報はそのままコンテナ トランザクション テーブルに残ります。

コンテナ抽出プログラムがコンテナ トランザクション テーブルの既存レコードを読み込むとき、コンテナ請求プログラムで処理済みかどうかを判断するため、受注明細テーブルのレコードの状況コードがチェックされます。コンテナ抽出プログラムは、コンテナ請求プログラムで処理していないレコードのみを更新します。

コンテナ抽出プログラムで該当する処理オプションを設定すると、コンテナ トランザクション テーブルに追加されたレコードを表示するレポートが作成されます。

データ選択

データ選択を設定して、満載コンテナと空コンテナの両方に対するユーザー定義の行タイプを読み込む必要があります。

オーダー行タイプとオーダー処理順序定義に設定した情報が反映されるように、このプログラムのデータ選択を設定します。満載コンテナと空コンテナの行タイプも指定する必要があります。各行タイプについて、[コンテナ抽出] の [次の状況] を正しく選択する必要があります。たとえば、行タイプ "A" を 620 の [次の状況] で [コンテナ抽出] を実行するよう設定している場合、このプログラムのデータ選択でも同じ設定が必要になります。

賃貸料、保証金、払戻金の処理

コンテナ請求バッチ プログラムを実行し、顧客に納入したコンテナの賃貸料や保証金の受注オーダー行の作成や、顧客が返却したコンテナの払戻に対する返品オーダーの作成を行います。

コンテナ請求プログラムは、コンテナ抽出プログラムで計算された計画請求書日付に基づいて受注オーダー行を作成します。計画請求書日付が今日の日付以前の場合、コンテナ請求プログラムによって受注オーダー行が作成されます。その後、通常の請求フローに従い、顧客売上更新で受注オーダー行を処理します。

顧客優先情報の設定に従って、プログラムはトランザクション請求または集計請求のどちらかを実行します。

トランザクション方法では、顧客に対して記録されたコンテナ トランザクションごとに賃貸料、保証金、または払戻金の明細行が作成されます。顧客が現在の保証金や賃貸料に基づくコンテナ数の上限を超えてコンテナを受け取った場合は、必要になる追加の保証金または賃貸料の受注オーダー明細行が新しく作成されます。顧客がコンテナを返却すると、返品オーダーが作成されます。

集計方法では、指定期間内に発生した事業所、顧客、品目の組み合わせごとに全てのトランザクションが集計されます。この集計を記録した受注オーダー明細行が 1 つ作成されます。請求処理では、トランザクション集計に基づいて請求書またはクレジット メモが発行されます。

トランザクション数量または集計数量がゼロより大きければ、保証金請求として記録されます。保証金を新しく請求するごとに、F4118 テーブルに保証金階層レコードが新規に作成されます。

トランザクション数量または集計数量がゼロより小さければ、保証金払戻として記録されます。払戻金の返品オーダーを発行するたびに、FIFO (先入れ先出し) 会計処理方式に基づいて保証金階層が払戻に充てられます。最初に払戻に充てられるのは、最も古い保証金階層です。払戻金の単価は、現在払戻に充てられている階層の保証金レートと等しくなります。

たとえば、最初の保証金階層の保証金レートが 20 ドル、2 番目の階層の保証金レートが 30 ドルで、最初の保証金階層が完全にゼロになっていない場合、返却コンテナの払戻金レートは 20 ドルになります。最初の保証金階層がゼロになると、払戻金レートは 30 ドルになります。保証金階層の数量が全体の払戻数量に足りない場合、残りの払戻数量の価格は標準価格設定方法により設定されます。

賃貸料の受注オーダー行作成

[コンテナ管理] メニュー (G4118) の [コンテナ賃貸請求] をクリックします。

コンテナ賃貸請求プログラムは、コンテナ トランザクション テーブルから情報を読み込み、請求対象の顧客に対して賃貸料の受注オーダー明細行を作成します。このプログラムは、個々の賃貸料に対応するレコードを F4118 テーブルに作成します。また、F49211 テーブルにもレコードを作成します。

該当する処理オプションを設定すると、コンテナ賃貸請求プログラムは作成、更新したレコードのレポートを印刷します。

保証金と払戻金の受注オーダー行作成

[コンテナ管理] メニュー (G4118) の [コンテナ保証金/払戻金請求] をクリックします。

コンテナ保証金/払戻金請求プログラムは、コンテナトランザクション テーブルから情報を読み込み、請求対象の顧客に対して保証金や払戻金の受注オーダー明細行を作成します。このプログラムは、個々の保証金、払戻金に対応するレコードを F4118 テーブルに作成します。また、F49211 テーブルにもレコードを作成します。

該当する処理オプションを設定すると、コンテナ保証金/払戻金請求プログラムは作成、更新したレコードのレポートを印刷します。

賃貸料、保証金、払戻金の受注オーダー行処理

コンテナ保証金、賃貸料、払戻金の受注オーダー行を作成すると、請求対象の顧客への請求書を印刷して、対象となる全てのレコードを更新できます。保証金、賃貸料、払戻金の受注オーダー行は、受注管理システムで通常の請求書処理フローに従い、顧客売上更新で処理します。

顧客売上更新を行うと、仕訳は総勘定元帳に転記され、次のテーブルがコンテナ トランザクション情報によって更新されます。

- 受注見出し (F4201)
- 受注明細 (F4211)
- 保管場所品目 (F41021)
- 取引明細 (F0911)
- 売掛金明細 (F0311)
- 品目元帳 (F4111)

請求処理により保証金、賃貸料、払戻金を処理すると、コンテナ請求プログラムで受注明細行の作成に使用した方法に応じて、トランザクション方法または集計方法で請求書が作成されます。トランザクション方法による請求書には、顧客に対して記録されたコンテナ トランザクションごとに個別の行が作成されます。集計方法による請求書では、事業所、顧客、品目の組み合わせごとに、指定期間内のトランザクションが全て集計されます。

コンテナ保証金の確認

[コンテナ保証金照会の処理] フォームにアクセスします。

コンテナ保証金照会プログラムを使用して、顧客のコンテナ保証金残高を表示することができます。トランザクションが処理されるたびに、保証金階層と保証金残高を表示できます。

保証金情報にアクセスするには、顧客番号を入力します。見出し域にあるフィールドを使用して、検索条件を絞り込むことができます。顧客の保証金に関する情報はグリッドに表示されます。

[顧客 No.]

住所録レコードを識別するユーザー定義の名前または番号を入力します。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号 (AN8) 以外の値 (詳細住所、税 ID など) を入力する場合は、住所録固定情報で定義した記号を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 "4100" (Total Solutions) の詳細住所番号が "TOTAL" で、住所録固定情報で設定した詳細住所番号を区別する記号が "*" (アスタリスク) の場合、このフィールドに "*TOTAL" と入力して検索すると、住所番号 "4100" が表示されます。

[品目番号]

品目に割り当てられた番号を入力します。略式品目番号、第 2 品目番号、第 3 品目番号を使用できます。

[事業所]	入力した事業所が基本フォーマットでない場合、適切な識別記号を使用します。事業所が入力されていない場合、“*ALL” が使用されます。
[オーダー数量]	このトランザクションの影響を受ける数量を入力します。
[現行数量]	供給会社所有のコンテナで、現在顧客の元にあるコンテナの数量を入力します。
[単位]	品目の計量単位を識別するユーザー定義コード (00/UM) を入力します。個、ケース、箱などがあります。
[保証金]	顧客が保有するコンテナに対して支払う必要のある現行の保証金を入力します。
[現行金額]	このトランザクションで顧客がコンテナに対して支払う必要のある金額を入力します。これは、現行数量に保証金レートを掛けて計算します。
[伝票 No.]	当初のオーダーに関連した 2 次購買オーダー、受注オーダー、作業オーダーを識別する番号を入力します。この番号は参照専用です。

コンテナ トランザクションの確認

[コンテナ トランザクション照会の処理] フォームにアクセスします。

コンテナ トランザクション照会プログラムを使用して、各顧客のコンテナ トランザクションとコンテナ残高を確認できます。未調整のコンテナ トランザクションのみ、または全てのコンテナ トランザクションのどちらかを表示するように選択できます。

トランザクション情報にアクセスするには、顧客番号を入力します。見出し域にあるフィールドを使用して、検索条件を絞り込むことができます。顧客のトランザクションに関する情報はグリッドに表示されます。

シリアル番号情報の確認と改訂

[コンテナ シリアル番号トラッキングの改訂] フォームにアクセスします。

必要に応じて、シリアル番号情報を定期的に確認、改訂することができます。

関連項目:

第 10 章、「コンテナ管理」、「シリアル番号トラッキングの設定」、298 ページ

第 11 章

データの除去

この章では、データ除去の概要と、データの除去方法について説明します。

データ除去について

このセクションでは、事前設定およびデータ除去について説明します。

事前設定

データの除去を行う前に、以下の作業を行う必要があります。

- 除去プログラムの実行前に、影響を受けるテーブルをバックアップします。
- 除去するデータを決定します。

データ除去

データが古くなったり、ディスク スペースが足りなくなった場合は、除去プログラムを使用してテーブルからデータを削除することができます。必要に応じてデータ選択を変更すると、除去プログラムの設定をカスタマイズできます。たとえば、全ての日付を使用する代わりに会計年度範囲を指定して、その日付範囲のレコードのみを削除することが可能です。

データの除去は、次のタスクから構成されます。

- 削除する情報の指定
- 除去プログラムの実行
- ファイル構造を再作成するファイル再編成プログラムの実行

重要: システムおよびデータに対する深刻な損害を防ぐために、データの除去の正しい処理手順と意義を把握しておく必要があります。

データの除去

このセクションでは、除去プログラムの概要、事前設定（前提条件）、および以下の項目について説明します。

- 品目マスターの除去プログラムの実行
- 品目残高の除去プログラムの実行
- 品目残高の除去 (R4102P) の処理オプションの設定

除去プログラムについて

EnterpriseOne の流通システムには、専用の除去プログラムが用意されています。在庫管理システム専用の除去プログラムは、次の処理を行います。

- 品目マスター (F4101) の除去: F4101 からデータを除去
- 品目残高 (F4102) の除去: F4102 からデータを除去

どちらの除去プログラムでも、詳細な情報を指定できます。システムに用意されている除去プログラムには、システムがデータを除去する前に確認する条件が組み込まれています。たとえば、F41021 テーブルのレコードに関連する品目マスターのレコードを除去するとします。この場合、組み込み選択条件により、保管場所品目テーブルのレコードの除去が防止されます。

また、除去レコードを保存する処理オプションもあります。これは不注意により削除したデータを復元する場合に役立ちます。

事前設定

除去プログラムを使用する前に、除去するデータを他のユーザーが使用していないことを確認してください。

品目マスターの除去プログラムの実行

[一括更新および除去] メニュー (G41311) の [品目マスター (F4101) の除去] をクリックします。

品目マスター (F4101) の除去プログラムを使用すると、F4101 テーブルから特定の情報を選択して除去することができます。指定したレコードを品目マスターから除去する前に、そのレコードが他のテーブルと関連付けられていないかどうかを検証されます。次のテーブルの品目情報は除去されません。

- 保管場所品目 (F41021)
- 事業所品目 (F4102)
- 品目原価 (F4105)
- ロット マスター (F4108)
- 部品表マスター (F3002)
- 作業工程マスター (F3003)

品目残高の除去プログラムの実行

[一括更新および除去] メニュー (G41311) の [品目残高 (F4102) の除去] をクリックします。

品目残高 (F4102) の除去プログラムを使用すると、F4102 テーブルから特定のレコードを選択して除去することができます。事業所品目テーブルから指定したレコードを除去する前に、次の条件によりレコードが検証されます。次の条件に該当する場合、レコードは除去されません。

- 作業オーダー マスター (F4801) に作業オーダーが存在する
- 作業オーダー部品リスト (F3111) に部品リストが存在する
- 部品表マスター (F3002) に部品表が存在する
- 保管場所品目 (F41021) に 2 次保管場所が存在する
- 保管場所品目レコードの次のフィールドのいずれかに情報が存在する
 - 手持数量

- ハード コミット
- ソフト コミット
- バックオーダー数量
- オーダー中数量
- アウトバウンド数量 (EDI)
- インバウンド数量 (EDI)

また、基本保管場所と 2 次保管場所の数量フィールドも全てチェックされます。

除去する品目残高レコードが確定すると、次の処理が実行されます。

- 事業所品目テーブルのレコードを検証します。
- 品目と事業所が同じである F41021 テーブルの全てのレコードについて、数量がゼロであるかどうかを検証します。
- 部品表マスター、作業オーダー部品リスト、作業オーダー マスターをチェックします。該当する品目とビジネスユニットの組み合わせがこれらのテーブルで使用されていなければ、処理は続行されます。
- 除去プロセスを開始します。
- 最初に事業所品目レコードを除去します。該当する品目の原価レベルが 2 の場合、品目/事業所に対応する原価レコードを除去します。
- 該当する品目/事業所の計量単位標準換算レコードを除去します。
- 保管場所品目レコードを除去します。該当する品目の原価レベルが 3 の場合、品目/事業所/保管場所/ロットに対応する原価レコードを除去します。

事業所品目情報を全て除去するように処理オプションを設定すると、次の処理が実行されます。

- 事業所品目テーブルをチェックします。
- 除去プロセスを開始します。
- F41021 テーブルを検証し、品目と事業所が同じであるレコードの数量がゼロで、基本の棚番でないことを確認します。これらの条件に該当する場合に、レコードが除去されます。
- この品目の原価レベルが 3 の場合、品目/事業所/保管場所/ロットに対応する原価レコードを除去します。

処理オプションで除去レコードを保存するように設定すると、同じテーブルで同じ日に実行された除去は既存のライブラリおよびテーブルに追加されます。

品目残高の除去 (R4102P) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

除去ライブラリ

除去レコードを専用の除去ライブラリに保存するには、「1」を入力します。デフォルト（blank）の場合、除去レコードは保存されません。（将来使用予定）

除去テーブルの再編成

除去テーブルを再編成するには、「1」を入力します。デフォルト（blank）の場合、テーブルは再編成されません。（将来使用予定）

全事業所品目

除去対象となる事業所品目情報を全て削除するには、「1」を入力します。blankの場合は、数量が全てゼロの品目保管場所レコードのみが除去されます。

第 12 章

システム更新の実行

システム全体に変更を反映させるシステム更新機能が標準で用意されています。一括更新処理では、ほとんどの場合、処理オプションに変更内容を入力してからシステム全体を対象に更新プログラムを実行します。この章では、事前設定と以下の方法について説明します。

- 品目情報の更新
- 保管場所フォーマットの改訂

事前設定

システム更新を実行する前に、更新担当者にのみシステム更新プログラムのアクセス権限が付与されていることを確認してください。

品目情報の更新

このセクションでは、品目更新の概要と以下の項目について説明します。

- 品目マスターと事業所情報の更新
- 品目マスター一括更新 (R41804) の処理オプションの設定
- カテゴリコードと品目番号の更新
- レポートコードの一括更新 (R41803) の処理オプションの設定
- セグメント相互参照の生成
- セグメント相互参照の生成 (R41045) の処理オプションの設定

品目更新について

品目や事業所の情報を変更すると、ほとんどの場合システム全体の一括更新が必要になります。一括更新は、次のいずれかの方法で実行します。

- 品目マスターと事業所情報の更新
- カテゴリコードと品目番号の更新
- セグメント相互参照の生成

品目マスターと事業所情報の更新

[一括更新および除去] メニュー (G41311) の、[品目マスター フィールドの更新] または [事業所品目フィールドの更新] を選択します。

品目マスター一括更新プログラムと品目残高の一括更新プログラムは、F4101 テーブルと F4102 テーブルのフィールド更新に使用します。

これらのプログラムのバージョンは、バージョン リストから選択することができます。処理オプションで、更新するフィールドを指定して選択条件を変更します。また、フィールド値の変更も可能です。

これらのプログラムでは同じ処理オプションを使用します。

品目マスター一括更新 (R41804) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理

テスト モード プログラムをテスト モードで実行するには、「Y」を入力します。品目マスターは更新されません。

デフォルト 1

これらのフィールドに新しい値を入力します。ブランクにすると、フィールド値は現在の値のままになります。置き換え用のフィールドに「*」を入力すると、フィールドがクリアされます。通常のフィールドに値が入力済みで、置き換え用のフィールドに「*」が入力された場合、「*」が優先され、フィールドがクリアされます。

販売カタログの区分
販売カタログ区分の置換え
補助区分
補助区分の置換え
販売カテゴリ コード 3
販売カテゴリ コード 3 の置換え

デフォルト 2

これらのフィールドに新しい値を入力します。ブランクにすると、フィールド値は現在の値のままになります。置き換え用のフィールドに「*」を入力すると、フィールドがクリアされます。通常のフィールドに値が入力済みで、置き換え用のフィールドに「*」が入力された場合、「*」が優先され、フィールドがクリアされます。

販売カテゴリ コード 4
販売カテゴリ コード 4 の置換え
販売カテゴリ コード 5
販売カテゴリ コード 5 の置換え
商品クラス
商品クラスの置換え

デフォルト 3

これらのフィールドに新しい値を入力します。ブランクにすると、フィールド値は現在の値のままになります。置き換え用のフィールドに「*」を入力すると、フィールドがクリアされます。通常のフィールドに値が入力済みで、置き換え用のフィールドに「*」が入力された場合、「*」が優先され、フィールドがクリアされます。

商品補助クラス
商品補助クラスの置換え
仕入先リベート コード
仕入先リベート コードの置換え
基準計画ファミリ
基準計画ファミリの置換え

デフォルト 4

これらのフィールドに新しい値を入力します。ブランクにすると、フィールド値は現在の値のままになります。置き換え用のフィールドに「*」を入力すると、フィールドがクリアされます。通常のフィールドに値が入力済みで、置き換え用のフィールドに「*」が入力された場合、「*」が優先され、フィールドがクリアされます。

購買カテゴリ コード 5
購買カテゴリ コード 5 の置換え
購買担当者番号
購買担当者番号の置換え
標準リードタイム
標準リードタイムの置換え

デフォルト 5

これらのフィールドに新しい値を入力します。ブランクにすると、フィールド値は現在の値のままになります。置き換え用のフィールドに「*」を入力すると、フィールドがクリアされます。通常のフィールドに値が入力済みで、置き換え用のフィールドに「*」が入力された場合、「*」が優先され、フィールドがクリアされます。

計画担当者番号
計画担当者番号の置換え
発注方針コード
発注方針コードの置換え
出庫タイプ コード
出庫タイプ コードの置換え

カテゴリ コードと品目番号の更新

[一括更新および除去] メニュー (G41311) の [カテゴリ コードの一括更新] を選択します。

重要: この更新を行うと、変更した値が処理や履歴に影響する場合がありますので注意してください。

レポート コードの一括更新プログラム (R41803) を使用して、以下の更新を実行できます。

- F4101 テーブルのカテゴリ コードを F4102 テーブルに反映させる
- F4101 テーブルの第 2 品目番号 (製品番号) と第 3 品目番号 (カタログ番号) を次のテーブルに反映させる
 - F4102
 - F3002
 - F3003
 - F4108
 - F4105

データ選択を使用して、更新実行の対象を指定します。

- 1 つの倉庫のみ
- 倉庫の組み合わせ
- 1 つの倉庫を除く全ての倉庫

[品目/事業所情報] フォームで変更を確認します。

レポート コードの一括更新 (R41803) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

処理 1

これらの情報を事業所品目レコードにコピーするには、「1」を入力します。

1. 販売レポート コード 1 の更新
2. 販売レポート コード 2 の更新
3. 販売レポート コード 3 の更新
4. 販売レポート コード 4 の更新
5. 販売レポート コード 5 の更新
6. 在庫価格設定規則の更新

処理 2

これらの情報を事業所品目レコードにコピーするには、「1」を入力します。

7. 価格再設定規則の更新
8. オーダー価格再設定規則の更新
9. 購買レポート コード 1 の更新
10. 購買レポート コード 2 の更新
11. 購買レポート コード 3 の更新
12. MPS 計画ファミリの更新

処理 3

これらの情報を事業所品目レコードにコピーするには、「1」を入力します。

13. 購買レポート コード 5 の更新
14. 購買担当者番号の更新
15. 出荷条件コードの更新
16. 商品出荷クラスの更新
17. 循環棚卸カテゴリの更新
18. 元帳クラス コードの更新

処理 4

これらの情報を事業所品目レコードにコピーするには、「1」を入力します。

19. バックオーダー許可の更新
20. 印刷メッセージの更新
21. 在庫タイプの更新
22. ABC コード 1 の更新
23. ABC コード 2 の更新
24. ABC コード 3 の更新

処理 5

これらの情報を事業所品目
レコードにコピーするには、
「1」を入力します。

25. ABC 一時変更インジケータの更新
26. 第 2 および第 3 品目番号の更新

セグメント相互参照の生成

[一括更新および除去] メニュー (G41311) の [セグメント相互参照の生成] を選択します。

セグメント相互参照の生成プログラム (R41045) を使用して、セグメント品目の相互参照レコードを作成できます。セグメント品目をセグメント代替品目に関連付ける場合に、このプログラムを実行します。セグメントとして設定した品目の属性や特性はどれも相互参照して置き換えることができます。

注: セグメント相互参照は一度に 1 品目にのみ生成できます。生成する相互参照レコード数をさらに限定するには、データ選択を使用します。

相互参照の対象となる相互参照タイプとセグメント番号は、処理オプションで設定する必要があります。相互参照レコードは、データ選択で相互参照品目に使用したセグメント値に基づいて生成されます。

この方法は、非セグメント品目の相互参照には使用しないでください。代わりに、品目相互参照プログラム (P4104) で非セグメント品目の相互参照レコードを入力する必要があります。

セグメント相互参照の生成 (R41045) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

デフォルト

相互参照 相互参照タイプを指定します。ブランクにすると、“S” が使用されます。

処理

セグメント番号 相互参照の対象となるセグメント番号を指定します。
値は 1 ～ 10 です。

保管場所フォーマットの改訂

このセクションでは、保管場所フォーマットの改訂の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 更新するテーブルの指定
- モデル事業所の新規保管場所フォーマットの定義

- 保管場所フォーマットの更新
- 保管場所フィールドの更新 (R41821) の処理オプションの設定

保管場所フォーマットの改訂について

ビジネス ニーズの変化に伴い、倉庫保管場所の再構築が必要になることがあります。倉庫保管場所の構造の再定義には、データ エLEMENT の追加や削除、保管場所セグメントのサイズの増減、1 つまたは複数のセグメントの位置揃え（左揃えまたは右揃え）などが含まれます。倉庫保管場所は最大 10 個の保管場所セグメントから成り、最大で合計 20 文字まで使用できます。

事業所固定情報で設定した保管場所フォーマットは変更可能です。保管場所フィールドの更新プログラムを使用すると、個々のテーブルで保管場所を個別に更新する代わりに、複数のテーブルを一括で更新できます。保管場所フィールドを更新するプログラムには、対話型プログラム (P41822) と、対話型プログラムから実行するバッチ プログラム (R41821) があります。

これらのプログラムを使用して、標準で用意されているテーブルを更新することができます。更新手順で定義された条件を満たしていれば、社内でカスタマイズして使用しているテーブルも更新できます。

重要: [保管場所] フィールドは、ほとんどのテーブルのキー フィールドです。バッチ プログラムを最終モードで実行する場合は、他のユーザーがシステムを使用できないようにすることが必要不可欠です。

更新するテーブル数によっては、バッチ プログラムの処理に非常に時間がかかる場合があります。したがって、このプログラムの実行はテーブル数に応じて計画してください。

保管場所フォーマットの改訂のプロセス

他の事業所の保管場所フォーマットを変更する前に、新規保管場所フォーマットでモデル事業所を設定する必要があります。通常の設定手順で、モデル事業所として使用するビジネスユニットを新しく作成することもできます。

事業所固定情報でモデル事業所の保管場所フォーマットを更新した後、既存のフォーマットを新規フォーマットにマッピングします。

事前設定

保管場所フォーマットの改訂を行う前に、以下の作業を行う必要があります。

- テーブルを全てバックアップします。
- 保管場所のサイズとフォーマットを再定義する必要がある場合には、[事業所保管場所の定義] フォームで事業所固定情報のモデル事業所の保管場所フォーマットを更新します。
- バッチ処理が完了するまで、他のユーザーがシステムを使用できないようにします。
- 対話型フォームの処理オプションを設定して、バッチ プログラムの実行モード（テスト モードまたは最終モード）を指定します。

デフォルトのバージョンでは、バッチ プログラムはテスト モードで実行されます。

保管場所フォーマットの改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保管場所フィールド再定義の改訂]	W41822B	[一括更新および除去] (G41311)、[保管場所フィールドの更新] [保管場所の再定義処理] フォームでモデルとして使用する事業所を選択し、[選択]をクリックします。	モデル事業所の保管場所フォーマットを定義します。

更新するテーブルの指定

最初に、保管場所の再定義プログラムの実行時に更新するアプリケーション テーブルを指定します。標準で用意されているアプリケーション テーブルで、[保管場所] フィールドを含むものは、ユーザー定義コード リスト (41/LU) にリストされています。保管場所の再定義プログラムは、41/LU を参照して、処理対象となるアプリケーション テーブルを決定します。

ユーザー定義コード (41/LU) のフィールド仕様

通常、更新するのは [保管場所] フィールドのみです。ただし、41/LU に適切な仕様が含まれている場合には、保管場所に関連する他のフィールドも更新できます。41/LU のフィールドとその仕様は次のとおりです。

更新するフィールド	説明
コード	保管場所情報を含むテーブルの ID (品目原価テーブルを示す F4105 など) です。
記述 01	テーブル名 (品目原価など) です。

更新するフィールド	説明
記述 02	<p>次の規則に従って入力された更新フィールドのデータ辞書 ID (DTAI) です。</p> <ul style="list-style-type: none"> DTAI には 4 文字を使用する。 [特殊取扱] フィールドの [位置 2] に定義された追加フィールドを含むフィールドの DTAI を最初に入力する。 DTAI が 4 文字未満の場合、末尾にスペースを挿入して 4 文字にする。 入力できる DTAI は最大 7 つ (合計 28 文字) まで。 <p>[記述 02] フィールドの仕様例と表示例には、次の情報が含まれることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールド名が LOCN、STGR、STGP: LOCNSTGRSTGP のフィールド フィールド名が LOC、STGR: LOCSTGR のフィールド
特殊取扱	<p>保管場所フィールドの更新バッチプログラムのテーブルとフィールドのレイアウトは次のように定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [位置 1]: テーブルを更新する場合は「1」を入力する。 テーブルを更新しない場合は「0」を入力する。 [位置 2]: このテーブルに 10 個のフィールド (通路、棚番、保管場所コード 03 ~ 10) を全て含めるには「1」を入力する。 テーブルのフィールドが 10 個未満 (通常、通路と棚番のみ、またはまったくなし) の場合には「0」を入力する。 <p>10 個のフィールドを使用しない場合は、[位置 2] に「0」を入力すると、バッチプログラムの処理時間を短縮できます。</p>

カスタム テーブルを更新するための必要条件

次の条件を満たす場合には、ユーザー定義コード リスト (41/LU) にカスタム テーブルを追加し、保管場所の再定義プログラムを使用してそのテーブルを更新することができます。

- テーブルの主キーには、更新するフィールドを 1 つだけ含むことができる。
- オブジェクト管理ワークベンチからアクセスする EnterpriseOne ツールで、最初にテーブルを作成している。

これにより、保管場所再定義バッチ プログラムで必要とされる仕様が保存されます。

- テーブルに MCU フィールドが含まれ、そのフィールド名が MCU である。
- 更新するフィールド名が 4 文字を超えていない。
フィールド名の文字数が 4 文字未満の場合もあります。

モデル事業所の新規保管場所フォーマットの定義

[保管場所フィールド再定義の改訂] フォームにアクセスします。以下の画面が表示されます。

保管場所フィールドの更新 - 保管場所フィールド再定義の改訂

キャンセル(L) フォーム(E) ツール(T)

事業所

9

保管場所モデルストリング ABCDEFGHIJKLMNOPQRST

次のフィールドに文字を入力します

通路

棚番

保管場所コード 03

保管場所コード 04

保管場所コード 05

保管場所コード 06

保管場所コード 07

保管場所コード 08

保管場所コード 09

保管場所コード 10

新サイズ

1 L

1 L

1 L

[保管場所フィールド再定義の改訂] フォーム

- [通路]

倉庫内の保管場所を特定するコードを入力します。このコードを棚番やロット ID と共に使用して、倉庫や在庫置き場内の特定の有形保管区域を指定します。
- [棚番]

倉庫や店内の特定の保管場所を入力します。保管場所の通路と棚番により、幅、奥行、高さが明示可能な保管領域が特定されます。
- [新サイズ]

左隣にある保管場所コードのフィールドに入力できる文字数が、事業所固定情報の定義に従って表示されます。

位置を表すアルファベット (A ~ T) と区切り文字を新しい保管場所フィールドに入力してください。保管場所の再定義バッチ プログラムは、まず既存情報の一番左の文字をユーザーが指示した位置まで移動します。続いて同様の処理が最大 20 文字まで、1 文字ずつ順番に行われます。

たとえば、[通路] フィールドに "FG" (アルファベットの 6 番目と 7 番目の文字) を入力すると、バッチ プログラムは一番左の文字を 6 番目の位置に、次の文字を 7 番目の位置に移動します。
- [保管場所コード]

必要な数だけの保管場所フィールドに値を入力します。

コードは、システムによって次のいずれかの目的で使用されます。

- 保管場所 ID の一部として、事業所内の特定の保管場所を識別する。

- 保管場所情報の一般レポートコードとして使用する。

以下に例を示します。

- 既存のフォーマットで最初と 2 番目の位置にあるデータは、“F” と “G” の指定に従って、それぞれ 6 番目と 7 番目の位置に移動します。
- 既存のフォーマットで 3、4、5 番目にあるデータは、“C”、“D”、“E” の指定に従って、同じ位置 (3、4、5 番目) に移動します。
- 既存のフォーマットで 6 番目と 7 番目の位置にあるデータは、“A” と “B” の指定に従って、最初と 2 番目の位置に移動します。

たとえば、既存のフォーマットが “AABBBCC” というデータを含んでいる場合、プログラムはこのデータフォーマットを “CCBBBAA” に変更します。

保管場所フォーマットの更新

[保管場所フィールド再定義の改訂] フォームにアクセスします。

更新するテーブルを指定してモデル事業所用のフォーマットを定義した後、[フォーム] メニューから [投入] を選択して、保管場所フィールドの更新バッチ プログラム (R41821) を実行します。

このバッチ プログラムは、モデル事業所に従って、指定したテーブルの [保管場所] フィールド フォーマットを変更します。

保管場所フィールドの更新プログラムに使用するバージョンの指定に従って、テスト モードまたは最終モードでプログラムを実行します。エラーなしで終了するまで、何度でも必要なだけ、テスト モードでプログラムを実行してください。

重要: 保管場所フィールドの更新バッチ プログラムを最終モードで実行するときには、処理が完了するまで他のユーザーがシステムを使用できないようにしてください。

テスト モードと最終モードのどちらの場合でも、正常終了またはエラー検出を通知するメッセージが従業員ワーク センターに送信されます。100 個を超えるエラーが検出されると、プログラムは自動的に終了します。

- テスト モードでの実行時にエラーを修正するには、モデル事業所用に定義した情報とユーザー定義コード リスト (41/LU) の情報をチェックし、必要に応じて修正した後、テスト モードで再実行します。
- 最終モードでエラーが発生した場合のエラー修正手順は、エラーが発生したテーブルによって異なります。

通常は、次の手順に従います。

- 実行時に選択した全てのテーブルの復元
- 問題の修正
- 選択したテーブルに対するプログラムの再実行

保管場所フィールドの更新プログラムの処理オプションで、保管場所セグメントの既存の値を新規の値に置き換えるかどうかを指定します。通常のレポート目的に使用する場合は、保管場所セグメントを消さない方が安全です。

保管場所フィールドの更新 (R41821) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バッチ再フォーマット

保管場所

選択したテーブルの [保管場所] フィールドを更新するには、「1」を入力します。ブランクにすると、プログラムはテスト モードで実行されます。

保管場所コード

1. “1” を入力すると、保管場所コードの値がクリアされます。保管場所コードを通常のレポート目的で使用するため、値をクリアしたくない場合は、この処理オプションをブランクにします。

通路
棚番
コード 3
コード 4
コード 5
コード 6
コード 7
コード 8
コード 9
コード 10

第 13 章

外部システムとのインタオペラビリティ

このセクションでは、在庫インタオペラビリティの概要と以下の方法について説明します。

- フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換
- 外部システムからのトランザクションの受信
- 受信トランザクションの検討と改訂
- 外部システムへのトランザクションの送信
- インタオペラビリティトランザクション レコードの除去

在庫インタオペラビリティについて

企業の情報の要件を満たすために、さまざまな会社のソフトウェア製品とハードウェア製品を組み合わせで使用場合があります。たとえば、ほとんどの在庫業務には在庫管理システムを使用し、在庫の実地棚卸には携帯スキャナを使用している会社もあります。

製品間のインタオペラビリティは、企業ソリューションの導入に不可欠です。異なるシステムの完全な相互運用によって各種の製品が連動し、ユーザーは 1 つのシステムとしてそれらを使用することができます。EnterpriseOne のインタオペラビリティ機能には、外部システムとのトランザクションの交換を容易にするインターフェイスが用意されています。

受信トランザクションの在庫インタオペラビリティは、以下のプロセスで構成されています。

1. 外部システムは、外部プログラムまたはフラット ファイルとフラット ファイル変換（受信）プログラムを使用して、インターフェイス テーブルにデータを送信します。送信元では、データのフォーマットや他の要件をインターフェイス テーブルに一致させる必要があります。
2. トランザクション処理（バッチ プログラム）を実行してデータを検証し、有効なデータをシステムのアプリケーション テーブルに合わせて更新します。無効なデータがある場合は、ワーク センターにアクション メッセージが送信されます。
3. 照会アプリケーションを使用して、無効なデータを対話型で検討、改訂した後に、トランザクション処理を再実行します。全てのエラーが修正されるまで、必要なだけこの手順を繰り返します。

送信トランザクションの在庫インタオペラビリティでは、処理オプションでトランザクション タイプを指定する必要があります。トランザクション タイプに対応するマスター ビジネス関数を使用することにより、トランザクションのコピーが作成され、外部システムがアクセスできるインターフェイス テーブルに保存されます。

在庫管理システムのインタオペラビリティ インターフェイス テーブルと関連アプリケーション テーブルは以下のとおりです。

インターフェイス テーブル	関連アプリケーション テーブル
インターフェイス テーブル F4101Z1/F4101Z1A	アプリケーション テーブル <ul style="list-style-type: none"> • F4101 • F4102 • F41011 • F41022 • F4117 • F41171 • F46010 • F4908
インターフェイス テーブル F4141Z1	F4141
インターフェイス テーブル F4105Z1	F4105

フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換

フラット ファイルを使用して外部システムからインタオペラビリティ インターフェイス テーブルにデータを送信すると、フラット ファイルがインターフェイス テーブルに変換されます。処理オプションの設定により、変換が正常終了した時点でトランザクション処理を開始できます。

このセクションでは、フラット ファイル変換の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- フラット ファイル相互参照の設定
- 変換プログラムの実行
- フラット ファイル変換 (受信) (R47002C) の処理オプションの設定

フラット ファイル変換について

フラット ファイルの変換には、フラット ファイルのフィールドとインターフェイス テーブルのフィールドの相互参照情報が必要です。このシステムと外部システム間でデータを交換する以下の状況に対応するために、フラット ファイル相互参照情報を使用します。

- 外部システムからインターフェイス テーブルへの書き込みをこのシステムの指定フォーマットで行う受信トランザクションが不可能。この場合、外部システムからのデータの書き込みは、トランザクション タイプとレコード タイプ別に、特定のフラット ファイルを使用して行われます。
- このシステムからインターフェイス テーブルへの書き込みを外部システムの指定フォーマットで行う送信トランザクションが不可能。この場合、このシステムからのデータの書き込みは、トランザクション タイプとレコード タイプ別に、特定のフラット ファイルを使用して行われます。

事前設定

フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換を行う前に、以下を実行しておく必要があります。

- フラット ファイルがカンマ区切り形式の ASCII テキスト ファイルであることの確認

- データが指定フォーマットであることの確認
- コンピュータまたはネットワーク上の適切なドライブでの、フラット ファイル用のフォルダ設定

フラット ファイルからインターフェイス テーブルへの変換に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[フラットファイル相互参照の処理]	W47002A	<p>[予測インタオペラビリティ] (G36301)、[フラット・ファイル相互参照]</p> <p>[受注インタオペラビリティ] (G42A313)、[フラット・ファイル相互参照]</p> <p>[在庫インタオペラビリティ] (G41313)、[フラット・ファイル相互参照]</p> <p>[製品データインタオペラビリティ] (G30311)、[フラット・ファイル相互参照]</p> <p>[購買インタオペラビリティ] (G43A313)、[フラット・ファイル相互参照]</p>	フラットファイル相互参照を選択するか、新規に追加します。
[フラット・ファイル相互参照]	W47002B	[フラットファイル相互参照の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	相互参照情報を入力します。

フラット ファイル相互参照の設定

[フラット・ファイル相互参照] フォームにアクセスします。

変換プログラムの実行

フラット ファイル変換 (受信) (R47002C) プログラムにアクセスします。

フラット ファイル変換 (受信) プログラム (R47002C) を使用して、フラット ファイルをインターフェイス テーブルにインポートします。インターフェイス テーブルごとに、フラット ファイル変換 (受信) プログラムの個別のバージョンを作成できます。この変換プログラムでは、読み込み元のフラット ファイルと、そのフラット ファイルのレコード タイプ (00/RD) の両方が認識されます。各フラット ファイルに含まれるレコードの長さは、対応するインターフェイス テーブルのレコードによって異なります。また、フラット ファイル変換 (受信) プログラムでは、F47002 テーブルを使用してフラット ファイルをインターフェイス テーブルに変換します。F47002 テーブルにより、受信するトランザクションのタイプに基づいて、どのフラット ファイルから読み込みを行うかがこの変換プログラムに示されます。

変換プログラムはフラット ファイルの各レコードを読み込み、フラット ファイルで指定されたテキスト修飾子とフィールド区切り文字に基づいて、読み込んだレコード データをインターフェイス テーブルの各フィールドにマッピングします。

このプログラムは、フィールド データを 1 つの完全なレコードとしてインターフェイス テーブルに挿入します。データ変換中にエラーが発生すると、エラーになったデータを保留にして変換処理を継続します。データが正常に変換された場合、インターフェイス テーブルのトランザクション処理が自動的に開始されます。ただし、変換プログラムの処理オプションを事前にそのように設定しておく必要があります。

関連項目:

第 13 章、「外部システムとのインタオペラビリティ」、「外部システムからのトランザクションの受信」、324 ページ

フラット ファイル変換 (受信) (R47002C) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

レポートの場合は、処理オプションによって表示される情報を指定することができます。たとえば、レポートに会計年度や支払期限からの経過日数が含まれるように処理オプションを設定します。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

トランザクション

トランザクション 処理するトランザクションを入力します。

区切文字

フィールド区切文字 フィールド区切文字を入力します。

テキスト修飾子 テキスト修飾子を入力します。

処理

受信バッチ処理 変換が正常終了した後に実行する受信バッチ処理を入力します。

バージョン 受信バッチ処理のバージョンを入力します。ブランクにした場合は、XJDE0001 が使用されます。

外部システムからのトランザクションの受信

このセクションでは、受信トランザクションの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品目マスター受信トランザクションの受信
- 品目マスター未編集トランザクション受信バッチ処理 (R4101Z1I) の処理オプションの設定
- 受信トランザクションからの循環棚卸の受信
- 循環棚卸受信未編集トランザクション (R4141Z1I) の処理オプションの設定
- 受信トランザクションからの品目原価の受信
- インタオペラビリティによる原価の更新
- 受信トランザクションからの製品処理データの受信

受信トランザクションについて

外部システムからトランザクションを受信すると、このデータは EnterpriseOne システムのインターフェイス テーブルに保存されます。これらのテーブルには、未編集のトランザクションが含まれます。適切なトランザクション処理を実行してトランザクションを編集し、アプリケーション テーブルを更新する必要があります。たとえば、F4101Z1 インターフェイス テーブルにトランザクションを受信する場合、品目マスター未編集トランザクション受信バッチ処理を実行して、F4101 テーブルを更新します。

外部システムからのデータをインターフェイス テーブルに受信するには、インターフェイス テーブルのフィールドの必須条件に、そのデータが対応している必要があります。

変換プロセスでは、以下の処理が行われます。

- インターフェイス テーブル (F4101Z1 など) のデータを検証して、このデータが正しく、在庫管理システムのフォーマットに対応していることを確認します。
- 検証したデータで関連アプリケーション テーブル (F4101 テーブルなど) を更新します。
- 無効なトランザクションのレポートを作成し、それぞれの無効トランザクションについてワーク センターヘアクション メッセージを送信します。
- アプリケーション テーブルが正しく更新されたトランザクションについて、インターフェイス テーブルのフラグを更新します。

レポートでエラーが発生した場合、[ワークフロー管理] メニュー (G02) で [従業員ワーク・センター] をクリックすると、メッセージ センターのメッセージを検討することができます。その後、関連する照会機能を使ってそのトランザクションを検討および改訂し、トランザクション処理を再実行できます。

注: フラット ファイル変換 (受信) プログラムが正常に終了すると、処理オプションの設定に従って、トランザクション処理が自動的に開始されます。

状況に応じたタスクのみ実行してください。

関連項目:

[第 13 章、「外部システムとのインタオペラビリティ」、「外部システムからのトランザクションの受信」、324 ページ](#)

事前設定

品目原価を受信する前に、以下を実行しておく必要があります。

- インターフェイス テーブル F4105Z1 に含まれる受信データが正しいことの確認
- 全ての必須フィールドに値が入力されていることの確認

品目マスター受信トランザクションの受信

[在庫インタオペラビリティ] メニュー (G41313) で [品目マスター受信トランザクション処理] をクリックします。

たとえば、旧システムから在庫管理システムへの移行時などに、品目マスターの受信トランザクションを受信する場合があります。

テーブル

品目マスター受信トランザクションのインタオペラビリティ インターフェイス テーブルとその関連アプリケーション テーブルは以下のとおりです。

- インターフェイス テーブル:F4101Z1、F4101Z1A。F4101Z1 のレコードは見出しレコードで、F4101Z1A の明細レコードと関連付けられている必要があります。
- アプリケーション テーブル
 - F4101
 - F4102
 - F41011
 - F41022
 - F4117
 - F41171
 - F46010
 - F4908

必須フィールド

インターフェイス テーブル (F4101Z1) でインタオペラビリティのデータが必要なフィールドは、トランザクションのタイプ (追加、変更、または削除) によって異なります。次の表は、データが必要なフィールドをトランザクション タイプごとに示したものです。

トランザクション	必須フィールド
追加	<p>以下のフィールドには、品目マスターレベルでの追加トランザクションのデータが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 固有番号である“略式品目 No.”、“第 2 品目 No.”、または“第 3 品目 No.” (ITM、LITM、または AITM)。事業所品目レベルの追加では、全てが必須です。 • “在庫タイプ” (STKT) • “元帳クラス” (GLPT) • “記述” (DSC1) <p>事業所品目レベルの追加では、ITM、LITM、AITM だけでなく、MCU も必須です。</p>
変更 (品目マスターレベルと事業所品目レベルで使用可)	<p>変更トランザクションの場合、インターフェイス テーブル F4101Z1 のレコードでは、データが同じであっても、アプリケーション テーブル内でデータが入力されている全てのフィールドが必須フィールドになります。</p>
削除 (品目マスターと事業所品目レベルで使用可)	<p>削除トランザクションの必須フィールドは、以下のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 品目マスターの削除トランザクションでは、“略式品目 No.” フィールドにデータが必要です。 • 事業所品目テーブルの削除トランザクションでは、“略式品目 No.” と“事業所” フィールドの両方にデータが必要です。

品目マスター未編集トランザクション受信バッチ処理 (R4101Z11) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バージョン

品目マスター 品目マスター (P4101) のバージョンを入力します。ブランクにした場合、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

受信トランザクションからの循環棚卸データの受信

[在庫インタオペラビリティ] メニュー (G41313) で [循環棚卸受信トランザクション処理] をクリックします。

循環棚卸インターフェイス テーブルに受信トランザクションを受信する場合があります。たとえば、旧システムの開始残高データや棚卸に使用した携帯スキャナのデータを在庫管理システムにコピーする場合などです。

トランザクション処理の完了後、[在庫棚卸(その他)] メニュー (G4121) で [循環棚卸の更新] をクリックし、手持在庫残高の更新、仕訳入力の準備、およびこのプログラムに関連する他の機能を実行する必要があります。

テーブル

循環棚卸受信トランザクションのインタオペラビリティ インターフェイス テーブルとその関連アプリケーション テーブルは、以下のとおりです。

- インターフェイス テーブル:F4141Z1
- アプリケーション テーブル:F4141

必須フィールド

F4141Z1 インターフェイス テーブルでは、インタオペラビリティの機能を使用するために、以下のフィールドにデータが必要です。

- 略式品目 No. (ITM)
- 事業所 (MCU)
- 保管場所 (LOCN) – 使用する場合
- ロット/シリアル No. (LOTN) – 使用する場合
- 保管ユニット No. (STUN) – 使用する場合
- 元帳クラス (GLPT)
- 初期手持数量合計 (TQOH)
- 初期手持金額合計 (TAOH)
- 基本棚卸数量合計 (TQCT)

- 基本棚卸合計金額 (TACT)
- 単位原価 (UNCS)
- 2 次計量単位オードー数量 (SQOR)
- 2 次手持数量 (SQOH)

循環棚卸受信未編集トランザクション (R4141Z1I) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

处理

循環棚卸 新規循環棚卸の追加時に使用する循環棚卸の記述を入力します。

受信トランザクションからの品目原価の受信

「在庫インタオペラビリティ」メニュー (G41313) で「品目原価受信トランザクション処理」をクリックします。

この処理では、品目原価未編集トランザクション（受信）プログラム（R4105Z1I）によって、F4105Z1 テーブル内の複数のレコードの F4105 テーブルへの直接追加、変更、または削除が行われます。さらに、売上/在庫および購買の原価計算の選択方法も、処理中に追加または変更される場合があります。

たとえば、旧システムから在庫管理システムへの移行時などに、F4105 テーブルの受信トランザクションを受信場合があります。

テーブル

品目原価受信トランザクションのインタオペラビリティ インターフェイス テーブルと関連アプリケーション
テーブルは、以下のとおりです。

- ・ インターフェイス テーブル:F4105Z1
- ・ アプリケーション テーブル:F4105

必須フィールド

F4105Z1 インターフェイス テーブルでは、インタオペラビリティの機能を使用するために、以下のフィールドにデータが必要です。

- EDI ユーザー ID (EDUS)
- EDI バッチ No. (EDBT)
- EDI トランザクション No. (EDTN)
- EDI 行 No. (EDLN)
- 略式品目 No. (ITM)、第 2 品目 No. (LITM)、または第 3 品目 No. (AITM)
- 事業所 (MCU) - レベル 2 または 3 の場合
- 保管場所 (LOCN) - 使用する場合/レベル 3 を使用する場合
- ロット No. (LOTN) - 使用する場合/レベル 3 を使用する場合
- 原価計算方法 (LEDG)

- 単位原価 (UNCS)
- 受信処理 (DRIN) の 1 の送受信インジケータ
- アクション コード (TNAC) – “記述 02” フィールドの先頭文字は A、C、または D (追加、変更、削除のみ選択可能)
- 原価計算選択 – 購買 (CSPO)、原価計算選択 – 在庫 (CSIN)、またはその両方 (以下の場合)
 - CSPO、CSIN で新規レコードを追加
 - CSPO、CSIN で既存レコードを変更

インタオペラビリティによる原価の更新

[在庫インタオペラビリティ] メニュー (G41313) で [品目原価照会 (受信)] をクリックします。

品目原価の改訂 (P4105Z1) プログラムでインタオペラビリティの原価レコードを更新できます。改訂の処理は、UDC “取引 (トランザクション) 処理” (00/TA) の設定に応じて実行されます。

インタオペラビリティで原価を更新する際は、既存レコードの値に注意してください。F4105Z1 テーブルの値が、F4105 テーブルの原価レコードの値に照らして検証されます。購買原価計算、在庫原価計算、またはその両方として指定した原価計算方法を使用するために、[購買原価計算選択] フィールドの値が “P” に、[在庫原価計算選択] フィールドの値が “I” になっていることを確認してください。

注: 購買と在庫のどちらの場合でも、原価計算方法の選択を反映するレコードを削除することはできません。つまり、既存レコードに購買原価計算方法、在庫原価計算方法、またはその両方を指定している場合、そのレコードは削除できません。代わりに、そのレコードの単位原価がゼロに変更されます。

製品処理データ受信トランザクションの受信

[在庫インタオペラビリティ] メニュー (G41313) で [受信製品処理の編集/更新] をクリックします。

たとえば、旧システムから在庫管理システムへの移行時などに、品目元帳の受信トランザクションを受信する場合があります。

受信トランザクションの検討と改訂

このセクションでは、受信トランザクションの検討の概要と以下の方法について説明します。

- 品目マスター受信トランザクションの検討と改訂
- 循環棚卸受信トランザクションの検討と改訂
- 品目原価受信トランザクションの検討と改訂

受信トランザクションの検討について

品目マスター受信トランザクション処理などのトランザクション処理を実行すると、無効なデータを含む受信トランザクションが見つかる場合があります。たとえば、在庫品目に無効なカテゴリ コードが割り当てられている場合などです。この場合、品目マスターにその品目を追加することはできません。代わりに、ワーク センターにエラー メッセージが送信されます。エラー メッセージにはエラーが発生したトランザクションの番号が示されます。

EnterpriseOne システムには、全ての受信トランザクションを検討し、エラーを含むトランザクションを追加、変更、または削除するためのメニューが用意されています。エラーを含むトランザクションを全て修正したら、トランザクション処理を再実行します。プログラムを実行してもエラーが発生しなくなるまで修正作業を繰り返します。

受信トランザクションの検討と改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[F4101Z1の改訂]	W4101Z1B	[在庫インタオペラビリティ] (G41313)、[品目マスター照会 (受信)] [F4101Z1 品目マスターの改訂] フォームで、トランザクションを選択して[選択]をクリックします。	受信品目マスター情報を表示します。
[F4141Z1の改訂]	W4141Z1B	[在庫インタオペラビリティ] (G41313)、[循環棚卸照会 (受信)] [循環棚卸の処理] フォームで、トランザクションを選択して[選択]をクリックします。	品目の棚卸情報を表示します。
[F4105Z1品目原価の改訂]	W4105Z1B	[在庫インタオペラビリティ] (G41313)、[品目原価照会 (受信)] [F4105Z1品目原価の処理] フォームで、トランザクションを選択して[選択]をクリックします。	品目原価情報を表示します。

品目マスター受信トランザクションの検討および改訂

[F4101Z1の改訂] フォームにアクセスします。

必要に応じて、[ロー] メニューから [明細の改訂] を選択して追加明細情報を検討または改訂します。

品目マスター受信トランザクション処理で検出されたエラーを修正し、トランザクション処理を再実行します。その他のエラーが検出された場合も、エラーを修正してトランザクション処理を再実行します。

改訂の処理は、UDC “取引 (トランザクション) 処理” (00/TA) の設定に応じて実行されます。

[ユーザーID]

トランザクションのソースを入力します。ユーザー ID、ワークステーション ID、外部システムのアドレス、ネットワークのノードなどを入力できます。このフィールドは、トランザクションとそのソースの両方の識別に役立ちます。

[バッチNo.]

バッチに自動的に割り当てられる番号を入力します。バッチ処理中に、検出された各制御 (ユーザー) バッチ番号のシステム トランザクションに新規のバッチ番号が割り当てられます。

[トランザクションNo.]

電子データ交換 (EDI) 処理でトランザクションに割り当てられる番号を入力します。EDI を使用しない場合は、ユーザーはバッチ内のトランザクションを識別するために、任意の番号を指定することができます。EnterpriseOne システムの伝票番号と同じにすることもできます。

循環棚卸受信トランザクションの検討と改訂

[F4141Z1の改訂] フォームにアクセスします。

循環棚卸受信トランザクション処理で検出されたエラーを修正し、トランザクション処理を再実行します。その他のエラーが検出された場合も、エラーを修正してトランザクション処理を再実行します。

品目原価受信トランザクションの検討と改訂

[F4105Z1品目原価の改訂] フォームにアクセスします。

品目原価受信トランザクション処理で検出されたエラーを検証し、修正した後、トランザクション処理を再実行します。その他のエラーが検出された場合も、エラーを修正してトランザクション処理を再実行します。

改訂の処理は、UDC “取引（トランザクション）処理” (00/TA) の設定に応じて実行されます。

注: 表示される品目が予想と異なる場合、[送受信インジケータ] フィールドの入力値が誤っている可能性があります。[送受信インジケータ] フィールドの値が “1” 以外の場合、品目は表示されません。

関連項目:

第 13 章、「外部システムとのインタオペラビリティ」、「受信トランザクションからの品目原価の受信」、328 ページ

外部システムへのトランザクションの送信

このセクションでは、送信トランザクションの概要と前提条件について説明します。

送信トランザクションについて

在庫管理システムで作成または変更したトランザクションを、別のシステムに送信する必要がある場合があります。たとえば、携帯スキャナを使用する組織では、インタオペラビリティトランザクションを使用してスキャナで使用したデータベースを更新できます。

デフォルトの送信トランザクションは、データトランザクションを作成または変更した後（変更後トランザクション）のコピーです。また、インタオペラビリティにより、各トランザクションを変更する前（変更前トランザクション）のコピーをそのまま送信することもできます。変更前トランザクションを作成および送信する場合は、処理時間が長くなります。送信するコピーのタイプを制御するには、トランザクションを作成するアプリケーション プログラムの処理オプションで設定を行います。

在庫管理システムに含まれる以下のプログラムから、外部システムにトランザクションを送信できます。

- 在庫出庫
- 在庫移動
- 在庫調整
- 循環棚卸の更新
- 品目原価

送信トランザクションを作成するには、関連する処理オプションで該当するトランザクション タイプを指定する必要があります。トランザクションのコピーは、そのトランザクション タイプのインターフェイス テーブルに保存されます。たとえば、循環棚卸の更新プログラムの実行時に処理オプション “インタオペラビリティ” を有効にすると、更新済み循環棚卸データのコピーが F4141Z1 インターフェイス テーブルに保存されます。これにより、外部システムからデータが利用できるようになります。

前提条件

送信トランザクションを送信する前に、トランザクション タイプに合わせてデータ エクスポート制御を定義します。データ エクスポート制御を使用して、トランザクション処理用にサードパーティから提供されるバッチ プログラムやビジネス処理が決定されます。

インタオペラビリティトランザクション レコードの除去

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- インタオペラビリティトランザクション レコードの除去
- 循環棚卸のトランザクション レコード除去 (R4141Z1P) の処理オプションの設定

インタオペラビリティトランザクション レコードの除去

[在庫インタオペラビリティ] メニュー (G41313) で、[循環棚卸(受信)の除去] または [品目原価受信トランザクション除去] をクリックします。

データが古くなったり、ディスク スペースが不足している場合に、除去プログラムを使用してインターフェイス テーブルからデータを削除できます。

[在庫インタオペラビリティ] メニューには、受信トランザクションを除去するオプションがあります。以下の除去プログラムのいずれかを使用して、対応するインターフェイス テーブルからデータを除去します。

- 循環棚卸のトランザクション レコード除去 (R4141Z1P)
- 品目原価レコードの除去 (R4105Z1P)

循環棚卸トランザクションを除去する際に、エラーのあるレコードのみを印刷するように処理オプションを設定できます。処理オプションが設定されていない場合は、削除される全レコードが印刷されます。

循環棚卸のトランザクション レコード除去 (R4141Z1P) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

表示

印刷

エラーのみを印刷するには、「1」を入力します。

付録 A

在庫管理で使用するテーブル

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この付録では、在庫管理で使用する主なテーブルについて説明します。

在庫管理テーブル

このセクションでは、在庫管理で使用する主なテーブルの一覧を示します。

在庫管理テーブル

以下の表は、主な在庫管理テーブルを示しています。

テーブル	説明
F4100	各倉庫保管場所の区域や詳細レベルなどの基本情報が含まれます。
F41001	日次トランザクションに関する以下の情報が含まれます。 保管場所番号の定義 倉庫制御データ デフォルトの計量単位 組込規則(システム処理に使用する伝票タイプと状況コードを決定)
F4101	各品目に関する以下の基本情報が含まれます。 品目番号 記述 検索キー カテゴリコード デフォルトの計量単位 倉庫管理システムのプロセスグループ 品目寸法グループ

テーブル	説明
F4102	各品目のプロセスグループと寸法グループ、倉庫内での品目ユニットに共通するパラメータなど、デフォルトの品目情報が含まれます。
F41021	保管場所別の品目数量や元帳クラス、ロット状況が含まれます。
F4111	全ての在庫移動の履歴が含まれます。

在庫管理では、以下のテーブルも使用します。

テーブル	説明
F41002	倉庫品目固有の計量単位換算式と、そのデフォルト計量単位構造に関する情報が含まれます。
F41003	全ての倉庫品目に共通する計量単位換算式が含まれます。
F41023	保管場所品目の定義が含まれます。
F4104	品目検索プログラム (P41200) で使用する品目記述が含まれます。
F4105	在庫の原価レコードが含まれます。
F4106	在庫の価格レコードが含まれます。
F4108	ロット処理で使用する情報が含まれます。
F41112	品目元帳テーブル (F4111) から集計された情報が含まれます。この情報は品目元帳 (繰越残高) プログラム (P41112) で作成、更新されます。
F4115	品目マスターの履歴が含まれます。
F4140、F4141	循環棚卸方法を使用した実地棚卸の情報が含まれます。
F4160	タグ棚卸方法を使用した実地棚卸の情報が含まれます。
F41829	品目用語の作成プログラムによって F4101、F4102、F4100、F4108、F4101D、および F4104 テーブルから抽出された情報が含まれます。
F34004	システムによる要求作成時に使用されるオーダータイプ (受注、調達など) とオーダー状況が含まれます。

テーブル	説明
F00090、F00090D、F00091	補足データベース設定プログラム (P00091) で使用する情報が含まれます。
F00092	品目別または品目/事業所別の補足データプログラム (P00092) で使用する情報が含まれます。
F41006	在庫回転率レポート (R41116) の作成に必要な情報が含まれます。
F4009	品目の計量単位換算が個別の品目に対して適用されるか、または倉庫内の各品目に対して適用されるかを指定する情報が含まれます。
F40095	サブシステムで処理するトランザクションのデフォルトの倉庫コード(事業所コード)とデフォルトのプリンタ出力待ち行列が含まれます。
F4016、F4017	受注オーダーや購買オーダーなどの伝票に印刷する事前定義されたメッセージが含まれます。
F4095	ロジスティクスシステムや製造管理システムで使用する AAI が含まれます。
F40039	在庫管理、受注管理、調達管理、カスタマ サービス管理のシステムで使用する伝票タイプ情報が含まれます。
F41013	製品番号に関する情報が含まれます。
F41081	ロット状況に関する情報が含まれます。
F41113	ロット元帳に関する情報が含まれます。
F4170	ロット状況のアクティビティールールに関する情報が含まれます。

ローカライゼーション テーブル

このセクションでは、中南米のローカライゼーションで使用する主なテーブルの一覧を示します。

(CHL) (PER) Localization Tables

Chilean and Peruvian localization tables include:

Table	Description
F76A391	Localized Table of Indexes
F76A392	Monetary Correction Calculation Header

Table	Description
F76A393	Monetary Correction Calculation Detail
F76A394	Calculated Adjustment Detail
F76H6002	Selection of Overheads from the Cost Analyzer
F76H6003	Selection of Overheads from Rates
F76H6004	Item Cost Components localized
F30026	Item Cost Components standard
F76H6008	Manufactured items (localized file)
F3002	Bill of materials (standard file)
F76H6105	Item Actual Costs (localized file)
F30026	Item Cost Components (standard file)
F4105	Cost General Ledger (standard file).
F76H6005	Account/cost type relationship localized file
F76H6006	WO Types localized file
F76H6111	Localized Cardex. No records are generated. Only the unit and actual cost are updated according to the actual cost obtained by the process (localized file)
F76P393Z	Replacement Cost

(BRA) Localization Tables

Brazilian localization tables include:

Table	Description
F76411	Item Master Information – Brazil
F76412	Item Branch Information – Brazil
F76B400A	IN86 – Work Table for Storage Control
F76B400B	IN86 – Work Table for Inventory Records
F76B400G	IN86 – Work Table for Item Number and Service

Table	Description
F76B410E	IN86 – Work Table for Merchandise NF Issued by Supplier Header
F76B411C	IN86 – Work Table for Services Outbound Nota Fiscal Detail

付録 B

EnterpriseOne 在庫管理レポート

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この付録では、在庫レポートの概要について説明し、以下の情報を提供します。

- 在庫管理の全レポートの一覧表
- 在庫管理レポートの詳細

在庫レポート

在庫レポートを作成して、在庫情報を検討および分析することができます。

在庫状況レポートは、保管場所別、期間別などの在庫状況の検討に使用します。在庫分析レポートは、在庫の収益性、回転率、需要などの検討に使用します。在庫整合性レポートは、品目情報と会計情報間の相違の検討に使用します。

在庫管理の全レポート

次の表は、在庫レポートをレポート ID 順に示しています。

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R4051 需要/供給	品目の需要、供給、引当可能数量の情報を表示します。	[在庫レポート](G41111)、[需要/供給レポート]
R410400 品目プロファイル	品目に関連する補足データを印刷します。	[品目補足データ/顧客情報ファイル](G4124)、[品目プロファイルレポート]
R410410 データタイプ別プロファイル情報	データタイプに関連する品目補足データを印刷します。	[品目補足データ/顧客情報ファイル](G4124)、[データ・タイプ別品目レポート]
R41116 在庫回転率	指定したビジネスユニット、品目、および日付範囲の組み合わせでレポートを印刷します。	[在庫レポート](G41111)、[在庫回転率レポート]

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R41182 顧客/流通業者残高	指定した期間における顧客または流通業者の保証金とコンテナのトランザクションのレポートを印刷します。	[コンテナ管理] (G4118)、[顧客/流通業者残高]
R41185 コンテナ調整	満載コンテナの行タイプを持つ各品目のトランザクションを分析します。	[コンテナ管理] (G4118)、[コンテナ調整]
R41403 差異明細の印刷	循環棚卸の結果と在庫レコードの相違を解消するため、差異を印刷します。	[在庫棚卸(その他)] (G4121)、[循環棚卸差異明細の印刷]
R41505 ロットのトレース/トラッキング印刷	トレース/トラッキング情報のレポートを印刷します。	[ロット管理] (G4113)、[トレース/トラッキングの印刷]
R41510 価格表	在庫の現行価格を一覧表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[価格表レポート]
R4152 購買担当者ガイド	製品と品目のパフォーマンス情報を一覧表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[購買担当者ガイドレポート]
R41530 在庫状況	特定の事業所や倉庫における在庫品目の保管場所と状況を一覧表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[在庫状況レポート]
R41543 品目元帳と勘定科目の整合性	F4111 テーブルと F0911 テーブルの相違を表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[品目元帳/勘定科目整合性レポート]
R41544 品目残高/元帳の整合性	F41021 テーブルと F4111 テーブルの数量および金額の相違を表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[品目残高/元帳整合性レポート]
R41550 在庫仕訳	在庫に対するトランザクションを検討します。	[在庫レポート] (G41111)、[在庫仕訳レポート]
R41560 品目マスター ディレクトリ	品目マスターを一覧表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[品目マスター ディレクトリレポート]
R41580 単位原価警告	トランザクション原価が処理オプションで指定した現行平均原価と異なる品目を一覧表示します。	[在庫レポート] (G41111)、[原価レポート]
R41590 評価分析	手持在庫の合計値を検討します。	[在庫レポート] (G41111)、[在庫評価レポート]
R4164 ABC 分析	少数の品目が会社取引の大部分を占めるという原則に基づくレポートです。	[在庫レポート] (G41111)、[ABC レポート]

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R41700 在庫原価/価格比較	最新情報に基づいて粗利益を識別します。	[在庫レポート] (G41111)、[粗利益レポート]
R41900 販売可能フラグの更新	このレポートを実行して、F4101 と F4102 に販売可能フラグを書き込みます。	[略式コマンド] に「bv」と入力して [バッチ・バージョンの処理 - 使用可能なバージョン] にアクセスします。[バッチ・アプリケーション] フィールドに「R41900」と入力します。
R74R41003 (RUS) Generating the Item Transfer Note Report	Use this program when you transfer inventory between two business units within the same company.	Select Inventory (G74R41), Print Item Transfer Note.
R74R6000 (RUS) Stock Balance Report	Use this program to confirm stock balances and transactions for a specified period.	Select Inventory (G74R41), Print Stock Balance Report.

在庫管理レポートの詳細

一部のレポートについて、処理オプションの情報などをより詳細に説明します。この付録では、レポート ID 順に説明します。

需要/供給レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [需要/供給レポート] をクリックします。

需要/供給レポートは、品目の需要、供給、引当可能数量の情報を表示します。このレポートには、以下の情報が一覧表示されます。

- 手持数量
- 安全在庫
- 受注オーダー
- 購買オーダー
- 予測
- 作業オーダー

以下の基準を使用して、需要/供給情報のレポートを印刷できます。

- 事業所
- 品目番号
- 日付

需要/供給レポート (R4051) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 使用可能数量からの安全在庫の減算 | <p>ブランク = 安全在庫は差し引かれません。</p> <p>1 = 安全在庫が差し引かれます。</p> |
| 2. 入荷工程中数量の手持ち数量への組込み | <p>ブランク = 手持ち数量に含めません。</p> <p>1 = 手持ち数量に含めます。</p> |
| 積送中数量 | 積送中数量を入力します。 |
| 検査中数量 | 検査中数量を入力します。 |
| ユーザー定義数量 1、ユーザー定義数量 2 | 数量の値を入力します。 |
| 3. 需要/供給組込規則 | 組込規則の UDC (40/RV) を指定します。 |
| 4. 満了ロット数量の減算 | <p>ブランク = 満了ロットは差し引かれません。</p> <p>1 = 満了ロットが差し引かれます。</p> |
| 5. エンジニアリング プロジェクト管理 (EPM) の使用 | <p>ブランク = EPM を使用しません。</p> <p>1 = EPM の機能を使用します。</p> |
| 6. 期日を経過した供給の使用可能数量への組込み | <p>ブランク = 期日を経過した供給数量を含めません。</p> <p>1 = 期日を経過した供給数量を含めます。</p> |
| 7. レート スケジュールのタイプ (将来使用) | ブランク = レート スケジュール品目を含めません。 |
| 8. MPS/MRP/DRP 計画オーダー | <p>ブランク = 計画オーダーを含めません。</p> <p>1 = 計画オーダーを含めます。</p> |
| 9. 予測タイプ (最大 5 種類まで) | 予測タイプを入力します。 |
| 10. 予測に含める本日からの日数 | ブランク = 本日を含めます。 |
| 11. バルク品目の除外 | <p>ブランク = バルク品目を除外しません。</p> <p>1 = バルク品目を除外します。</p> |
| 12. ロット保留コード (5 つまで) | <p>ブランク = 手持在庫の計算に保留コードを含めません。</p> <p>* = 手持在庫の計算に全ての保留ロットを含めます。</p> |

表示

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 表示計量単位 | ブランク = 基本計量単位 |
|-----------|---------------|

- | | |
|----------------------|--|
| 2. 数量の標準濃度への変換 | ブランク = 標準濃度に換算しません。
1 = 標準濃度に換算します。 |
| 3. 有効終了日付 | 有効終了日付を入力します。 |
| 4. ATP (約束可能数量) 行の表示 | ブランク = 表示しません。
1 = ATP 行を表示します。
2 = CATP (累計約束可能数量) 行を表示します。 |
| 5. 入荷工程ステップへの集計 | ブランク = 集計しません。
1 = 集計します。 |
| 6. 品目残高数量レコードの集計 | ブランク = 集計しません。
1 = 集計します。 |

品目プロファイル レポート

[品目補足データ/顧客情報ファイル] (G4124) メニューで [品目プロファイルレポート] をクリックします。

品目プロファイル レポートを実行して、品目に関連する補足データを印刷します。レポートには、以下の順序で補足データが一覧表示されます。

- 事業所
- 略式品目番号
- データ タイプ
- ユーザー定義コード
- 有効日付

品目プロファイル レポート (R410400) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

- | | |
|------------|--|
| テキスト印刷 | レポートにテキスト情報を印刷しない場合は「1」を入力します。ブランク (デフォルト) の場合はテキスト情報が印刷されます。 |
| データベース コード | データが保管されたレベルの補足データベース コードを入力します。品目レベルの場合は「I」、事業所品目レベルの場合は「IB」です。 |

データ タイプ別プロファイル情報レポート

[品目補足データ/顧客情報ファイル] (G4124) メニューで [データ・タイプ別品目レポート] をクリックします。

データタイプ別品目レポートを実行して、データタイプに関連する品目補足データを印刷します。データタイプ別プロファイル情報レポートの 2 つのバージョンを印刷することができます。この 2 つのレポートでは、ソート順序とレポートフォーマットはそれぞれ異なります。各バージョンのソート順序は以下のとおりです。

- XJDE0001 バージョン

事業所、データタイプ、ユーザー定義コード、略式品目番号、有効日付の順でソートされます。

- XJDE0002 バージョン

事業所、データタイプ、略式品目番号、ユーザー定義コード、有効日付の順でソートされます。

フォーマットが異なるため、[追加] をクリックせずに、印刷するバージョンをコピーしてください。

データタイプ別プロファイル情報レポート (R410410) の処理オプションの設定

データタイプ別プロファイル情報レポートに、以下の処理オプションを設定します。

処理

テキスト印刷

レポートにテキスト情報を印刷しない場合は「1」を入力します。ブランク（デフォルト）の場合はテキスト情報が印刷されます。

補足データベースコード

補足データが保管されたレベルの補足データベースコードを入力します。品目レベルの場合は「I」、事業所品目レベルの場合は「IB」です。

在庫回転率レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [在庫回転率レポート] をクリックします。

指定したビジネスユニット、品目、および日付範囲の組み合わせでレポートを印刷できます。

在庫回転率レポートでは以下の処理が実行されます。

- F4111 テーブルからレコードを取得します。
- 既存のワークファイルを消去して再作成し、レコードにアクセスしてレポートを作成します。

期首、期末、および平均在庫額は以下のように計算されます。

- 期首在庫は、データ選択で指定した第 1 日目より前の全トランザクションの合計金額です。
- 期末在庫は、処理オプションで指定した期間における品目元帳トランザクションの合計を期首在庫額に加算または減算した金額です。
- 平均在庫は、レポートの処理オプションで指定したトランザクション ファミリー伝票タイプと一致する全ての品目元帳レコードの合計金額です。

データ順序

以下のデータ順序を使用してください。

- トランザクション日付
- 事業所
- 略式品目番号

在庫回転率レポート (R41116) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

選択

組み込むトランザクション	トランザクション ファミリ 1
ファミリ伝票タイプの入力 (UDC テーブル 41/TT に基づく)	トランザクション ファミリ 2
	トランザクション ファミリ 3
	トランザクション ファミリ 4
	トランザクション ファミリ 5
	トランザクション ファミリ 6

日付

期首在庫と期末在庫の計算に使用する日付範囲の入力	開始日付
	終了日付

顧客/流通業者残高レポート

[コンテナ管理] (G4118) メニューで [顧客/流通業者残高] をクリックします。

顧客/流通業者残高プログラムでは、コンテナ保証金テーブルとコンテナトランザクション テーブルから情報を読み込み、特定の期間における顧客と流通業者の保証金およびコンテナトランザクションのレポートを印刷します。レポートには、顧客と流通業者の保証金残高、階層別保証金額および払戻金額が表示されます。顧客/流通業者残高レポートは、顧客または流通業者に送る取引の計算書として使用することができます。

このプログラムは、テスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。最終モードで実行すると、コンテナ保証金テーブルとコンテナトランザクション テーブルが更新されます。

顧客に対する優先情報の設定に従って、トランザクション レベルまたは集計レベルのどちらかで請求計算書が印刷されます。トランザクション レベルの請求計算書には、記録されたコンテナトランザクションに対する保証金または払戻金の受注オーダー行が表示されます。集計レベルの請求計算書では、事業所、顧客、および品目の組み合わせ別に、指定した期間における全てのトランザクションが集計されます。

コンテナ調整レポート

[コンテナ管理] (G4118) メニューで [コンテナ調整] をクリックします。

コンテナ調整プログラムでは、満載コンテナの行タイプを持つ各品目のトランザクションを分析し、各満載コンテナに対して相互参照された空コンテナを検索して、事業所別のコンテナ最終残高を計算します。このレポートには以下の情報が表示されます。

- 各コンテナの納品数量と返品数量

- 各コンテナの事業所別手持数量
- 各コンテナに対する自社保有の合計数量
- 自社保有のコンテナ総計

処理オプションの設定により、自社のみの合計を印刷することもできます。

コンテナ調整プログラムはテスト モードと更新モードのどちらでも実行できます。更新（最終）モードで実行すると、コンテナ調整テーブルに品目別と事業所別でレコードが作成されます。また、コンテナトランザクション テーブルの調整フラグ フィールドが “1” に変更されます。コンテナ調整プログラムの次回実行時には、これらのトランザクションは読み込まれません。

データ選択

行タイプには、満載コンテナの行タイプのみを使用してください。

差異明細の印刷レポート

[在庫棚卸（その他）] (G4121) メニューで [循環棚卸差異明細の印刷] をクリックします。

または、[循環棚卸明細の処理] フォームの [フォーム] メニューから [差異の印刷] を選択します。

循環棚卸結果と在庫レコードの差異を解消するため、差異をレポートに印刷することができます。

データ選択を使用して、指定した循環棚卸に対する差異レポートを印刷します。

循環棚卸差異明細の印刷レポート (R41403) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

差異タイプ

1. 数量差異を選択するには「1」（デフォルト）、金額差異を選択するには「2」を入力します。

比較演算子

2. 差異選択に使用する比較演算子を入力します。（デフォルトは、“>”（より大きい）です）

数量/金額

3. 選択する差異と比較するための数量または金額を入力します。

差異比較

4. パーセント差異を比較するには「1」、数量差異を比較するには「2」（デフォルト）を入力します。

ロットのトレース/トラッキング印刷レポート

[ロット管理] (G4113) メニューで [トレース/トラッキングの印刷] をクリックします。

ロットをトレース/トラッキングするレベルなど、トレース/トラッキング情報を表示するレポートを印刷することができます。レポートの処理オプションで、トレースとトラッキング情報のどちらを表示するかを指定します。

ロットのトレース/トラッキング印刷レポート (R41505) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

表示

トラッキング/トレース の入力

ロットの使用のトレース/トラッキングに使用する方法を指定します。ロットのトレースでは、出荷時点からさかのぼって製造時点まで、現行の品目を構成する全ての品目がトレースされます。品目のトラッキングでは、製造時点から出荷時点まで、この品目を構成品として使用する全ての組立品をトラッキングします。有効値は以下のとおりです。

ブランク = トレース

1 = トラッキング

表示レベルの入力

トレース/トラッキング結果が表示されるレベルを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク = 全てのトランザクションを表示 (IB、IX、IZ タイプを除く)

1 = 新規デリバティブ ロットを作成した可能性のあるトランザクションのみを表示

伝票タイプ

伝票タイプの入力

ブランク = IM作業オーダー出庫

ブランク = IC作業オーダー完了

ブランク = IS作業オーダー仕損

ブランク = OV入荷確認

ブランク = RI請求済み受注

ブランク = ST転送オーダー (受注)

ブランク = OT転送オーダー (購買)

ブランク = IR在庫再分類

デフォルト

照会する PO 伝票タイプ の入力

購買オーダー伝票タイプを指定します。

ブランク = OP(デフォルト)

開始/終了 PO 最終状況 の入力

購買オーダー照会のオーダー状況の範囲を指定します。ブランクの場合は、全てのオーダー状況が対象になります。

開始/終了 PO 入荷日付 の入力

購買オーダー照会の日付の範囲を指定します。ブランクの場合は、全ての日付が対象になります。

照会する作業オーダーの伝票タイプの入力	照会する作業オーダー伝票タイプを指定します。ブランク（デフォルト値）の場合は“WO”です。
開始/終了作業オーダー状況の入力	作業オーダー照会のオーダー状況の範囲を指定します。ブランクの場合は、全てのオーダー状況が対象になります。
開始/終了作業オーダーの要求日付の入力	作業オーダー照会の日付の範囲を指定します。ブランクの場合は、全ての日付が対象になります。
照会する SO 伝票タイプの入力	受注オーダー伝票タイプを指定します。 ブランク = SO(デフォルト)
開始/終了 SO 最終状況の入力	受注オーダー照会のオーダー状況の範囲を指定します。ブランクの場合は、全てのオーダー状況が対象になります。
以前の取引日数の入力	前の取引の日数を入力します。ブランクの場合は、360 日です。

バージョン

バージョンの指定	以下のプログラムのバージョンを指定します。ブランク（デフォルト）は、ZJDE0001 です。 <ul style="list-style-type: none"> • ロット マスターの改訂 (P4108) • 入荷処理中オーダー (P43214) • WO 入力 (P48013) • SO 入力 (P4210) • 倉庫貯蔵要求 (P4600) • 倉庫ピッキング要求 (P4600)
-----------------	---

価格表レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [価格表レポート] をクリックします。

価格表レポートには、在庫の現行価格が一覧表示されます。

この情報は、以下のテーブルから取得されます。

- F4106
- F4207
- F4208

価格表レポート (R41510) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

表示値

価格グループ

品目の在庫価格グループを指定するユーザー定義コード (40/PI) です。

在庫価格グループには独特の価格設定構造があり、この構造により受注オーダーや購買オーダーの品目に割引または割増が組み込まれます。この割引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。

品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。受注オーダーや購買オーダーの割引と割増は、対話形式で計算されます。

購買担当者ガイド レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [購買担当者ガイド レポート] をクリックします。

購買担当者ガイド レポートには、製品と品目のパフォーマンス情報が一覧表示されます。

購買担当者ガイド レポート (R4152) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

表示

発注点

1. 全ての品目を印刷するには「1」、発注点以下にある品目のみを印刷するには「2」を入力します。

品目注記

2. 品目注記を印刷するには、「1」を入力します。

在庫状況レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [在庫状況レポート] をクリックします。

在庫状況レポートには、特定の事業所や倉庫における、以下の在庫品目の保管場所と状況が一覧表示されます。

- 保管場所別保留在庫
- 保管場所別引当数量
- 保管場所別原価情報
- ロットの残存耐用年数のパーセント
- ロット満了日付までの日数

在庫状況レポート (R41530) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

計量単位オプション

計量単位	レポートに表示する計量単位 (BX、DZ、CS、CA など) を入力します。選択した計量単位が品目に定義されていない場合は、基本計量単位が使用されます。ブランクの場合も、基本計量単位が使用されます。
-------------	---

ロット オプション

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 期限までの余日パーセントの表示 | 期限までの余日パーセントを表示するかどうかを指定します。 |
| 2. 期限までの余日規定値パーセント | 表示するロットの決定に使用する規定値です。パーセンテージがこのフィールドの値以下の場合、ロットが表示されます。 |
| 3. 残日数の表示 | 残日数を表示するかどうかを指定します。 |
| 4. 規定値までの日数 | 残日数がこのフィールドの値以下の場合、ロットが表示されます。 |
| 5. 計算日付 | ロット満了までの残日数の計算に使用する日付を指定します。 |

品目元帳/勘定科目整合性レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [品目元帳/勘定科目整合性レポート] をクリックします。

品目元帳/勘定科目整合性レポート (R41543) には、F4111 テーブルと F0911 テーブルの以下のような相違が表示されます。

- 品目元帳明細が存在するが、対応する総勘定元帳明細がない。
- 品目元帳と対応する総勘定元帳明細が残高不一致である。

このレポートには、以下の項目別の合計を表す集計行が表示されます。

- 伝票タイプ
- 伝票番号
- キー会社

また、このレポートには発生した相違の解決方法も表示されます。レポートがブランクの場合は相違がないことを示します。テーブルは更新されないため、このレポートは必要に応じて繰り返し実行できます。

作業オーダー集計仕訳を使用する場合、資材出庫 (IM)、完了 (IC)、仕損品 (IS) などのトランザクションは、実際の作業オーダーではないため、無視されます。

調達と受注など、総勘定元帳の特定バッチ処理では、レポート作成のための基本プログラム ロジックに例外処理が必要です。これらのバッチ処理には、レポートに適さない仕訳が複数含まれます。在庫の仕訳のみが選択されるようにするには、在庫整合性レポートの UDC テーブル (41/IN) で例外規則を設定します。例外規則は、組織で使用している伝票タイプの "記述 1" フィールドに入力してください。次の表で、例外規則のタイプについて説明します。

規則	説明
規則 0:製造の資材出庫用	<p>F0911 テーブルでは凍結標準原価が使用され、F4111 テーブルではユーザーが選択した在庫原価計算方法が使用される場合に、例外規則 0 が必要になります。方法が一致しない場合は、このコードを設定してください。</p> <p>整合性チェックを受ける伝票については、この規則により、品目元帳テーブルにレコードがある場合に、それらが必ず取引明細テーブルにも含まれるようにすることができます。</p>
規則 1:販売請求書用	<p>受注取引が発生して損益、税、運賃、および会社間決済などの仕訳が取引明細テーブルに書き込まれる場合に、例外規則 1 が必要になります。</p> <p>F4095 テーブルから AAI 4240 がチェックされ、組み込む主科目が決定されます。品目元帳テーブルの仕訳と取引明細テーブルでこれらの主科目を持つ仕訳のみが比較されます。</p>
規則 2:購買伝票用	<p>購買取引が発生して価格差異による損益、税、および運賃などの仕訳が取引明細テーブルに書き込まれる場合に、例外規則 2 が必要になります。</p> <p>流通/製造 AAI 値テーブルから AAI 項目 4330、4340、4350 がチェックされ、組み込む主科目が決定されます。品目元帳テーブルの仕訳と取引明細テーブルでこれらの主科目を持つ仕訳のみが比較されます。</p>

注: UDC (41/IN) の例外規則が正しく設定されていれば、エラーのあるトランザクションのみが印刷されます。

データ順序

以下のデータ順序を使用してください。

- 伝票タイプ
- 伝票
- 伝票会社

品目元帳/勘定科目整合性レポート (R41543) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

レポート表示

処理オプションは EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに、処理オプションを変更することができます。

元帳日付 - 開始/終了	元帳日付の開始日付と終了日付を入力します。ブランクにした場合、現在のシステム日付が使用されます。
作業オーダー完了の伝票タイプ	作業オーダー完了伝票タイプを指定します。ブランクの場合は、“IC” になります。
作業オーダー出庫の伝票タイプ	作業オーダー出庫伝票タイプを指定します。ブランクの場合は、“IM” になります。

品目残高/元帳整合性レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [品目残高/元帳整合性レポート] をクリックします。

品目の残高/元帳の整合性レポートは、F41112 テーブルを併用して、F41021 テーブルと F4111 テーブルの数量および金額の相違を表示します。

このレポートには、以下の項目別の合計を表す集計行が表示されます。

- 事業所
- 品目番号
- 保管場所
- ロット番号

全てのレコードを印刷するよう処理オプションで設定していない限り、差異がなければブランクのレポートが出力されます。

品目残高/元帳の整合性 (R41544) レポートの処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

印刷フラグ	1. 全ての品目をレポートに印刷するには、「Y」を入力します。差異のある品目のみを印刷するには、「N」を入力します。ブランクにした場合は、デフォルトで “N” になります。
許容パーセント	2. 金額差異パーセントを入力し、この値より金額差異が大きい品目のみが印刷されるようにします。ブランクにした場合は、全ての金額差異が印刷されます。(数量差異のある品目は、常に印刷されます。)
原価方式	3. 各品目の単位原価の計算に使用する原価計算方式を入力します。ブランクにした場合、各品目の原価計算方式は F4105 テーブルから取得されます。

在庫仕訳レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [在庫仕訳レポート] をクリックします。

在庫仕訳レポートで、在庫に対するトランザクションを確認できます。レポートの情報は、特定期間のトランザクション発生元別に整理されます。このレポートには、特定の事業所、工場および倉庫の品目に関する全ての基本情報が一覧表示されます。このレポートを使って、総勘定元帳と対照して棚卸資産を検証することもできます。

在庫仕訳レポートは、F4111 テーブルからレコードを取得します。

在庫仕訳レポート (R41550) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

印刷オプション

- | | |
|---------|--|
| 1. 開始日付 | オーダーをシステムに入力する日付を指定します。この日付によって、在庫価格設定に使用される有効レベルが決まります。 |
| 2. 終了日付 | バッチの日付を指定します。空白にした場合、システム日付が使用されます。 |

品目マスター ディレクトリ レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [品目マスター ディレクトリ レポート] をクリックします。

品目マスター ディレクトリ レポートは、品目マスター レコードを一覧表示します。

品目マスター ディレクトリ レポート (R41560) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 品目注記 | 1. レポートに品目注記を表示するには「1」を入力します。 |
| 印刷メッセージ | 2. レポートに印刷メッセージを表示するには「1」を入力します。 |

単位原価レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [原価レポート] をクリックします。

単位原価警告レポートには、トランザクション原価が処理オプションで指定した現行の平均原価と異なる品目が一覧表示されます。単位原価警告レポートは、F4111 テーブルと F4105 テーブルからレコードを取得します。品目の平均原価と著しく原価が異なるトランザクションを把握するために、少なくとも月に 1 回はこのレポートを印刷してください。

単位原価警告レポート (R41580) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

差異

差異パーセント 差異パーセントを入力します。たとえば、「5」と入力すると、品目のトランザクション原価と現行平均原価の差が 5 パーセントより大きいトランザクションが全て選択されます。

評価分析レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [在庫評価レポート] をクリックします。

在庫評価分析レポートを使用して、手持在庫の合計額を検討します。この合計額は、以下の原価に基づきます。

- 加重平均単位原価
- 最終仕入単位原価
- 品目の各保管区域に関連付けられたロット原価

この原価と、棚卸資産勘定または総勘定元帳の棚卸資産勘定を比較することができます。元帳クラスコードを使ってこのレポートのバージョンを作成し、元帳の勘定科目に直接対応する合計を計算することができます。

データ順序

以下のデータ順序を使用してください。

- 倉庫
- 販売レポート コード 1
- 販売レポート コード 2

評価分析レポート (R41590) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

原価計算方式

- | | |
|-----------------|--|
| 第 1 原価番号 | 1. 第 1 原価番号に対して印刷する原価計算方式を入力します (デフォルトは加重平均 - 02)。 |
| 第 2 原価番号 | 2. 第 2 原価番号に対して印刷する原価計算方式を入力します (デフォルトは最終仕入 - 01)。 |
| 第 3 原価番号 | 3. 第 3 原価番号に対して印刷する計算方式を入力します (デフォルトは階層 - 06)。 |

ABC 分析レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [ABC レポート] をクリックします。

ABC 分析は、一般的に、少数の品目が取引の大部分を占めるという原則に基づきます。それより少し多い品目は、取引量は少ないが重要な取引とされます。残りの多数品目は、1 つにまとめてもわずかな取引量とされます。

品目の販売合計、粗利益、または手持評価額に基づいて、ABC 分析レポートを作成することができます。ABC 分析レポートでは、在庫品目を A、B、C の文字でランク付けします。A は、販売合計、粗利益、または手持評価額が最高の品目を表します。また、各カテゴリで異なるパーセントに基づいてランク付けすることもできます。たとえば、品目 A を販売パーセント、品目 C を合計粗利益によってランク付けすることができます。ABC 分析レポートの情報は、在庫の原価と収益を左右する品目の特定に役立ちます。

ABC 分析は、在庫の循環棚卸の基準としても使用できます。この場合、A 品目は C 品目よりも頻繁に棚卸が行われます。

処理オプションを設定して、最終モードまたはテスト モードでこのレポートを実行します。最初に ABC 分析レポートを実行するときには、テスト モードで実行してください。テスト モードでは、品目マスター レコードと事業所レコードの ABC ランク付けを更新せずに、情報を検討することができます。

事前設定

ABC 分析レポートを検討する前に、以下の設定を行う必要があります。

- 事業所固定情報で ABC コードのパーセント区切りを設定します。
- ABC 分析レポートの販売バージョンまたは粗利益バージョンを実行する場合、F4115 テーブルが更新されるように売上更新プログラム (R42800) の処理オプションが設定されていることを確認します。
- ABC 計算に予測レコードを組み込む場合は、まず流通所要量計画 (DRP) を実行する必要があります。
- ABC 分析ランク付けから除外する在庫品目を決定します。このレポートの実行時に品目を除外するには、[品目/事業所情報] フォームの [追加情報] タブで [ABC コード] の設定を行う必要があります。

需要/供給レポートを検討する前に、以下の設定を行う必要があります。

- 需要/供給のソースが全て正しく識別されていること、全てのソースが需要/供給組込規則に指定されていることを確認します。
- 需要/供給を決定する計算式を検討します。
- 約束可能数量の計算式を検討します。

品目元帳/勘定科目整合性レポート検討する前に、UDC (41/IN) に例外規則が設定されていることを確認します。

顧客/流通業者残高レポートを印刷する前に、満載コンテナと空コンテナ用に、品目とコンテナコードが正しく設定されていることを確認します。

ABC 分析レポート (R4164) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

表示

ランク

品目を販売金額でランク付けして表示するには、「1」を入力します。品目を粗利益額でランク付けして表示するには、「2」を入力します。品目を手持評価額でランク付けして表示するには、「3」を入力します。ブランクにした場合、品目は販売金額でランク付けされます。

数量

品目を販売金額別または粗利益別に表示する場合は、「1」を入力して、予測数量を MPS 集計テーブルから取得します。ブランクにすると、過去の数量には品目販売実績テーブルが使用されます。(将来使用 - 予測)

日付範囲

品目を販売金額別または粗利益別に表示する場合は、日付範囲を入力して処理期間を選択します。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

開始日付

終了日付

処理

合計金額

複数のビジネスユニットの合計金額を連結するには、「1」を入力します。ABC コードは、ビジネスユニット "ALL" の ABC パーセントに基づきます。

更新

ファイル更新

新しい ABC コードでファイルを更新するには、「1」を入力します。ブランクにすると、ファイルは更新されません。

在庫原価/価格比較レポート

[在庫レポート] (G41111) メニューで [粗利益レポート] をクリックします。

在庫原価/価格比較レポートは、最新情報に基づいて粗利益率を識別するレポートです。このレポートにより、定期的に原価や価格を分析することができます。また、粗利益外品目を識別することもできます。

在庫原価/価格比較レポートは、F4105 テーブルと F4106 テーブルからレコードを取得します。

計量単位の隣の 2 つのアスタリスク (**) は、粗利益率が処理オプションで指定した最小粗利益より小さいことを示します。

在庫原価/価格比較レポート (R41700) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

デフォルト

一時変更コード	一時変更用売上原価計算コードを入力します。(原価計算時には必須)
最小粗利益率	警告用の最小粗利益率を入力します。この値より粗利益率が低い品目には “**” が表示されます。
印刷	警告用の最小粗利益率よりも小さくなる品目のみを印刷するには、「1」を入力します (デフォルトは空白で、全品目を印刷します)。

販売可能フラグの更新レポート (R41900)

このレポートを使用して、F4101 と F4102 に販売可能フラグを書き込みます。[品目マスターの改訂] フォームと [事業所品目の改訂] フォームの販売可能フィールドは、品目が販売可能かどうかを示します。このレポートにより、複数の品目マスター レコードを “販売可能” に更新することができます。

販売可能フラグの更新レポート (R41900) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックス ZJDE と XJDE で識別されている EnterpriseOne デモ バージョンは、修正しないでください。これらのバージョンをコピーするか、または新規のバージョンを作成して、バージョン番号、バージョンタイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更します。

処理

販売可能フラグの更新	F4101 テーブルと F4102 テーブルの販売可能フィールドを更新するかどうかを指定します。この機能は SCP 統合用です。有効値は以下のとおりです。 空白/0 = 販売不可 1 = 販売可能
------------	--

(RUS) Generating the Item Transfer Note Report (R74R41003)

Select Inventory (G74R41), Print Item Transfer Note.

Print the Transfer Item Note report when you transfer inventory between two business units within the same company. The report is based on the F4111 table. When you run the Transfer Item Note program, you must print two copies of the report. One copy of report is kept in the issuing location, and the another one is sent to the new location of the inventory. The system summarizes all lines with the same item number into one line if the unit of measure for the items is the same, and prints the taxes on the items.

Setting Processing Options for Item Transfer Note (R74R41003)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

General

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. Language Preference | Specify the language in which the system prints the report. The value that you enter must exist in the Language (01/LP) UDC table. |
| 2. Document Date From | Specify the beginning of the date range that the system uses to select records. |
| 3. Document Date Thru | Specify the end of the date range that the system uses to select records. |
| 4. Report Name | Enter the text that the system prints as the name of the report. |
| 5. Delivered Signature Role | Specify the role of the person delivering the report. |
| 6. Received Signature Role | Specify the role of the person who receives the report. |

(RUS) Generating the Stock Balance Report (R74R6000)

Select Inventory (G74R41), Print Stock Balance Report.

You produce the Stock Balance to confirm stock balances and transactions for a specified period. The period for which you produce the report is determined by the company's accounting policy.

The report separates records by warehouse and by person responsible, and does not include records with zero balances. The system reads the F41112 table and the F4111 table to calculate the beginning balance. The system calculates the received product amounts minus issued product amounts for the period. The system also calculates a final sum for the balance.

When you run the Stock Balance program, the system calls the Create Missing As Of Record (R74R6097) program to actualize the product amounts when there were no transactions for the product during the accounting period.

Setting Processing Options for Print Stock Balance Report (R74R6000)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

General

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. Company | Specify the company for which you run the report. |
| 2. Business Unit | Specify the business unit for which you run the report. |
| 3. Document Date | Specify the date that the system prints on the Stock Balance report. If you leave this processing option blank, the system prints the system date. |
| 4. Document Type | Specify the document type that the system uses to determine the next numbering scheme to use. The value that you enter must exist in the Document Type (00/DT) UDC table. |
| 5. Language | Specify the language in which the system prints the report. The value that you enter must exist in the Language (01/LP) UDC table. |
| 6. Header Signature Role | Enter the role of the person who will sign the document in the header area. The value that you enter must exist in the Signature Role (74R/RL) UDC table. |
| 7. Footer Signature Role | Enter the role of the person who will sign the document in the footer area. The value that you enter must exist in the Signature Role (74R/RL) UDC table. |
| 8. Accountant Signature Role | Enter the role of the accountant who will sign the document. The value that you enter must exist in the Signature Role (74R/RL) UDC table. |

Process

- | | |
|---|--|
| 1. GL Date – Beginning Effective | Specify the beginning of a range of dates that the system uses to select records to include on the report. |
| 2. GL Date – Ending Effective | Specify the end of a range of dates that the system uses to select records to include on the report. |
| 3. Document Description Format | Specify the description for the document that the system prints on the report. Enter 1 to print the Transaction description. Leave this processing option blank to print the Document/ Order Accountant description. |

EnterpriseOne 用語集

DNT - 変換なし	BLOB データの制約のため、iSeries サーバーに必要なデータソースのタイプです。
EnterpriseOne オブジェクト	アプリケーションのビルドに使用される再利用可能なコードです。オブジェクトタイプには、テーブル、フォーム、ビジネス関数、データ辞書項目、バッチ処理、ビジネスビュー、イベントルール、バージョン、データ構造体、メディアオブジェクトなどがあります。
EnterpriseOne プロセス	EnterpriseOne クライアントと EnterpriseOne サーバーでのプロセスリクエストの処理とトランザクションの実行のためのソフトウェア プロセスです。クライアントでは 1 つのプロセスが実行され、サーバーでは 1 つのプロセスの複数のインスタンスを処理することができます。EnterpriseOne プロセスをワークフロー メッセージやデータレプリケーションなどの特定のタスク専用指定することで、サーバーが大量のタスクを処理する場合でも重要なプロセスの実行を確保することができます。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコルを通じてファイルへのリクエストに応答するサーバーです。
IServer サービス	JD Edwards 独自のサービスです。このインターネット サーバー サービスは Web サーバーに常駐し、データベースからクライアントへの Java クラスのファイル配信を高速化するために使用されます。
Java アプリケーション サーバー	サーバー中心のアーキテクチャの中間層に置かれるコンポーネントベースのサーバーです。このサーバーは、データアクセスや永続性と共に、セキュリティとステータスの管理を行うためのミドルウェア サービスを提供します。
JDBNET	異種サーバー間でのデータアクセスを行うためのデータベースドライバです。
JDEBASE データベースミドルウェア	クライアント/サーバー間のアクセスとプラットフォーム非依存型の API を提供する JD Edwards 独自のデータベースミドルウェア パッケージです。
JDECallObject	ビジネス関数から他のビジネス関数を呼び出すための API です。
JD Edwards EnterpriseOne データベース	“JDEBASE データベースミドルウェア”を参照してください。
jde.ini	EnterpriseOne の初期設定に必要なランタイム設定を提供する JD Edwards EnterpriseOne のファイル (または iSeries 用のメンバー) です。EnterpriseOne を実行する各マシンには、ファイルまたはメンバーの特定バージョンを常駐させる必要があります。これには、ワークステーションとサーバーが含まれます。
JDEIPC	サーバーコードによって使用される通信プログラミングツールであり、マルチプロセス環境における同一データへのアクセス制限、プロセス間の通信と調整、新規プロセスの作成を行います。
jde.log	EnterpriseOne の主要な診断ログ ファイルです。このファイルは常に主ドライブのルートディレクトリに置かれ、EnterpriseOne の起動時からの状況とエラー メッセージが書き込まれます。
JDENET	JD Edwards 独自の通信ミドルウェア パッケージです。このパッケージは、ピアツーピア、メッセージベース、ソケットベースのマルチプロセス通信ミドルウェアソリューションです。EnterpriseOne の全てのサポート対象プラットフォームでクライアント/サーバー間、サーバー/サーバー間の通信を処理します。
Nota Fiscal	ブラジルでは、税務処理のために全ての商取引についてこの書式を作成し、税法で指定された情報を含めることが義務付けられています。
Nota Fiscal Factura	ブラジルで使用する書式です。伝票情報を伴う “Nota Fiscal” です。

	Nota Fiscal の説明も参照してください。
QBE	Query by Example (例示照会) の略語です。EnterpriseOne では、QBE 行は、詳細グリッドの最上段にあり、データのフィルタリングに使用されます。
wchar_t	ワイド文字の内部タイプです。国際市場向けの移植可能プログラムの記述に使用します。
Web アプリケーション サーバー	Web アプリケーションと、バックエンドシステムおよび電子商取引に使用されているデータベースとの間のデータ交換を可能にする Web サーバーです。
Web サーバー	ブラウザから送信されたリクエストに応じて、TCP/IP プロトコルを使用して情報を送信するサーバーです。Web サーバーでは、ブラウザからのリクエストへの対応以外にも、アプリケーションやデータの格納など、通常のサーバーが行うあらゆるタスクを処理することができます。どのようなコンピュータでも、サーバーソフトウェアをインストールし、インターネットに接続すれば、Web サーバーとして使用できます。
Windows ターミナル サーバー	マルチ ユーザー機能を持つサーバーであり、このサーバーに接続することで、それ自体では Windows ソフトウェアを実行できない端末や最小限構成のコンピュータでも Windows アプリケーションを使用することができます。全てのクライアント処理は、Windows ターミナル サーバーで集中的に実行され、画面表示、キー入力、およびマウス操作のコマンドのみがネットワーク経由でクライアントの端末機器とターミナル サーバー間で転送されます。
XAPI イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムを呼び出すサービスです。
XML CallObject	ビジネス関数の呼び出しを行うためのインタオペラビリティ機能です。
XML サービス	EnterpriseOne システムからイベントをリクエストし、別の EnterpriseOne システムから応答を受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。
XML ディスパッチ	EnterpriseOne で受信する全ての XML ドキュメントへの応答のための、単一のエン트리 ポイントを提供するインタオペラビリティ機能です。
XML トランザクション	事前定義済みのトランザクション タイプを使用して EnterpriseOne にデータをリクエストしたり、EnterpriseOne からデータを受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。XML トランザクションではインターフェイス テーブル機能が使用されます。
XML トランザクション サービス (XTS)	EnterpriseOne のフォーマットではない XML ドキュメントを EnterpriseOne で処理可能なフォーマットに変換するサービスです。このサービスでは、応答時に、変換されたドキュメントが元の (発信側の) XML フォーマットに戻されます。
XML リスト	EnterpriseOne データベース情報のチャンク単位でのリクエスト/受信を可能にするインタオペラビリティ機能です。
Z イベント	インターフェイス テーブル機能を使用して EnterpriseOne トランザクションを取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
Z テーブル	EnterpriseOne 以外のデータを保存し、EnterpriseOne 用に変換することができるワークテーブルです。EnterpriseOne データの取得にも Z テーブルを使用できます。Z テーブルはインターフェイス テーブルとも呼ばれます。
Z トランザクション	EnterpriseOne データベースへの更新のためにインターフェイス テーブルで正しくフォーマットされたサードパーティのデータです。
アクティビティ ルール	フロー内でオブジェクトがあるポイントから次のポイントに進むための条件です。

アプリケーション一時変更	代替的なデータ辞書項目の記述であり、現在のオブジェクトのシステムコードに基づいて EnterpriseOne や World で表示されます。
アプリケーション サーバー	ネットワーククライアントに共有されるアプリケーションを含む、ローカル エリア ネットワーク内のサーバーです。
イベントルール	フォームの入力や、フィールド間の移動など、特定のアプリケーションで実行される操作に基づく処理(複数可)の実行をシステムに指示する論理ステートメントです。
イベントルールビジネス関数 (NER)	C 言語ではなく、イベントルールを使用して作成され、カプセル化された再利用可能なビジネスロジックです。イベントルールビジネス関数は、“NER” とも呼ばれます。NER は、複数のプログラムの複数の場所で再利用することができます。このモジュラー性の高さによって、コードの合理性や再利用性が高まり、必要な作業がより少なくなります。
インターフェイス テーブル	“Z テーブル” を参照してください。
インタオペラビリティ モデル	サードパーティシステムから EnterpriseOne への接続やアクセスを行うための機能です。
インテグレーション サーバー	コンピュータが内部および外部のネットワークで接続されたシステム環境で、各種のオペレーティングシステムやアプリケーション間でのデータの交換を行うための機能を提供するサーバーです。
埋め込みイベントルール	特定のテーブルやアプリケーションのためのイベントルールです。たとえば、フォーム間の呼び出し、処理オプションの値に基づくフィールドの非表示化、ビジネス関数の呼び出しなどが含まれます。“イベントルールビジネス関数”とは機能的に対照を成すルールです。
エスカレーション モニター	処理待ちのリクエストや活動を監視し、それらが非アクティブの状態のまま指定した時間が経過すると、再実行するか、または次のステップやユーザーに処理を進めるバッチプロセスです。
エラー表示の有効化	EnterpriseOne におけるフォームレベルのプロパティであり、有効時にはアプリケーション エラーのエラー メッセージがフォーム上に表示されます。
エンタープライズ サーバー	EnterpriseOne や World のデータベースとロジックを格納するサーバーです。
オープン データ アクセス (ODA)	データの集計とレポートの作成のために、SQL ステートメントを使用して EnterpriseOne のデータを抽出することができるインタオペラビリティ モデルです。
オブジェクト構成マネージャ (OCM)	EnterpriseOne では、ランタイム環境のオブジェクトリクエストブローカーおよび制御センターとして機能します。OCM によって、ビジネス関数、データ、バッチアプリケーションのランタイム ロケーションを追跡します。これらのオブジェクトのいずれかが呼び出されると、OCM では、指定された環境/ユーザーのデフォルト値と一時変更情報に基づいて、そのオブジェクトにアクセス先が指定されます。
オブジェクトライブラリアン	アプリケーションのビルドに再利用可能な全てのバージョン、アプリケーション、ビジネス関数のリポジトリです。オブジェクトライブラリアンによって、開発者にチェックアウト機能とチェックイン機能が提供されます。また、EnterpriseOne オブジェクトの作成、変更、使用の制御も行われます。オブジェクトライブラリアンは複数の環境(生産環境や開発環境など)に対応しているため、異なる環境間でオブジェクトを簡単に移動することができます。
オブジェクトライブラリアン マージ	前のリリースでオブジェクトライブラリアンに加えられた全ての変更を新規リリースのオブジェクトライブラリアンに統合するプロセスです。
オフライン機能	サーバーと接続されていないユーザーがトランザクションを入力し、後にサーバーに接続してそれらのトランザクションをアップロードすることができる処理モードです。

拡張プランニング エージェント (APAg)	業務データの抽出、加工、読み込みに使用できる EnterpriseOne のツールです。APAg は、リレーショナル データベース、フラットファイル フォーマットおよび XML のような他のデータまたはメッセージ エンコーディング形式によるデータソースへのアクセスをサポートしています。
活動	EnterpriseOne の Form Design Aid で使用される、スケジュール機能をもつエンティティであり、カレンダー上で指定した時間の量を表します。
仮定処理	取引に実際に使用されている通貨とは異なる通貨で入力されたように、取引の金額を表示することができる処理です。
環境ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、各環境の環境情報とオブジェクト構成マネージャテーブルを、プランナ データソースからシステム リリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、環境プラン詳細レコードも更新されます。
期間パターン	標準の会計処理と 52 期間会計で、会計年度の開始日とその会計年度内の各期間の終了日を表すカレンダーです。
基準日処理	ある時点を指定して、その日付までの取引を集計する処理です。たとえば、日付を指定して EnterpriseOne の各種のレポートを実行し、その時点での勘定科目やビジネスユニットなどの残高や金額を確認することができます。
計画ファミリ	設計と製造に類似点があるため、まとめて計画することが合理的である複数の最終品目をグループ化する手段です。
原価要素	EnterpriseOne 製造管理において、特定の品目 (資材費、人件費、間接費など) の原価の一要素を表します。
コスト割当	EnterpriseOne 収益性分析のプロセスであり、リソースのトレースや、活動やコストオブジェクトへの配賦に使用されます。
コネクタ	EnterpriseOne とサードパーティアプリケーションの間でのロジックとデータの共有を可能にするコンポーネントベースのインタオペラビリティ (相互運用) モデルです。EnterpriseOne コネクタアーキテクチャには Java コネクタと COM コネクタが含まれています。
コントロール テーブル マージ	顧客が変更したコントロール テーブルを新規リリースのデータに統合するプロセスです。
コントロール テーブル ワークベンチ	インストール ワークベンチの処理中に、プランで指定したデータ辞書、ユーザー定義コード、メニュー、ユーザー時変更テーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
サーバー ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、サーバー設定ファイルを、プランナ データソースからシステム リリース番号データソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、サーバープラン詳細レコードも更新されます。
差異	<p>キャピタル アセット マネジメントでは、1 つの設備で発生した収益と、その設備に関連して発生した原価の差を意味します。</p> <p>JD Edwards EnterpriseOne プロジェクト原価管理と JD Edwards EnterpriseOne 製造管理では、同じ品目に対する 2 つの原価計算方式の間に生じる差異を意味します。たとえば、凍結標準原価と現行原価の差は設計差異です。凍結標準原価は原価要素テーブルから取得され、現行原価は資材、工程、間接費の各レートを使用して計算されます。</p>
最終モード	データレコードの更新や作成を行うプログラムの処理モードのレポート処理モードの 1 つです。
作業日カレンダー	JD Edwards EnterpriseOne 製造管理で、計画の作成に使用されるカレンダーです。稼働可能な日数に基づいて構成部品と作業指示のスケジュールを設定

	できるように、このカレンダーには作業日のみが連続的に表示されます。作業日カレンダーは、計画カレンダー、製造カレンダー、または製造現場カレンダーと呼ばれる場合もあります。
差し込み印刷ワークベンチ	業務文書を自動的に印刷するために、Microsoft Word 6.0(またはそれ以上のバージョン)の文書とEnterpriseOne のレコードをマージするアプリケーションです。雇用の証明に関する書式などの文書の印刷に、差し込み印刷ワークベンチを使用することができます。
サブスクリバテーブル	F98DRSUB テーブルを指しています。このテーブルは F98DRPUB テーブルと共にパブリッシャサーバーに置かれ、各パブリッシュ済みテーブルの全てのサブスクリバマシンの識別に使用されます。
3 方向伝票突合せ	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、入荷情報と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。3 方向突合せでは、入荷レコードを使用して伝票を作成します。
施設	原価のトラッキング対象となる業務の単位の 1 つです。たとえば、倉庫所在地、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所などがあります。施設は、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
指定通貨	会社の財務レポートで基準として使用される通貨です。
従業員ワークセンター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。各ユーザーには、アクティブ メッセージなど、ワークフローやその他のメッセージを含むメールボックスが割り当てられます。
出力ストリーム アクセス (OSA)	EnterpriseOne のインターフェイスを設定し、別のソフトウェア パッケージ (Microsoft Excel など) にデータを渡して処理を実行することができるインタオペラビリティモデルです。
処理オプション	このデータ構造によって、ユーザーはバッチ プログラムやレポートの実行を制御するパラメータを指定することができます。たとえば、処理オプションを使用して、特定のフィールドのデフォルト値の指定、情報の表示および印刷の方法、日付範囲の指定、プログラムの実行を制御するランタイム値の入力などができます。
スペック	EnterpriseOne オブジェクトの完全な説明です。各オブジェクトには固有の仕様またはアプリケーションのビルドに使用される名称があります。
スペックテーブル マージ ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、スペックテーブルを更新するバッチ アプリケーションを実行するアプリケーションです。
スペック マージ	オブジェクトライブラリアン マージ、バージョンリスト マージ、およびセントラルオブジェクト マージで構成されるマージ機能です。この機能を使用して、顧客が変更したデータを新規リリースのデータに統合することができます。
スポットレート	トランザクションレベルで入力される為替レートです。このレートは、2 つの通貨の間に設定されている為替レートより優先されます。
3 ステップ処理	EnterpriseOne でのバッチトランザクションの入力、検討と承認、転記のタスクを指します。
整合性テスト	社内の貸借一致手順を補足するために使用するプロセスであり、問題のある残高情報やデータ不整合の特定とレポート作成を行うことができます。
セグメント間編集	コンフィギュレーション品目セグメント間の関係を設定する論理ステートメントです。セグメント間編集を使用して、製造不可能のコンフィギュレーションのオーダーを防ぐことができます。
選択	メニューに表示される選択項目は、メニューからアクセスできる各機能を表します。選択するには、関連する番号を選択フィールドに入力して Enter キーを押します。

セントラルオブジェクト マージ	現行のリリースで顧客がオブジェクトに加えた変更を、次の（新規の）リリースのオブジェクトに統合する処理です。
セントラル サーバー	クライアントマシンに配布されるソフトウェアの、最初にインストールされたバージョン（セントラルオブジェクト）の格納用に指定されたサーバーです。EnterpriseOne の典型的なインストールでは、ソフトウェアは1つのマシン（セントラルサーバー）にロードされます。次に、セントラルサーバーにつながっている各種のワークステーションに向けてソフトウェアのコピーがプッシュアウトされます（またはワークステーションからダウンロードされます）。このような構成にすることで、ワークステーション上での使用によってソフトウェアが変更されたり、破損した場合には、常にセントラルサーバー上にある変更前のオブジェクトのセット（セントラルオブジェクト）にアクセスすることができます。
相殺/仮勘定	EnterpriseOne Financial Management の一般会計勘定科目であり、仕訳入力 of 相殺（貸借一致）処理に使用されます。たとえば、相殺/仮勘定を使用して、EnterpriseOne 一般会計の配賦によって作成された会計入力の貸借一致を行うことができます。
即時バッチオブワン	処理をクライアントワークステーション上で実行してから、後続の処理のために全てを一度にサーバーアプリケーションに投入するトランザクションの方式です。バッチ処理はサーバー上で実行されるため、クライアントアプリケーションは引き続き他のタスクを実行できます。 “ダイレクト接続”と“オフライン処理”も参照してください。
ターミナル サーバー	このサーバーを使用して、端末、マイクロコンピュータ、その他の機器を、ネットワーク、ホストコンピュータ、または特定のコンピュータに取り付けられたデバイスに接続することができます。
代替通貨	取引通貨（国内のみの取引の場合は国内通貨）として指定した通貨と異なる通貨です。 EnterpriseOne Financial Management では、代替通貨を使用して、領収書や支払の入力を発行時と異なる通貨で行うことができます。
ダイレクト接続	クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションが対話形式で直接通信するトランザクション方式です。 “即時バッチオブワン”、“オフライン処理”の説明も参照してください。
チャート	EnterpriseOne の情報の表形式の表示であり、ソフトウェアのフォームに表示されます。
追加モード	ユーザーによるデータの入力可能なフォームの状態です。
通貨再換算	通貨を別の通貨に換算するプロセスであり、一般的にはレポートに使用されます。たとえば、通貨再換算のプロセスを使用して、さまざまな通貨を単一の通貨に換算する必要がある連結レポートの作成に対応することができます。
突き合わせ伝票	取引を完了または変更するために、当初伝票と関連付けられる伝票です。たとえば、EnterpriseOne Financial Management では、入金請求書の突き合わせ伝票であり、支払が支払伝票の突き合わせ伝票です。
データソースワークベンチ	インストールワークベンチの処理中に、インストールプランに定義された全てのデータソースを、プランナのデータソースに含まれるデータソースマスターとテーブル/データソースサイジングテーブルから、システムのリリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、データソースプラン詳細レコードも更新されます。
データベース サーバー	データベースの管理やクライアントマシンの検索を実行するローカルエリアネットワーク内のサーバーです。

テーブルアクセス管理 (TAM)	ユーザー定義データの保存と取得を処理する EnterpriseOne コンポーネントです。TAM には、データ辞書定義、アプリケーション/レポート仕様、イベントルール、テーブル定義、ビジネス関数入力パラメータ、ライブラリ情報などの情報と、アプリケーション、レポート、ビジネス関数を実行するためのデータ構造体の定義が保存されます。
テーブルイベントルール	データベーストリガに添付されるロジックであり、トリガに指定されたアクションがテーブルに対して発生した場合に起動します。EnterpriseOne では、イベントルールをアプリケーションイベントに添付できますが、この機能はアプリケーション固有です。テーブルイベントルールでは、テーブルレベルでの埋め込みロジックを提供します。
テーブル変換	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
テーブル変換ワークベンチ	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
デプロイメントサーバー	複数のエンタープライズサーバーとクライアントマシンへのソフトウェアのインストールや、それらのソフトウェアの管理、配布に使用されるサーバーです。
電子データ交換 (EDI)	EnterpriseOne システムとサードパーティシステムの間で、コンピュータ間の業務トランザクションデータの交換をペーパーレスに行うことを可能にするインタオペラビリティモデルです。EDI を使用する会社は、EDI 標準フォーマットからその会社のシステムで使用されているフォーマットにデータを変換するためのソフトウェアを備えている必要があります。
トランザクション処理 (TP) モニター	ローカル端末およびリモート端末と、それらを設定したアプリケーションの間でのデータ交換を制御するモニター機能です。また、TP モニターによって、分散環境でのデータの整合性が守られます。TP モニターには、データの検証と端末画面のフォーマットのプログラムが含まれる場合もあります。
トランザクションセット	複数のセグメントで構成されている電子的ビジネストランザクション (電子データ交換標準ドキュメント) です。
トリガ	データ辞書項目に固有の複数のイベントの 1 つです。イベントの発生時にシステム内で自動的に処理されるデータ辞書項目にロジックを添付することができます。
トリガ イベント	特殊なアクションが必須であるか、または結果アクションが定義済みの、特定のワークフローイベントです。
2 重価格設定	商品やサービスに 2 つの通貨で価格を設定するプロセスです。
2 方向伝票突合せ	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、購買明細行と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。入荷情報は記録しません。
バックツール バックプロセス	EnterpriseOne ワークフロー管理で使用されるプロセスであり、別のプロセスで使用されるキーと同じキーが含まれています。
パッケージ	EnterpriseOne オブジェクトは、デプロイメントサーバーからのパッケージとしてワークステーションにインストールされます。パッケージは、部品表やキットに例えることができ、ワークステーションに必要なオブジェクトと、インストールプログラムがそれらのオブジェクトを検出できるようにデプロイメントサーバー上の位置情報を含んでいます。パッケージは、デプロイメントサーバー上のセントラルオブジェクトの特定時点のスナップショットでもあります。
パッケージビルド	ソフトウェアの変更や新規アプリケーションの既存ユーザーへの反映を容易に行うことができるソフトウェアアプリケーションです。また、EnterpriseOne では、パッケージビルドとは、ソフトウェアのコンパイル済みバージョンを指す場合もあります。たとえば、使用中の ERP ソフトウェアのアップグレード時に、パッケージビルドの実行を指示されたとします。

	<p>“パッケージビルド”という用語について、以下のコンテキストを検討してください。“パッケージビルド時に実行されるビジネス関数のグローバルビルドでは新規の関数が自動的に含められるため、配布の準備が整うまでビジネス関数を本稼働用パスコードに転送しないでください。”このように、パッケージビルドを作成するプロセスが“パッケージビルド”と呼ばれる場合もあります。</p>
パッケージ ロケーション	<p>パッケージとそのパッケージのレプリケート(複製)オブジェクトのセットが格納されるディレクトリ構造上の位置です。通常は、¥¥deployment server¥release¥path_code¥package¥package name に置かれます。このパスの下サブディレクトリに、パッケージ用のレプリケートオブジェクトが格納されます。パッケージがビルドまたは格納される場所を指す場合もあります。</p>
パッケージ ワークベンチ	<p>インストール ワークベンチプロセスの実行時に、パッケージ情報テーブルを、プランナ データソースからシステムリリース番号データソースに転送するアプリケーションです。処理の結果を反映するため、パッケージプラン詳細レコードも更新されます。</p>
バッチ サーバー	<p>バッチ処理リクエストの実行用に指定されたサーバーです。通常、バッチサーバーにデータベースは格納されず、対話型アプリケーションも実行されません。</p>
バッチ処理	<p>サードパーティシステムから EnterpriseOne にレコードを転送する処理です。</p> <p>EnterpriseOne Financial Management では、バッチ処理を使用して、EnterpriseOne 以外のシステムで入力された請求書や伝票のデータを EnterpriseOne 売掛管理や EnterpriseOne 買掛管理のシステムに転送することができます。また、顧客レコードや仕入先レコードを含む住所録情報を EnterpriseOne に転送することも可能です。</p>
パブリッシャ	<p>パブリッシュされたテーブルを受け持つサーバーです。F98DRPUB テーブルでは、企業内の全てのパブリッシュ済みテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャの識別が行われます。</p>
パブリッシュされたテーブル	<p>マスターテーブルとも呼ばれ、他のマシンにレプリケートされる元のテーブルです。パブリッシャマシンに格納される F98DRPUB テーブルにより、企業内の全てのパブリッシュされたテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャが識別されます。</p>
バージョンリスト マージ	<p>バージョンリスト マージを実行すると、新規リリースにおいて有効なオブジェクトとそれらの処理オプションデータの、非 XJDE および非 ZJDE バージョンの仕様が維持されます。</p>
ビジネス関数	<p>ユーザーによって作成される命名済みの再利用可能なビジネス ルールとログのセットであり、イベントルールを通じて呼び出すことができます。ビジネス関数では、トランザクションやそのサブセット(在庫チェック、作業オーダーの発行など)を実行することができます。また、ビジネス関数には API も含まれているため、フォーム、データベーストリガ、または EnterpriseOne 以外のアプリケーションからも呼び出すことができます。ビジネス関数は、他のビジネス関数、フォーム、イベントルール、その他の構成要素と組み合わせてアプリケーションを構成することができます。ビジネス関数の作成には、イベントルール、または C などの第 3 世代言語を使用します。ビジネス関数の例としては、Credit Check (与信チェック) や Item Availability (在庫照会) が挙げられます。</p>
ビジネスビュー	<p>アプリケーションやレポートでデータが使用されている複数の EnterpriseOne テーブルから特定の列を選択するための手段として使用される機能です。ビジネスビュー自体には特定の行を選択する機能はありません。また、ビジネスビューには実際のデータは含まれていません。ビジネスビューは、情報の表示専用の機能であり、このビューを介してデータを操作することができます。</p>
ビジュアル アシスト	<p>ユーザーがコントロールに属するデータを判別できるように、コントロールからトリガーを介して起動できるフォームです。</p>

ファイル サーバー	ネットワーク上で他のコンピュータからアクセスされるファイルを保存するサーバーです。ユーザーにはリモート ディスクドライブとして表示されるディスクサーバーと異なり、ファイル サーバーには、単にファイルを保存するだけでなく、保存しているファイルを管理し、要求をユーザー リクエスト ファイルとして維持して、それらのファイルの更新も行う高度な機能が備えられています。
プリスティン環境	EnterpriseOne のデモ データを使用した未変更オブジェクトのテストに使用する EnterpriseOne 環境です。研修環境にも使用されます。変更したオブジェクトと変更前のオブジェクトを比較するには、この環境が必要です。
プリント サーバー	ネットワークとプリンタの間のインターフェイスであり、ネットワーククライアントはこれを利用してプリンタに接続し、印刷ジョブを送信することができます。コンピュータ、独立したハードウェア デバイス、またはプリンタ内部のハードウェアでもプリンタサーバーとして使用することができます。
プルレプリケーション	データを個別のワークステーションにレプリケートする方法の 1 つです。プルレプリケーションのレプリケーション先のマシンは、EnterpriseOne のデータレプリケーション ツールを使用して、プル サブスクライバとしてセットアップされます。プル サブスクライバに変更、更新、削除が通知されるのは、その情報を要求した場合のみです。要求は、通常は起動時に、プル サブスクライバから F98DRPCN テーブルが置かれているサーバーにメッセージの形式で送信されます。
プロキシサーバー	企業などがセキュリティ管理、管理統制、サービスのキャッシュ化を確実に行うことができるように、ワークステーションとインターネットの間で防壁として機能するサーバーです。
プログラム一時修正 (PTF)	磁気テープやディスクで提供される、JD Edwards ソフトウェアの変更です。
プロジェクト	EnterpriseOne で使用される、オブジェクト管理ワークベンチで開発されたオブジェクトのための仮想コンテナです。
プロモーション パス	ワークフロー内でオブジェクトやプロジェクトが進む、指定された工程です。標準的なプロモーション サイクル (パス) は以下のとおりです。 11>21>26>28>38>01 このパスでは、11 は検討待ちの新規プロジェクト、21 はプログラミング、26 は品質管理テスト/検討、28 は品質管理テスト/検討の完了、38 は本稼働、01 はサイクルの完了を表します。標準的なプロジェクト プロモーション サイクルの工程内で、開発者は、開発パスコードからオブジェクトをチェックアウトし、チェックインしてから、それらのオブジェクトをプロトタイプ パスコードにプロモートします。次に、オブジェクトは、工程の完了の前に、本稼働用のパスコードに移されます。
編集コード	レポートやフォームの特定の値がどのように表示/フォーマットされるかを示すコードです。レポートに属するデフォルトの編集コードは大量の情報に関連しているため、使用時には注意が必要です。
編集モード	ユーザーによるデータの変更が可能なフォームの状態です。
編集ルール	ユーザー入力を事前に定義されたルールやルールのセットに照合して、フォーマットや検証を行うための方法です。
補足データ	マスターで管理されない全ての情報のタイプを指す用語です。補足データは、通常、従業員、応募者、購買要求、作業 (従業員の技能、取得学位、語学力など) に関する追加情報です。補足データを使用して、組織が要求するあらゆる情報を追跡管理することができます。 たとえば、標準のマスター (住所録マスター、顧客マスター、仕入先マスター) とは別に、それらのテーブルでは管理されない情報を汎用データベースで管理することができます。このような汎用データベースを使用すると、EnterpriseOne システム全体にわたって、標準的な方法で補足データの入力と管理を行うことができます。
本稼働用環境	ユーザーが EnterpriseOne ソフトウェアを実務使用する EnterpriseOne 環境です。

本稼働レベル ファイル サーバー	通常はユーザー サポート サービスと共に提供される、品質保証付きの商品化されたファイル サーバーです。
マスター テーブル	“パブリッシュされたテーブル”を参照してください。
マスター ビジネス関数 (MBF)	データベース内の情報の追加、変更、更新のための中心のロケーションとして機能する対話型のマスター ファイルです。マスター ビジネス関数によって、データ入力フォームとテーブル間でのデータの交換が行われます。マスター 関数によって、全ての必要なデフォルト値と編集ルールを含む関数の共通セットが、関連するプログラムに提供されます。MBF には、データベースの情報の追加、更新、削除の整合性を確保するロジックが含まれています。
見出し情報	テーブルやフォームの先頭に表示される情報です。見出し情報を使用して、後続のレコード グループの制御情報が識別または提供されます。
見積オーダー	EnterpriseOne 調達管理および外注管理では、仕入先からの品目情報と価格情報のリクエストであり、そこから購買オーダーを作成できます。 EnterpriseOne 受注管理では、受注オーダーに対してまだ引当を行っていない顧客の品目情報と価格情報を指します。
明細情報	たとえば、伝票支払品目や受注オーダー明細行など、EnterpriseOne のトランザクションの個別の行に関連する情報です。
メッセージアダプタ	サードパーティ システムから EnterpriseOne に接続し、メッセージング キューを使用したデータの交換を行うためのインタオペラビリティ モデルです。
メッセージ センター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。
メッセージング サーバー	メッセージング API を使用して、他のプログラムで使用するために送信されるメッセージを処理するサーバーです。メッセージング サーバーには、通常、関数を実行するためにミドルウェア プログラムが配備されます。
メディア ストレージ オブジェクト	テーブル フォーマットにまとめられていない、Gxxx、xxxGT、または GTxxx のいずれかの命名規則を使用するファイルです。
ユーザー一時変更のマージ	新規のユーザー一時変更レコードを顧客のユーザー事変更テーブルに追加するプロセスです。
優先プロファイル	品目、品目グループ、顧客、および顧客グループについて、ユーザー定義の階層 (順序) に基づいて指定したフィールドのデフォルト値を定義する機能です。
用語一時変更	特定の EnterpriseOne または World のフォームやレポートに表示される、データ辞書項目の代替的な説明です。
リアルタイム イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティ ソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
リフレッシュ	EnterpriseOne ソフトウェアまたはそのサブセット (テーブルや業務データなど) を、新規リリースや PTF/Cum アップデートリリース (B73.2 や B73.2.1 など) に正しく対応させるための変更機能です。
略式コマンド	特定のコマンドを使用することで、メニューやアプリケーション間を迅速に移動できるコマンド プロンプト機能です。
レプリケーション サーバー	セントラル オブジェクトのクライアント マシンへのレプリケーションを受け持つサーバーです。

ロケーションワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、インストールプランに定義された全てのロケーションを、プランナデータソースの保管場所マスターからシステムデータソースにコピーするアプリケーションです。
ロジックサーバー	アプリケーションプログラムにビジネスロジックを提供する、分散ネットワーク内のサーバーです。典型的なコンフィギュレーションでは、プリスティンオブジェクトは、セントラルサーバーからロジックサーバーに複製されます。EnterpriseOneやWorldソフトウェアの実行時に、ロジックサーバーでは、ワークステーションと連動して、必要な処理が実際に実行されます。
ワークグループサーバー	マスターネットワークサーバーからレプリケートされたデータのサブセットが通常置かれるサーバーです。ワークグループサーバーでは、アプリケーションやバッチ処理は実行されません。
ワークフロー	ビジネスプロセスの一部または全体の自動化を意味する用語です。自動化されたプロセス(ワークフロー)の実行時には、ドキュメント、情報、タスクは、手順規則に従ってユーザーからユーザーへ渡されます。
ワークベンチ	関連のあるプログラムのグループに対する1つのエントリポイントからのアクセスを可能にするプログラムです。通常、ワークベンチからアクセスするプログラムは、大規模な業務プロセスに使用されています。たとえば、JD Edwards EnterpriseOne 支払サイクルワークベンチ(P07210)を使用して、給与計算、支払レポートの印刷、給与レポートの作成、仕訳入力の作成、給与履歴の更新に使用される全てのプログラムにアクセスすることができます。EnterpriseOneには、サービス管理ワークベンチ(P90CD020)、ラインスケジューリングワークベンチ(P3153)、計画ワークベンチ(P13700)、監査人ワークベンチ(P09E115)、支払サイクルワークベンチなどが用意されています。

索引

数字/記号

917 追加プロモーション品目 50

AAI

setting up document types 41

AAI (自動仕訳) 37

関連項目: 自動仕訳

コンテナ管理 289

ABC 分析

原則 355

循環棚卸 355

設定手順 355

タイプ 355

レポート 355

as of beginning balances

generating 188

Australia

Rapid Start

business processes for Inventory
Management 14

entering item master and item/branch
information 112

issuing inventory for customer credit
with return 135

managing inventory count 209

preconfigured processing options for
Cycle Count Review (P41240) 211

preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211

preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216

preconfigured processing options for
Inventory Transfers (P4113) 149,
215

preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214

preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175

preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112

preconfigured processing options
for Print Cycle Count Sheets from
Review (R41410A) 211

preconfigured processing options
for Select Items for Count
(R41411) 210

preconfigured processing options
for Simple Inventory Issues
(P4112) 136

processing items for putaway 213

reviewing item availability 176

reviewing item ledger records 175

transferring inventory for customer
credit with return 148

beginning balances

as of 188

generating 188

branch/plant information

entering branch/plant information for
Brazil 99

entering item tax information 105
taxes 105

branch/plant information for Brazil
overview 99

Brazil

additional item master information 63

branch/plant information 99

entering item master information 63

item master 77

notas fiscais 64

tables 336

Canada

Rapid Start

business processes for Inventory
Management 14

entering item master and item/branch
information 112

issuing inventory for customer credit
with return 135

managing inventory count 209

preconfigured processing options for
Cycle Count Review (P41240) 211

preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211

preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216

- preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215
- preconfigured processing options for Item Availability (P41202) 176, 214
- preconfigured processing options for Item Ledger (P4111) 175
- preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101) 112
- preconfigured processing options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
- preconfigured processing options for Select Items for Count (R41411) 210
- preconfigured processing options for Simple Inventory Issues (P4112) 136
- processing items for putaway 213
- reviewing item availability 176
- reviewing item ledger records 175
- transferring inventory for customer credit with return 148
- Category Code Name/Code (76/CN) 64
- Chile
 - tables 335
- Customer Connection Web サイト xx
- Demand Flow® 69
- document types
 - AAI 41
- [F4141Z1の改訂] フォーム 331
- FIFO 払戻処理 284
- forms
 - Item Branch Regional Information – Brazil 104
 - Item Master Regional Information – Brazil 78
- France
 - Rapid Start
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211
- preconfigured processing options for Cycle Count Update (R41413) 211
- preconfigured processing options for Inventory Transaction Post (R09801) 212, 216
- preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215
- preconfigured processing options for Item Availability (P41202) 176, 214
- preconfigured processing options for Item Ledger (P4111) 175
- preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101) 112
- preconfigured processing options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
- preconfigured processing options for Select Items for Count (R41411) 210
- preconfigured processing options for Simple Inventory Issues (P4112) 136
- processing items for putaway 213
- reviewing item availability 176
- reviewing item ledger records 175
- transferring inventory for customer credit with return 148
- Great Britain
 - Rapid Start
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options for Inventory Transaction Post (R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215

- preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214
- preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175
- preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112
- preconfigured processing options
for Print Cycle Count Sheets from
Review (R41410A) 211
- preconfigured processing options
for Select Items for Count
(R41411) 210
- preconfigured processing options
for Simple Inventory Issues
(P4112) 136
- processing items for putaway 213
- reviewing item availability 176
- reviewing item ledger records 175
- transferring inventory for customer
credit with return 148
- Item/Lot Information Revisions (P4108)
104
- Item Master – Brazil (P4101BR) 77
- Item Master information
Brazil 63
- Item Transfer Note (R74R41003) 358
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケー
ションの基礎 xix
- lot information
 - adding customs information 245
 - overview 245
- MMA Partners xx
- MPS タイム フェイズ (P3413) 269
- MRP/MPS 詳細メッセージの改訂
(P3411) 269
- MRP (資材所要量計画) 270
- New Zealand
 - Rapid Start
 - business processes for Inventory
Management 14
 - entering item master and item/branch
information 112
 - issuing inventory for customer credit
with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for
Inventory Transfers (P4113) 149,
215
 - preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214
 - preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112
 - preconfigured processing options
for Print Cycle Count Sheets from
Review (R41410A) 211
 - preconfigured processing options
for Select Items for Count
(R41411) 210
 - preconfigured processing options
for Simple Inventory Issues
(P4112) 136
 - processing items for putaway 213
 - reviewing item availability 176
 - reviewing item ledger records 175
 - transferring inventory for customer
credit with return 148
- notas fiscais
 - address book print ICMS substitution
markup level indicator 64
 - free zone discount indicator 65
 - item nature indicator 65
- PeopleBook
 - 注文 xx
- PeopleCode の表記規則 xxii
- processing options
 - Create Missing As Of Record
(R76A397) 188
 - P7464108 (Set Up Item – Custom
Declaration Number) 246
 - R74R41003 (Item Transfer Note) 358
 - R74R6000 (Stock Balance Report)
358
- programs and IDs
 - P4101BR (Item Master – Brazil) 77
 - P4108 (Item/Lot Information Revisions)
104

- P7464108 (Set Up Item – Custom Declaration Number) 245
- R41543 (品目元帳/勘定科目整合性) 処理オプション 351
- R74R41003 (Item Transfer Note) 358
- R74R6000
 - Stock Balance Report 358
- Rapid Start
 - Australia
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options for Inventory Transaction Post (R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215
 - preconfigured processing options for Item Availability (P41202) 176, 214
 - preconfigured processing options for Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101) 112
 - preconfigured processing options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
 - preconfigured processing options for Select Items for Count (R41411) 210
 - preconfigured processing options for Simple Inventory Issues (P4112) 136
 - processing items for putaway 213
 - reviewing item availability 176
 - reviewing item ledger records 175
 - transferring inventory for customer credit with return 148
 - Canada
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211

- preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211
- preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216
- preconfigured processing options for
Inventory Transfers (P4113) 149,
215
- preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214
- preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175
- preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112
- preconfigured processing options
for Print Cycle Count Sheets from
Review (R41410A) 211
- preconfigured processing options
for Select Items for Count
(R41411) 210
- preconfigured processing options
for Simple Inventory Issues
(P4112) 136
- processing items for putaway 213
- reviewing item availability 176
- reviewing item ledger records 175
- transferring inventory for customer
credit with return 148
- Great Britain
 - business processes for Inventory
Management 14
 - entering item master and item/branch
information 112
 - issuing inventory for customer credit
with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for
Inventory Transfers (P4113) 149,
215
 - preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214
 - preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112
- New Zealand
 - business processes for Inventory
Management 14
 - entering item master and item/branch
information 112
 - issuing inventory for customer credit
with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for
Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options
for Inventory Transaction Post
(R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for
Inventory Transfers (P4113) 149,
215
 - preconfigured processing options for
Item Availability (P41202) 176,
214
 - preconfigured processing options for
Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options
for Item Master Revisions
(P4101) 112

- preconfigured processing options
 - for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
- preconfigured processing options
 - for Select Items for Count (R41411) 210
- preconfigured processing options
 - for Simple Inventory Issues (P4112) 136
- processing items for putaway 213
- reviewing item availability 176
- reviewing item ledger records 175
- transferring inventory for customer credit with return 148
- United States
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options for Inventory Transaction Post (R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215
 - preconfigured processing options for Item Availability (P41202) 176, 214
 - preconfigured processing options for Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101) 112
 - preconfigured processing options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
 - preconfigured processing options for Select Items for Count (R41411) 210
 - preconfigured processing options for Simple Inventory Issues (P4112) 136
 - processing items for putaway 213
 - reviewing item availability 176
 - reviewing item ledger records 175
 - transferring inventory for customer credit with return 148
- Russia
 - entering lot information 245
- setup
 - Category Code Name/Code (76/CN) 64
- Stock Balance Report (R74R6000) 358
- tables
 - F76412 (Item Branch Regional Information – Brazil) 99
- United States
 - Rapid Start
 - business processes for Inventory Management 14
 - entering item master and item/branch information 112
 - issuing inventory for customer credit with return 135
 - managing inventory count 209
 - preconfigured processing options for Cycle Count Review (P41240) 211
 - preconfigured processing options for Cycle Count Update (R41413) 211
 - preconfigured processing options for Inventory Transaction Post (R09801) 212, 216
 - preconfigured processing options for Inventory Transfers (P4113) 149, 215
 - preconfigured processing options for Item Availability (P41202) 176, 214
 - preconfigured processing options for Item Ledger (P4111) 175
 - preconfigured processing options for Item Master Revisions (P4101) 112
 - preconfigured processing options for Print Cycle Count Sheets from Review (R41410A) 211
 - preconfigured processing options for Select Items for Count (R41411) 210
 - preconfigured processing options for Simple Inventory Issues (P4112) 136
 - processing items for putaway 213

reviewing item availability 176
 reviewing item ledger records 175
 transferring inventory for customer
 credit with return 148
 user-defined codes
 Category Code Name/Code (76/CN)
 64

あ

[アプリケーション固定情報] フォーム 30
 アプリケーションの基礎 xix
 粗利益
 ABC 分析 355
 粗利益分析レポート
 説明 356

い

位置揃え
 保管場所コード 20
 一括更新
 品目マスター情報 309
 保管場所情報 315
 移動
 エラーの修正 143
 概要 143
 例 143
 印刷・製本されたドキュメンテーション xx
 印刷メッセージ
 印刷 43
 コンテナ管理 289
 削除 43
 伝票タイプの例外の定義 43
 表示 43
 メッセージと品目注記に関する印刷
 情報の定義 44
 メッセージの設定 43
 印刷メッセージ優先情報の作成 293
 インタオペラビリティ
 インターフェイス テーブル 321
 概要 321
 受信トランザクション 323, 325
 循環棚卸受信トランザクション 327
 除去 332
 製品処理データ受信トランザクシ
 ョン 329
 送信トランザクション 331
 品目原価受信トランザクション 328

品目マスター受信トランザクシ
 ョン 325
 フラット ファイルからインターフェイス
 テーブルへの変換 322
 フラット ファイル相互参照の設定 323
 変換プログラムの実行 323
 インターフェイス テーブル
 インタオペラビリティの受信トランザ
 クション 325
 インタオペラビリティのためのフラット
 ファイル相互参照 323
 インタオペラビリティのための変換プロ
 グラム 323
 インタオペラビリティ フラット ファイル
 変換 322

え

エラー
 保管場所フィールドの更新 319

お

オーダー行タイプ
 コンテナ管理 286
 オーダー処理順序定義
 コンテナ管理 287

か

会計処理
 トランザクション 128
 会計年度における非活動の繰越残高レ
 コードの更新 187
 外部システム
 インタオペラビリティにおけるデータ
 変換 321
 インタオペラビリティの受信トランザ
 クション 325
 概要
 システム 1
 カウント 193
 価格管理固定情報 50
 価格設定
 価格表レポート 348
 キット価格設定情報の入力 231
 スケジュール 298
 価格設定計量単位優先情報の作
 成 293
 価格設定スケジュールの設定 298
 価格調整明細 (F4072) 69
 価格表レポート

説明 348
 確認
 需要/供給 180
 カスタム テーブル
 保管場所フィールドの更新 317
 [勘定科目の改訂] 39
 関連ドキュメンテーション xx
 関連品目
 相互参照 53

き

基準日 265
 基準日更新 (R41548) 187
 基準日情報直接入力
 個々のトランザクションの入力 186
 基準日処理
 [基準日情報直接入力] フォーム 189
 繰越残高レコードの作成 187
 個々のトランザクションの入力 186
 再生成方法 187
 主科目別総勘定元帳 191
 除去の影響 186
 対象となる受注オーダー 186
 定義済 184
 テーブルからのレコード削除 185
 非活動による残高欠如 187
 規則
 組込 334
 キット
 概要 227
 価格設定 231
 キット情報の入力 231
 タイプ 228
 部品表の入力 233
 保管場所 231
 例 228
 レベル 229
 基本保管場所
 倉庫管理システムの定義 33
 共通フィールド xxiv
 許容ロット状況コード 250

く

区切り文字
 保管場所コード 20
 繰越残高レコードの作成 187

け

警告 xxiii

計量単位 47
 価格設定の検索順序 69
 調整 69
 品目情報 66
 計量単位換算係数 (F41002) 69
 原価
 原価計算方式の選択 220
 単位の更新 120
 単位の変更 120
 品目の更新 219
 品目の入力 119
 方式の削除 120
 明細 224
 原価計算
 明細 224
 原価の更新
 概要 219
 品目の平均原価の更新 222
 複数の事業所に共通する原価の更新 220
 複数の事業所に共通する複数の品目原価の更新 221
 原価分析レポート
 説明 353
 原価方式
 品目原価の原価方式 219
 品目への割り当て 119
 原価保守管理レポート
 説明 221
 原価要素のコピー (R41891) 225
 原価レベル
 品目の更新に関する考慮事項 222
 検索
 価格および在庫状況情報 161
 数量情報 161
 テキストによる品目検索 155
 品名別品目の準備 158
 品目 154

こ

ご意見 xxiv
 購買
 フラット ファイル相互参照の設定 323
 購買オーダー (P4310) 269
 プロモーション品目 52
 購買担当者ガイド レポート
 説明 349
 購買担当者情報
 パフォーマンス情報の検討 181
 購買担当者の情報

概要 177
 購買引当
 有効日数と有効日付 270
 購買プロモーション品目 (PP) 50
 購買明細 (F4311) 265
 顧客/品目別プロファイルの処理
 (P40300) 292
 顧客/流通業者残高 (R41182) 345
 固定情報 19
 コピー
 事業所品目情報 100
 製造原価要素 225
 ご要望 xxiv
 コンテナ管理
 AAI 289
 FIFO 払戻処理 284
 印刷メッセージ 289
 印刷メッセージ優先情報の作成 297
 売上情報 300
 オーダー行タイプ 286
 オーダー処理順序定義 287
 概要 279
 価格設定計量単位優先情報の作
 成 297
 価格設定スケジュールの設定 298
 顧客/流通業者残高レポート 345
 コンテナコードと品目の設定 290
 コンテナ相互参照 291
 コンテナ相互参照の設定 291
 コンテナタイプ 283
 コンテナ調整レポート 345
 コンテナの充填 283
 コンテナの入荷 282
 在庫とコンテナ ライフサイクル 280
 システム フロー 281
 集計請求 285
 受注オーダーの処理 283
 処理 299
 シリアル番号 298
 シリアル番号情報の確認と改訂 303
 シリアル番号トラッキング 298
 請求 299, 301
 請求書サイクル計算 290
 請求書サイクル優先情報 297
 請求書のトラッキング 300
 請求方法 285
 設定の概要 286
 抽出プログラム 300
 賃貸料の処理 301
 賃貸料、保証金、払戻金の処理 302

トランザクション請求 286
 トランザクションの確認 302
 払戻金の処理 301
 品目タイプ 288
 保証金階層 284
 保証金、賃貸料、払戻金の受注オー
 ダー行作成 301
 保証金/賃貸料優先情報 295
 保証金と賃貸料の勘定科目 284
 保証金の確認 302
 保証金の処理 301
 優先情報 291
 ユーザー定義コード 288
 レポート 345
 コンテナ/カートン コード (P46091) 290
 コンテナコード 290
 コンテナコードと品目の設定 290
 コンテナ抽出 (R41189) 300
 コンテナ抽出の実行 300
 コンテナ調整レポート (R41185) 345
 コンテナ賃貸請求 (R41186) 301
 コンテナ トランザクション照会
 (P41181) 302
 コンテナトランザクションの処理 299
 コンテナの充填 283
 コンテナの入荷記録 282
 コンテナ保証金照会 (P4118) 302
 コンテナ保証金/賃貸プロファイルの処
 理 (P40317) 292
 コンテナ保証金/賃貸料優先情報 295
 コンテナ保証金/賃貸料優先情報の作
 成 292
 コンテナ保証金とトランザクションの確
 認 302
 コンテナ保証金/払戻金請求
 (R41187) 301
 コンテナ優先情報の設定 292

さ

差異
 循環棚卸 199
 循環棚卸での差異 199, 346
 在庫
 フラット ファイル相互参照の設定 323
 在庫移動
 インタオペラビリティの送信トランザ
 クション 331
 処理オプション 144
 在庫インタオペラビリティ
 インターフェイス テーブル 321

概要 321
 受信トランザクション 323, 325, 329
 循環棚卸受信トランザクション 327
 製品処理データ受信トランザクシ
 ン 329
 送信トランザクション 331
 品目原価受信トランザクション 328
 品目マスター受信トランザクシ
 ン 325
 フラット ファイルからインターフェイス
 テーブルへの変換 322
 在庫管理
 システム概要 1
 在庫固定情報 (F41001) 69
 在庫出庫
 インタオペラビリティの送信トランザ
 クション 331
 処理オプション 131
 在庫出庫 (P31113) 269
 在庫状況 161
 集計 162
 品目 161
 丸め 163
 明細 163
 ロット数量 164
 在庫状況レポート
 説明 349
 在庫仕訳レポート
 説明 353
 在庫タグの印刷レポート記述
 説明 206
 在庫調整
 インタオペラビリティの送信トランザ
 クション 331
 処理オプション 139
 在庫調整 (P4114) 269
 在庫とコンテナ ライフサイクル 280
 在庫トランザクション
 品目情報の検索と結果の表示 156
 在庫の概念と設定
 需要/供給数量 153
 在庫の再分類
 概要 260
 在庫評価分析レポート
 説明 354
 再定義
 保管場所フォーマット 315
 再分類 260
 差異明細レポートの印刷
 差異基準の違い 199

先日付引当可能数量の有効日付の定
 義 269
 作業オーダー
 数量 177
 作業オーダー完了 (P31114) 269
 作業オーダー完了日付 265
 作業オーダー プロセス資源の改訂
 (P3111P) 269
 作業オーダー マスター (F4801) 265
 残高
 繰越残高レコードの作成 187
 再生成方法 187
 非活動による欠如 187
 品目トランザクションと残高の検
 討 186

し

事業所
 保管場所フィールドの更新用モデ
 ル 318
 事業所固定情報
 固定情報の設定 19, 20, 28
 事業所固定情報 (P41001) 224
 事業所情報
 概要 97
 事業所情報の入力 97
 事業所品目分類コードの入力 98
 事業所への品目の割り当て 101
 発注数量 106
 品目製造情報の入力 99
 品目の出荷元の検索 105
 品目発注数量の入力 106
 品目保管場所 98, 103
 複写 100
 事業所品目
 複写 100
 事業所品目 (F4102) 265
 システム更新
 概要 309
 品目情報の更新 309, 310, 312
 保管場所更新時のエラー 319
 保管場所フォーマット改訂 315
 保管場所フォーマットの更新 319
 保管場所フォーマットのモデル事業
 所 318
 システム固定情報 19
 [システム固定情報] フォーム
 サンプル 28
 システム設定
 概要 17

- 固定情報の設定 19, 20
- コンテナ管理 286
- 自動仕訳 (AAI) の設定 37
- 倉庫保管場所の概要 32
- デフォルト事業所情報の設定 45
- 伝票タイプ保守管理 53
- 標準計量単位の設定 47
- 品目相互参照の設定 48, 51
- 複数の保管場所の入力 36
- 保管場所の個別入力 35
- 保管場所のスピード設定 36
- メッセージの設定 43, 44
- システム統合
 - 製造 12
 - ロジスティクス システム 9
- システム フロー
 - コンテナ管理 281
- 実地棚卸
 - 概要 193
 - 差異レポート (循環棚卸) 346
 - 次回棚卸日付 201
 - 循環棚卸 194
 - 循環棚卸カテゴリ 201
 - 循環棚卸の処理 194, 195, 196, 197, 199, 201
 - 関連項目: AAI (自動仕訳)
 - 循環棚卸の更新 201
 - 循環棚卸品目の選択 196
 - タグ棚卸 204
- 自動仕訳 (AAI)
 - 自動仕訳 (AAI) の設定 37
 - 標準計量単位の設定 47
- シミュレート原価
 - 配賦 224
- シミュレート原価更新 (R30840) 224
- 集計在庫状況
 - 概要 162
 - 数量情報 166
- 集計数量情報 162
 - 集計数量情報の検索 166
- 集計請求
 - コンテナ管理 301
- 重複ロット処理 239
- 重量
 - 品目情報 66
- 主科目別試算表
 - 説明 192
- 主科目別総勘定元帳
 - 説明 191
- 受信トランザクション
 - インタオペラビリティの概要 321
- 受注オーダー
 - 品目情報 161
- 受注オーダーの処理 283
- 受注オーダーの入力 (P4210)
 - プロモーション品目 52
- 受注明細 (F4211) 265
- 出荷昇順規則 274
- 出荷昇順日付 274
- 出庫
 - エラーの修正 129
 - 概要 128
 - 在庫の出庫 128
 - 伝票番号 129
- 出庫在庫
 - サンプル 130
- 需要/供給 153
 - 概要 177
 - 数量 177
- 需要/供給照会 (P4021) 269
- 需要/供給照会プログラム 177
- 需要/供給情報
 - 確認 177
- 需要/供給情報の検討 177
- 需要と供給レポート
 - 説明 341
- 循環棚卸
 - ABC 売上コード 201
 - ABC 分析 355
 - インタオペラビリティの受信トランザクション 327, 329
 - インタオペラビリティの送信トランザクション 331
 - 差異レポート 346
 - 次回棚卸日付 201
 - 循環棚卸結果の入力 197
 - 循環棚卸差異の検討 199
 - 循環棚卸状況の確認 196
 - 循環棚卸数量の改訂 201
 - 循環棚卸の承認 201
 - 循環棚卸の処理 194
 - 循環棚卸の取り消し 197
 - 循環棚卸の更新 201
 - 循環棚卸票の印刷 197
 - 循環棚卸品目の選択 195
 - ステータスの変更 201
- 循環棚卸差異明細の印刷
 - 説明 346
- 循環棚卸 (受信) の除去 (R4141Z1P) 332

循環棚卸の更新
 処理オプション 202
 昇順規則 274
 昇順日付 274
 小数
 在庫状況の表示 163
 除去
 インタオペラビリティ 332
 概要 305
 固有の除去 306
 データの除去 306
 処理オプション
 R41543 (品目元帳/勘定科目整合性) 351
 在庫移動 144
 在庫出庫 131
 在庫状況 - 集計と明細 168
 在庫調整 139
 事業所品目 108
 循環棚卸の更新 202
 タグ在庫の更新 208
 品名検索テーブルの作成 158
 品目再分類 263
 品目マスター 94
 シリアル番号
 確認と改訂 303
 トラッキング 298

す

数量
 事業所情報 106
 数量情報
 概要 162
 検索 161
 集計 162
 数量情報の検索
 概要 162
 集計数量情報の検索 162
 セグメント情報の検索 164
 手持数量情報の検索 164
 明細数量情報の検索 163
 ロット別数量情報の検索 164
 スケジュール
 価格設定 298

せ

請求
 コンテナ管理 301
 請求書

コンテナ管理 302
 請求書サイクル計算
 コンテナ管理 290
 請求書サイクル優先情報の作成 292
 製造
 システム統合 12
 製造現場管理
 フラットファイル相互参照の設定 323
 変換プログラムの実行 323
 製造作業オーダー処理 (P48013) 269
 製造段取原価 121
 製造データ
 事業所情報 99
 品目マスター情報 69
 製造データ管理
 フラットファイルからインターフェイス
 テーブルへの変換 322
 フラットファイル相互参照の設定 323
 変換プログラムの実行 323
 製造引当 270
 有効日数と有効日付 270
 製品処理データ
 インタオペラビリティの受信トランザ
 クション 329
 セグメント相互参照の生成 314
 セグメント品目 65
 テンプレートの作成 79
 セグメント品目在庫状況の検索 164
 設定 17
 印刷メッセージ
 コンテナ管理 289
 印刷メッセージ優先情報 297
 オーダー行タイプ 286
 オーダー処理順序定義 287
 計量単位優先情報 297
 コンテナ管理 286
 コンテナコードと品目 290
 コンテナ優先情報 295
 シリアル番号トラッキング 298
 請求書サイクル優先情報 297
 倉庫保管場所 32
 伝票タイプ情報 53
 品目タイプ 288
 ユーザー定義コード
 コンテナ管理 288
 前提知識 xix

そ

総勘定元帳
 トランザクションの会計処理 128

レポート 190, 191
 総勘定元帳レポートのトランザクション
 の検討
 主科目別試算表 192
 品目元帳明細の印刷レポート 190
 相互参照 xxiii, 6, 53
 プロモーション 52
 倉庫保管場所
 概要 32
 個別入力 35
 複数入力 36
 倉庫要求 (F4600) 274
 送信トランザクション
 インタオペラビリティの概要 321
 増分値
 保管場所のスピード設定 33

た

代替品目
 基本価格と価格調整 53
 相互参照 53
 タグ在庫の更新
 処理オプション 208
 タグ棚卸
 タグ受取り情報の記録 207
 タグ状況の確認 207
 タグ棚卸結果の入力 207
 タグ棚卸の処理 204
 タグ配布情報の記録 204
 タグの更新
 インタオペラビリティの送信トランザ
 クション 331

ち

注 xxii
 注意事項 xxii
 注記
 品目に関する入力 65
 抽出
 コンテナ管理 300
 調整
 エラーの修正 138
 概要 138
 在庫調整 138
 伝票番号 138
 調整レポート
 コンテナ管理 345
 貯蔵期間 265
 賃貸料の受注オーダー行作成 301

賃貸料、保証金、払戻金の受注オーダー
 行処理 302
 賃貸料、保証金、払戻金の処理 301

つ

追加ドキュメンテーション xx

て

テキスト検索
 品目 155
 テキスト メッセージ
 印刷する伝票の定義 43
 デフォルト事業所情報
 デフォルト印刷待ち行列の割り当
 て 45
 デフォルト事業所情報の設定 45
 デフォルト日数 265
 手持数量
 手持数量情報の検索 164
 手持評価額
 ABC 分析 355
 電子データ交換 (EDI) 13
 [伝票選択] フォーム
 サンプル 44
 伝票タイプ
 設定と管理 53
 伝票タイプの例外 43
 伝票タイプ保守管理 (P40040)
 ユーザー定義コード 53
 データ インターフェイス
 設定 48
 関連項目: 品目相互参照
 データタイプ別品目 (R410410) 343
 データタイプ別品目レポートの印刷 343
 データの除去 332
 テーブル
 印刷メッセージ (F4016) 335
 印刷メッセージ レポート デフォルト
 (F4017) 335
 オーダー住所情報 (F4006) 335
 計量単位換算係数 (F41002) 334
 計量単位標準換算 (F41003) 334
 在庫固定情報 (F41001) 333
 事業所品目 (F4102) 334
 需要/供給組込規則 (F34004) 334
 循環棚卸トランザクション (F4141) 334
 循環棚卸ヘッダー (F4140) 334
 タグ棚卸 (F4160) 334

デフォルト事業所/プリンタ
 (F40095) 335
 伝票タイプ マスター (F40039) 53, 335
 品名検索 (F41829) 334
 品目基準日 (F41112) 334
 品目基本価格 (F4106) 334
 品目原価 (F4105) 334
 品目相互参照 (F4104) 334
 品目マスター (F4101) 333
 品目元帳 (F4111) 334
 品目履歴 (F4115) 334
 保管場所品目 (F41021) 334
 保管場所品目定義 (F41023) 334
 保管場所マスター (F4100) 333
 補足データ (F00092) 335
 補足データベース使用言語
 (F00090D) 335
 補足データベース データ タイプ
 (F00091) 335
 補足データベースの設定
 (F00090) 335
 ユーザー定義コード (F0005) 53
 流通/製造 AAI 値 (F4095) 335
 流通/製造固定情報 (F4009) 335
 ロット マスター (F4108) 334

と

等級および濃度情報 69
 ドキュメンテーション
 印刷・製本 xx
 関連 xx
 トラッキング
 ロット 259
 トランザクション
 移動 143
 売上 300
 会計処理 128
 概要 127
 繰越残高レコードの作成 187
 コンテナ処理 299
 再分類 260
 出庫 128
 請求 301
 調整 138
 テーブル更新 127
 トランザクション レコードの処理 184
 複数のトランザクションと残高の検
 討 186
 トランザクション レコードの処理 184
 概要 184

複数のトランザクションと残高の検
 討 186
 トレース
 ロット 259

に

2 重計量単位 7, 66
 ピッキング 68
 入荷確認 (F43121) 265
 入荷確認 (P4312) 269

の

濃度情報 69

は

バッチ制御固定情報
 [アプリケーション固定情報] フォー
 ム 20
 バッチ制御固定情報の定義 20
 発注数量
 事業所情報 106
 パフォーマンス情報
 確認 181
 パフォーマンス情報の検討 181
 販促品目 (SP) 50
 販売価格情報
 overview 123
 販売価格情報の入力 123
 販売合計
 ABC 分析 355

ひ

引当
 在庫管理システムでの引当 153
 引当可能数量詳細
 概要 163
 数量情報 170
 引当可能数量と引当計算 270
 有効日数 270
 引当日付方法 265
 非在庫品目 62
 評価分析レポート
 説明 354
 表記規則 xxii
 品質モード
 在庫検討の設定 22, 163
 数量情報 163
 品目原価情報
 概要 118

- 原価方式の削除 120
- 製造段取 121
- 製造段取原価情報の入力 121
- 単位原価の更新 120
- 単位原価の変更 120
- 入力 119
- 品目原価情報の入力 118
- 品目原価の入力 121
- 品目への原価方式の割り当て 119
- 品目への原価レベルの割り当て 119
- 品名検索
 - テキストによる品目検索 155
 - 品目テーブルの作成 158
- 品名検索テーブルの作成 158
- 処理オプション 158
- 品目 6
 - 計量単位 66
- 品目および数量情報
 - 概要 151
 - 需要/供給情報の検討 177
 - 需要/供給数量 153
 - 数量 152
 - 数量情報の検索 162
 - トランザクション レコードの処理 184
 - パフォーマンス情報の検討 181
 - 品目情報の検索 154
- 品目基本価格 (F4106) 69
- 品目原価
 - インタオペラビリティの受信トランザクション 328, 329
- 品目検索
 - 検索条件の定義 156
 - テキストの検索 155
 - トランザクションへの品目検索結果表示 156
 - 品名検索テーブルの作成 158
 - 品目情報の検索 154
 - フォーム 156
- 品目再分類 (P4116) 269
- 品目残高テーブルの除去プログラム 306
- 品目残高の除去 306
- 品目残高/元帳の整合性レポート
 - 説明 352
- 品目情報
 - 確認 161
- 品目情報の検索 156
 - 概要 154
 - 検索条件の定義 156
- 品目情報の検索結果表示 156
- 品目情報の検索と結果の表示 156
- 品目数量
 - 集計数量情報 162
 - 手持数量 164
 - 明細数量情報 163
 - ロット数量情報 164
- 品目相互参照 53
 - 設定 48
 - 相互参照の検索 51
 - 品目相互参照の設定 48
- 品目タイプ
 - コンテナ管理 288
- 品目注記 44
- 品目の設定
 - 概要 61
- 品目の 2 重計量単位の指定 66
- 品目のランク付け
 - ABC 分析 355
- [品目引当可能数量の定義] フォーム
 - サンプル 28
- 品目プロファイル (R410400) 343
- 品目プロファイル レポートの印刷 343
- 品目マスター
 - インタオペラビリティの受信トランザクション 325
- 品目マスター (F4101) 265
- 品目マスター情報
 - 概要 62
 - キット 227
 - 計量単位情報 85
 - 検索テキスト 72
 - 削除 63
 - 処理オプション 94
 - 製造情報 87
 - セグメント品目のテンプレートの作成 79
 - テンプレートの設定 63
 - 等級および濃度情報 69
 - 等級および濃度情報の入力 69
 - 入力 62
 - 品目 ID 72
 - 品目計量単位情報の入力 66
 - 品目製造情報の入力 69
 - 品目担当者の割り当て 66
 - 品目分類コードの入力 66
 - 分類コード 82, 83, 84
 - 翻訳記述 77
- 品目マスター ディレクトリ レポート
 - 説明 353
- 品目マスターの除去 306

品目マスターの除去プログラム 306
 品目元帳 (F4111) 265
 品目元帳基準日生成 (R41542) 184
 品目元帳 (繰越残高集計)
 サンプル 190
 品目元帳照会
 複数のトランザクションと残高の検
 討 186
 品目元帳明細の印刷
 レポートの詳細 190

ふ

フォーマット
 一括更新 319
 保管場所 (一括) 315
 フォーム
 [F4141Z1の改訂] 331
 [アプリケーション固定情報] 30
 [印刷メッセージの改訂] 44
 [印刷メッセージの処理] 44
 [カテゴリ・コード] 82, 103
 勘定科目情報 130
 [基準日情報直接入力] 189
 [基本保管場所] 102
 原価の改訂 121, 220
 在庫移動 144
 在庫調整 139
 事業所品目情報 102
 [システム固定情報] 28
 出庫在庫 130
 [需要/供給の処理] 180
 循環棚卸の入力 198
 循環棚卸明細の処理フォーム 199
 [数量] 106
 タグの発行/受取り 207
 [追加システム情報] 87, 92, 122
 [デフォルト印刷待ち行列] 45, 46
 [伝票選択] 44
 [伝票タイプの改訂] 54
 [品目計量単位換算の処理] フォー
 ム 85
 [品目計量単位の換算] 85, 86
 品目検索 156
 品目再分類 261
 [品目引当可能数量の定義] 28
 [品目マスターの改訂] 72
 [品目マスター翻訳記述] 77
 [品目元帳 (繰越残高集計)] 190
 [部品表情報の入力] 234
 [保管場所の改訂] 102

[保管場所品目の処理] 102
 保管場所フィールド再定義 318
 保管場所ロット状況の更新 250
 [メディア・オブジェクト・ビューア] 44,
 81
 [ユーザー定義コード言語の選択] 44
 ロット日付および数量 243, 249
 ロット マスターの改訂 239
 ロット マスターの処理 239
 複写
 事業所品目情報 100
 複数の保管場所の入力 33
 部品表 229
 フラット ファイル
 インタオペラビリティ インターフェイス
 テーブルへの変換 322
 インタオペラビリティのための相互参
 照 323
 フラット ファイルからインターフェイス
 テーブルへの変換 322
 フラット ファイル相互参照 (P47002)
 設定 323
 フラット ファイル変換 (受信) (R47002C)
 変換の実行 323
 レポート 323
 プログラムと ID
 P3002 (部品表改訂) 233
 P40040 (伝票タイプ保守管理) 53
 P40070 (優先マスター) 292
 P400951 (デフォルト事業所およびプリ
 ンタ) 46
 P4021 (需要/供給) 177
 P4021 (需要/供給照会) 180
 P40300 (顧客/品目別プロファイルの
 処理) 292
 P40317 (コンテナ保証金/賃貸プロファ
 イルの処理) 292
 P41001 30
 P41003 (標準計量単位) 48
 P4100A (保管場所のスピード設
 定) 33
 P4100 (保管場所マスター) 35
 P4101Z1 (品目マスター照会 (受
 信)) 329, 330
 P4101 (品目マスター) 72, 119, 124
 P41026 (事業所品目) 102
 P4104 (品目相互参照) 51
 P4105Z1 (品目原価照会 (受信)) 331
 P4108 (ロット マスターの改訂) 239,
 249

- P4112 (在庫出庫) 128
- P4113 (移動) 143
- P4114 (在庫調整) 138
- P4115 (購買担当者用情報) 181
- P4116 (再分類) 260
- P41181 (コンテナトランザクション照会) 302
- P4118 (コンテナ保証金照会) 302
- P41200 (品目検索) 156
- P41202 (在庫明細照会) 170
- P41202 (集計在庫状況) 166
- P41240 (循環棚卸の検討) 196
- P41240 (循環棚卸の入力) 198
- P41280 (ロット別在庫状況) 247
- P4141Z1 (循環棚卸照会 (受信)) 331
- P41604 (タグ状況の検討) 207
- P41604 (タグ棚卸入力) 207
- P41604 (タグの発行/受取り) 206
- P41822 (保管場所フィールドの更新) 318
- P46091 (コンテナ/カートン コード) 290
- P47002 (フラット ファイル相互参照) 323
- R094121 (主科目別試算表レポート) 192
- R09421 (主科目別総勘定元帳レポート) 191
- R4051 (需要/供給) 341
- R4101P (品目マスター (F4101) の除去) 306
- R4101Z1I (品目マスター受信トランザクション処理) 325
- R4102P (品目マスター (F4102) の除去) 306
- R410400 (品目プロファイル) 343
- R4105Z1I (品目原価未編集トランザクション (受信)) 328
- R4105Z1P (品目原価受信トランザクション除去) 332
- R41182 (顧客/流通業者残高) 345
- R41185 (コンテナ調整レポート) 345
- R41186 (コンテナ賃貸請求) 301
- R41187 (コンテナ保証金/払戻金請求) 301
- R41189 (コンテナ抽出) 300
- R41403 (循環棚卸差異明細の印刷) 346
- R41410A (循環棚卸票の印刷) 197
- R41411 (棚卸品目の選択) 195
- R41413 (循環棚卸の更新) 201
- R4141Z1I (循環棚卸受信トランザクション処理) 327
- R4141Z1P (循環棚卸 (受信) の除去) 332
- R41505 (ロットのトレース/トラッキング印刷) 346
- R41510 (価格表) 348
- R4152 (購買担当者ガイド) 349
- R41530 (在庫状況) 349
- R41541 (元帳クラス別品目元帳) 191
- R41542 (品目元帳基準日生成) 184
- R41543 (品目元帳/勘定科目整合性) 350
- R41544 (品目残高/元帳の整合性) 352
- R41548 (基準日更新) 187
- R41550 (在庫仕訳) 353
- R41560 (品目マスター ディレクトリ) 353
- R41580 (原価分析) 353
- R41590 (評価分析) 354
- R41606 (タグ棚卸品目の選択) 205
- R41607 (タグの印刷) 206
- R41610 (タグの更新) 208
- R4164 (ABC 分析) 355
- R41700 (粗利益分析) 356
- R41803 (レポート コードの一括更新) 312
- R41804 (品目マスター フィールドの更新) 310
- R41805 (事業所品目フィールドの更新) 310
- R41821 (保管場所フィールドの更新 - バッチ) 319
- R41829 (品名検索テーブルの作成) 158
- R47002C (フラット ファイル変換 (受信)) 323
- R47121 (受信製品処理の編集/更新) 329
- 原価の一括更新 (R41802) 221
- 原価要素のコピー (R41891) 225
- 先日付原価の更新 (R41052) 223
- 事業所固定情報 (P41001) 224
- シミュレート原価更新 (R30840) 224
- データタイプ別品目 (R410410) 343
- 品目再分類 (P4116) 263
- 平均原価の更新 (R41811) 222
- 保管場所原価の改訂 (P41051) 220

プロモーション品目
相互参照 52

へ

平均原価
品目の平均原価の更新 222, 223
平均原価計算ユーザー定義コード
(40/AV) 222
変換
インタオペラビリティ 323
インタオペラビリティのフラット ファイ
ル変換 323

ほ

保管場所 45
キット保管場所の設定 231
基本 33
個別入力 35
スピード入力 36
セグメントの定義 20
設定方法 32
複数入力 36
保管場所フォーマットの定義 20
要素の定義 33
保管場所原価の改訂 220
保管場所更新ユーザー定義コード
(41/LU) 316
保管場所セグメント
定義 20
保管場所セグメント照会 164
保管場所セグメント情報
検索 164
保管場所セグメント数量の検索 164
保管場所セグメントの定義 20
保管場所の個別入力 35
保管場所のスピード設定
増分値 33
保管場所のスピード設定 (P4100A) 33
処理の概要 34
保管場所フィールドの更新
テーブルの指定 316
保管場所フィールドの更新 (P41822) 318
保管場所フィールドの更新 - バッチ
(R41821) 319
保管場所フォーマット
保管場所フォーマットの改訂 315
保管場所フォーマットの改訂 315
保管場所フォーマットの更新 319
保管場所マスター (P4100) 35

保証金と払戻金の受注オーダー行作
成 301

ま

丸め
在庫状況 163
満了日付
一括更新 276

め

明細原価計算 224
メッセージ 43
品目への添付 65

も

モデル事業所
保管場所フィールドの更新 318
モデル事業所の新規保管場所フォーマッ
トの定義 318
元帳クラス別品目元帳
レポートの詳細 191

ゆ

有効原料 265
有効構成品 265
有効日付 269
計算 270
購買オーダー 270
購買引当 270
作業オーダー 270
需要/供給照会 270
所要量計画 270
タイム フェイズ 270
手持在庫 270
有効ロットの更新 (R41083) 272
関連項目: 有効ロットの更新
(R41083) 有効日付; 有効ロットの
更新 (R41083) 有効日付; 有効
ロットの更新 (R41083) 有効日
付; 有効ロットの更新 (R41083)
有効日付; 有効ロットの更新
(R41083) 有効日付; 有効ロットの
更新 (R41083) 有効ロットの更新
(R41083) の実行
有効ロットの更新 (R41083) 272
優先情報
印刷メッセージ 297
価格設定計量単位 297
コンテナ管理 291

コンテナ保証金/賃貸料 295
 請求書サイクル 297
 優先情報値明細 (F40721) 274
 優先情報名 274
 優先マスター (P40070)
 コンテナ管理 292
 ユーザー定義コード
 印刷メッセージ (40/PM) 289
 計量単位 (00/UM) 297
 コンテナ管理 288
 在庫更新タイプ (40/IU) 288
 在庫整合性レポート (41/IN) 350
 設定 36
 調整コード (76A/CA) 36
 伝票タイプ 53
 平均原価計算 (40/AV) 222
 保管場所更新 (41/LU) 316
 ロット状況コード (41/L) 250
 ロット日付 (40/LD) 249

よ

要素
 保管場所コード 20
 予測
 フラット ファイルからインターフェイス
 テーブルへの変換 322
 フラット ファイル相互参照の設定 323
 変換の実行 323

り

流通
 シミュレート原価の作成 224
 明細原価計算 224
 流通業者残高レポート
 コンテナ管理 345
 流通シミュレート原価の作成 224
 流通/製造固定情報 (F4009) 274

れ

レベル
 キットのレベル 233
 原価 119
 レポート
 ABC 分析 355
 R41083 (有効ロットの更新) 272
 粗利益分析 356
 価格表 348
 原価分析 353
 購買担当者ガイド 349

コンテナ管理情報の抽出 300
 コンテナ請求 301
 在庫回転率 344
 在庫回転率レポート 344
 在庫状況 349
 在庫状況レポートの検討 339
 在庫仕訳 353
 在庫タグの印刷 206
 在庫評価分析 354
 主科目別試算表 192
 主科目別総勘定元帳 191
 需要/供給 341
 循環棚卸差異明細の印刷 346
 循環棚卸票の印刷 197
 状況レポート 339
 棚卸品目の選択 195
 データタイプ別品目 343
 評価分析 354
 品目残高/元帳の整合性 352
 品目プロファイル 343
 品目マスター ディレクトリ 353
 品目元帳明細の印刷 190
 フラット ファイル変換 (受信) 323
 分析 341
 元帳クラス別品目元帳 191
 ロットのトラッキング 346
 ロットのトレース 346
 連産品/副産物完了 (P31115) 269
 連絡先 xxiv

ろ

ロジスティクス システム
 システム統合 9
 ロット
 処理日付 249
 ロット管理
 有効ロットの更新 (R41083) 272
 ロット出荷昇順日付 274
 ロット状況コード
 許容 250
 割り当て 249
 ロット状況コード ユーザー定義コード
 (41/L) 250
 ロット状況の割り当て 249
 ロット処理
 概要 237
 重複ロット 237
 ロット状況の処理 250
 ロット情報の入力 239
 ロット処理日付の処理 249

- ロット数量の処理 249
- ロットトランザクションの表示 253, 259, 346
- ロットの再分類 260
- ロット番号の割り当て 237
- ロット別在庫状況の処理 247
- ロット別在庫状況の表示 247
- ロット数量情報
 - ロット別数量情報の検索 172
- ロットトラッキング レポート
 - 説明 346
- ロットトレース レポート
 - 説明 346
- ロット日付の設定 265
 - 出荷昇順日付 274
- ロット日付ユーザー定義コード (40/LD) 249
- ロット別在庫状況
 - 概要 164
 - 数量情報 172
- ロット マスター (F4108) 265
- ロット マスターの改訂 (P4108) 269
- ロット満了日付
 - 一括更新 276
 - 計算方法 265
- ロット満了日付の一括更新 276
- ロット満了日付の計算 265